

新規整理分「麻生家文書」目録（二）

原口，大輔
九州大学附属図書館記録資料館

<https://doi.org/10.15017/4774153>

出版情報：石炭研究資料叢書. 39, pp.1-128, 2022-03-25. Business & Economics Section, Manuscript Library, Kyushu University

バージョン：

権利関係：

新規整理分「麻生家文書」目録（二）

新規整理分「麻生家文書」目録(二)

原 口 大 輔

本稿では、前稿「新規整理分「麻生家文書」目録」(『エネルギー史研究』第三六号、二〇一年)に引き続き、九州大学附属図書館付設記録資料館寄託「麻生家文書」のうち、二〇二一年に新たに整理した史料三八九六点の目録を公開する。なお、箱の名称は受け入れ時に文書箱に付されたラベルの表記に従っており、その由来や分類については、古賀康士「麻生家文書の史料論的考察」(研究代表者・日比野利信『近代日本における企業家ネットワーク形成 ―地方財閥の人脈に關する総合的研究―』平成二八年度〜平成三〇年度科学研究費助成事業研究成果報告書、二〇一九年)、原口大輔「麻生家文書研究部門の誕生とその活動」(『記録資料館ニューズレター』第一五号、二〇二一年)を参照されたい。

以下、今回目録に掲載する史料の概要をごく簡単に紹介する。

- (1) 冠者Ⅰ(三九八号)・明治初年から一〇年代にかけて、麻生賀郎(太吉の父)が戸長を務めていた頃の史料群で、県庁への上申や各村とのやりとりに関する史料も含まれている。
- (2) 令(四六号)・麻生家の子どもの各学年の修了証や卒業証書などが中心である。
- (3) 陶(一九五号)・麻生賀郎宛書簡を中心とした石炭の運送に関する明治前期の史料群である。
- (4) 文(三七六号)・江戸時代後期の嘉麻郡各村の行政に関わる横帳が中心である。過去に途中まで目録が作成されていたため、史料には

史料番号を記した図書ラベルが貼付済みであり、原則としてその番号に従った。

- (5) 闕(八二三号)・明治三〇年代における各坑の書類・簿冊に加え、明治三七年〜四〇年にかけての書簡・葉書・電報類が入っている。特に、書簡類は相当数に上り、明治三七年六月の大雨洪水に対する見舞状といった麻生商店や筑豊の炭鉱の様子を窺い知れる史料だけでなく、第一次西園寺内閣誕生前夜の状況を伝える野田卯太郎書簡(闕一五四)や伊藤伝右衛門書簡(闕一五六)といった興味深いものも確認できる。なお、闕一から闕一七二までは過去に整理され、カード目録が作成されていた。今回は、そのカード目録を再検討したうえで、残りの史料を整理している。

- (6) 芬(一四七四号)・「文」と同じく幕末の庄屋関係の史料が中心であり、金銭や物品の授受に関する証書・書簡類が大量に確認される。芬一・二には、佐賀の乱への対応に関する情報が散見され、兵糧米の取り扱いなど嘉麻郡の状況をうかがい知ることができる史料もある。なお、芬一は闕一から闕一七二と同様、過去に整理され、カード目録が作成されており、今回はそのカード目録を再検討したうえで、残りの史料を整理している。

- (7) 番外①(一一六号)・明治三五年前後の本洞炭坑に関する領収書、伝票、報告書が中心となっている。

- (8) エビフライ(一〇号)・断層の調査に関する図面などが確認できる。時期は特定できない史料が多い。なお、箱名の「エビフライ」の由来、は「エビフライ」の冷凍食品の段ボールに史料が保存されていたことによる。

- (9) 図(二七号)・昭和戦前期の複数の雑誌が収められている。こ

ちらは過去にカードに採録されていた目録をもとに改めて全点現物照合を行い、加筆修正のうえ目録に掲載するものである。

(10) 盈A (三〇〇点)・明治前期における嘉麻郡各村との金銭や米などのやりとりに関する史料が主となっている。「盈」と名称が付された史料群はもう一つあり、こちらは昭和期の史料が中心である。両者とも同様に盈一からラベルが貼付されていたため、混乱を避けるため、便宜的にこちらを「盈A」と名称を付け直した。なお、盈一から盈一六六までは闕一から闕一七二と同様、過去に整理され、カード目録が作成されており、今回はそのカード目録を再検討したうえで、残りの史料を整理している。

(11) 潜 (三二点)・大正期の九鉄に関する書類と明治初期の嘉麻穂波両郡庄屋に関する史料が混在している。なお、潜一から潜一一までは闕一から闕一七二と同様、過去に整理され、カード目録が作成されており、今回はそのカード目録を再検討したうえで、残りの史料を整理している。

なお、現在、麻生家文書研究部門では、「麻生家文書」の新規整理と並行して、右「図」と同様に、過去に整理され、カードに採録された目録（記録資料館備付カード目録）の電子化と現物照合作業、目録の加筆修正も行っている。こちらも次年度以降、順次目録を公表していく予定である。末筆になるが、本年の成果もこれまで史料整理に尽力された先達の成果に多くを負っている。ここに記して感謝の意を表する次第である。

凡例

- ・配列は整理番号の順とし、史料の年代や形態などによる並び替えなどは行っていない。
- ・字体は原則として常用のものを用いた。
- ・目録には、史料番号（箱・番号）、表題、年月日、作成者、宛先、内容、記述法、数量、備考の項を設けた。
- ・判読不明の文字は■、欠損は□、「」で表記した。
- ・作成者、宛先の人物の肩書、表記などについては、史料上の表記のままとした。史料中、麻生、麻生太吉などについては、「阿曾」、「多吉」といった誤記が多く見られるが、ルビ「ママ」を付すと煩雑となるので、いずれもそのまま掲載している。
- ・年次について、消印などで判断できる場合、「」で記した。
- ・史料の整理・目録作成は、諸原真樹、佐藤凌成、高野恵、河村則香、本田孔輔、井上修平、進竜一郎、藪田綾子、中村真鈴、橋本彩華、北山湖胡音、小林辰海、田代恵悟、南里彩花、眞藤花帆、山下拓真、谷川淳志の協力をもとに、原口大輔が取りまとめた。
- ・一部史料は保存および人権への配慮等の観点から、史料の利用を制限することがある。

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
冠者1 1	飯塚村大庄屋麻生賀郎乍恐御向 申上候書				後次	紙	1	冠者1-12)同折
冠者1 2	飯塚村大庄屋麻生賀郎乍恐御向 申上候書				取締役郡目兼務の者一件についての 草稿カ	綴	1	こよりで一括
冠者1 2	第十四区戸長麻生賀郎乍恐御向 申上候書	明治5年正月	麻生賀郎	福岡御県庁	取締役郡目兼務の者一件の草稿カ	綴	1	こよりで一括
冠者1 3	飯塚村大庄屋麻生賀郎乍恐御願 申上候書	明治5年正月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎 第拾四区戸長 麻生賀郎	福岡御県庁	改革のため諸普請の担当を変更の届出 の草稿	綴	1	惣波郡飯塚御用紙
冠者1 4	第拾四区戸長麻生賀郎乍恐申上 候書	明治5年6月	麻生賀郎	福岡御県庁	原吉村田平三郎より係る御解の儀でつ き裁判所に出頭云々	綴	1	
冠者1 5	代理願	明治3年4月24日	麻生大吉	貝原寛一	中身なし	綴	1	こよりで一一括
冠者1 5	処分書類入					袋	1	
冠者1 5	診断書	明治13年4月	医師 菊田文哉		麻生賀郎の診断書	紙	1	
冠者1 5	診断書	明治13年4月23日	医師 菊田文哉		麻生賀郎の診断書	紙	1	こよりのつき
冠者1 5	代理願	明治12年2月	麻生賀郎	福岡区裁判所 補 奥原寛一	麻生大吉を代理とする件	紙	1	
冠者1 5	(届出)	明治13年4月17日	麻生賀郎	福岡区裁判所	御解のため来る30日午前9時をもって 出頭	専用紙	1	
冠者1 5	通信料受取之証 記	明治13年2月26日	多吉 保房店	ハカソ ラクス 上		紙	1	
冠者1 5	(記)				ロンドン、パリ、サンフランシスコか らの輸入に關するメモ	紙	1	
冠者1 5	(記)				「大蔵省吉原少輔」「正金銀行株三万 円」などのメモ	紙	1	
冠者1 5	(記)				第1条大塚炭若松港において買入大 阪・神戸に売御入を派出色、これを 売御くものとする云々	綴	1	
冠者1 5	石炭為換貸附條例					綴	1	
冠者1 5	平指帳 十二					冊子	1	
冠者1 6	大八区扱所設立費之内ヨリ福田保 蔵貸付金明細帳	明治10年1月	第六八区四十八小区村々 麻生賀郎	福岡脚 (泉字)	山崎村白砂地洪水により度々被害を受 け取壊が少なく上納に滞りがあり云々 数年來の零落により、年々上納方不 足、肥料としての石灰煉立の許可申請	綴	1	こよりで綴っている。第六 小区」の用紙、封筒あり
冠者1 7	飯塚村大庄屋麻生賀郎乍恐御願 申上候書	明治5年正月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁		綴	1	破損あり、宛先は破損 のため読みとれず
冠者1 8	飯塚村大庄屋麻生賀郎乍恐御願 申上候書	明治5年正月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁		綴	1	こよりで綴っている
冠者1 9	惣波郡飯塚宿古川平六祐定儀市 新朗与八宮崎新作田中龍平乍恐 連名ヲ以未發免札御願申上候事	明治5年9月25日	古川平六、祐定儀市、 新朗与八、宮崎新作、 田中龍平	福岡御県庁	同倍組頭幸原市蔵の添書あり	綴	3	破損あり、冠者1-9全体 をこよりで一括
冠者1 9	惣波郡庄司村副戸長組頭中学生 之義二付奉願口上之覚	明治6年2月	古吉源十、横山与六、 市吉貞七、市吉兼一	参事 塩谷逸、権参事 水野千波、国尚静		綴	1	包紙あり、冠者1-92を こよりで一括
冠者1 9	第十六区戸長井手大七郎病氣二 付退復願	明治6年2月10日	井手大七郎	参事 塩谷逸、権参事 水野千波、国尚静		冊子	2	包紙あり
冠者1 9	惣波郡大日寺村乍恐届出を以申 上候事	明治3年8月	大日寺村組頭 田中伊 平、同村庄屋 金子颯 村庄屋 岩葉村組頭 弘三郎	参事 塩谷逸、権参事 水野千波、国尚静		紙	2	包紙あり
冠者1 9	惣波郡若葉村乍恐差出を以申上 候事	明治3年8月	若葉村組頭 弘三郎	内野御司民御曹		紙	2	包紙あり
冠者1 9	惣波郡横田村庄屋組頭乍恐御願 申上候	明治4年4月	伊藤長五郎	御民事態御役所	当村組頭安永善七郎病氣のとこころ、去 る25日に死去したことをお届け申し上 げる。については同人の後役を左の者に 任命してもらいたい。	冊子	1	惣波郡飯塚御用紙

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
冠者1 10	越波郡伊川村庄屋柳口格永六作 恐指出を以申上候事	明治3年7月	伊川村庄屋柳口格 永六	内野御司民御曹	又三郎の勲越さについての記述	冊	墨	1	破損あり、複製の書状をまとめた形跡あり
冠者1 11	第七大区徳前村副戸長伊藤万六 戸長麻生賀郎退職願頭	明治6年2月	徳前村副戸長 伊藤万六	参事 塩谷延、権参事 水野千波、团尚静	徳前村の戸長である麻生賀郎が病氣のため、退職することを願っている。そのため、免職してほしいと願いでいたもの	紙	墨	1	こよりで綴っており、破損あり
冠者1 12	越波郡蓮花寺村庄屋柳頭乍恐御願申上候事	明治3年10月	蓮花寺村庄屋頭 伴作	内野御司民御曹	蓮花寺村にある舞山の石段石のために籠を1つづくることを許可してほしいというもの	綴	墨	1	こよりで綴っており、破損あり
冠者1 13	去卒未年御扶助米受取証書	壬申8月	第四大区飯塚村百廿七番屋敷在庄 農 古川昇一	福岡県御宇	9月より12月まで4ヶ月分二人扶持下け渡しの件	紙	墨	1	
冠者1 14	任組講店帳	明治5年4月	津嶋村庄屋 伊藤定五郎		人札書き上げと講法則	冊	墨	1	
冠者1 15	〔報告〕	明治5年		福岡県御宇	人夫書き上げ	綴	墨	1	越波郡飯塚御用紙
冠者1 16	〔記〕	明治3年8月	十五郎	内野御司民御曹	委職上の書き上げカ 上納銭の用意ができていない、返納する旨を記した口上	綴	墨	1	こよりで紙2枚を一括
冠者1 17	口上	1月28日	漢十五郎	伊藤登	漢十五郎が戸長の病氣による退身を願い出した口上	綴	墨	1	こよりで紙2枚を一括
冠者1 18	口上		一朝朝役僧	伊藤登ほか4名	永代売渡代金確かに受け取ったので年貢詰茶上納一切承知されたことについて	綴	墨	1	
冠者1 19	証書	明治3年5月	連台寺村庄屋 二郎 回村組頭 勝平、徳平	立岩村庄屋 麻生古郎	永代売渡代金確かに受け取ったので年貢詰茶上納一切承知されたことについて	紙	墨	1	
冠者1 20	永代売渡申附地之事	弘化3年2月	飯塚宿 古川平六	伊岐須村 彦四郎	米上納の件	紙	墨	1	カビの痕あり、破損あり
冠者1 21	越波郡飯塚宿古川平六乍恐御願申上候口上之覚	明治4年極月	飯塚宿 古川平六	福岡県御宇	米上納の件	冊	墨	1	
冠者1 22	通知書	7月12日	副戸長 永留希	麻生賀郎	10月の洪水破損の件に保じよりお聞き下さい	紙	墨	1	
冠者1 23	越波郡柳池村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治3年2月	柳池村庄屋頭 万七郎 庄平、回村庄屋 晋三	御郡御役所	土地水損のため上納を免除してほしい云々	冊	墨	1	
冠者1 24	書簡	壬申4月			跡役罷奉での人札の件	紙	墨	1	
冠者1 25	飯塚村庄屋長麻生賀郎乍恐御願申上候事	明治5年3月	飯塚村庄屋長 麻生賀郎	福岡県御宇	飯塚村庄屋頭小林仁七郎、島間小四郎が病氣で退役する件について	綴	墨	1	
冠者1 26	越波郡前尾村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治5年2月	前尾村庄屋頭 山口七作 回村庄屋 山口留藏	福岡県御宇	小舟5艘当持より飯塚まで通行許可の件、越波郡忠農村書上申事など添付	冊子	墨	1	
冠者1 27	〔通知書〕	7月13日	福岡県租税課	第八大区普請取締役中	堤防橋梁築方難形拜借有無の件について	紙	墨	1	こよりが通してあり、もとは紙2枚の紙を綴っていた可能性がある
冠者1 28	越波郡飯塚宿村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治3年11月	飯塚飯塚宿組頭 山本 藤兵衛ほか7名	内野御民事方	大豆代米、諸私銭借入返済の金子かないところ、条例によって免除となったのでその証拠をお渡し願いたい	冊子	墨	1	
冠者1 29	越波郡小正村庄屋組頭乍恐指出を以申上候事	明治4年12月	小正村庄屋頭 西園藤五郎、小正村庄屋 喜次郎	福岡県御宇	西園藤三郎について	冊	墨	1	
冠者1 30	越波郡行橋村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治3年11月	片嶋村庄屋頭 六郎、同村庄屋 与三郎	内野御民事方	免札を願い出る記	紙	墨	1	
冠者1 31	越波郡片嶋村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治3年11月	片嶋村庄屋 与三郎、同野村組頭 国広雄十郎、国広義八郎、川勝六郎、同村庄屋 兒嶋金生	内野御民事方	伝内、利右衛門、清盛、伊右衛門、三吉より御免札頂戴願い申し上げる云々	冊子	墨	1	
冠者1 32	越波郡野村村庄屋組頭乍恐指出示以御願申上候事	明治4年9月	野村組頭 安武	福岡県御宇	稲作秋刈見分の件で下見したところ、幸刃が倒れていた云々	綴	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
冠者1 33	越波郡八木山村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治4月正月	八木山村組頭 永野忠七(ほか3名)	内野御民事方	組頭六平の跡役に六平の男子六郎を任ずるよう願い出る記。作成者は他に同村の組頭2名と庄屋の渡十五郎。表題の「御願」を「御向」に代えただけの同内容の文書が一括されている	綴	墨	1	こよりで紙2枚を一括
冠者1 34	杉檜願	明治6年2月	伊岐須村副戸長 野見山彦一	参事 塩谷地、権参事 水野千波、国尚静	杉、松の運上銀は仰せつけ次第上納する	綴	墨	1	破損あり
冠者1 35	〔向〕	明治6年3月	片嶋村副戸長 宮本与三郎	戸長 麻生賀郎	片嶋村より老年の下川貞盛を組頭御免とし、石坂興平を後任とするよう願い出る記	綴	墨	1	前欠カ
冠者1 36	越波郡蔵田村火事辺百姓次三郎乍恐御注進申上候事	明治3年10月3日	鍛塚村触口 麻生賀郎	内野御司民御曹	十分注意していたが火事の被害が増えたことについて	冊子	墨	1	
冠者1 37	〔報告書〕	明治5年9月22日	中村副戸長 清水涼平	福岡県	天長節を祝った旨の報告カ	紙	墨	1	前欠カ
冠者1 38	面役除燵之事	明治3年2月	長浜七十郎	部三郎	「五三郎」を「末太郎」に代えたのみの同内容の文書2点	紙	墨	2	
冠者1 39	越波郡飯塚触之内蓮台寺伊川建花寺三ヶ村庄屋乍恐御注進申上候事	明治3年11月	麻生賀郎	内野御民事方	表題の3つの村で博打が行われていたことこの報告書	綴	墨	1	こよりで紙3枚を一括
冠者1 40	〔借用米証文之事〕	明治5年3月	明尾寺村組頭 洞上又四郎(ほか2名)	大庄屋 麻生賀郎	作成者の他2名は同村組頭1名と庄屋川邊林七	紙	墨	1	
冠者1 41	越波郡横田村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治4年4月	横田村組頭 柴田伊三郎、同村庄屋 伊藤長五郎	御民事務御役所	病死した松水彦七郎に代わり、十平という人物を横田村の組頭に任ずるよう願い出る記	綴	墨	1	
冠者1 42	越波郡弁分村庄屋組頭乍恐指出を以御願申上候事	明治4年6月	弁分村組頭 原宅七(ほか2名)	福岡御藩庁	作成者の他2名は同村組頭1名と同村庄屋	綴	墨	1	こよりで紙2枚を一括
冠者1 43	〔報告書〕	明治6年11月16日	副戸長 上野定徳	戸長 有松健一	当村小村二三はかねて差用下地を作つてきたが近年原材料が行き届かず、さらに7日夕方の風雨により差支えが生じたので、このたびは是で差月葉を仕立てたく願い出たので許可してもらいたい	紙	墨	1	
冠者1 44	〔報告書〕	明治6年11月24日	本松	麻生	別紙の通り25日までに必ず納めること、別紙「八大区戸長」宛福岡県通達あり(賃租未納の件)	紙	墨	1	
冠者1 45	越波郡片嶋村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治3年9月	片嶋村組頭 六三郎、直七、同村庄屋 与三郎	内野御司民御曹	米20駄拜借の件	紙	墨	1	
冠者1 46	御請取申上候事	未3月13日	弁分村庄屋 青柳一平	大庄屋 麻生賀郎	別紙の通り25日までに必ず納めること、別紙「八大区戸長」宛福岡県通達あり(賃租未納の件)	紙	墨	1	
冠者1 47	〔通知書〕	4月24日	第八大区調所	各小区副戸長	松苗870本寸志の件	冊子	墨	1	
冠者1 48	〔報告書〕	明治5年3月	南尾村組頭 山口七藏、同村庄屋 山口菊藏	御県庁	〔扱所仕調二候条御入費同繰入〕など墨書	紙	墨	1	こよりあり
冠者1 49	〔包紙〕	明治9年2月			〔扱所仕調二候条御入費同繰入〕など墨書	紙	墨	1	
冠者1 49	請取証	明治9年9月10日	松岡種満	十小区御役所	金4円受領	紙	墨	1	
冠者1 49	扱所書文	子3月22日	博十	十区取扱所	金夫・金銭の書き上げ	紙	墨	1	付紙1枚はすれ
冠者1 49	取扱所書文				金銭・米などの経費書き上げ	紙	墨	1	
冠者1 49	〔綴〕	〔明治9年〕			書き上げなど	綴	墨	1	
冠者1 49	〔綴〕	〔明治9年〕			書き上げの練	綴	墨	1	
冠者1 50	越波郡忠隈村差出之事(ほか綴)	明治5年2月～3月			冊子宛上申草稿の綴	綴	墨	1	一部のりはすれあり
冠者1 51	〔封筒〕	明治10年1月			立岩学校宛来諸口口と墨書	封筒	墨	1	破損、こよりつき
冠者1 51	立岩学校技賦課帳(ほか綴)	明治9年12月				冊子	墨	1	
冠者1 51	立岩小学校月謝金取立帳	明治9年4月				綴	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
冠者1 52 1	(封筒)								
冠者1 52 2	書簡	1月20日	麻生賀郎	麻生賀郎	「馬関二條ヌル諸御用在」	封筒	墨	1	封筒あり
冠者1 52 3	書簡	12月22日	河崎利兵衛	麻生賀郎、麻生大吉	吉藏が会頭金を無心してきたので250円渡した云々	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 52 4	書簡	1月9日	河崎利兵衛	麻生賀郎	三百石買注文の命は左の通り調った。残り六百石は送って注文下さるようお願いします	紙	墨	1	
冠者1 52 5	書簡	1月22日	河崎利兵衛	麻生賀郎	現米はよく捌けているとのこと。昨夜は寄付分付下り下着したか今朝はいかがでしようか云々	紙	墨	1	封筒あり、同封書簡あり
冠者1 52 5	書簡	1月22日	河崎利兵衛	麻生賀郎	現米はよく捌けた云々、売上報告	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 52 6	書簡	明治10年2月3日	河崎利兵衛	麻生賀郎	金銭書き上げ	紙	墨	1	
冠者1 52 7	書簡	1月19日	藤兵衛	麻生賀郎	百石分買注文承知。支払いのことは後便で送る云々	紙	墨	1	
冠者1 52 8	書簡	1月21日	河崎利兵衛	麻生賀郎	百石7円92銭となったよしお知らせ、左の通り買い調えた云々	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 52 9	書簡	1月21日	河崎利兵衛	麻生賀郎	豊筑米7円55銭のお知らせ	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 52 10	書簡	2月3日	河崎利兵衛	麻生賀郎	利尻書付を差し出すのでご覧いただきたい	紙	墨	1	
冠者1 52 11	書簡	1月19日	河崎利兵衛	麻生	午後2時に書状拜見、今夕からの見込み	紙	墨	1	
冠者1 52 12	書簡	12月1日	福岡久郎	麻生賀郎、麻生大吉	昨日は多人敷入替につき謄判云々。福岡久一による「遺啓」回封	紙	墨	2	封筒あり
冠者1 52 13	書簡	3月2日	福岡久一	麻生賀郎	かねて談判の四百石乗替の件は至極都合よろしいので、ぜひ今夕より相談だったが、午後四時頃佐野支店より大阪相場20銭上がったと川利より連絡云々	紙	墨	2	封筒あり
冠者1 52 14	葉書	11月29日	福岡久市	麻生賀郎	米相場報告	葉書	墨	1	
冠者1 52 15	葉書	11月30日	福岡久一	麻生賀郎	現米売捌の件報告	葉書	墨	1	
冠者1 52 16	書簡	11月24日	河崎利兵衛	麻生賀郎	一昨日の御馳走のお礼と注文の件	紙	墨	1	
冠者1 52 17	書簡	11月24日	河崎利兵衛	麻生賀郎	手代庄蔵大いにお世話になりありがとうございました存じております。なおまた金2円お渡しください云々	紙	墨	1	
冠者1 52 18	書簡	11月30日	福岡久市	麻生賀郎、麻生大吉	川利談判について詳細な報告	紙	墨	1	
冠者1 52 19	1 (包紙)					紙	墨	1	
冠者1 52 19	2 記	3月19日	川崎利兵衛	麻生賀郎	金銭書き上げ	紙	墨	1	
冠者1 52 19	3 書簡	4月3日	福岡久市	麻生賀郎	預け金取り扱いの件	紙	墨	1	
冠者1 52 19	4 書簡	3月18日	河崎利兵衛	福岡久一	別紙の通り麻生様の都合よろしい時に御一覽下さいませようお願ひ申し上げます	紙	墨	1	のりはずれ注意
冠者1 52 19	5 書簡	3月28日	河崎利兵衛	福岡久市	麻生様事件いかがの都合か。字の方は昨年より困っている云々	紙	墨	1	のりはずれ
冠者1 52 20	1 記					紙	墨	1	こよりあり
冠者1 52 20	2 書簡	明治12年12月2日	麻生大吉	福岡久一	一月初太吉より三百石注文の分20日31合になったので同日朝取り決めのこと	紙	墨	1	
冠者1 52 20	3 書簡	11月20日	川崎利兵衛	麻生大吉	牛久より聞いた川利大将へも御取柄なき趣いかに不都合のいたり	紙	墨	1	
冠者1 52 20	4 記				四国防より買注文、三百石注文の件	紙	墨	1	
冠者1 52 20					金銭書き上げ	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
冠者1 52	20 5 書簡	11月16日	河崎利兵衛	麻生太吉	金御入用の件委細承知。実は過月会社の客より千五百円も迷惑があり過日より三千五百円も迷惑がある云々	紙	墨	1	
冠者1 52	20 6 書簡	11月16日	河崎利兵衛	麻生太吉	金御入用の件委細承知云々	紙	墨	1	冠者1:52:20:5と同内容
冠者1 52	20 7 書簡	12月2日	麻生賀郎	福岡久市	四百石売米の件ほか	紙	墨	1	
冠者1 52	20 8 書簡	12月25日	川崎利兵衛	麻生賀郎	会社乗替に付昨夕お知らせ申し上げた件について	紙	墨	1	のりはすれ
冠者1 52	20 9 書簡	12月2日	麻生太七	福岡久一		紙	墨	1	
冠者1 53	(紙)				「馬関二條スル諸書輪在」と墨書	紙	墨	1	破損あり
冠者1 54	口上	10月31日	日本書左衛門	麻生賀郎	石炭事件追々仕組みができてきた。別紙をご覧いただきたい	紙	墨	1	
冠者1 55	1 越波郡飯塚宿口格小村友見作 恐御敷頼申上候口上之覚	明治3年2月	飯塚宿口格 小村友見	内野御部局	酒造のため米借り入れのお願い	冊子	墨	1	
冠者1 55	2 越波郡堀池村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治3年4月	庄司村触口助役 市吉孫一	魚住明善	「内野 御司民書」宛「堀池村庄屋善三ほか2名」による金銭借り入れ願いの吟味の件	紙	墨	2	のりはすれ
冠者1 55	3 元第十四区戸長麻生賀郎学校取戻手續手續後持更示談之上奉向事	明治6年2月	戸長 麻生賀郎	参事 塩谷池、権参事 水野千波、岡尚静	草稿	冊子	墨	1	
冠者1 55	4 越波郡飯塚宿庄屋組頭乍恐奉願見	明治4年8月	飯塚村庄屋 原宅七ほか2名	福岡御県庁	不作続きで租税が十分にできない状況であり、何卒ご高配を願う	冊子	墨	2	越波郡飯塚宿用紙、写回折
冠者1 55	5 越波郡飯塚宿庄屋組頭乍恐奉願見	明治4年8月	庄屋組頭連名	御県庁	凶作統による救助願いの件の草稿か	紙	墨	1	のりはすれ注意
冠者1 55	6 越波郡飯塚宿庄屋組頭乍恐奉願見	明治4年8月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	正藤大属	凶作につき救助を願う件	冊子	墨	1	
冠者1 55	7 越波郡飯塚宿口格小村友見乍恐御敷頼申上候口上之覚	明治3年2月	飯塚宿組頭 兼作、同庄屋 原宅七郎	内野 御部局	小村による口上の伝達か	紙	墨	1	破損あり、のりはすれ注意
冠者1 55	8 (記)				村役人の名前書き上げ	紙	墨	1	
冠者1 55	9 (報告書)	壬申9月	八木山村組頭 松尾六三郎、水野忠七、桶水卯七、副戸長 漢十五郎	福岡御県庁	八木山村里数5里21丁「福岡御永藏取奉願上」の付	紙	墨	1	越波郡飯塚宿用紙
冠者1 55	10 (綴)				金銭書き上げなどの綴	綴	墨	1	こよりで一括
冠者1 55	11 越波郡飯塚宿庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治4年5月	飯塚宿組頭 山本藏兵衛ほか7名	福岡御藩庁	全米処置の件	冊子	墨	1	越波郡飯塚宿用紙
冠者1 55	12 越波郡飯塚宿庄屋組頭乍恐御願申上候事				当宿田地少くそのうえ高免にして農桑だけでは生活でできず云々	冊子	墨	1	越波郡飯塚宿用紙
冠者1 55	13 葛何区何那何村大廻場小前嶋				記入見本	冊子	墨	1	福岡御県庁用紙
冠者1 55	14 若葉村庄屋金子源三郎乍恐御届申上候事	明治4年8月	若葉村庄屋 金子源三郎	大庄屋 麻生賀郎	家宅払い下げ分買い求めの件	紙	墨	1	包紙あり
冠者1 55	15 飯塚宿小林友見乍恐御願申上候口上之覚	明治3年10月	小林友見	麻生賀郎	上三緒村井手市三郎父散財について	紙	墨	1	
冠者1 55	16 御請取申上候事	明治4年7月	連合寺村庄屋 中上彦吉	福岡御藩庁	米請取に関する件	紙	墨	1	包紙あり、破損あり
冠者1 55	17 養育御敷米頂戴被仰付難有御請取申上候事	明治4年7月	明星寺村庄屋 川辺林七	福岡御県庁	正三の娘誕生に對して	紙	墨	1	包紙あり
冠者1 55	18 養育御敷米御請取申上候事	明治4年7月	枝国村庄屋 畑中五郎	福岡御藩庁		紙	墨	1	包紙あり
冠者1 55	19 越波郡秋松村養育御敷米御請取申上候事	明治4年7月	秋松村組合屋 丹吉、江口勝平、同村庄屋 合屋又次郎	福岡御県庁		紙	墨	1	包紙あり
冠者1 55	20 御請取申上候事	明治4年7月	野見山彦三郎	福岡御藩庁	与左衛門男子誕生による御敷米請取の件	紙	墨	1	包紙あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
冠者1 55 21	越波郡弁分村産子寒骨御救米御請取申上候事	明治4年7月13日	弁分村庄屋 青柳一平次	福岡御藩庁	忠次郎男子誕生に対しての救米請取について	紙	墨	1	包紙あり
冠者1 55 22	御救米御請取申上候事	明治4年7月13日	伊川村庄屋 伊藤相六	福岡御藩庁	百姓和吉女子誕生に対する救米請取について	紙	墨	1	包紙あり
冠者1 55 23	御救米頂戴被仰付難有御請取申上候事	明治4年7月13日	飯塚宿庄屋 原宅七	福岡御藩庁		紙	墨	3	包紙あり
冠者1 55 24	写取為替定約之事はか	明治3年8月	飯塚宿庄屋 原宅七	津屋崎塩濱庄屋 河野屋四郎		紙	墨	1	
冠者1 55 25	売仕切	西5月9日	飯塚政右衛門 金子彌	飯塚宿庄屋 原宅七	書き上げカ	紙	墨	1	
冠者1 55 26	越波郡大日寺村差出ヲ以申上ル事	明治5年2月	大日寺村庄屋 金子彌	福岡御藩庁	御山焼入の科代松植立の件	冊子	墨	1	
冠者1 55 27	越波郡明星寺村庄屋細頭庄屋細頭乍恐御願申上候事	明治4年3月	明星寺村細頭 湖上又四郎、同村庄屋 川辺林七	御民事務御役所	庄屋建設の件	紙	墨	1	
冠者1 55 28	越波郡飯塚村庄屋原宅七乍恐御願申上ル事	明治3年11月	飯塚村細口 麻生賀郎	若松御口 御番宿中	原宅七の願出の上申	紙	墨	1	
冠者1 55 29	嘉麻越波河郡 庄屋頭取船頭中乍恐御願申上候事		飯塚村船頭取 和七	内野御司民御曹	飯塚で年貢米を取り立てない間も大行事となり目尾吉北河村に好して台を打つ云々	紙	墨	1	包紙あり(破損)
冠者1 55 30	第七大区之内潤野村副戸長見嶋金生村在組二付石炭一貫社御買上御寄教願	西2月	潤野村副戸長 麻生賀郎	参事 塩谷旭、権参事 水野十波、岡同静		綴	墨	1	こよりで一括
冠者1 55 30	2 [草稿]				見嶋金生何の石炭一貫社買上の件はか	紙	墨	2	
冠者1 55 30	3 写 焚石棟并ヶ所約定書之事	明治2年8月	潤野村中庄屋 金生ほか5名 早良郡七隈原 弘通願主 上田小一、渡辺九郎ほか2名	山出飯塚宿 米屋 又		紙	墨	1	
冠者1 55 31	[通知書]				「年歴御国中弘通」の件、札32枚同折	冊子	墨	1	
冠者1 55 32	飯塚村大庄屋麻生賀郎大分村大庄屋矢野真直乍恐進言ヲ以御願申上候事	明治4年6月	大分村大庄屋 矢野真直、飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御藩庁	凶作につき速賀、勝手へ仕戻米の措置を行つてほしい	冊子	墨	1	越波郡飯塚御用紙
冠者1 55 33	1 従前御拜領迄作明治四未秋反別御見分帳				ひな型カ	冊子	墨	1	
冠者1 55 33	2 従前御拜領迄作明治四未秋反別御見立小合掛帳				ひな型カ	冊子	墨	1	
冠者1 55 33	3 書簡	11月14日	原宅七		上納米の件別紙の通りお願い申し上げる	紙	墨	1	虫損
冠者1 55 33	4 書簡	5月	飯塚出張役所	細口 麻生賀郎	飯塚御村木挽立出し方請負の件	紙	墨	1	
冠者1 55 33	5 飯塚村大庄屋麻生賀郎指出を以申上候事	明治4年4月21日	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	大庄屋 麻生賀郎	板橋掛替材木挽立出し請負の件	冊子	墨	1	紙あり
冠者1 55 33	6 寛			御民事務御役所	組頭中心得など3ヶ条	紙	墨	1	
冠者1 55 33	7 記	3月2日	嘉穂山元中	第七大区戸長 麻生賀郎、同八大区戸長 有松健六	舟御役及び山元一人宛出勤の事など	冊子	墨	1	
冠者1 55 33	8 記	西3月3日			郡内語規則改正の件(草稿カ)	紙	墨	1	
冠者1 55 33	9 飯塚村細口麻生賀郎乍恐御願申上候寛				草稿、別紙各村金銭書き上げあり	冊子、紙	墨	2	
冠者1 55 34	1 飯塚村大庄屋麻生賀郎乍恐御願申上候事				反故紙による草稿	紙	墨	1	
冠者1 55 34	2 飯塚村大庄屋麻生賀郎乍恐御願申上ル事	明治4年5月			村役給料御改革について	冊子	墨	1	貼紙あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
冠者1 55 34	3 [草稿]	明治4年6月			伺書の草稿の一部カ	紙	墨	4	越波郡飯塚御用紙
冠者1 55 35	十四区内在住士族卒				人名など書き上げ	冊子	墨	3	こよりで一括
冠者1 55 36	[雑]				包紙カ	紙	墨	1	
冠者1 56 1	大竹ナル借り物控帳	明治10年9月30日				冊子	墨	1	
冠者1 56 2	嘉麻郡立岩村之内栢森分御徳御帳	明治4年6月				冊子	墨	1	
冠者1 56 3	明治四年末ノ御徳様					冊子	墨	1	
冠者1 56 4	石炭産村益控帳	明治12年5月	立山村飯山掛 麻生久次郎、瓜生茂右衛門			冊子	墨	1	
冠者1 56 5	徳永大明神落帳	明治8年12月				冊子	墨	1	
冠者1 56 6	高米津出帳	明治9年11月				冊子	墨	1	
冠者1 56 7	[記]				金銭書き上げ	冊子	墨	1	
冠者1 56 8	[記]				金銭の書き上げなど	紙・綴	墨	21	
冠者1 56 9	[雑]					紙	墨	1	
冠者1 57 1	松本中野両氏紛議一件書類					封筒	墨	1	冠者157-2以下同封
冠者1 57 2		17日	稲垣徹之進	麻生大吉	明日御滞ならばこちらからお伺いする	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 3		17日	稲垣徹之進	麻生大吉	小生はあまり深く関係していないが、応分の尽力をする、ついでには本日平岡宅で会合があれば松本氏にも他に少々相談こともあるので面談したい	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 4		3月20日	松本健次郎	麻生大吉	伊藤の言う川津云々のことは憲父はじめ安川にも伝えた時は軍が一歩乱が決心によつては困難の事情に立ち至るかもしれず	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 5		3月27日	松本健次郎	麻生大吉	会議はいつ開くか	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 6		3月20日	松本健次郎	麻生大吉、中野徳次郎	公証人松岡に依頼していただくところ、立会人に親戚ではよくないので、平岡氏の帰郷が遅いならば大野に依頼してはどうか				
冠者1 57 7		3月14日	松本潜	麻生大吉	先般来の数々の御配慮宛に心外千万気の毒のいたり、平岡氏と打ち合わせ、一応老生の存意申上げた云々	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 8		3月19日	松本潜	麻生大吉	健次郎は明日夜親族婚神の席に連れてくる	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 9		3月20日	松本潜	麻生大吉	昨日は御迷惑をおかけした、両名へのお話はどうなったか、健次郎は昨夕帰支えなければお伺いする	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 10		3月11日	麻生大吉	松本潜	先日証書のうち純益配当にかかる証書を弁護士に鑑定してもらったところ、弁護士が何か小理屈を申し立てたことなどで、書き替えを示唆してきた云々	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 11		2月25日	松本潜	麻生大吉	この節は大にご迷惑をおかけします云々	紙	墨	2	封筒あり
冠者1 57 12		3月10日	松本潜	麻生大吉		紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 13		3月16日	中野徳次郎	麻生大吉		紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 14		1月29日	安川敬一郎	麻生大吉	御内話の高雄坑の件につき明朝両名人村のはず云々	紙	墨	1	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
冠者1 57 15	書簡	1月29日	安川敬一郎	麻生太吉	山際協議の書類を差し上げたのでご承知おきください、また展覧会社より2月1日同様受後について、井上東京不在中で大阪で応対できないので、貴兄限り受渡済としてほしい云々	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 16	書簡		安川敬一郎	麻生太吉	今朝馬岡泰、平岡帰られぬ六時に行くとのこととで運れる云々	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 17	書簡				波の件につき昨夜山際氏鼎県のみ今朝伊藤伝六、正蔵同人請求、山際君中野と直接談判云々	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 18	書簡	2月12日	安川敬一郎	麻生太吉	御多忙のところ数日間の御面倒感謝、中野もなるべくは貴兄出果の時に借出したい旨申していた云々	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 19	書簡	1月26日	安川敬一郎	麻生太吉	ちよと御光来下されたわたい	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 20	書簡	2月9日	安川敬一郎	麻生太吉	ただいま若松より参ったので御光来をどう	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 57 21	[草稿綴]				仮約定書の草稿	綴	墨	1	こよりで一括
冠者1 57 22	書簡草稿	3月12日	麻生太吉	平岡浩太郎	過時御配慮の中野一作、正証文意には字句の訂正を願う	紙	墨	1	こよりで綴つてある
冠者1 58	出動簿	明治36年11月	上三緒炭鉱事務所		上三緒炭鉱事務所の出動簿のまとめ	綴	ペ	1	こよりで綴つてある
冠者1 59	[綴]				金銭、作物などの書き上げの綴	綴	墨	1	一部散損、こよりで一括
冠者1 60 1	覚	午7月	山口村 林九十	山口役 麻生賀郎	正金六百両など永代の件別紙証文写の通りだが、喜左衛門連心があるのので云々	紙	墨	1	
冠者1 60 2	[綴]				金銭、米などの授受に関する記録	綴	墨	1	破損あり
冠者1 60 3	[綴]				「請取之事」など書き上げの綴	綴	墨	1	
冠者1 60 4	代正金	慶応3年11月	飯塚宿 小林喜左衛門、安入靴屋 儀一、仁平	若菜村 弥一郎	完渡代金受取の件	紙	墨	1	
冠者1 60 5	嘉麻郡仁保村庄屋組頭乍恐差出ヲ以申上之事	明治3年正月	仁佐村組頭 弥三郎、新間儀七郎、同村庄屋 上野定十郎	内野御郡御役所	次三郎、武吉の兩人とも、上納金分未進ゆえきびしく約束をしていけるところ、去る12月28日夕方より出奔し行方不明	紙	墨	1	
冠者1 60 6	約定書之事ほか	明治2年9月	庄屋 原宅七	山口村 林九十		綴	墨	1	付箋はずれ、のりはずれ
冠者1 60 7	添証文之事ほか	明治2年9月	借主 小林喜左衛門ほか3名	山口村 林九十		綴	墨	1	
冠者1 60 8	越波郡片嶋村旨備明順乍恐御歌願奉申上上之覚	明治3年7月	片嶋村 明順	内野御司民御曹		冊子	墨	1	
冠者1 60 9	越波郡片嶋村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治4年10月	片嶋村庄屋 宮本与三郎、同村組頭 林田六郎、林田直七	福岡御県庁	草稿 (大庄屋元控)	冊子	墨	1	
冠者1 60 10	越波郡伊川村庄屋組頭乍恐差出を以申上候事	明治3年9月	伊川村組頭 又三郎ほか3名	内野御司民御曹		綴	墨	1	こよりで一括
冠者1 60 11	[記]	壬申11月			「学技寸志」	紙	墨	3	
冠者1 60 12	越波郡飯塚御村々庄屋中乍恐御調申上候事	明治3年8月	飯塚村御村 麻生賀郎	内野御司民御曹	年貢米大行事納の件	紙	墨	1	
冠者1 60 13	御請取申上候事	3月13日	津嶋村庄屋 伊藤定五郎	大庄屋 麻生賀郎		紙	墨	1	
冠者1 60 14	[記]	嘉永2年3月	庄屋 茂左衛門、組頭 助左衛門、又三郎	惣次郎、惣吉	代金請取の書き上げ	紙	墨	1	破損あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
冠者1 60 15	書簡草稿							
冠者1 60 16	越波郡若葉村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治4年7月	若葉村組頭 金子伝六、同村庄屋 金子弥三郎	福岡御藩庁	当月はじめ又々大嶋で濃煙仰せつけられ云々 片嶋・幸袋・柳橋・目尾・中村の五ヶ村寒水陣筋当村天神の下へ枝国・若葉同村出水の節云々	紙	1	破損、前欠
冠者1 60 17	越波郡飯家村寿一乍恐御願申上候事	明治5年1月	飯家村大庄屋 麻生賀郎	福岡御藩庁	旧藩金穀御用達の件	冊子	1	虫損あり
冠者1 60 18	上座郡宮野村袖口役服部五七郎同服部卯平同格孫十郎御願申上候事	明治3年12月	宮野村袖口格 服部孫十郎、服部卯平、服部九七郎	上座下座嘉麻徳波御民事方	服部覚児死去に付配当を願う	冊子	1	添書あり
冠者1 60 19	越波郡日尾村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治3年7月22日	日尾村組頭 徳三郎、藤作 泰三郎、同村庄屋 陽平	内野御司曹	殺人事件発生につき容疑者人相報告	冊子	1	虫損あり
冠者1 60 20	書簡	7月22日	内野 司民曹	片嶋村庄屋 与三郎	死体は袖口名代に見分けをさせて奥書をもって委細申し出云々	紙	1	虫損あり
冠者1 60 21	書簡	7月23日	庄屋 陽平	袖口役 麻生賀郎	昨日の御注進に対し、別紙の通り司民曹から仰せつけあり	紙	1	
冠者1 60 22	越波郡小正村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治4年1月	小正村組頭 西園藤五郎、西園勝六、同村庄屋 安武善次郎	内野御民事方	当村出身西尾某、入牢後帰村したが、病気が重いため持ち物をあずかつてほしい。	冊子	1	虫損あり
冠者1 60 23	越波郡若葉村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治4年7月	金子伝三郎、同村庄屋 三郎	福岡御藩庁	片嶋、幸袋など五村寒水陣筋の件	冊子	1	
冠者1 60 24	越波郡日尾村庄屋組頭乍恐御願申上候口上書	明治4年5月	日尾村庄屋 山本陽平 ほか3名	大庄屋 麻生賀郎	不作につき上納米を混雑としたい	冊子	1	
冠者1 60 25 1	越波郡相田村庄屋野見山彦三郎乍恐御願申上候事	明治4年4月	相田村庄屋 野見山彦三郎	御民事事掛御役所	当村石灰山御運上鎮の件	綴	1	
冠者1 60 25 2	書簡	4月26日	庄屋 彦三郎	大庄屋 麻生賀郎	別紙の通り難送申出あり	紙	2	のりはずれ
冠者1 60 25 3	書簡	4月26日	庄屋 野見山彦一	大庄屋 麻生賀郎	当村石灰焼上運上金の件	紙	1	
冠者1 60 26	越波郡藤田村庄屋宮本六郎乍恐御願申上候口上之覚	明治4年6月13日	藤田村庄屋 宮本六郎	福岡御藩庁	牛馬処理の件	冊子	1	付紙あり (のりはずれ注意)
冠者1 60 27	越波郡大時村庄屋組頭山之口中乍恐御願申上候	明治4年2月	大時村庄屋 金子藤七郎 ほか6名	御民事事懸御役所	農具箱に仕立てる材木について	紙	1	付紙あり
冠者1 60 28	越波郡飯塚宿庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治4年7月	飯塚宿組頭 山本藤三郎 ほか7名	福岡御藩庁	近年は売り上げが伸びず困窮している云々	冊子	1	付紙あり
冠者1 60 29	越波郡枝国村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治4年4月5日	枝国村組頭 畑中藤七、畑中与人郎、同村庄屋 畑中五平	御民事事懸御役所	板橋が増水で流された云々	冊子	1	付紙あり
冠者1 60 30 1	越波郡忠隈村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治4年3月	忠隈村組頭 加来七二、淺田半次郎、同村庄屋 安永直	御民事事懸御役所	糺物・牛代金上納の件	冊子	1	冠者160-30-2同折
冠者1 60 30 2	書簡	3月9日	民事懸役所	麻生賀郎	忠隈村より拜借申出の件	紙	1	
冠者1 60 31	飯塚村大庄屋麻生賀郎乍恐差出ヲ以申上候事	明治4年5月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	御民事事懸御役所	樽の新調について	紙	1	
冠者1 60 32	越波郡蓮花寺村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治4年6月	蓮花寺村組頭 野見山片嶋村庄屋 官本与三郎 ほか1名	福岡御藩庁	とめ処遇の件について	綴	1	
冠者1 60 33	越波郡片嶋村庄屋組頭御願申上候事	明治4年2月	片嶋村庄屋 官本与三郎 ほか1名	御民事事掛御役所	小林二三の酒造について	冊	1	のり付けあり
冠者1 60 34	越波郡蓮台寺村野見山孫四郎乍恐御願申上候	明治3年6月	野見山孫四郎	福岡御藩庁	星屋職の納税の徴について	冊子	1	
冠者1 60 35	請証捲入	明治3年6月			証文4通在中	紙	4	包紙あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
冠者1 60	〔 〕 申上候口上之覚	明治3年11月	八木山村組頭 忠七、 明七、六平、同村庄屋 漢十五郎	内野 御民事方	博打取り締まりの件（草稿）	紙	墨	1	前欠
冠者1 60	上三緒船寮御触大庄屋 年恐連名 を以御願申上候事	明治4年5月	上三緒村大庄屋 井手 太七郎、飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御藩守 福岡御藩守	近年不作続きのため他郡他領より借り 入り村内で貸し渡ししている状態なので 金銭もなく難渋している云々	冊子	墨	1	付紙あり
冠者1 60	〔綴〕				請取書などの綴	綴	墨		破損
冠者1 61	御通	明治5年7月吉日	庄屋 小七	麻生大吉	金・銀等の書き上げ	冊	墨	1	破損あり
冠者1 62	想波郡藤田村火事辺百姓次三郎 箱家灰家具外消失語品相調子書 上帳	明治3年10月			火元 次三郎、火事による被害の覚書	冊	墨	1	破損あり
冠者1 63	佐賀県驛動に付入金割	明治7年甲戌12月			佐賀県驛動に関して、1人1人の負担 と名前を記す。	冊	墨	1	染みあり
冠者1 64	一限売買水口	明治12年11月吉祥日				冊	墨	1	破損あり、冠者1641 ～6411についてはこ よりで一まとめにされ ていた
冠者1 64	諸税金諸費重納局通第十号	明治9年2月			前半部：第七八六区御調所により作成 された、後半部：第六六区調所が作成・ 十四大区頭戸長麻生大吉に宛てたもの や、第六六区調所が作成・第六六区扱 所に宛てたものが現在	冊	墨	1	破損あり、冠者1641 ～6411についてはこ よりで一まとめにされ ていた
冠者1 64	酒約メ之覚		井手ト		酒の送付先と思われる記述の列挙あり	冊	墨	1	破損あり、冠者1641 ～6411についてはこ よりで一まとめにされ ていた
冠者1 64	生酒通帳	明治3年11月	井手市三郎、麻生	大分 天野長八郎	帳簿	冊	墨	1	冠者1641～6411につ いてはこよりで一まと めにされていた
冠者1 64	酒約メ通	明治4年12月	〔 〕 屋 九三郎	賀嶋屋 []	生酒の書き上げ	冊	墨	1	冠者1641～6411につ いてはこよりで一まと めにされていた
冠者1 64	銭請取間通帳	明治4年5月	麻生氏	かま屋 善次郎	金について書き上げ	冊	墨	1	破損、カビあり、冠者 1641～6411について はこよりで一まとめに されていた
冠者1 64	揚酒御通	明治4未正月	梓屋 兵七郎	井手市三郎	酒についての書き上げ	冊	墨	1	破損あり、冠者1641 ～6411についてはこ よりで一まとめにされ ていた
冠者1 64	酒御通	明治4年未4月	鳥屋 □七郎	加嶋屋 善次郎	酒についての書き上げ	冊	墨	1	冠者1641～6411につ いてはこよりで一まと めにされていた
冠者1 64	賀嶋屋酒造一件約帳 麻生井手 両人分	明治5年7月			酒とその取引先についての書き上げ	冊	墨	1	破損あり、冠者1641 ～6411についてはこ よりで一まとめにされ ていた
冠者1 64	扱所建築費計算帳第拾小通	明治9年2月			建築費についての書き上げ	冊	墨	1	破損あり、冠者1641 ～6411についてはこ よりで一まとめにされ ていた

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数	備考	
冠者1 64	村社祭典費計算帳第拾小通扱所	明治9年	飯塚村大庄屋 麻生□□(賀郎)	川防村々役人衆中	各村の祭典費についての書き上げ	冊	墨	1	破損あり、冠者164-1～64-12についてはこよりでまとめたにされていた
冠者1 65	証拠之事	明治4年8月	飯塚村大庄屋 麻生□□(賀郎)		作徳米御免について	紙	墨	1	
冠者1 65	写 作徳米明証拠之事		別口番所		作徳米についての記	紙	墨	1	
冠者1 65	越波郡安恒村庄屋組頭差出ヲ以テ申上候事	明治3年10月	安恒村組頭(ほか1名)	内野御司民御曹	内納箱についての記	紙	墨	1	「差出志通 安恒村」
冠者1 65	始末以書附奉申上候	壬申10月20日	第十四区戸長 麻生賀郎	参事 塩谷旭、権参事 赤野十波、団同静	新紙幣難形仕出などについて記された記	冊	墨	1	「上 始末書上 第十四区戸長麻生賀郎」と書いた包紙あり
冠者1 65	任組講座帳	明治5年4月	高山	井出録	金札の目録と講法則	冊	墨	2	書状一通同折
冠者1 65	越波郡若菜村庄屋組頭乍恐差出ヲ以テ申上候事	明治5年1月	若菜村組頭 金子侍六(ほか1名)	福岡御県庁	作成者のほか1名は同村庄屋金子弥三郎	冊	墨	1	
冠者1 65	書物之事	明治3年9月	相田村百姓中惣代組頭 与三郎、月助	福岡 福口 麻生賀郎、庄屋 和六、庄屋 彦吉	柳橋村組頭勝作、同惣六、同村庄屋佐野伴作が内野御民事方宛てに送附した村民の分の年貢の未進を帳消しにするよう願ひ出した書状に麻生賀郎が添え書きをしたもの	紙	墨	1	
冠者1 65	越波郡柳橋村未進□之者私拾御願申上候事	明治4年1月	飯塚村福口 麻生賀郎	藤隆大属	秋月への出入についての記、幸袋村から内野御民事方宛てた文書に麻生賀郎が添え書きをしたもの	冊	墨	1	
冠者1 65	越波郡幸袋村々秋月御領江出人御願申上候事	明治4年1月	飯塚村福口 麻生賀郎	藤隆大属	出入についての記、幸袋村から内野御民事方宛てた文書に麻生賀郎が添え書きをしている	冊	墨	1	
冠者1 65	越波郡相田村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治4年1月	飯塚村福口 麻生賀郎	藤隆大属	出入についての記、相田村庄屋・組頭が内野御民事方宛てた文書に麻生賀郎が添え書きをしている	冊	墨	1	
冠者1 65	越波郡弁分村々市中出人御願申上候事	明治4年1月	飯塚村福口 麻生賀郎	藤隆大属	出入についての記	冊	墨	1	
冠者1 65	越波郡目尻村庄屋組頭乍恐御願申上候事	明治4年5月	目尻村組頭 山本徳三郎(ほか4名)			冊	墨	1	
冠者1 65	越波郡野野村庄屋見嶋金生乍恐御願申上候事	明治5年1月	野野村庄屋 見嶋金生	福岡御県庁	後ろに飯塚村大庄屋麻生賀郎から福岡御県庁に宛てた添え書きが綴く	冊	墨	1	
冠者1 65	越波郡目尻村庄屋組頭乍恐御願申上候口上覚	明治4年5月	目尻村組頭 山本徳三郎(ほか3名)		村庄屋山本暢平	冊	墨	1	
冠者1 65	越波郡飯塚村新開橋五郎乍恐同地障木伐致奉願上事	明治5年6月	新開橋五郎	福岡御県庁	飯塚村村内の障木伐致についての願ひ上げ二通、いずれも飯塚村庄屋と麻生賀郎から福岡御県庁に宛てた添え書きがある	冊	墨	1	紙1枚のり付けあり
冠者1 65	飯塚触渡開口出御証拠賀加銀上納証拠之事	明治4年12月	飯塚村庄屋 麻生賀郎	果財方	同じ表題の文書が4通、日付は明治4年12月、明治4年12月19日、明治4年12月20日の3つがある	紙	墨	4	冠者165-16はこよりで一括
冠者1 65	納目録之事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	冥加銀上納の目録	紙	墨	1	
冠者1 65	納目録之事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	冥加銀上納の目録	紙	墨	1	
冠者1 65	納目録之事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	冥加銀上納の目録	紙	墨	1	
冠者1 65	納目録之事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	運上銀上納の目録	冊	墨	1	
冠者1 65	飯塚村大庄屋麻生賀郎乍恐御願申上候事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	米の代銀についての記	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
冠者1 65	16 上納証拠之事	明治7年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	昌金借用分の年賦についての証書	紙	墨	1	
冠者1 65	16 飯塚村大庄屋麻生賀郎年恐御願 申上候事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	米などの代銀領の目録	冊	墨	1	
冠者1 65	16 御請取申上候事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	銀領の請取証	紙	墨	1	
冠者1 65	16 御請取申上候事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	銀領の請取証	紙	墨	1	
冠者1 65	16 飯塚村大庄屋麻生賀郎年恐御願 申上候事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	銀領の請取証	紙	墨	1	
冠者1 65	16 飯塚村大庄屋麻生賀郎年恐御願 申上候事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	銀領の請取証	紙	墨	1	
冠者1 65	16 御向申上候候事 ⁽⁷²⁾	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	代銀の指出しについての記	紙	墨	1	
冠者1 65	16 作徳米指出御証拠惣枚	明治4年	越波郡飯塚陣		作徳米指出の記	紙	墨	2	包紙あり、のり付けあり
冠者1 65	16 寛	12月23日	津や吉石衛門 ⁽⁷³⁾	麻生賀郎	金子指し出しについての覚	紙	墨	1	
冠者1 65	16 請取申上候事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	米の代金の請取証	紙	墨	1	
冠者1 65	16 請取申上候事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	利方銀領の請取証	紙	墨	1	
冠者1 65	16 請取申上候事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	米代などについての覚	紙	墨	1	のり付け2枚あり
冠者1 65	17 寛	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	米代などについての覚	紙	墨	1	のり付け2枚あり
冠者1 65	17 寛	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	福岡御県庁	米代などについての覚	紙	墨	1	冠者165-17はこよりで一括
冠者1 65	17 1 [記]	明治5年1月	若菜村組頭 金子侍六、同村庄屋 三郎	福岡御県庁	昌の面積ととれ高についての記	冊	墨	1	のり付け2枚あり
冠者1 65	17 2 [記]	明治5年1月	若菜村組頭 金子侍六、同村庄屋 三郎	福岡御県庁	昌の面積ととれ高についての記	冊	墨	1	のり付け2枚あり
冠者1 65	17 3 越波郡堀池村御家中奉今出年恐御願申上候事	明治4年1月	堀池村組頭 飯田方七郎ほか2名	内野御民事方	飯塚村樋口麻生賀郎による添え書きあり	冊	墨	1	
冠者1 65	17 4 越波郡幸袋村庄屋組頭年恐御願申上候事	明治4年1月	幸袋村組頭 篠崎卯平ほか2名	内野御民事方	村からいななくなった者の分の負担を免除するよう願い出る記	冊	墨	1	
冠者1 65	17 5 越波郡幸袋村私捨御願申上候事	明治4年1月	幸袋村組頭 篠崎卯平ほか2名	内野御民事方	村からいななくなった者の分の負担を免除するよう願い出る記。飯塚村樋口麻生賀郎から藤権大属に宛てた添え書きあり	冊	墨	1	
冠者1 65	17 6 越波郡堀池村私捨御願申上候事	明治4年1月	堀池村組頭 安永喜七郎ほか1名	内野御民事方	私捨の願い出。飯塚村樋口麻生賀郎から藤権大属に宛てた添え書きあり	冊	墨	1	
冠者1 65	17 7 越波郡幸袋村夕他郡江出入御願申上候事	明治4年1月	幸袋村組頭 篠崎卯平ほか2名	内野御民事方	出入についての願い上げ。飯塚村樋口麻生賀郎から藤権大属に宛てた添え書きあり	冊	墨	1	
冠者1 65	17 8 越波郡幸袋村庄屋組頭年恐御願申上候事	明治4年1月	幸袋村組頭 篠崎卯平	内野御民事方	平市の帰村について	冊	墨	1	
冠者1 65	17 9 越波郡秋松村庄屋組頭年恐御願申上候事	明治4年1月	秋松村組合屋 江口勝平ほか1名	内野御民事方	利吉の家が壊れたことについて	冊	墨	1	
冠者1 65	17 10 飯塚村樋口役麻生賀郎差出ヲ以申上候事	午正月	建議村庄屋 野見山彦市ほか1名	内野御民事方	伊岐須村庄屋野見山彦一郎の死去について	紙	墨	1	
冠者1 66	道路小修繕心得書				道路修繕に關する心得書第一條～第六條欄外に「立岩村瓜生平五郎」と墨書がある	紙	印・墨	1	こよりで2枚を一括
冠者1 67	数年誌目録及受取証共二人				封筒内に受取証など計8点	紙	墨	9	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考	
冠者1 68	御願書志通	明治3年8月	伊岐須村改役手先 市平	麻生賀郎	伊岐須村御座組市平が持帰のため御役御免を願ひ出る文書。奥に同村庄屋の添え書きあり。	紙	墨	2	包紙あり、冠者1681、冠者1682はこよりで一括
冠者1 68	書簡	8月26日	彦三郎	麻生賀郎	冠者168-1の文書に関係する添え書き借りた米の返済について	紙	墨	1	こよりで綴つてある、包紙あり、2文字を修正した小さな紙がはがれている(6行目)
冠者1 69	越波郡大時村庄屋組頭中作恐御願申之事	明治4年12月	大時村組頭 藤田仁城、赤川勝七、田中伴平、金子藤	福岡御綿屋	借りの米の返済について	綴	墨	1	こよりで綴つてある、包紙あり、2文字を修正した小さな紙がはがれている(6行目)
冠者1 70	井手一三郎目六人			麻生賀郎	金銭の覚など計5点	紙	墨	6	封筒あり
冠者1 71	越波郡堀池村庄屋組頭 年恐御願申上候事	明治3年4月	堀池村組頭 義七郎ほか2名	内野御民事方	借金を願ひ出る書状。作成者はほか2名は同村組頭次平と同村庄屋善三職人の資金の計算帳	冊	墨	1	6枚をこよりで一括
冠者1 72	当九年普請ヶ所職人賃金受下ヶ分計算帳	明治9年7月11日				冊	墨	14	糸で束ねられていたものの冊子の1つ
冠者1 72	2 学校教師助米勘定帳入	明治9年3月			助米請取、助米御帳などについて	冊、紙	墨	25	封筒に破損あり、冊子2枚と綴2枚の計3つの資料が封筒の中に入っている、糸で束ねられていたものの1つ
冠者1 72	3 地租改正明治九年中村惣代巡回費御届帳	明治9年			地租改正の際の巡回費用届について	冊	墨	16	糸で束ねられていたものの1つ
冠者1 73	立岩村備米勘定					冊	墨	1	こよりで3枚を一括
冠者1 74	越波郡飯塚畑村之庄屋中作恐御願申上候事	明治3年8月	飯塚畑村之庄屋中ほか2名	内野御民事方	蔵が焼失したため年貢の納入期日を延ばすよう願ひ出る文書	綴	墨	1	2枚をこよりで一括、虫食いあり
冠者1 75	越波郡片島村庄屋組頭 年恐御願申上候事	明治5年2月	片島村組頭 林田直七ほか2名	福岡御県庁	作徳米糊口について願ひ出る文書 作成者のほか2名は同村庄屋宮本与三郎、飯塚村大庄屋麻生賀郎	綴	墨	1	こよりで2枚を一括、末尾に福岡県租税課による朱書きと「壬申二月十五日」の日付あり
冠者1 76	越波郡飯塚宿庄屋 〔組〕頭 年恐御願申上候事	3月	飯塚 〔 〕 藤兵衛	大庄屋 麻生賀郎	米糊口について願ひ出る文書	紙	墨	1	欠損あり
冠者1 77	御向申上候事					綴	墨	1	
冠者1 78	1 越波郡飯塚宿嶋口格小林友見同儀三郎地廻ヲ以御願申上候口上之覚	明治3年12月	飯塚宿庄屋 原を七ほか2名	内野御民事方	波多村を新たに受け持つ組頭にて小林儀三郎と小林友見の御免を願ひ出る文書。作成者はほか2名は小林儀三郎と小林友見。	冊	墨	1	こよりで2枚を一括
冠者1 78	2 越波郡第十八区戸長麻生賀郎皇大神宮大棟御波方奉願事	壬申8月21日	第十八区戸長 麻生賀郎	福岡御県庁	皇大神宮に大麻を奉納する旨を願ひ出る文書	紙	墨	1	
冠者1 79	止宿証拠之事	壬申11月27日	第十四区取締役 野見山彦三郎	福岡御県庁	止宿について	紙	墨	1	
冠者1 80	宿証拠之事	明治5年2月	野見山彦四郎	福岡御県庁	官林伐木の代金などの記の一部	紙	墨	1	前欠、後欠あり、欠損あり
冠者1 81	〔記〕					紙	墨	1	
冠者1 82	合鑑		一朝軒役僧		場先所締と役僧の印鑑証明	紙	墨	1	
冠者1 83	第十四区戸長 長林 〔生〕 賀政御拜借米年賦 〔返納米カ〕 石 〔代カ〕 上納願	壬申10月	第十四区戸長 麻生賀郎	参事 塩谷逸 権参事 水野千波 国尚静	年賦返納米の免除の願ひ出る	紙	墨	1	欠損あり
冠者1 84	御願書志通	壬申11月	村瀬利長、村瀬作平、大松甚九郎	参事 塩谷逸 権参事 水野千波、国尚静	越波郡蓮花寺村松木に関すお願ひ、同作成者から同宛先に向けて壬申11月22日のものと壬申11月27日のものである	綴・綴	墨	1・2	包紙の中に2つの手紙が入っていた
冠者1 85	〔記録リ〕					綴	墨	1	
冠者1 86	〔目録綴リ〕				記8点の綴り	綴	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
冠者1 87	売仕切	戊3月7日	紙屋政右衛門	麻生太次郎、麻生藤十郎	売却代金の目録	紙	墨	1	
冠者1 88	飯塚村触口麻生賀郎米代御免御受取申上候書物之事					紙	墨	1	
冠者1 89	[書類]				「飯塚郡安恒村庄屋御願申上候事」など書類5点ほか、包紙2点、紙片1点、年月日は「明治4年未8月」「元治元年6月」など	紙	墨	8	欠損あり
冠者1 90	[綴]	[明治]22年10月10日			領収証などの綴	綴	印、墨	1	
冠者1 91	書簡	10月7日	山本龜三郎	麻生賀郎	石炭納の義の委細を承知した旨上納金について	紙	墨	1	
冠者1 92 1	上京中來翰及電報	明治22年8月28日～9月29日		麻生太吉	太吉上京中の書簡・電報	綴	墨	1	包紙あり、冠者1922と同折
冠者1 92 2	[綴]			麻生太吉		綴	墨	1	冠者1921に同折
冠者1 93 1	[米式拾俵(代)堀池村]	明治3年午4月25日	吉川幹治		堀池村などの米俵代についての帳簿	綴	墨	1	冠者1921に同折 こよりで綴ってある 冠者1931にも同じようなことについて記述 されている
冠者1 93 2	[堀池村米式拾俵(代)]	明治3年午4月25日			堀池村などの米俵代についての帳簿	綴	墨	1	
冠者1 93 3	永代売渡証文之事	明治3年午3月	売主大隈村中分惣代組頭屋 孫七、藤五郎ほか3名	触口役 林田藤次郎、助役 一吉、孫一	大隈村の永代田地売渡しについて	紙	墨	3	元々1枚に二つなげてあったものがはがれて3枚になってしまった。
冠者1 93 4	永代売渡証文之事	明治3年午2月	村国村売主 村中、同村副人 兵三、次左衛門ほか3名	飯塚宿帯屋 古川伝三郎	永代売渡証文	紙	墨	4	元々1枚だったものが4枚に離れてしまった
冠者1 93 5	永代売渡証文之事	明治3年3月	売主 秋松村 次助、請人 組頭役 用作、明三郎、惣吉ほか3名	触口役 林田藤次郎、同助役 市吉孫一	秋松村の永代売渡証文	紙	墨	1	
冠者1 93 6	永代売渡証文之事	明治3年3月	売主 桂村 直七、請人 組頭役 孫七、甚七ほか3名	触口役 市吉孫一	桂村の永代売渡証文	紙	墨	3	のりはずれ
冠者1 93 7	永代売渡証文之事	明治3年午4月	売主 堀池村 太次郎、大五郎ほか3名	触口役 林田藤次郎、同助役 市吉孫一	堀池村の永代売渡証文	紙	墨	2	元々二つづつであったところが5枚に2枚に
冠者1 93 8	永代売渡証文之事		小正村売主 惣平、若平ほか3名	触口役 市吉孫一	小正村の永代売渡証文	紙	墨	3	包紙あり、のり付けが外れている箇所あり
冠者1 93 9	永代売渡証文之事	明治3年3月	売主 安恒村 孫三郎	触口役 市吉孫一	安恒村の永代売渡証文	紙	墨	2	包紙あり
冠者1 93 10	永代売渡証文之事	明治3年3月	明星寺村組売主 次吉ほか6名	触口役 市吉孫一	明星寺村の永代売渡証文	紙	墨	2	包紙あり
冠者1 94	諸目六 廿二年十月廿七日迄	[明治22年]			領収書の綴り	綴	ペ・墨	1	
冠者1 95	正月十五日吉例				表題の史料のほか、書類が雑多にくくられたもの	紙	墨	10	
冠者1 96 1	[記]				雑多な記20枚	紙	墨	20	冠者196はこよりで一括
冠者1 96 2	面役名 []	明治11年12月			目録書き上げ	冊	墨	1	破損が激しく半分開絶
冠者1 96 3	男女五才才十八才迄調子書上				村ごとに5歳～18歳の男子・女子の人数を記した書き上げ	冊	墨	1	破損が激しい
冠者1 96 4	御 []	未5月	飯塚宿間屋助役 宮崎 []ほか1名		人夫の書き上げ	綴	墨	1	虫食いあり
冠者1 97	[金銭書上綴]					綴	墨	1	
冠者1 98	越波郡飯塚御免用諸書請夫仕書上帳		宮崎新作、畑野三郎	麻生賀郎	人夫の書き上げ	綴	墨	4	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
冠者1 99	書簡	明治13年2月18日	麻生賀郎	中野積吾郎、萩原健次郎 麻生太吉		紙	墨 1	本紙破損
冠者1 100	書簡			麻生太郎		紙	墨 3	封筒あり
冠者1 101	書簡			麻生太郎	金銭貸し渡しの件について	紙	墨 1	
冠者1 102	記	2月4日	桑野晋五郎	麻生賀郎	金銭受け渡しについての記	紙	墨 1	
冠者1 103	[綴]				日付は明治40年12月25日のものなどが見られる	綴	墨 1	欠損あり
冠者1 104	[電報綴]			麻生太吉	年の記入があるものは全て明治22年の記入があるもの	専用紙・綴	1	
冠者1 105 1	[雑]				覚など、月の上に「己」と書いたものが複数あり	紙	墨 10	破損あり、冠者E105-2、冠者E105-3と同折、こよりあり
冠者1 105 2	[綴]				覚、記など	綴	墨 1	
冠者1 105 3	[綴]				記など、宛先に麻生太吉と書いたものあり	綴	墨 1	
冠者1 106	[雑]				口上、包紙、封筒、下書きなど	紙	墨 20	
冠者1 107	[雑]					綴	印・墨 1	破れたものが3枚あり
冠者1 108	[雑]				記、下書き、包紙、封筒など	紙	墨 16	
冠者1 109	[記]			アソク様	金銭の書き上げ	紙	墨 1	
冠者1 110 1	[綴]				記・受取証など	綴	墨 1	冠者E110-2と同折
冠者1 110 2	[雑]				記、メモ書きなど	紙	墨 3	欠損あり
冠者1 111 1	二十完買水帳	明治2年11月吉祥日				綴	墨 1	もとは冠者E111-1、冠者E111-2、冠者E111-3が綴で一つにまとめられていた
冠者1 111 2	完買水帳	明治2年12月吉祥日				綴	墨 1	
冠者1 111 3	[記]					綴	墨 1	
冠者1 112 1 1	[雑]				記、覚、包紙など	紙	墨 33	冠者E112-2、冠者E112-3、冠者E112-14と同折
冠者1 112 1 2-1	越波郡桂村波多石屋敷起立二付 更熊米御願帳	明治4年2月	桂村組頭 青柳茂三郎 ほか2名	御民事懸 御役所	桂村島地起立更熊米について	綴	墨 1	のり付けあり、冠者E112-1、2と同折
冠者1 112 1 2-2	書簡	2月晦日	右野少属	船口 麻生嘉郎	桂村島地起立更熊米について	紙	墨 1	
冠者1 112 1 3	越波郡桂村庄屋組頭差出ヲ以申 上候事	明治4年1月	桂村組頭 茂三郎、同 村庄屋 山口角七	内野 御民事方	桂村上納米について	紙	墨 1	
冠者1 112 1 4	嘉麻郡有井村岩元徳兵衛作恐御 願申上候事				後欠あり	紙	墨 1	
冠者1 112 1 5	嘉麻越波町船口申奉願候事	午6月	大分村船口 左野渡、 飯塚村船口 麻生賀郎 ほか1名	魚住明善	窮民救済について	紙	墨 1	
冠者1 112 2	[雑]					綴	墨 1	
冠者1 112 3 1	書簡綴				麻生賀郎や麻生太吉に宛てた書簡が含まれている	綴	墨 1	
冠者1 112 3 2	養育米救願	明治8年2月	麻生太次郎、花村彦三郎、 花村伝吉、麻生藤十郎、 麻生太吉	福岡県令 渡辺清	瓜生次右衛門の家族に対しての養育米の救願	綴	墨 3	
冠者1 112 3 3	書簡	4月11日	第七大区十六小区庄司 村副戸長 ■■■■ 新作	麻生賀郎	回文を見たところ、受持米を取り過ぎ ていたとのことで、こちらで調査した らその通りだった	紙	墨 1	
冠者1 112 3 4	記	8月27日	麻生多次郎	副戸長 福岡賀次郎	明治3年(庚午年)、辛未年、壬申年 の石灰の生産高	綴	墨 1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
冠者1 112 3 5	記	2月14日	川嶋村保長	麻生副戸長	戸籍帳3冊ほか受け取り	冊子	墨	1	
冠者1 112 3 6	記	6月17日	細分村 有松伴六、副戸長 麻生太吉	福岡県令 渡辺清	金9円82銭5厘の内記	紙	墨	1	
冠者1 112 3 7	地券御書替願	明治9年2月	第八大区学区取締 村長 麻生太吉	第四小区副戸長井世 語役中	演習中閉校について	冊子	墨	1	破損あり
冠者1 112 3 8	書簡	明治8年5月31日	飯塚村副戸長 中野二郎 (朱印)	第八大区 四小区 立岩村副戸長 麻生太吉	花村とくが大石虎吉と縁組みした	紙	墨	1	
冠者1 112 3 9	入籍証	明治9年1月10日	福岡県令 渡辺清	第八大区 四小区 川嶋村保長 福岡嘉七郎	福岡県よりの謄許添付	冊子	墨	1	
冠者1 112 3 10	脱籍之者御届	明治8年10月19日	福岡県令 渡辺清	第八大区 四小区 川嶋村保長 福岡嘉七郎	福岡県よりの謄許添付	冊子	墨	1	
冠者1 112 3 11	記	8月20日	五区副戸長 福岡實四郎	立岩村 花村忠平ほか3名	窃盗犯受け取り処分の件	冊子	墨	1	
冠者1 112 3 12	元扱研入費一月五分区	明治9年3月	立七小区副戸長 赤松良吉	立岩村 立岩村副戸長 麻生太吉	窃盗犯受け取り処分の件	冊子	墨	1	
冠者1 112 3 13	御用頭附帳	明治6年1月大安日	立岩村副戸長 麻生太吉	立岩村 立岩村副戸長 麻生太吉	窃盗犯受け取り処分の件	冊子	墨	1	
冠者1 112 3 14	[書簡綴]					綴	墨	1	
冠者1 112 3 15	稻抱書上二付心得御指合額	明治9年1月19日	四小区副戸長 麻生太吉	第七八大区御調所	伺いに対する回答あり	冊子	墨	1	
冠者1 112 3 16	書簡	7月17日	麻生太吉	有松伴六	立岩村に学校備米借用の分代金をもつて返済申し上げた云々	冊子	墨	1	
冠者1 112 3 17	書簡	6月18日	八区取締 村田(朱印)	四小区副戸長	先般学務課試験の節諸入費取調の件	紙	墨	1	
冠者1 112 3 18	立岩村御用物引讓記まか	6月16日	副戸長 福岡實四郎	副戸長 麻生太吉		冊子	墨	3	
冠者1 112 3 19	立岩小学新築二付官舎扱下ケ願	明治9年4月	福岡県令 渡辺清	第八大区 四小区 戸長 有松伴六ほか2名		紙	墨	1	
冠者1 112 3 20	記	9月23日	酒井嘉一郎	第十小区御扱所	各村より受け取り	紙	墨	1	
冠者1 112 3 21	[記]				残金15円1銭4厘5毛について	紙	墨	1	
冠者1 113	来決	[明治] 22年10月27日			書状綴、宛先は麻生太吉のものが多い、作成者や内容に一貫性はな	綴	墨	2	包紙あり
冠者1 114	[雑]				金銭書上の綴	綴	墨	1	こよりで一括
冠者1 115	[記]				金銭書き上げ	紙	墨	1	
冠者1 116	書簡	5月19日、20日	庄司村船口助役 市吉 孫一	内野御司民曹	堀池村糧物差支のため借入申し上げる	紙	墨	2	別紙あり、封紙あり
冠者1 117	[封筒]				中身無し	封筒	墨	1	破損あり
冠者1 118	書簡	12月11日	才田村 大家啓口	立岩村 麻生太吉	金銭書き上げ	紙	墨	1	封筒あり
冠者1 119	書簡	2月6日	阿曾	阿曾	金銭受け渡しについて	紙	墨	2	封筒あり
冠者1 120	[記]				金銭書き上げ	紙	墨	1	
冠者1 121	書簡	31日	村田徳三郎	麻生賀郎	船腰口何卒よろしくお取り計らい	紙	墨	1	封筒あり、上半分次損
冠者1 122	[記]				人足についてか	紙	墨	1	
冠者1 123	[記]	9月6日		麻生	請求書	紙	墨	1	
冠者1 124	[封筒]				印で「御墨筆」とある	封筒	墨	1	
冠者1 125	記				金銭書き上げ	紙	墨	1	
令 1 1	卒業証書	明治30年3月19日	立岩尋常小学校校長 官 本木吉	麻生太郎		専用紙	墨	1	
令 1 2	修業証書	明治29年3月30日	立岩尋常小学校	麻生太郎	第3学年修業証	専用紙	墨	1	
令 2 1	証	明治10年10月16日	立岩小学	麻生梅吉	下等小学第七級卒業証	専用紙	墨	1	
令 2 2	証	明治11年4月23日	立岩小学	麻生梅吉	下等小学第六級卒業証	専用紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
令 2 3	証	明治12年4月	立岩小学	麻生梅吉	下等小学第四級卒業証	専用紙	墨	1	
令 2 4	[証]	明治15年12月23日	立岩小学	麻生タケ	小学科第一年前期卒業証	紙	墨	1	
令 2 5	[証]	明治15年12月23日	嘉麻越波郡役所	麻生タケ	小学初等第六級卒業証	専用紙	墨	1	
令 2 6	[証]	明治15年12月23日	立岩小学	麻生タケ	小学科第一年前期卒業証	専用紙	墨	1	
令 2 7	[証]	明治16年3月19日	立岩小学	麻生タケ	小学科第一年前期卒業証	専用紙	印・墨	1	
令 2 8	[証]	明治16年10月19日	立岩小学	麻生タケ	小学科第二年前期卒業証	専用紙	印・墨	1	
令 2 9	[証]	明治17年4月23日	立岩小学	麻生タケ	小学科第三年前期卒業証	専用紙	墨	1	
令 2 10	[証]	明治17年11月7日	立岩小学	麻生タケ	小学科第三年前期卒業証	専用紙	墨	1	
令 2 11	[証]	明治18年4月28日	立岩小学	麻生タケ	小学初等第一級卒業証	紙	墨	1	
令 2 12	[証]	明治18年4月28日	嘉麻越波郡役所	麻生タケ	小学科第四年前期卒業証	紙	墨	1	虫食いあり
令 2 13	[証]	明治18年7月16日	立岩小学	麻生タケ	初等小学科卒業証	専用紙	墨	1	
令 2 14	[証]	明治18年11月2日	立岩小学	麻生タケ	小学科第四年前期卒業証	専用紙	墨	1	
令 2 15	[証]	明治19年4月7日	立岩小学	麻生タケ	小学科第四年前期卒業証	専用紙	墨	1	
令 2 16	[証]	明治19年11月15日	立岩小学	麻生タケ	小学科第五年前期卒業証	専用紙	印・墨	1	
令 2 17	[証]	明治20年7月23日	飯塚高等小学校	麻生タケ	高等小学科一年前期卒業証	専用紙	墨	1	
令 2 18	[証]	明治20年7月24日	飯塚高等小学校	麻生タケ	第一回競技会賞典	紙	墨	1	
令 2 19	[証]	明治21年7月10日	福岡県飯塚高等小学校	麻生タケ	高等小学科第二学年修業証	紙	墨	1	
令 2 20	[証]	明治21年7月31日	嘉麻越波郡役所	麻生タケ	美術展会賞典	紙	墨	1	
令 2 21	[証]	明治15年5月	立岩小学	麻生まつ	下等第四級卒業証	紙	墨	1	
令 2 22	[証]	明治17年1月19日	立岩小学	麻生まつ	小学科第三年前期卒業証	専用紙	印・墨	1	
令 2 23	[証]	明治17年4月23日	立岩小学	麻生まつ	小学科第三年前期卒業証	専用紙	墨	1	
令 2 24	[証]	明治18年6月13日	立岩小学	麻生まつ	小学科第三年前期卒業証	専用紙	墨	1	
令 3	[致趣金請求証]	明治37年4月1日	宮城眼知事 従三位勲三等 田邊輝美ほか4名	麻生ヤス	明治35年県下凶作に因る窮民救恤金の請求証、作成者他4名は岩手県、福島県、青森県、富山県知事	紙	墨	1	
令 4	[病床日誌]	昭和4年2月2日～2月12日		麻生ヤス	姓名の欄に「麻生」とあり、体温・脈拍・呼吸・養用・飲食・大便・小便・摘要を日ごとに記す	専用紙	印・鉛	3	
令 5 1	[委嘱証]	明治35年6月12日	神郡協会の会長 従三位清岡長純	麻生太吉	本協会会員結集掛の委嘱証	紙	墨	1	
令 5 2	[受取証]	明治26年8月3日	本山執行所	麻生太吉	方便法身尊形一軸の受取証、冥加の領收証同封	紙	墨	2	
令 5 3	[札状]	明治24年1月20日	金刀比羅宮社務所	麻生賀郎	本宮修繕費百円寄付の返戻として銀盆一匁を送る旨を記す	紙	墨	1	日付上「金刀比羅宮社務所」の印あり
令 5 4	[証]	明治24年1月20日	金刀比羅宮社務所	麻生賀郎	本宮修繕費百円の受納証	紙	墨	1	令5-3と同じ印あり
令 5 5	[書簡など]				先頭に金刀比羅宮社務所からの札状があり、後に書簡や覧などが貼り付けてあるもの	紙	墨	1	のり付けがされた箇所あり
令 5 6	願	明治26年8月3日	島地黙雷	麻生太吉	永代拝月御壽経奉願上、同様の願い1点と紙片同折、朱書きで島地黙雷の「承品帳事」と書き込みあり	紙	墨	3	
令 5 7	[揮毫]			麻生太吉	「弥栄神社」と書き紙筆で型か描かれる、裏面に「喜春」とあり	紙	墨	1	
令 5 8	記	明治26年8月2日	本山受納所	麻生太吉	永代祥月読経の費用百円の受取証、封筒に「京都府下京区堀川通本願寺執行所」とあり	紙	墨	1	封筒あり
令 5 9	書簡	8月5日	本山□□□(執行カ)所 常例収納掛 忠信	麻生太吉	別紙書面のことについて	紙	墨	1	
令 6 1	[和歌]					紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
令 6 2	[揮毫]							
令 7 7	[綴]							
令 8 8	[書状写]	8月1日	際景	上原右馬介	「有難 六十七子贈」とあり	紙 墨	1	
令 9 9	飯塚高等小学校生徒手帳	明治34年			麻生ヨネ第一学年時のもの	紙 墨	1	虫食いあり、前欠カ
令 10 10	[宛など]				覚などを一紙にまとめたもの	紙 墨	1	
令 11 11	書簡				書簡や覚などを一紙にまとめたもの、戸長申しつけなどを含む	紙 墨	1	
令 12 12	褒状	昭和4年3月1日	福岡県知事 従四位勲三等 斎藤守簡	麻生夏子	愛国婦人会福岡県支部への寄付二百円に對して	専用紙 墨	2	簡あり
令 13 13	[拓本]	明治15年6月30日、7月1日	麻生大吉	麻生賀郎	仏像と経文の拓本	紙 墨	3	包紙あり
陶 1 1	書簡	8月22日	麻生大吉	麻生賀郎	船の代金について	紙 墨	2	封筒あり
陶 1 2	書簡	7月28日	麻生大吉	麻生賀郎		紙 墨	1	封筒あり
陶 1 3	書簡	5月4日	麻生大吉	麻生賀郎	堀石代金について、吉川氏が頃日出向予定だが、郡内で事件があり不都合千万	紙 墨	2	
陶 1 4	書簡	4月22日	麻生大吉	麻生賀郎	石原親石ともに不景気、堀石は舟頭で受け持つ	紙 墨	1	
陶 1 5	書簡	旧6月7日	麻生大吉	麻生賀郎	男子出産、親子ともに健康に問題なし	紙 墨	1	封筒あり
陶 1 6	[雑]	明治15年9月7日	麻生大吉	麻生賀郎	書簡、覚、証、封筒、包紙など	紙 墨	25	
陶 2 1	書簡	9月18日	麻生大吉	麻生賀郎	金銭のやりとりについて	紙 墨	2	封筒あり
陶 3 2	書簡	4月20日	麻生大吉	麻生賀郎	借入金について	紙 墨	1	封筒あり
陶 3 3	書簡	明治15年8月23日	麻生大吉	麻生賀郎	金銭のやりとりについて	紙 墨	1	封筒あり
陶 3 4	書簡	3月30日	麻生大吉	麻生賀郎	金銭のやりとりについて	紙 墨	1	封筒あり
陶 3 5	書簡	4月24日	麻生大吉	麻生賀郎	金銭のやりとりについて	紙 墨	2	封筒あり
陶 3 6	書簡	7月18日	麻生大吉	麻生賀郎	金銭のやりとりについて	紙 墨	1	
陶 3 7	書簡	3月24日	麻生大吉	麻生賀郎	買入について	紙 墨	1	
陶 3 8	[封筒]	4月2日	川崎利國	麻生御主人	金銭のやりとりについて	封筒 墨	1	
陶 3 9	[封筒]	4月3日	麻生大吉	麻生賀郎		紙 墨	1	
陶 3 10	[封筒]	7月23日	麻生大吉	麻生賀郎		紙 墨	1	
陶 3 11	[封筒]	7月21日	麻生大吉	麻生賀郎		紙 墨	1	
陶 3 12	書簡	4月19日	麻生大吉	麻生賀郎	借金のことについて	封筒 墨	1	封筒あり
陶 3 13	書簡	7月27日	麻生大吉	麻生賀郎	金銭のことについて	紙 墨	2	封筒あり
陶 3 14	[封筒]	明治15年5月19日	麻生大吉	麻生賀郎	質入金や借入金についての書簡1点、盗難についての書簡1点、ほか1点	紙 墨	1	封筒あり
陶 3 15	書簡	8月19日	麻生大吉	麻生賀郎	質入金や借入金についての書簡1点、盗難についての書簡1点、ほか1点	紙 墨	3	封筒あり
陶 3 16	書簡	6月27日	麻生大吉	麻生賀郎	金銭のことについて	紙 墨	1	封筒あり
陶 3 17	書簡	7月8日	麻生大吉	麻生賀郎	金銭のことについて	紙 墨	3	封筒あり
陶 3 18	書簡	7月19日	麻生大吉	麻生賀郎	金銭のことについて	紙 墨	1	封筒あり
陶 3 19	書簡	2月25日	麻生大吉	麻生賀郎	金銭のことについて、葉書1点、物販新報1点同折	紙 墨	3	封筒あり
陶 3 20	書簡	7月24日	麻生大吉	麻生賀郎	借でお待ちのこと	紙 墨	1	封筒あり
陶 3 21	書簡	4月28日	麻生大吉	麻生賀郎	貸金について	紙 墨	1	封筒あり
陶 3 22	書簡							
陶 3 23	書簡							
陶 3 24	書簡							
陶 3 25	書簡							

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
陶 3 26	書簡	9月15日	麻生大七	麻生賀郎	金銭のことについて	紙	墨 2	封筒あり
陶 3 27	書簡	明治15年9月11日	麻生大七	麻生賀郎	柿宿お侍ちのこと	紙	墨 1	封筒あり
陶 3 28	書簡	9月17日	麻生大七	麻生賀郎	金銭について	紙	墨 2	のり付け外れあり、封筒あり
陶 3 29	書簡	5月23日	麻生大七	麻生賀郎	金銭のことについて	紙	墨 1	封筒あり
陶 4	御本山参詣引受広告		筑前若松済衛会社引受人 松井七平			紙	印 1	
陶 5	名古屋経本組規則	明治14年6月	久芳村ほか8名		全16条	冊	印 1	
陶 6	運賃積懸番帳	明治15年3月				冊	墨 1	
陶 7	仲助貫文払簿	明治15年3月				冊	墨 1	「麻生」ほか朱印あり
陶 8					借入金につき	紙	墨 1	朱印、筆触印あり
陶 9					借入金につき	紙	墨 1	
陶 10	受取	2月26日	戸長役場	麻生賀郎	諸仲買問屋企業についての税金半額3円50銭を受取	紙	墨 1	「坂尾」印、「遠賀郡若松村戸長役場之印」あり
陶 11		明治15年7月30日		有吉三郎	地方税戸掛28銭1厘を取立	紙	墨 1	「遠賀郡若松村戸長役場之印」あり
陶 12		明治15年7月30日		麻生賀郎	金3円3厘(諸仲入仲買3円、為替方手数料3厘)を取立	紙	墨 1	「遠賀郡若松村戸長役場之印」あり
陶 13			保長 葉山藤作	有吉三郎	金1円銭2厘を取立、15年3月19日か期限、6月3日収入済	紙	墨 1	「葉山」印、同欄印、「遠賀郡若松村戸長役場之印」あり
陶 14	委任状之事	明治16年1月9日	嘉麻郡上三緒村税主惣代 山本太郎ほか4名	立岩村 麻生賀郎	豊前国・筑前国両国の堀石売捌を委任	紙	墨 1	
陶 15			河原弓削田村 徳納権平	宮崎角藏	屋号や名字の上に〇や△を記したものの	紙	墨 1	
陶 16					河原弓削田村内の石炭・破石について	紙	墨 1	
陶 17					記・証・覚・石炭預り証など、6月受取証	綴	墨・印 1	
陶 18					送り券ほか、明治15年5月・6月もの	綴	墨 1	
陶 19					贈券・記、明治15年6月ものが大半	綴	墨・印 1	
陶 20 1		四月より五月七日迄			記、備ほか	綴	墨・印 1	陶・20-1、陶・20-2は表題を記したこより紐で一括
陶 20 2		四月より五月七日迄			送り券ほか	綴	墨 1	陶・20-1、陶・20-2は表題を記したこより紐で一括
陶 21					録、記、通信料確受証など	綴	墨・印 1	
陶 22					記、封筒ほか、石炭売買関係など	綴	墨 17	
陶 23					送り券、記、送り券は明治14・15年のもの	紙	墨・印 4	こより紐にて一括
陶 24					記、封筒ほか、石炭売買関係など	紙	墨 1	こより紐にて一括
陶 25 1					「石炭売捌方福岡久兵衛少定約証入候二付」云々	封筒	墨 1	陶・25-2～25-15が入
陶 25 2					石炭不還は国難の至り、運搬、福岡久兵衛について	紙	墨 1	
陶 25 3					10月3日の書簡拜見、坑主申の引合を依頼、身元証については柿宿の上で相談	紙	墨 1	封筒あり
陶 25 4						紙	墨 1	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
陶 25 5	証				金額・人名の書き上げ	紙	墨	1	
陶 25 6	書簡	9月12日	福岡久兵衛	麻生賀郎	契約書証並引による通約について、明朝書面を認める	紙	墨	1	
陶 25 7	証				金額、人名の書き上げ	紙	墨	1	
陶 25 8	身元請合証之事	明治15年5月15日	鮎田村 末原権右衛門、福岡久兵衛	麻生賀郎、麻生太次郎、丸主	損害については私どもより弁償したい	紙	墨	1	櫛(陶 25-9)が同折
陶 25 9	櫛				陶 25-8に挟まっていたもの			1	
陶 25 10	寛	明治15年9月11日	麻生賀郎	熊本又兵衛	金額書き上げ	紙	墨	1	
陶 25 11	書簡	旧10月1日	鮎田 末原権右衛門	飯塚本町 麻生賀郎	「門原石圃」について再度申し上げ	紙	墨	1	
陶 25 12	定約証之事	明治15年10月	福岡久兵衛	麻生賀郎	定約7条を定め、それらに相違なきことを誓う	綴	墨	1	
陶 25 13	記	明治15年9月17日	福岡久兵衛	麻生賀郎	坑主会議について別紙の通り本約定証を認識するまでのものを仮に認め指し出す	紙	墨	1	
陶 25 14	書簡	明治15年2月21日	大山与四郎	有松健六、石井与一郎、井手市三郎、麻生太吉	利子等諸事についてお尋ね	綴	墨	1	
陶 25 15	尋問書				全7条にわたる尋ね書き	綴	墨	1	
陶 26	[綴]				記、受取証などの綴	綴	墨	1	こよりあり
陶 27	[雑]				記、新聞、メモなど	紙	墨	1	ひもで一括
陶 28	[雑]				書簡、記、葉書、封筒など	紙	墨	1	こよりで一括
陶 29	[雑]				3月10日から3月20日までの請取書、主に筑前若松の居からのもの	綴	墨	1	こよりで一括
陶 30	[雑]				記、証、雑書きなど	紙	墨	1	
陶 31	[綴]				記、証、書簡など	綴	墨	1	こよりで一括
陶 32	[綴]				記など	綴	墨	1	
陶 33	[綴]				送り証など	綴	墨	1	こよりで一括
陶 34	[雑]				3月21日より3月31日までの請取書	綴	墨	1	
陶 35	[綴]				記など	綴	墨	1	
陶 36	[送り券]	明治15年3月10日		麻生賀郎		紙	墨	1	
陶 37	指上	明治19年9月29日	麻生賀郎	麻生徳七ほか7名	石炭送付について	紙	墨	1	
陶 38	[雑]				3月初旬の請取書、多くが筑前若松地区からのもの	綴	墨	1	こよりで一括、破損あり
陶 39	払出之分				金額書き上げ	紙	墨	1	
陶 40	[船漕切符関係]				金額書き上げ	紙	墨	4	
陶 41	[記]				冒頭に「司」とあり、以下金額のみが記される	紙	墨	1	
陶 42	御案内	2月26日	麻生賀郎	若松商店ほか27名	石炭商店開業の案内	紙	墨	1	
陶 43	[記]				「正」の字などが書かれたメモ	紙	墨	1	
陶 44	写シ 嘉麻組退社二付御答	1月26日	福岡久兵衛	麻生賀郎		紙	墨	1	
陶 45	日誌帳	明治15年3月			金銭書き上げ	冊	墨	1	
陶 46	[綴]	明治15年8月23日~9月1日	加藤寿社	松本替	石炭の送り券	綴	墨	1	ひもで一括
陶 47	書簡	9月12日	福岡久兵衛	麻生賀郎	御示談の手続きより幾分御分金のことについて	紙	墨	2	
陶 48	[綴]					綴	墨	1	
陶 49 1	証	明治15年7月12日	麻生賀郎	河崎利兵衛 八田久七	塊炭売買の確約証	冊	墨	1	陶 49はこよりで一括
陶 49 2	書簡	5月9日		麻生賀郎	石炭販売について	紙	墨	1	封筒あり
陶 49 3	記	明治15年5月10日	河崎利兵衛	麻生賀郎	石炭代金の記	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
陶 49 4	記	明治15年8月24日	河崎利兵衛	麻生賀郎	石炭代金の記	綴	墨 1	封筒あり、封筒表には添田仙三郎二條少頼出人、十五年八月三日等と書いてある
陶 49 5	記	8月23日	川崎利兵衛	麻生賀郎	石炭代金の記	綴	墨 1	封筒あり、封筒表には添田仙三郎二條少頼出人、十五年八月三日等と書いてある
陶 50	[記]	明治15年			有吉三郎の石炭代金残りの催促について裁判がなされており、代金などが記してある	紙	墨 1	封筒あり、裏には麻生セメント株式会社の印字あり
陶 51 1	書簡	9月12日	福岡久兵衛	麻生賀郎	石炭販売の経費について	紙	1	封筒あり、裏には福岡久兵衛よりと書かれており、裏には麻生セメント株式会社の印字あり
陶 51 2	書簡	9月11日	福岡久兵衛	麻生賀郎	石炭販売の経費について			
陶 52 1	請取証	明治15年3月7日	福岡久三郎	麻生賀郎	石炭代金の請取証	紙	墨 1	封筒あり
陶 52 2	書簡	明治15年3月7日	鯉田大輔坊主中	麻生賀郎	塊炭売捌方からの願いあげ	紙	墨 1	封筒あり
陶 52 3	書簡	4月30日	福岡久三郎	麻生賀郎	規定約済の分迅速積下のごこと	紙	墨 1	欠損あり
陶 52 4	書簡	明治15年7月29日	福岡久三郎	麻生賀郎	積送中の大師石代金について	紙	墨 2	封筒あり、陶-52-5-2と同封
陶 52 5 1	[綴]	明治15年5月19日～6月2日	福岡久三郎	麻生多次郎	記・書簡の綴	綴	墨 2	封筒あり、陶-52-5-2と同封
陶 52 5 2	書簡	6月2日	福岡久三郎	麻生賀郎	嘉麻組設置について	紙	墨 1	封筒あり
陶 52 6	書簡	2月17日	福岡久三郎	麻生太吉	売り払いの工面について	紙	墨 1	封筒あり
陶 52 7	書簡	4月17日	福岡久三郎	麻生賀郎	馬間の売上などのごこと	紙	墨 1	封筒あり
陶 52 8	書簡	4月27日	福岡久三郎	麻生賀郎	大師大塊14万斤御売渡の定約について	紙	墨 1	封筒あり
陶 52 9	書簡	明治15年5月22日	福岡久三郎	麻生賀郎	嘉麻組石炭売捌所設置について	紙	墨 1	封筒あり
陶 52 10	記	明治15年7月1日	福岡久三郎	麻生賀郎	金銭書き上げ	紙	墨 1	封筒あり
陶 52 11	書簡	明治15年9月17日	福岡久三郎	若公嘉麻組石炭売捌所	百三十円の借金を求める書簡	紙	墨 1	封筒あり
陶 53 1	書簡	明治15年5月31日	麻生賀郎	小濱	小濱が購入した燐石の輸送について	紙	墨 1	封筒あり
陶 53 2	書簡	明治15年5月1日	阿波国那賀郡中井村	福神丸 作平	燐石輸送費を払った	紙	墨 1	封筒あり
陶 53 3	書簡	5月23日	小濱製所廻	麻生賀郎	船艙について	紙	墨 1	封筒あり
陶 53 4	書簡	5月1日	小濱製所廻	有吉三郎	別紙仕切書について	紙	墨 2	封筒あり
陶 53 5	書簡	4月30日	小濱一	有吉三郎	4月23日福神丸到着のごこと	紙	墨 2	封筒あり
陶 54 1	書簡	明治15年2月23日	吉川正母	麻生賀郎	若松達に出張のごこと	紙	墨 2	封筒あり
陶 54 2	書簡	4月2日	吉川正母	麻生賀郎	十日過ぎに出港のごこと	紙	墨 1	封筒あり
陶 54 3	書簡	2月8日	吉川正母	麻生太吉	出港のごことについて	紙	墨 1	封筒あり
陶 54 4	書簡	3月29日	吉川正母	麻生賀郎	糸荒方のお能が申し上げるべきことについて	紙	墨 1	封筒あり
陶 54 5	書簡	3月25日	吉川正母	麻生太吉	詳細掛け合うこと	紙	墨 1	封筒あり
陶 55 1	書簡	3月31日	麻生惣兵衛	有吉三郎、福岡久三郎	燐石定約について	紙	墨 1	包紙あり
陶 55 2	書簡	6月14日	花村徳七、麻生惣兵衛	麻生賀郎	六月六日春の御出状について	紙	墨 1	
陶 55 3	書簡	3月28日	花村徳七、麻生惣兵衛	麻生賀郎	商店開店のごこと	紙	墨 1	
陶 55 4	書簡	3月28日	麻生惣兵衛	麻生賀郎	御出状拜見のごこと	紙	墨 1	
陶 55 5	[封筒]		麻生惣兵衛	麻生賀郎		封筒	墨 1	中身なし
陶 55 6	書簡	3月6日	花村徳七、麻生惣兵衛	麻生賀郎	燐石仕切金のごこと	紙	墨 1	封筒あり
陶 55 7	書簡	3月29日	麻生惣兵衛	麻生賀郎	当屋に商店開店のごこと、麻生多次郎から麻生賀郎、麻生太吉に宛てた書簡が同封	紙	墨 2	封筒あり
陶 55 8	書簡	7月28日	麻生惣兵衛	麻生賀郎	燐石の積送りについて、添書き一枚同封	紙	墨 2	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
陶 53	9 書簡	3月27日	麻生惣兵衛	有吉三郎・福岡久三郎	飛川堀石売約のこと	紙	墨	1	封筒あり
陶 56	1 書簡	6月16日	立岩村 花村徳七	麻生賀郎	下三密堀石売約のこと、下若のこと	冊	墨	1	封筒あり
陶 56	2 書簡	3月27日	花村徳七	麻生賀郎	別紙送り状の通り積送る	紙	墨	1	破損あり、別紙とは陶-56-4カ
陶 56	3 書簡	4月17日	花村徳七	麻生賀郎	当会へ「160円を払い下げ、仕切金の内より払い入れ、残金は長兵衛殿へ送るので、送り状の通りに売りさばくこと	紙	墨	1	一部破損あり
陶 56	4 書簡	明治17年3月28日	立岩村 花村徳七	麻生賀郎	惣平組の塊炭を七艘に分けて積送るので、送り状の通りに売りさばくこと	紙	墨	1	封筒あり
陶 57	1 書簡	7月13日	麻生多次郎	麻生賀郎	塊炭完全について	紙	墨	1	封筒あり
陶 57	2 書簡	明治15年7月6日	麻生多次郎	麻生賀郎	堀屋三艘積送のこと	紙	墨	1	封筒あり
陶 57	3 書簡	7月20日	麻生多次郎	麻生賀郎・有吉三郎	粉炭積送のこと	紙	墨	1	封筒あり
陶 57	4 書簡	4月13日	麻生多次郎	嘉麻組石炭売捌所	塊炭・粉炭積送のこと	紙	墨	1	封筒あり
陶 58	1 書簡	明治15年3月3日	末原権右衛門	売捌所 麻生賀郎	桐原塊炭別紙送り券の通り十四艘積送るのでよろしく売り捌きご苦労ください	紙	墨	1	
陶 58	2 書簡	明治15年4月7日	瀧田村 末原権右衛門	若松売捌所 麻生賀郎	面会できず失礼	紙	墨	1	
陶 59	1 書簡	3月27日	許斐六平	麻生賀郎	塊炭送り付けのこと、末尾に記あり	紙	墨	1	封筒あり
陶 59	2 書簡	1月8日	許斐平三郎	麻生賀郎	先般のことについて	紙	墨	1	欠損あり、封筒あり
陶 59	3 書簡	3月24日	許斐平三郎	麻生賀郎	塊炭売捌きについて	紙	墨	1	封筒あり
陶 60	1 書簡	7月27日	麻生賀郎	麻生大吉 麻生太次郎	福岡久兵衛退社のことについて(福岡久兵衛書簡の写しを含む)	紙	墨	3	
陶 60	2 書簡	5月9日	麻生賀郎	許斐平三郎	塊炭大販送りのこと	紙	墨	1	虫食いあり
陶 60	3 書簡	明治15年7月20日	麻生賀郎	川崎利兵衛ほか1名	石炭積送りのこと	紙	墨	2	
陶 60	4 書簡	明治15年6月17日	麻生賀郎	麻生大吉 麻生太次郎	石代送付について	紙	墨	1	
陶 60	5 書簡	明治15年6月17日	麻生賀郎	麻生大吉 麻生太次郎	福岡久兵衛付にて送付の石代について	紙	墨	1	封筒あり、破損あり
陶 61	1 書簡	7月14日	瓜生長右衛門	麻生賀郎	石炭が50万円とれるも買が良くない	封筒	墨	1	
陶 61	2 書簡	明治17年4月10日	瓜生長右衛門	安川敏一郎ほか1名	運賃支払いについての送り状など	封筒	墨	1	
陶 61	3 書簡	明治17年4月10日	河崎利兵衛	麻生賀郎	米の売買について	紙	墨	1	
陶 62	1 書簡	7月9日	河崎利兵衛	麻生賀郎	米の売買について	紙	墨	1	
陶 62	2 書簡	5月19日	河崎利兵衛	麻生賀郎	石炭のことはうまくいかないかもしれないが、運賃だけは船頭衆に支払うこと	紙	墨	2	別紙あり
陶 62	3 書簡	2月26日	河崎利兵衛	麻生賀郎	米の売買について	紙	墨	1	
陶 62	4 書簡	2月28日	河崎利兵衛	麻生賀郎	石炭を取り扱う店を開いたことであつた、大販行きのことについて	紙	墨	1	
陶 62	5 書簡	4月25日	河崎利兵衛	麻生賀郎	6月分50石7円29銭を至急入金することを依頼	紙	墨	1	
陶 62	6 書簡	7月28日	河崎内 和田小兵衛	麻生賀郎	週日御出開の石切御云申し上げ炭石戻取り決めの様について	紙	墨	1	封筒あり
陶 62	7 書簡	4月15日	河崎利兵衛	麻生賀郎	近況報告	紙	墨	1	封筒あり
陶 62	8 書簡	4月1日	河崎利兵衛	麻生賀郎・福岡久兵衛	坂主からの仕切金と送員への支払いについて	紙	墨	1	封筒あり
陶 63	1 書簡	8月20日	有吉三郎	麻生賀郎	兄病氣につき福村のこと	紙	墨	1	封筒あり
陶 63	2 書簡	9日	有吉三郎	麻生賀郎	兄病氣につき福村のこと	紙	墨	1	封筒あり
陶 63	3 書簡	10月7日	有吉三郎	麻生賀郎	入用につき送金のこと	紙	墨	3	封筒あり
陶 64	1 書簡	7月6日	鬼丸清一	麻生賀郎	荷物陸揚げのこと	紙	墨	1	封筒あり、封筒には「鬼丸清二郎」とあり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
陶 64 2	書簡	8月20日	白土茂三郎	麻生賀郎	仕切金のこと	紙	墨 1	封筒あり
陶 64 3	書簡	3月20日	麻生孫四郎	麻生賀郎	堀石別紙送り状の通り積送りのこと	紙	墨 1	封筒あり
陶 64 4	書簡	4月7日	花村惣平	麻生賀郎	御書面の趣拝見	紙	墨 1	封筒あり
陶 64 5	書簡	8月13日	和田小兵衛	麻生賀郎	石炭売却の予約について	紙	墨 1	封筒あり
陶 65 1	約定証之事	明治15年10月1日	福岡久兵衛	麻生賀郎	石炭売却や石代金についての約定証の控え	紙	墨 1	陶-65はすべて同折
陶 65 2	身元請合証之事	明治15年9月14日	鯉田村 福岡久兵衛	麻生賀郎ほか2名		紙	墨 1	
陶 65 3	書簡	[明治15年9月] 14日	麻生賀郎	麻生大吉	別紙申上候事について	紙	墨 1	
陶 65 4	書簡	明治15年9月14日	麻生賀郎	麻生大吉	有吉三郎金四百円が用意できず西川石代の支払いができない	紙	墨 1	
陶 65 5	書簡	明治15年9月15日	麻生賀郎	麻生大吉	別紙予約書付のことについて	紙	墨 1	
陶 66 1	書簡	明治15年8月6日	下町組世話人惣代 伊藤清一郎	麻生賀郎	神社の棟上式について	紙	墨 1	封筒あり
陶 66 2	書簡	旧4月7日	山口角藏	麻生賀郎	飯田藤七郎の相談について	紙	墨 1	封筒あり
陶 66 3	書簡	7月15日	中西四彦	麻生賀郎、有吉三郎	妻舅子出産、母子ともに至って違者	紙	墨 1	のり外れあり
陶 67 1	書簡	4月24日	柴田多十	麻生賀郎	仕切金のこと	紙	墨 1	封筒あり
陶 67 2	書簡	9月2日	柴田多十	麻生賀郎	川利慶方の話上の節、後刻御答に相成候こと	紙	墨 1	封筒あり
陶 67 3	書簡	4月20日	柴田多十	麻生賀郎	金銭貸渡についてお願いに何うことができなかつた旨	紙	墨 1	封筒あり
陶 68 1	書簡	5月20日	高見善兵衛	麻生賀郎	大神丸君貫坑大師へ懸々御積送りのこと	紙	墨 1	封筒あり
陶 68 2	書簡	6月17日	西井直次郎	麻生賀郎	積荷品目と積金の書き上げ	紙	墨 1	封筒あり
陶 69 1	書簡	3月26日	高次藤三郎	安田嘉三郎	材木代金が工面できないときは他よりその代金を補填すべき云々	紙	墨 1	封筒あり
陶 69 2	書簡	3月26日	高次藤三郎	麻生賀郎	材木一条に付御迷惑を掛けたこと、また石炭大坂送りのこと	紙	墨 1	封筒あり
陶 69 3	書簡	3月6日	高次藤三郎	福岡久兵衛	徳七殿石炭積下しの条	紙	墨 1	封筒あり
陶 70 1	書簡	6月25日	吉田河入	麻生賀郎	石炭その他について	紙	墨 1	封筒あり
陶 70 2	書簡	5月25日	吉田壯八郎	麻生賀郎	炭石預り及び別紙証文について	紙	墨 1	封筒あり
陶 70 3	書簡		吉田賢郎、尊衛門	麻生賀郎	高江炭砦について	紙	墨 2	包紙あり
陶 70 4	書簡	5月9日	髙手郡金剛村 吉田賢郎	麻生賀郎、有吉三郎	高江に創立の炭砦について	紙	墨 1	包紙あり
陶 70 4 2	書簡	5月9日	吉田	麻生	筑向への通用について	紙	墨 1	包紙あり
陶 70 5	書簡		[吉田河入]	麻生賀郎、有吉三郎	水方の負債、高江炭砦について	紙	墨 1	封筒あり
陶 70 6	書簡	旧5月11日	吉田河入	麻生賀郎	浮田屋その他の石炭が未だ売却されないことについて	紙	墨 1	封筒あり
文 1	借立米割方仕貸明帳 本村受持	文政元年1月8日				冊	墨 1	
文 2	九ヶ村借入が口根帳	文政〇年12月朔日				冊	墨 1	破損あり
文 3	替野屋より渡シ方覚	文政4年正月				冊	墨 1	
文 4	嘉麻郡立岩村米銭借り入根帳	文政5年午8月	立岩村庄屋 左右衛門、同村組頭 弥作、茂作			冊	墨 1	
文 5	嘉麻郡下三緒村浦田堤床蔵高御徳米願上納共二書上帳	文政6年9月				冊	墨 1	
文 6	四郎佐下助御同蔵算用指引改帳	文政10年10月6日				冊	墨 1	
文 7	廿寅卯三ヶ年築石益鏡惣勘定根帳	天保3年7月				冊	墨 1	
文 8	廿寅卯三ヶ年築石益鏡惣勘定根帳	天保3年7月	赤坂融			冊	墨 1	
文 9	産子彌子尊上控帳	天保6年6月	有安村庄屋 兵右衛門			冊	墨 1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
文 10	村高臨時切立帳	天保11年4月20日				冊	墨	1	
文 11	嘉麻郡下三緒村泷水荒古田稲作御見分帳	天保11年				冊	墨	1	
文 12	有安村面役根帳	天保12年				冊	墨	1	
文 13	嘉麻郡多田村臨時切立書上帳 有安村天保十三寅年中臨時切立書上之旨	天保13年				冊	墨	1	
文 15	嘉麻郡有安村臨時切立書上帳	天保13年				冊	墨	1	
文 16	伊勢参宮二付銭別留主見舞根帳	弘化2年				冊	墨	1	
文 17	有安村面役根帳					冊	墨	1	
文 18	有安村面役根帳					冊	墨	1	
文 19	嘉麻郡有安村金石新堤床費御田由畝為御書上帳	弘化3年8月				冊	墨	1	
文 20	嘉麻郡有安村金石新堤床費御田苗書上帳	弘化3年				冊	墨	1	
文 21	有安村面役根帳					冊	墨	1	
文 22	長崎御奉行様御下向違諸雜費御方帳	弘化4年				冊	墨	1	中身なし
文 23	与方同心違之向候日録	弘化4年11月2日				冊	墨	1	
文 24	御拝借御願違諸人切書上帳	弘化4年11月17日				冊	墨	1	
文 25	御拝借冬渡願難用割方帳	弘化4年12月				冊	墨	1	文-26と一括、欠損あり
文 26	旨	[弘化4年12月]			文-25の続き	冊	墨	1	文-25と一括
文 27	御通達之諸人切書上帳	弘化4年12月11日				冊	墨	1	
文 28	嘉麻郡平村弘化四年未分御年貢大豆代領上納通帳	弘化4年	平村庄屋 与平治			冊	墨	1	
文 29	御銀倉私 嘉麻郡岩崎村弘化四年未分御年貢大豆代領上納通帳	弘化4年	岩崎村庄屋 藤七			冊	墨	1	
文 30	未六月ヨリ十二月迄備人馬三艘勸立云帳	弘化4年12月				冊	墨	1	
文 31	当季本通受負臨時繰臨時夫仕組横帳	弘化4年正月9日				冊	墨	1	
文 32	有安村面役根帳					冊	墨	1	
文 33	御■并語品紙念高分書上帳	弘化7年12月				冊	墨	1	
文 34	肥後様御登達人馬割方帳	嘉永元年7月20日				冊	墨	1	
文 35 1	薩摩様御登達人馬并雜費金阿郡御根帳	嘉永元年7月28日				冊	墨	1	
文 35 2	肥後様御登達人馬阿郡割方根帳	嘉永元年7月20日				冊	墨	1	
文 35 3	肥後様御登達人馬仕魂分薩摩様御先荷御跡荷二取仕約々帳	嘉永元年10月				冊	墨	1	
文 35 4	長崎御奉行様薩摩様達人馬三艘立云帳					冊	墨	1	
文 35 5	薩摩様御上使様河違諸雜費附置帳	嘉永元年8月				冊	墨	1	
文 35 6	肥後若殿様御登達人馬割方帳	嘉永元年7月20日				冊	墨	1	
文 35 7	薩州様御登達人馬割方帳	嘉永元年8月朔日	さよ舩			冊	墨	1	
文 35 8	肥後様御登府二付御家中御往来三出助合割方帳	嘉永元年10月				冊	墨	1	
文 35 9	肥後様御登府二付御家中御往来三出助合人馬引渡帳	嘉永元年10月13日				冊	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
文 35 10	長崎御奉行様御下向達人馬御方帳	嘉永元年8月24日				冊	墨 1	
文 35 11	当中年中御通刻方算通約ノ帳	嘉永元年10月13日				冊	墨 1	
文 35 12	薩摩様御上使様河御通人馬算用約帳	嘉永元年8月28日	佐興触			冊	墨 1	
文 35 13	肥後様達人馬御残分□□罷任人馬約ノ帳	嘉永元年十月				冊	墨 1	
文 36	薩州先衛跡御人馬わり方帳	嘉永元年〔 〕				冊	墨 1	年月日は破損により判読不可
文 37	嘉麻郡多田村臨時切立書上帳	嘉永元年				冊	墨 1	
文 38	嘉麻郡有安村去申春粮物拜借二付詰雜費割方書上帳	嘉永2年正月				冊	墨 1	
文 39	当西本通受負臨時繕臨時并御人内二付届之御家老往来人馬触内御方根帳	嘉永2年正月8日				冊	墨 1	「佐興触分」、「筋内割方帳集」とあり
文 40	御通口之受取帳	戊年			「西ノ年御通根御帳控 間屋永七」などの帳簿を綴る	冊	墨 1	
文 41	薩摩様御船国達人馬仕触帳	嘉永2年3月15日				冊	墨 1	
文 42	薩州様御先衛并御家老様送人馬振替帳	嘉永2年3月15日				冊	墨 1	
文 43	薩摩様御上使様御下向達人馬河郡振替御長	嘉永2年3月5日	さよ触			冊	墨 1	
文 44	薩摩様御先衛并大奥女中御家老様□人馬共仕触帳	嘉永2年3月				冊	墨 1	破損あり
文 45	薩摩様御先衛大奥女中達人馬割様御引帳 佐興触分	嘉永2年4月14日				冊	墨 1	
文 46	井戸対馬守様御登達人馬触帳	嘉永2年4月21日				冊	墨 1	
文 47	西冬〔 〕触割方帳	嘉永2年11月〔 〕				冊	墨 1	「佐〔 〕」あり
文 48	当戊年中御通人馬付之指引帳	嘉永3年正月〔 〕	芳右衛門、太吉			冊	墨 1	
文 49	御通雇賃〔 〕	嘉永3年正月〔 〕				冊	墨 1	下半分なし、文-50と共に綴られる
文 50	御通諸触〔 〕	嘉永3年9月				冊	墨 1	文-49と共に綴られる
文 51	小亮新米代之納勘定并出方中諸雑費控帳	嘉永3年3月27日				冊	墨 1	
文 52	薩摩様御上使様御先衛御跡御人馬わり方帳	嘉永3年8月				冊	墨 1	破損あり
文 53	金崎屋祖母死去二付志控帳	嘉永3年8月13日				冊	墨 1	
文 54	当戊年洪水荒古田稲作取別夫種書上帳	嘉永3年10月	嘉麻郡立岩村			冊	墨 1	
文 55	当夏洪水荒御田地之内免場起立取数書上帳	嘉永3年12月	嘉麻郡立岩村			冊	墨 1	
文 56	当夏洪水荒御田地之内免場起立取数書上帳		嘉麻郡□村			冊	墨 1	破損あり
文 57	御通年中諸人切約トシテ割方帳 佐興赤取取触分	嘉永3年12月				冊	墨 1	
文 58	不用分 嘉麻郡立岩村御数米并完取御用替米共二人別小割書上帳	嘉永3年12月				冊	墨 1	破損あり
文 59	嘉麻郡立岩村御数米并完取御用替米共二人別小割書上帳	嘉永3年12月				冊	墨 1	破損あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
文 60	嘉麻郡立岩村番方代銀當時御立書小割書上帳	嘉永3年12月	立岩村組頭 卯吉、久助、太三郎、与四郎、同村庄屋 太吉	上座下座嘉麻總波御郡御役所	田敷の目録、見分され仰せ付けられるよう請う	冊	墨	1	
文 61	[横帳]	嘉永3年12月	立岩村組頭 卯吉、久助、太三郎、与四郎、同村庄屋 太吉	上座下座嘉麻總波御郡御役所		冊	墨	1	
文 62	浅洪水荒田島起立下調子見違書 [] 嘉麻郡 []	嘉永4年正月	立岩村組頭 卯吉、久助、太三郎、与四郎、同村庄屋 太吉	上座下座嘉麻總波御郡御役所		冊	墨	1	表紙破損あり
文 63	大庄屋の借入を以荒畝起立帳数書上帳 嘉麻郡立岩村	嘉永4年正月	立岩村組頭 卯吉、久助、太三郎、与四郎、同村庄屋 太吉	上座下座嘉麻總波御郡御役所		冊	墨	1	
文 64	御通帳	嘉永4年10月吉日	孫作	角和	通帳カ	冊	墨	1	
文 65	御通帳	嘉永4年9月6日	米屋 伊平	岩井屋 大次郎		冊	墨	1	
文 66	嘉麻郡立岩村枝々借財道付村仕組仕請立書上帳	嘉永5年2月	立岩村組頭 卯吉、久助、太三郎、与四郎、同村庄屋 太吉	上座下座嘉麻總波御郡御役所		冊	墨	1	
文 67	嘉麻郡立岩村枝々百姓強新御拜借御預帳	嘉永5年2月	立岩村組頭 卯吉、久助、太三郎、与四郎、同村庄屋 太吉	上座下座嘉麻總波御郡御役所		冊	墨	1	
文 68	[横帳]	安政3年	嘉平		栢森の米の書き立て	冊	墨	1	
文 69	[横帳]	安政3年	立岩村庄屋 左右衛門、組頭 左三郎、卯吉、彌一郎、藤右衛門 ほか2名	嘉麻郡役御郡代御役所	銭の書き立て	冊	墨	1	
文 70	村雑用一切帳	安政4年2月	立岩村庄屋 大左衛門	御郡代御役所		冊	墨	1	
文 71	嘉麻郡立岩村日田備財之内去冬取立分入別小割書上帳	安政4年3月	立岩村庄屋 大左衛門	御郡代御役所		冊	墨	1	
文 72	嘉麻郡佐興触式拾巻々村請前普請仕廻目録書上帳	安政4年5月	立岩村庄屋 大左衛門	御郡代御役所		冊	墨	1	
文 73	嘉麻郡佐興触之内山倉綱分元吉勢田立岩下三緒堤井樋石根平袴唐戸板渡船新規御仕廻目録書上帳	安政4年5月	立岩村庄屋 大左衛門	御郡代御役所		冊	墨	1	
文 74	嘉麻郡佐興触之内佐興鹿毛馬勢田口原陸田川葛立岩上三緒高倉九々村指掛樋唐戸堤樋土堀并板井樋仕替仕廻目録書上帳	安政4年5月	立岩村庄屋 大左衛門	御郡代御役所		冊	墨	1	
文 75	嘉麻郡佐興触村之御免用御免立材木類寄書上帳	安政4年6月	立岩村庄屋 大左衛門	御郡代御役所		冊	墨	1	文-75～83は合綴、文-75-1のラベルと文-76のラベルの間に冊子1点あり
文 76	嘉麻郡佐興触村之御免用諸普請御郡史御願申上帳	安政4年6月	立岩村庄屋 大左衛門	御郡代御役所		冊	墨	1	
文 77	嘉麻郡勢田村御田地開新唐戸御仕居材木釘大工共に御願申上帳	安政3年6月	立岩村庄屋 大左衛門	御郡代御役所		冊	墨	1	
文 78	嘉麻郡佐興触村之御免用九太類寄書上帳	安政4年6月	立岩村庄屋 大左衛門	御郡代御役所		冊	墨	1	
文 79	嘉麻郡佐興触村之御免用御免立材木類寄書上帳	安政4年6月	立岩村庄屋 大左衛門	御郡代御役所		冊	墨	1	
文 80	嘉麻郡佐興触村之御免用御免立材木類寄書上帳	安政4年6月	立岩村庄屋 大左衛門	御郡代御役所		冊	墨	1	
文 81	嘉麻郡勢田村湿放唐戸積書上帳	安政5年1月	立岩村庄屋 大左衛門	御郡代御役所		冊	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
82	嘉麻郡勢田村湿拔唐戸御仕居御願申上帳	安政5年1月				冊	墨	1	
83	嘉麻郡下三緒村川筋杭葉開井川土手破損仕戻積書上帳	安政4年12月				冊	墨	1	
84	嘉麻郡佐興触入水山倉有安口原佐興生宇田川崎上三緒筒野九ヶ春御願申上帳	安政4年6月				冊	墨	1	文-84～86まで合綴
85	嘉麻郡勢田村湿拔唐戸材木一切積書上帳	安政5年2月				冊	墨	1	
86	嘉麻郡勢田村人家開于反木并大寺守土手腹付夫積書上帳	安政5年2月	鯉田村庄屋 谷善四郎	御郡代御役所		冊	墨	1	
87	嘉麻郡立岩村之内熊崎庄種破損仕候二付石樋二御仕替積書上帳	安政5年3月	鯉田村庄屋 谷吉四郎 3か6名	嘉麻總波御郡代御役所		冊	墨	1	
88	嘉麻郡立岩村抱熊崎庄種破損仕候二付積書上帳	安政5年3月	鯉田村庄屋 谷吉四郎 3か6名	嘉麻總波御郡代御役所	作成者ほか6名は川崎村、立岩村など の庄屋・組頭	冊	墨	1	
89	御年貢米諸上納米裁請弘勘定帳	安政5年9月大吉日	庄屋 太右衛門			冊	墨	1	
90	嘉麻郡上三緒触之内上三緒高倉山倉入水糶分多田有井仁保元吉勢田口原鯉田川崎立岩拾四ヶ村御免用御普請大工大鋸石工賃請書抜帳	安政6年4月	細分村普請才判 候平1はか1名	嘉麻總波御郡代御役所		冊	墨	1	文-90、文-91は合綴
91	嘉麻郡上三緒触村之去年秋分当四月迄御郡夫御普請被仰付候分費用普書上帳	安政6年4月	細分村普請才判 候平1はか1名	嘉麻總波御郡代御役所		冊	墨	1	
92	嘉麻郡上三緒触村之去年今当春御普請土手長脚取書上帳	安政6年4月	細分村普請才判 候平1はか1名	嘉麻總波御郡代御役所		冊	墨	1	
93	嘉麻郡上三緒触之内口原鯉田立岩三ヶ村渡舟御造替仕廻目録書上帳	安政6年4月	鯉田村庄屋 谷吉四郎 3か4名	嘉麻總波御郡代御役所		冊	墨	1	
94	〔書上帳〕 嘉麻郡上三緒触之内上三緒仁木高倉元吉山倉勢田入水口原鯉田高田高田川崎有立岩拾四ヶ村御免用井樋唐戸土桶堤井樋共二取替目井樋仕替願之内仕居共二仕廻目六普書上帳	安政6年4月	下三緒村庄屋 勘十郎 か38名 立岩村組頭 太三郎ほか25名	嘉麻總波御郡代御役所	私共村之去秋冬今当春御免用普請に ついて	冊	墨	1	前欠、文-94.2と合綴
95	嘉麻郡上三緒触之内佐興有井仁俣糶分四ヶ村此節破損所仕戻入用松丸大御渡方御願帳	安政6年5月	上三緒村大庄屋 井手 太七郎	上座下座嘉麻總波御 山方御役所		冊	墨	1	
96	嘉麻郡上三緒触村之五月十六日之洪水二而破損所仕戻入用雜札松丸大兼段季葉御進調帳	安政6年5月	上三緒村大庄屋 井手 太七郎	嘉麻總波御山方御役所		冊	墨	1	
97	嘉麻郡上三緒触之内有安佐興觸村此節洪水二而掛樋箇樋流失分御仕調積書上帳	安政6年5月	細分村普請方 有松慶平、上三緒村大庄屋 井手太七郎ほか1名	嘉麻總波御郡代御役所		冊	墨	1	
98	嘉麻郡上三緒触村之此節洪水破損所仕戻夫裁寛倉取分書上帳	安政6年5月	上三緒村大庄屋 太七郎ほか2名	四宮市右衛門、田中又十郎		冊	墨	1	
99	嘉麻郡上三緒触村之五月十六日之洪水破損所之内橋々見場分御仕戻夫積書上帳	安政6年5月	上三緒村大庄屋 太七郎ほか1名	御郡代御役所		冊	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
100	嘉麻郡川崎村渡船造替積書上帳	安政6年6月	上三緒村大庄屋 井手 太郎 大木村組頭 左六ほか 太七郎ほか2名	四宮市右衛門、田中又 十郎		冊	墨	1	
101	嘉麻郡入水村新堤御築直御郡夫 補任御願申上帳	安政6年6月	下三緒村庄屋 兵右衛 門ほか36名	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
102	嘉麻郡上三緒触之御免用諸普 書上帳	安政6年6月	馬口原 鹿田川崎上三緒觸分有安 有井元吉佐與勢田拾式々村御免 御普請御願申上帳	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
103	嘉麻郡上三緒触之内下三緒鹿毛 馬口原 鹿田川崎上三緒觸分有安 有井元吉佐與勢田拾式々村御免 御普請御願申上帳	安政6年6月	川崎村組頭 善次郎、 淺田次三郎ほか1名	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
104	嘉麻郡上三緒触之内綱分勢田口 原三々村石井手破損直之川土 手破損所石根開郷夫御普請御願 申上帳	安政6年6月	上三緒村大庄屋 井手 太七郎ほか2名	四宮市右衛門、田中又 十郎		冊	墨	1	
105	嘉麻郡川崎村此節洪水ニテ指井樋 流失書上帳	安政6年7月	上三緒村大庄屋 井手 太七郎ほか1名	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
106	嘉麻郡上三緒触之内拾四々村此 節洪水ニ而破損所并人家水積書 上帳	安政6年7月	川崎村庄屋 永末大吉 ほか2名	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
107	嘉麻郡勢田村指井樋流失分積書 上帳	安政6年9月	郷夫取取 文五	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
108	嘉麻郡勢田村石井手組直之積書 上帳	安政6年9月	□□〔郷夫カ〕棟梁 藤次郎ほか1名	嘉麻總波御郡代御役	「嘉麻郡勢田村石井手組直之村木井二 大工大號左官御郡夫積書上帳」七一緒 に綴られる	冊	墨	1	
109	嘉麻郡口原村石井手損之取繕積 書上帳	安政6年9月	下三緒村庄屋 兵三郎 ほか3名	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
110	御郡夫仕勘定根帳	安政7年1月	上三緒村大庄屋 井手 太七郎ほか1名	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
111	嘉麻郡下三緒村石根開石工御普 請御願申上帳	安政7年3月	佐與村普請才判 太右 衛門	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
112	洪水破損所御郡夫仕根帳	安政7年4月	佐與村普請才判 有松 候平	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
113	嘉麻郡上三緒觸貳拾一ヶ村四月 七日迄之洪水破損所夫積書上帳	安政7年5月	川崎村庄屋 永末大吉 ほか2名	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
114	嘉麻郡上三緒触之内上三緒觸分 有安有井元吉佐與勢田口原 鹿田 川崎下三緒拾壹ヶ村御免用御普 請大工大號石工賃銭書根帳	万延元年4月	立岩村普請才判 太右 衛門	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
115	嘉麻郡上三緒觸村々去秋合当四 月まで御郡夫御普請被仰付候分算 用書上帳	万延元年4月	立岩村普請才判 太右 衛門	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
116	嘉麻郡上三緒觸之内上三緒觸分 有安有井元吉佐與勢田口原 鹿田 川崎下三緒拾壹ヶ村御免用御普 請大工大號石工賃銭書根帳	万延元年4月	立岩村普請才判 太右 衛門	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
117	嘉麻郡上三緒觸之内上三緒觸分 有安有井元吉佐與勢田口原 鹿田 川崎下三緒拾壹ヶ村御免用御普 請大工大號石工賃銭書根帳	万延元年4月	立岩村普請才判 太右 衛門	嘉麻總波御郡代御役		冊	墨	1	
118	嘉麻郡上三緒觸之内拾九ヶ村御 免用諸總普請郡夫仕廻目録書上 帳	万延元年4月	上三緒村大庄屋 井手 太七郎	四宮市右衛門、田中又 十郎		冊	墨	1	
119						冊	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
文 120	嘉麻郡上三緒触之内上三緒觸分有安有井元吉在與勢田口原餘田川崎下三緒給志々村御免用井種唐戸上橋廻井御普石井手組直々石根田御普請仕廻目錄書上帳	万延元年 4月	立岩村普請才判 大白 御門(はか21名)	嘉麻總波御郡代御役所		冊	墨	1	
文 121	嘉麻郡上三緒触之内上三緒下三緒川崎餘田口原勢田佐奥簡野元吉大内仁保有井有安彌分立岩高看拾六ヶ村四月七日ろ之洪水破指所仕展仕廻目六書上帳	万延元年 5月	上三緒村大庄屋 井手 太七郎	四宮市右衛門、田中又十郎		冊	墨	1	
文 122	嘉麻郡上三緒触之内川崎餘田口原有安簡野五ヶ村当四月洪水破指所之内積水所御仕展仕廻目六書上帳	万延元年 6月	上三緒村大庄屋 井手 太七郎	嘉麻總波御郡代御役所		冊	墨	1	
文 123	村ひかえ	万延元年10月	立岩村庄屋 大右衛門	嘉麻總波御郡代御役所	糶米手当の書上	冊	墨	1	
文 124 1	飯塚内野御茶屋郡家長尾御役所 大隈郡家諸品夫御方帳	文久2年 3月12日				冊	墨	1	文-1241～文-1252合綴
文 124 2	飯塚内野御茶屋郡家大隈郡家長尾御役所諸品御方帳	文久2年 3月				冊	墨	1	
文 124 3	文久二年三月御茶屋郡家割銀勘足帳	[文久2年 3月]				冊	墨	1	
文 125 1	長尾御役所炭薪之外諸品夫御方帳	文久2年11月			〔内野郡家井御通駕御改正御出張御役所達方夫錢并御方帳〕か後続、年月は文-125-1と同じ	冊	墨	1	
文 125 2	御茶御用諸品夫御方帳	文久2年11月				冊	墨	1	
文 126 1	嘉麻郡上三緒郡触村之御免用諸品百姓御郡夫仕組目錄書上帳	文久3年 4月	上三緒村大庄屋 井手 太七郎	四宮市右衛門、田中又十郎		冊	墨	1	
文 126 2	嘉麻郡上三緒触之内上三緒下三緒立岩川崎餘田口原勢田鹿毛馬元吉有井綱分簡野拾志村御免用并廻唐戸廻展立廻并橋御仕御普請御仕廻目六書上	文久3年 4月	上三緒村大庄屋 井手 太七郎	四宮市右衛門、田中又十郎		冊	墨	1	
文 126 3	嘉麻郡上三緒触村之御免用諸品普請大工大銀石工賃錢書上帳	文久3年 4月	下三緒村普請才判 麻生 太右衛門	嘉麻總波御郡代御役所		冊	墨	1	
文 127 1	面御茶屋諸品夫御方帳	文久3年 4月 3日				冊	墨	1	
文 127 2	長尾御役所諸品夫御方帳	文久3年 4月 3日				冊	墨	1	虫損あり
文 127 3	三郡等諸品夫御方帳	文久3年 4月 3日				冊	墨	1	
文 127 4	内野飯塚御茶屋内野飯塚大隈郡等諸品夫御方帳	文久3年 4月				冊	墨	1	
文 128	勢田村石普請中詰仕夫書上帳	文久3年 4月				冊	墨	1	
文 129	手代 長尾御改所御入用諸品御方帳	文久3年10月22日				冊	墨	1	
文 130 1	嘉麻郡上三緒触村之御免用諸普請御郡夫去戊夏之御願申上御聞落分書上帳	文久3年 6月	上三緒村大庄屋 井手 太七郎	四宮市右衛門、田中又十郎		冊	墨	1	表紙虫損あり
文 130 2	嘉麻郡勢田村川土手石陀石張水咽石門随御普請御願帳	文久3年 6月	上三緒村大庄屋 井手 太七郎	四宮市右衛門、田中又十郎		冊	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
文 130 3	嘉麻郡上三緒触之内上三緒下三緒立岩川嶋屋田口原勢田鹿毛馬村御免用井繩唐戸上橋堤底立極御仕普御普請御願帳	文久2年6月				冊	墨	1	「多田」の觸所に抹消線あり
文 131 1	嘉麻郡上三緒触之内口原元吉佐奥仁保有安多田六ヶ村御免用御普請御大夫御口(願カ)申上帳	文久3年6月	上三緒村大庄屋 井手太七郎	四宮市右衛門、田中又十郎		冊	墨	1	
文 131 2	嘉麻郡上三緒触之内上三緒立岩川嶋口原鹿毛馬元吉佐奥有井繩安多田高倉入水捨式ヶ村御免用井繩唐戸堤立底極上橋御仕普御普請御願帳	文久3年6月	上三緒村大庄屋 井手太七郎	四宮市右衛門、田中又十郎		冊	墨	1	
文 131 3	嘉麻郡川嶋村渡船御作事積書上帳	文久3年8月	川嶋村庄屋 水(高)大吉	嘉麻總波御郡代御役所		冊	墨	1	
文 131 4	嘉麻郡上三緒触村之御免用御普請入用致物采子奉御渡御願帳	文久3年6月				冊	墨	1	
文 131 5	嘉麻郡上三緒触村之御免用致物当冬之御渡願帳	文久3年6月				冊	墨	1	
文 131 6	嘉麻郡上三緒触村之御免用材木采子取分御渡方御願帳	文久3年6月				冊	墨	1	
文 131 7	嘉麻郡上三緒触村之御免材木当冬御渡御願申上帳	文久3年6月				冊	墨	1	
文 131 8	嘉麻郡上三緒触村之諸普請入用尙業笹業按書抜帳	文久3年6月				冊	墨	1	
文 131 9	嘉麻郡上三緒触之内下三緒立岩川嶋三ヶ村渡舟御造普請作事積書御大夫御願申上帳	文久3年亥6月	上三緒大庄屋 井手太七郎	御郡代御役所		冊	墨	1	貼紙あり
文 131 10	嘉麻郡上三緒触村之御免用諸普請御大夫御願申上帳	文久3年6月	上三緒大庄屋 井手太七郎	四宮市右衛門、田中又十郎		冊	墨	1	
文 131 11	嘉麻郡上三緒触之内上三緒立岩川嶋口原鹿毛馬元吉佐奥有井繩多田高倉入水捨式ヶ村御免用井繩唐戸堤立底極上橋御仕普御普請御願帳	文久3年6月	上三緒大庄屋 井手太七郎	四宮市右衛門、田中又十郎		冊	墨	1	
文 131 12	嘉麻郡上三緒触村之並川入用航案使御願帳	文久3年6月		嘉麻總波御郡代御役所		冊	墨	1	
文 131 13	嘉麻郡下三緒村渡船御造普請御願帳	文久3年6月		嘉麻總波御郡代御役所		冊	墨	1	
文 132	長尾御改所御入用諸品別方帳	文久3年10月22日	下三緒村普請才判 麻生大右衛門 同村庄屋 麻生大右衛門			冊	墨	1	
文 133	嘉麻郡上三緒触庄屋申上恐連名を以御願申上候事	文久3年10月				冊	墨	1	
文 134 1	内野飯塚御茶屋諸品夫根御帳	文久4年3月26日				冊	墨	1	
文 134 2	御筒方御許領火矢木村持立夫錢積書上帳	文久3年3月				冊	墨	1	
文 134 3	飯塚内野御茶屋諸品夫御方帳	元治元年4月11日				冊	墨	1	
文 134 4	飯塚新野建替材木持出大工手伝地上下大工木路掛一切別方帳	元治元年4月12日				冊	墨	1	
文 134 5	飯塚内野御茶屋町茶御品改御代事三郎長尾諸品飯塚新野建替夫錢御方帳	元治元年4月17日				冊	墨	1	
文 135	内野飯塚御茶屋飯塚御制札入馬糞所町茶屋御郡屋赤坂三緒而触御免用材木御免立夫積帳	元治元年4月				綴	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
文 136 1	嘉麻郡上三緒触村々御免用諸普請御郡内未仕廻目録書上帳	元治元年 4月				冊	墨	1	
文 136 2	嘉麻郡上三緒触之内上三緒下三緒立岩川崎口原鹿毛馬元吉佐與有井有安多田高倉人水捨々村御免用井種唐戸底極井土橋津少松御仕普御普請仕廻目六書上帳	元治元年 4月				冊	墨	1	
文 136 3	嘉麻郡上三緒触村々御免用諸品諸普請大工大銅賃錢諸品代書抜帳	元治元年 4月	下三緒村普請才判 麻生太右衛門	嘉麻總波御郡代御役所		冊	墨	1	虫損あり
文 137	飯塚入馬宿所建替二付材木指出大工手伝地上ヶ大工本家掛諸品一切書上帳	元治元年 5月	伊岐須村普請方 野見山彦四郎	飯塚御代官御役所		冊	墨	1	
文 138	大行事御木色蓮々替其外諸手入夫請御方帳	元治元年 9月11日				冊	墨	1	
文 139 1	仁保御殿并二御役所御小家中諸々請大工家屋諸品願上帳	元治元年 9月11日				冊	墨	1	
文 139 2	御廻門建替当致御勘定	[元治元年]				冊	墨	1	
文 139 3	先御資格銭並御役所引残二付諸品雜用附立帳	元治元年 8月	上三緒触			冊	墨	1	
文 139 4	先御代並御役所御引紙御前物送り人馬彌子帳	元治元年 8月 3日				冊	墨	1	
文 139 5	長尾井飯塚大隈一切割方触之出人約帳	元治元年 8月				冊	墨	1	
文 139 6	大隈町御廻門建方一切割方根帳上三緒触	元治元年 8月				冊	墨	1	
文 139 7	飯塚雜所諸品夫雜費共退御帳	元治元年 8月				冊	墨	1	
文 139 8	内野飯塚御茶屋諸品割方帳	元治元年11月21日				冊	墨	1	
文 139 9	御廻門材木夫積帳	元治元年 5月	上三緒触			冊	墨	1	
文 140	仁保村申年米積残帳					冊	墨	1	
文 141	[書上帳]				人足六百七十人の書上	冊	墨	1	
文 142	西成亥三ヶ年御茶御帳					冊	墨	1	
文 143	大山崎普請願出方中語入方控					冊	墨	1	
文 144	何ノ何年何秋田方御口口上大目論見帳				目論見帳の雛型	冊	墨	1	
文 145	仁木村茶錢不足調子帳	申12月				冊	墨	1	
文 146	申年中分本通井臨時繰臨時共二夫仕組評義積帳	1月 7日				冊	墨	1	
文 147	有安村面役根帳					冊	墨	1	
文 148	[書上帳]				「正月廿五日土ウリ」「二月十日土ウリ」などとして目ごとに人数と人名を記す	冊	墨	1	
文 149	[書上帳]				人馬指行の代金の書上	冊	墨	1	
文 150	[書上帳]				人馬指行の代金の書上帳	冊	墨	1	破損あり
文 151	[書上帳]				大門村など金銭書上	冊	墨	1	
文 152	覚				米代など金銭目録	冊	墨	1	破損あり
文 153	[書上帳]				上三緒などの金銭書上	冊	墨	1	
文 154	[書上帳]				上三緒触の木材・石炭など払い下げ分書上	冊	墨	1	
文 155	[書上帳]				米の書上	冊	墨	1	
文 156	[書上帳]				米の書上	冊	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
文 157	覚				米と金の書上	冊	墨	1	
文 158	覚				人教・金銭の書上	冊	墨	1	
文 159	[書上帳]				米の書上	冊	墨	1	
文 160	[書上帳]				人教書上	冊	墨	1	
文 161	覚	辰12月	福沢屋 正吉	栢森村 太右衛門	金銭書上	冊	墨	1	
文 162	覚				米の書上	冊	墨	1	
文 163	[書上帳]	亥4月	麻生太右衛門	御郡家守 亀七	亥四月廿日払方の書上	冊	墨	1	
文 164	覚				米と人名の書上	冊	墨	1	
文 165	覚				金銭の書上	冊	墨	1	
文 166	佐興村大庄屋白土甚次郎作恐奉願上覚	子2月	佐興村大庄屋 白土甚次郎	小田正左衛門	佐興村内の水害について	冊	墨	1	前欠
文 167	[書上帳]				田地の質と面積の書上、田地を上中下に分類して記す	冊	墨	1	
文 168	[書上帳]				米の書上	冊	墨	1	破損あり
文 169	嘉麻郡上三緒触庄屋中年恐連名を以御願申上候事	文久3年10月	庄屋中	嘉麻總波御郡代御役所	凶作につき年貢の御免返上の願出	冊	墨	1	
文 170	[書上帳]				金銭の書上	冊	墨	1	
文 171	[書上帳]	12月16日			人水村、山倉村、高倉村などの金銭書上	冊	墨	1	最初の1枚のみ上下逆
文 172	遠賀郡黒崎村田町光四寺同所藤田村正覚寺熊手村善定寺本城村浄円寺年恐以存寄御願申上候口上之覚	安政6年2月	遠賀郡本城村 浄円寺 ほか3寺	嘉麻總波御郡代御役所	作成者のほか3寺は表題のものと同じ、後に安政5年12月付の上書が各綴	冊	墨	1	
文 173	覚	亥11月	立岩村方大庄屋 「」衛門	嘉麻總波御郡代御役所	触議について	冊	墨	1	破損あり
文 174	申年本通受伺臨時繰時夫仕廻河郡割切付帳帳				米について	冊	墨	1	
文 175	[記]				米について	冊	墨	1	
文 176	[記]				米の書上など雑多な内容	冊	墨	1	破損あり、後世にごよ
文 177	[覚]					冊	墨	1	りてまどめられたか
文 178	御買上米差引帳				米について	冊	墨	1	破損あり、後世にごよ
文 179	[記]				米についての書上	冊	墨	1	りてまどめられたか
文 180	[記]				米についての書上	冊	墨	1	破損あり
文 181	嘉麻總波河郡大庄屋中年恐奉願覚	亥9月	嘉麻總波河郡御役代栗市村大庄屋 喜左衛門 ほか4名	小田正左衛門	川筋普請の件についての下書き	冊	墨	1	
文 182	中村大庄屋宅右衛門年恐御願申上候事	辰2月	中村大庄屋 宅右衛門	上座下座嘉麻總波河郡御役所	洪水の後不作のため上納延期を求める	冊	墨	1	
文 183	[記]	6月	口原村組頭 次七ほか4名	嘉麻總波御郡代御役所	口原村の石井手破損について	冊	墨	1	1枚目、2枚目に同じこ
文 184	四月洪水破損所仕戻夫精米代渡之覚					冊	墨	1	どか番かかれている
文 185	宗旨御改警紙前書并癩病書物行方知不申書物壹枚書物秋改書物	延享2年3月				冊	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
文 186	養六月御改書紙御案文	文政3年12月	立岩村庄屋 儀平			冊	1	表紙と1丁目の間に一紙(「由渡し、庄屋・組頭中・組頭取、辰吉彦月、御任法替々部々養六月方…」)が挟み込まれている
文 187	所々借入り米銭根帳	文政4年	言久 庄屋 大左衛門ほか3名			冊	1	
文 188	諸々借銭年賦并利払共々根帳	文政8年8月	立岩村庄屋 大左衛門ほか6名	上下嘉穂郡代御役所		冊	1	
文 189	立岩村次八相森村久吉風伝家作御銀拝借額借次帳	文政11年3月16日	有原村庄屋 吉右衛門ほか2名	宗旨御奉頭様御役所		冊	1	
文 190	嘉麻郡有安村入払帳	天保11年3月				冊	1	1丁目の内に一紙あり
文 191	公義御定法諸御通方一件并中山道板橋宿御印米政買目写御国中御制表札写宝曆年中賃銭増始終録留書	弘化5年正月			複製の文書を麻生大吉が写して冊子にしたもの	冊	1	
文 192	俵約々條書	嘉永5年2月	千太郎、幸平ほか50名		末尾に連署と捺印あり	冊	1	
文 193	村中田島居家屋鋪其外諸品証文奥書帳	嘉永2年			表題左に立岩村庄屋麻生大吉の名前あり	冊	1	
文 194	寒石■■■■御通	嘉永2年1月			物品の書上、表題左に孫太郎分とあり	冊	1	
文 195	御用私用覚帳	安政4年9月大吉日	立岩村	御米船賃方		冊	1	
文 196	送賃通帳	安政6年10月	大庄屋 林田藤次郎ほか4名			冊	1	
文 197	飯塚省人馬能立御改正請書	安政5年4月	立岩村庄屋 多次郎	御郡御役所		冊	1	
文 198	立岩村面役根帳	慶応2年4月			上申書の草稿、俵約取納筋は前々より追々相違し去る寅年委細箇茶書も渡しておいた云々、後半に米借入に関する覚あり	冊	1	
文 199	[記]	辰8月	田中文十郎ほか5名		卯冬より辰年にかけて賃借元利約定前の通りにいたすべきことについての話し合いの結果	冊	1	
文 200	熟談大意	10月				冊	1	
文 201	嘉麻郡立岩村宗旨御改帳之内 禰宗	慶応2年3月	当郡鯉田村 晴雲寺	小野三六、久田七之丞		冊	1	文・201～文・203は合綴
文 202	嘉麻郡立岩村宗旨御改帳之内 真宗	慶応2年3月	当郡川嶋村 正恩寺、上三緒村 教元寺、穂波郡飯塚宿 明正寺、伊弉岐須行 安楽寺、小正村 了尊寺、立岩村 庄屋 太次郎ほか4名	小野三六、久田七之丞		冊	1	文・201～文・203は合綴
文 203	嘉麻郡立岩村宗旨御改帳之内 浄土宗	慶応2年3月	当郡当地 無量寺 穂波郡庄司村 本誓村	小野三六、久田七之丞		冊	1	文・201～文・203は合綴
文 204	嘉麻郡立岩村宗旨御改帳之内 禰宗	慶応4年3月	当郡鯉田村 晴雲寺	久田七之丞		冊	1	文・204～文・206は合綴
文 205	嘉麻郡立岩村宗旨御改帳之内 真宗	慶応4年3月	当郡川嶋村 正恩寺、有安村 光藏寺、上三緒村 教元寺、穂波郡飯塚宿 明正寺、伊弉岐須村 安楽寺、小正村 了尊寺、立岩村 庄屋 多次郎ほか4名	久田七之丞、小野三六		冊	1	文・204～文・206は合綴

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
文 206	嘉麻郡立岩村宗旨御改帳 三冊之内 浄土宗	慶応4年3月	当郡当村 無量寺、穂波郡庄司村 本誓村	久田七之丞、小野三六		冊	墨	1	文・204～文・206は合綴
文 207	嘉麻郡立岩村宗旨御改帳 三冊之内 神宗	慶応3年3月	当郡鯉田村 晴雲寺	久田七之丞、岩田喜八郎		冊	墨	1	文・207～文・209は合綴
文 208	嘉麻郡立岩村宗旨御改帳 三冊之内 真宗	慶応3年3月	上郡川嶋村 正恩寺、穂波郡飯塚宿 安楽寺、小伊岐須村 了尊寺、立岩村 庄屋 太次郎ほか4名	久田七之丞、岩田喜八郎		冊	墨	1	文・207～文・209は合綴
文 209	嘉麻郡立岩村宗旨御改帳 三冊之内 浄土宗	慶応3年3月	当郡庄司村 無量寺、穂波郡庄司村 本誓村	久田七之丞、岩田喜八郎		冊	墨	1	文・207～文・209は合綴
文 210	嘉麻郡下三緒村宗旨御改帳 式冊之内 真宗	慶応4年3月	穂波郡飯塚宿 明正寺、庄司村西蓮寺、明正伊岐須村 安楽寺、川嶋村 正恩寺、有安村 光厳村、上三緒村 教元村、鹿毛馬村 明法寺、下三緒村庄屋大庄屋 屋格 麻生太右衛門ほか3名			冊	墨	1	文・210～文・211A・B・Cは合冊
文 211 A	嘉麻郡下三緒村宗旨御改帳 式冊之内 神宗	慶応4年3月	嘉麻郡下三緒村 大音寺			冊	墨	1	文・210～文・211A・B・Cは合冊
文 211 B	嘉麻郡下三緒村入私帳	慶応4年3月	下三緒村庄屋大庄屋屋格 麻生太右衛門ほか4名	大庄屋 井手六七郎		冊	墨	1	文・210～文・211A・B・Cは合冊
文 211 C	嘉麻郡下三緒村居住卸外人宗旨御改帳 真宗	慶応4年3月	嘉麻郡有安村 光厳寺、下三緒村庄屋大庄屋 屋格 麻生太右衛門ほか3名	久田七之丞、小田三太夫		冊	墨	1	文・210～文・211A・B・Cは合冊
文 212	嘉麻郡下三緒村宗旨御改帳 式冊之内 真宗	慶応2年3月	穂波郡飯塚宿明正村ほか5名、下三緒村庄屋大庄屋 屋格 麻生太右衛門ほか3名	久田七之丞、小野三六		冊	墨	1	表紙と1丁目は「源氏二年三月」と「慶応二年三月」と修正、文・212～文・213は合綴
文 213	嘉麻郡下三緒村宗旨御改帳 式冊之内 神宗	元治2年3月	当郡当村 大音村	久田七之丞、小野三六		冊	墨	1	文・212～文・213は合綴
文 214	嘉麻郡立岩村宗旨御改帳 三冊之内 神宗	文政6年3月	同郡細分村 正安寺、大真、立岩村庄屋 太左衛門ほか4名	田村藤右衛門、秋山源内		冊	墨	1	破損あり
文 215	[寛]	辰8月	田中又上郎ほか5名	大庄屋 村役中	伝約取締簿のことなど、写し	冊	墨	1	
文 216	立岩組仕組講帳	[文]10月～(亥11月)			講について	冊	墨	1	表紙の中に一紙あり
文 217	目録				「諸侯方御通古今御振合之事并明和二年御國中寶鏡碑之事」などの目録	冊	墨	1	
文 218	公儀御触之写			大目付	強訴徒受逃散、浪人・旅僧・修験などに課する觸	冊	墨	1	
文 219	[寛]				人馬の書上	冊	墨	1	
文 220	[綴]	明治24年11月～12月	本松儀七郎など	麻生太吉	築坑事務所についての書上、手紙など	冊	墨	1	一部破損あり
文 221	御通人馬通帳	弘化4年2月	有安村			冊	墨	1	
文 222	仕組人入仕通	嘉永4年3月			表紙に「徒所」、「枝々村人力」とあり	冊	墨	1	
文 223	要用控	[] [安政カ] 3年11月大吉日				冊	墨	1	破損あり
文 224	御米願通帳	安政3年10月	柴屋弥二郎		表題左に立岩村とあり	冊	墨	1	
文 225	御郡夫野取帳	安政6年6月				冊	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
文 226	御郡夫野取帳	安政7年正月吉日		普請方 太右衛門		冊	墨 1	
文 227	御通人馬通	亥年			表紙に「徒所」、「枝郷」とあり	冊	墨 1	
文 228	木川防普請額出方中諸雜用控帳	亥9月2日				冊	墨 1	
文 229	〔書上帳〕	文久3年			人夫の書上	冊	墨 1	表題は捺り切れて判読不能
文 230	〔寛〕				米や人夫の書上	冊	墨 1	表題などは捺り切れて判読不能
文 231	〔書上帳〕				郡夫についての書上	冊	墨 1	
文 232	嘉麻郡立岩村度多人私帳	安政2年3月	立岩村度多村組頭 吉作ほか1名			冊	墨 1	
文 233	嘉麻郡立岩村度多人私帳	安政7年3月	立岩村庄屋 太右衛門			冊	墨 1	
文 234	嘉麻郡立岩村度多人私帳	慶応2年3月	立岩村庄屋 多次郎	大庄屋 井手太七郎		冊	墨 1	
文 225	嘉麻郡立岩村度多中宗旨御改帳 真宗	慶応3年3月	立岩村庄屋 多次郎			冊	墨 1	
文 236	嘉麻郡立岩村度多人私帳	慶応3年3月	立岩村庄屋 太次郎	大庄屋 井手太七郎		冊	墨 1	
文 237	嘉麻郡立岩村度多中宗旨御改帳 真宗	慶応4年3月	立岩村度多庄屋 典平	久田七之丞、小田三太夫		冊	墨 1	
文 238	嘉麻郡立岩村度多人私帳	慶応4年月	立岩村庄屋 太次郎	大庄屋 井手太七郎		冊	墨 1	
文 239	〔記〕	〔慶応4年〕			立岩村の人名書上	冊	墨 1	
文 240	立岩村庄屋組頭御向申上候事	嘉永3年11月	立岩村組頭 卯吉、久助、太三郎、与四郎、同村庄屋 太吉	大庄屋 白土甚次郎	散田島受返一件	紙	墨 1	
文 241	嘉麻郡之内栢森村切支丹家門重書御改被成付起請文書上申事					紙	墨 1	破損あり
文 241	嘉麻郡立岩村居住之社人書上申事	天保5年2月	立岩村庄屋 太右衛門	宗旨御奉行御役所		紙	墨 1	
文 241	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐他郡出人御願申上候事	天保8年正月	上三緒村大庄屋 大七	山田新三郎		紙	墨 1	文-241-4、文-241-5はごよりで一括
文 241	嘉麻郡立岩村居住之社人書上申事	天保2年2月	立岩村庄屋 太右衛門	宗旨御奉行御役所		紙	墨 1	文-241-4、文-241-5はごよりで一括
文 241	嘉麻郡立岩村居住之座頭書上申事	天保2年2月	立岩村大庄屋 秋平	田村縫石衛門、秋山源内		紙	墨 1	
文 241	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐御家御改被成二付生上候書物之事	文政4年8月6日	立岩村庄屋 太右衛門	上座下座嘉麻總波河郡御役所		紙	墨 1	
文 241	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐他郡の人入御願申上候事	嘉永2年正月	立岩村庄屋 太右衛門、組頭 与四郎、太三郎、久助、卯吉	上座下座嘉麻總波河郡御役所	後段に「佐興村大庄屋 甚次郎」よりの返信あり	紙	墨 1	
文 241	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐御願申上候口上之覚	文政13年4月	立岩村庄屋 太右衛門	上座下座嘉麻總波河郡御役所	当村喜郎生後手弱二御座候而百姓仕業出来不仕のこと	紙	墨 1	
文 241	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐他郡の出入御願申上候事	文政13年正月	立岩村大庄屋 多次郎	梶原源十郎、国吉仁兵衛		紙	墨 1	
文 241	嘉麻郡立岩村居住之社人書上申事	天保7年2月	立岩村庄屋 太右衛門	宗旨御奉行様御役所		紙	墨 1	
文 241	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐御願申上候口上之覚	文政13年2月	立岩村庄屋 太右衛門、同村組頭 茂作、久次、儀右衛門、与平	上座下座嘉麻總波河郡御役所	後段に返信内容の付記あり	紙	墨 1	
文 241	嘉麻郡立岩村居住之社人書上申事	天保4年2月	立岩村庄屋 太右衛門	宗旨御奉行様御役所		紙	墨 1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
文 241 14	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐他郡 今人御願申上候事	文政6年1月	立岩村庄屋 太右衛門	岡部寛十郎、濱田義八郎		紙	墨	1	
文 241 15	立岩村人高指出シ之事	文政6年2月	立岩村庄屋 太右衛門	大庄屋 秋平		紙	墨	1	
文 241 16	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐他郡 今人御願申上候事	文政7年正月	上三郷村大庄屋 井手 太七郎	四宮市右衛門、田中又 十郎		紙	墨	1	
文 241 17	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐市中 出人御願申上候事	嘉永4年正月	依興村大庄屋 白土甚 次郎	小田正左衛門		紙	墨	1	
文 241 18	嘉麻郡立岩村(庄屋組)頭乍恐他 郡今出人御願申上候事	天保6年正月	立岩村庄屋 大右衛 門、同村組頭 茂作、 久次、横石衛門、与平 衛門	上座下座嘉麻總波河 郡御役所	後段に返信内容の付記あり、裏書あり	紙	墨	1	破損あり
文 241 19	御國中御山御法度之次第分作渡 候二付起請文之事		立岩村大庄屋 与次右 衛門	鈴木七藏		紙	墨	1	
文 241 20	嘉麻郡立岩村居住之座頭書上申 事	天保5年2月	立岩村庄屋 太右衛門	宗旨御奉行御役所		紙	墨	1	
文 241 21	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐秋月 頭領今人御願申上事	嘉永2年正月	佐興村大庄屋 甚次郎	永田弥次郎、喜多村嘉 兵衛		紙	墨	1	
文 241 22	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐他郡 今出人御願申上候事	安政3年正月	細分村大庄屋 有松俊 平	小田正左衛門		紙	墨	1	
文 241 23	嘉麻郡立岩村庄屋太右衛門乍恐 御願申上候事	嘉永7年9月	立岩村庄屋 太右衛門	上座下座嘉麻總波河 郡御役所		紙	墨	1	付紙あり
文 241 24	嘉麻郡立岩村今居申座頭書上申事	文政5年3月	立岩村大庄屋 秋平	秋田源内、田村藏右衛門 郡御役所		紙	墨	1	
文 241 25	宗旨御改二付証憑之事	嘉永4年2月	越波郡地取村半頭 高 武四郎	嘉麻郡立岩村庄屋 大七		紙	墨	1	
文 241 26	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐他郡 出人御願申上候事	嘉永2年正月	立岩村庄屋 太右衛 門、組頭 与四郎、太 三郎、久助、卯吉	上座下座嘉麻總波河 郡御役所	後段に返信内容の付記あり	紙	墨	1	
文 241 27	起請文	安永3年3月	組頭 利吉ほか8名	木山源助、花房又右衛 門		紙	墨	1	裏書あり
文 241 28	仕上候書物之事	明治4年3月	相森村庄屋 藤之、組 頭 利吉			紙	墨	1	付紙あり
文 241 29	[雑]				メモ、他の史料などに挟まっていたも のか	紙	墨	1	
文 242 1	御請取申上候事	安政6年7月	口原村庄屋 新平	嘉麻總波御郡代御役 所	大工賃銭と石工賃銭の請取のこと	紙	墨	1	包紙あり
文 242 2	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐御願 申上候事	安政2年3月	立岩村組頭 賀郎、同 村庄屋 太七郎	上座下座嘉麻總波河 郡御役所		紙	墨	1	
文 242 3	嘉麻郡立岩村庄屋左右衛門乍恐 申上候口上之覚	安政4年2月18日	立岩村庄屋 太右衛門	上座下座嘉麻總波河 郡御役所	2月17日の当村内之材木相見大工入込 のごと、2月16日より居掛大工町三入 込居候のごと、奥に添書きあり	紙	墨	1	
文 242 4	御受取申上候事	嘉永4年			下書き	紙	墨	1	
文 242 5	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐御願 申上候事	安政2年3月	立岩村庄屋 太右衛門	上座下座嘉麻總波河 郡御役所	困致について御慈悲を願い出る	紙	墨	1	表題部分に破損あり
文 243 1	書簡	2月16日	伊藤長五郎	麻生賀郎	御呼出しの名代のごとは別紙の通りお 達しています	紙	墨	1	
文 243 2	[草稿]	天保6年3月	嘉麻郡立岩村 無量 []	久野野平、秋山源内	浄土宗鎮西、總波郡庄司村本誓寺と墨 書	紙	墨	1	破損あり
文 243 3	覚	午12月		立岩村	金銭の書上	綴	墨	1	
文 243 4	[覚]				立岩村の米・金銭の書上	綴	墨	1	
文 243 5	[記]	弘化3年6月	有安村庄屋 太吉ほか 2名	上座下座嘉麻總波河 郡御役所	有安村の田地の調子の書上	紙	墨	1	
文 243 6	[記]				人名と年輪を記したものを	紙	墨	1	
文 243 7	[記]				惣郡御役所の人事書上	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
文 243 8	[記]				金銭の書上	紙	墨	1	
文 243 9	[記]				米の受取の記録	紙	墨	1	
文 243 10	覚				魚代・礼金など金銭の書上	紙	墨	1	
文 243 11	与一郎申上御上申是	6月8日	与一郎	庄屋 太吉	兵次郎が御天足より取次成就	綴	墨	1	
文 243 12	覚	12月21日	二本村庄屋 太次郎	庄屋 太右衛門ほか1名	米の書上	紙	墨	1	
文 243 13	雑用覚				米の書上	紙	墨	1	
文 243 14	雑用覚				金銭の書上	紙	墨	1	
文 243 15	覚				山倉、入水、筒野など村ごとの米の書上	紙	墨	1	
文 243 16	覚	12月2日	上三緒村蔵方		米の書上	紙	墨	1	
文 243 17	[記]				田地の書上	紙	墨	1	
文 243 18	書簡				川上より朔口まで二十五里にわたり洪水のこと	紙	墨	1	
文 243 19	書簡	弘化4年2月	口春村庄屋 宗四郎		弘化4年分嘉穂郡口春村御年貢大豆代銀御銀倉私のこと	紙	墨	1	
文 243 20	御銀倉私嘉麻郡鴨生村弘化四年分御年貢大豆代銀上納通帳				人物と金品の書上	綴	墨	1	綴がはずれている
文 243 21	[記]				米と金銭の書上、冒頭に「太吉 安政二卯年」とあり	綴	墨	1	綴がはずれている
文 243 22	覚				人足の書上	紙	墨	1	
文 243 23	書簡	12月12日	相森 次平		金銭の書上	紙	墨	1	
文 243 24	[記]				御連中様へ鱈一尾差出しのこと	綴	墨	1	破損あり
文 243 25	[記]	丑2月	立岩村庄屋 太口	佐興庄屋 太吉	銀の書上	綴	墨	1	破損あり
文 243 26	[記]				金銭の書上	綴	墨	1	
文 243 27	[記]				田地と家内入敷の書上	紙	墨	2	破損あり
文 243 28	[書上帳]				普請に伴う入夫の書上	紙	墨	9	元々一綴だったもの
文 243 29	[書上帳]				普請に伴う入夫の書上	紙	墨	7	元々一綴だったもの
文 243 30	嘉麻郡立岩村御年貢米上納帳致之覚	慶応4年9月	立岩村庄屋 麻生太右衛門	大郡事御郡立御役所	未記入の紙2枚	紙	墨	1	
文 243 31	[白紙]					紙		2	
文 244 1	[記]				米の書上	綴	墨	7	元々一綴であったものが綴部分が破損している
文 244 2	記	12月9日	立坑夫兼用方 磯吉		ズイナズイトなどの書上	紙	墨	1	
文 244 3	[書上帳]				米の書上	紙	墨	2	冊子の断片、綴が外れている
文 244 4	[記]				金銭の書上	紙	墨	1	冊子の断片、綴が外れている
文 244 5	諸上納米				人物ごとの上納米の書上	綴	墨	1	綴が外れかけている
文 244 6	[記]				米・酒・金銭などの書上	綴	墨	8	綴が外れてバラになっている
文 244 7	講座之覚					紙	墨	6	
文 244 8	[記]				米の書上	紙	墨	1	冊子の断片
文 244 9	[記]				金銭の書上	紙	墨	1	冊子の断片
文 244 10	[記]				米・魚・金銭の書上	紙	墨	1	冊子の断片
文 244 11	[記]				米と入夫の書上	紙	墨	3	
文 244 12	嘉麻郡立岩村御国民判并衆入誓紙入	慶応2年8月晦日			内容物なし	封筒	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
文 244 13	[記]				米の書上	冊	墨	1	
文 244 14	上納銀銭取帳	文政9年□月			米と人夫の書上	冊	墨	1	綴部分などに破損あり
文 244 15	[記]				白紙や紙片など	紙	墨	2	
文 244 16	[雑]				銀の書上	冊	墨	8	
文 245	[記]					冊	墨	1	
文 246	書簡	2月朔日	嘉麻越波郡役所	大庄屋 白土基次郎	立呂村抱巻石について	紙	墨	1	
文 247	[起請文用紙]				未記入の起請文用紙31点	紙	墨	31	
開 1	役員台帳	明治35年4月	山内坑			冊子	墨	1	
開 2	役員台帳	明治35年4月	本腰			冊子	墨	1	
開 3	役員台帳	明治35年4月	上三緒坑			冊子	墨	1	
開 4	役員台帳	明治35年4月	豆田坑			冊子	墨	1	
開 5	役員台帳	明治35年10月	藤棚炭砦			冊子	墨	1	
開 6	役員台帳	明治35年12月	本洞炭砦			冊子	墨	1	
開 7	芳雄上三緒炭砦役員台帳					冊子	墨	1	
開 8	芳雄山内炭砦役員台帳					冊子	墨	1	
開 9	麻生本店役員台帳					冊子	墨	1	
開 10	笹原炭砦役員台帳					冊子	墨	1	破損あり
開 11	豆田炭砦役員台帳					冊子	墨	1	
開 11 2	役員台帳 製工所					冊子	墨	1	
開 12	芳雄製工所役員台帳					冊子	墨	1	
開 13	笹原炭砦役員名簿	明治38年9月				冊子	墨	1	
開 14	藤棚炭砦炭砦役員名簿	明治38年9月				冊子	墨	1	
開 15	藤棚炭砦炭砦役員名簿	明治38年9月				冊子	墨	1	
開 16	各坑所雇員名簿	明治39年7月	庶務部			冊子	墨	1	
開 17	役員辞令進退文書 山内坑	[明治] 34年1月				冊子	墨	1	破損あり
開 18	役員進退書類 上三緒坑 嘉麻坑	[明治] 34年1月				冊子	墨	1	とじ外れ
開 19	役員進退書類 豆田坑	[明治] 34年1月				冊子	墨	1	
開 20	役員進退書類 本店	[明治] 34年1月				冊子	墨	1	
開 21	藤棚炭砦役員名簿	[明治] 34年11月27日				冊子	墨	1	
開 22	辞令簿 麻生商店	明治38年12月				冊子	墨	1	破損あり
開 23 1	役員以下異動加除簿	明治40年3月				冊子	墨	1	
開 23 2	職員録					紙	へ	3	封紙あり
開 23 3	役員異動通知	明治37年				紙	へ	1	
開 23 4	[職員録]					紙	墨	1	破損あり
開 24	笹原坑役員履歴書					冊子	墨	1	
開 25	職工進退書類 本店上三緒坑山内坑	[明治] 34年1月				冊子	墨	1	
開 26	各坑進退書類					冊子	墨	1	
開 27	人事関係書類 庶務部	明治40年				冊子	墨	1	
開 28	人事関係書類	明治39年				冊子	墨	1	
開 29	麻生商店給与規定 麻生商店旅費規定					冊子	墨	2	
開 30	麻生商店内規ほか					冊子	墨	4	
開 31	麻生商店営業所規則 麻生商店営業所給進規則	明治36年4月1日				冊子	墨	1	とじ外れ
開 32	[御名簿]					紙	墨	39	とじ外れ
開 33	勤怠簿 麻生本家	明治32年1月				冊子	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数	備考
関 34	勤怠表 麻生本家	[明治] 33年 1月 1日				冊子	墨 1	
関 35	勤怠表 麻生本家	[明治] 34年				冊子	墨 1	
関 36	本家稼入勤怠簿	明治35年				冊子	墨 1	
関 37	勤怠表 麻生商店	明治35年				冊子	墨 1	
関 38	本家稼入勤怠簿	明治37年				冊子	墨 1	
関 39	勤怠調査表 製工所	明治39年				冊子	墨 1	
関 40	勤怠簿 麻生商店	[明治] 40年				冊子	墨 1	
関 41	四十年度勤怠調	[明治] 40年				冊子	墨 2	
関 42	勤怠調査表 豆田坑	明治40年				冊子	墨 1	
関 43	各坑勤怠報告書綴	明治40年				冊子	墨 1	
関 44	勤怠調査表 本店	明治41年				冊子	墨 1	
関 45 1	役員昇格調					紙	墨 5	虫損あり
関 45 2	〔事務関係書類〕	明治40年頃				冊子	墨 1	
関 45 3	〔給与表〕				雇員と給与についての表	紙	墨 1	破損あり
関 45 4	〔土地集計表〕				反別の地価、地規定率、増徴額など	冊子	墨 1	
関 45 5	明治四拾年役員給調ほか					紙	墨 3	
関 45 6	〔勤怠表〕					紙	墨 4	
関 45 7	〔事務員表〕				草稿カ	紙	墨 1	
関 45 8	各坑事務員定員表	明治40年 3月 16日		麻生商店	雇員氏名、役職、給与一覧	紙	墨 2	
関 45 9	〔奉給表〕	明治40年 3月 8日	藤棚第一坑々長代理 加藤敬輔			紙	墨 1	
関 46	〔勤怠表〕					冊子	墨 1	
関 47	明治四十年三月下半期勤怠速達表	明治40年 3月				冊子	墨 1	
関 48	他所往復文書	[明治] 39年				冊子	墨 1	
関 49	電報綴 庶務部	明治39年				冊子	墨 1	
関 50	明治三十九年往復文書 藤棚第一坑	明治39年				冊子	墨 1	
関 51	店員願届	[明治] 39年				冊子	墨 1	破損あり
関 52	雜書綴	明治39年				冊子	墨 1	
関 53	雜書綴綴込	明治40年 7月				冊子	墨 1	
関 54	勤怠調査表	明治40年				冊子	墨 1	
関 55	□□往復書 □ [類] □ [庶] 務部	[明治] 40年				冊子	墨 1	破損あり
関 56	豆田坑往復書類 庶務部	明治40年				冊子	墨 1	
関 57 1	納税関係書類 庶務部					冊子	墨 1	破損あり
関 57 2	堤村陥落処分事件					冊子	墨 1	封筒あり、破損あり
関 57 3	営業所納税関係書類	明治37年度				冊子	墨 1	
関 57 4	納税台簿 [] 堀口坑経理部	明治37年				冊子	墨 1	
関 58	土地建物 [] 堀口坑経理部	明治33年10月				冊子	墨 1	
関 59	鉱業用地所台帳 藤棚第一鉱業所					冊子	墨 1	
関 60 1	藤棚一坑所屬 所有地台帳					冊子	墨 1	
関 60 2	藤棚第二坑民有借地台帳					冊子	墨 1	
関 60 3	鉱業用地調	明治40年 7月 1日				冊子	墨 1	
関 60 4	[記]	明治40年 7月 5日	藤棚第三式坑	麻生本店	帳簿送付の件	紙	墨 1	
関 61	家事及土地	明治40年				冊子	墨 1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
82	韓国視察書類 庶務部 臨時港湾調査会委員上京之節取 調書類	[明治40年] [明治40年]				冊子	墨	1	
63						冊子	墨	1	
64	九鉄往復文書	明治37年				冊子	墨	1	
65	反別地佃町証明書					冊子	墨	1	
66	東亜同文会々則並会員宿所簿	明治45年 7月	東亜同文会			冊子	墨	1	
67	津屋崎生州設計図					紙	墨	1	
68	本浦炭坑役職員調所	明治35年 8月			中身無し	紙	墨	1	「こよりで一括」
69	速賀川改修工事関係図書				「南西技師市野技手立会ノ談話」の記録	封筒	墨	1	
69	1 速賀川改修二関スル事項					紙	墨	1	
69	2 [図面]					紙	へ・墨	1	
69	3 [図面]					紙	へ・墨	1	
69	4 [図面]					紙	へ・墨	1	
70	[職工履歴関係書類]	明治35年				紙	へ・墨	1	著しく破損
71	[採炭報告書]	明治39年、明治42年、明治43年				一括	墨		
72	藤棚炭坑第一坑道路変更設計図					一括			破損
73	葉書	明治38年 5月13日	当初発行者総代 浦上 昏波、麻生多次郎	麻生太吉	嘉穂共談会の利権処分方法協定について	葉書	印	1	虫損あり
74	葉書	明治38年 5月17日	松本常盤太ほか2名	麻生太吉	松本常盤会葬の礼状	葉書	印	1	
75	書簡	明治38年	筑前若松鎮西孤児院	慈善家御愛人	寄附依頼、替助員申込書同封	紙	印	2	封筒あり
76	書簡	[明治38年] 5月14日	濱地植蔵	麻生太吉	去る10日の葬儀では遠路にもかかわらず上田様などお越しくたさじ感謝	紙	墨	1	封筒あり
77	書簡	明治38年 5月20日	財団法人岡山孤児院長 石井十次	麻生太吉	近時報告と慈善会招待	紙	印	3	封筒あり
78	書簡	5月24日	佐藤美	麻生太吉	満朝地方報社につき来る26日午前 9時26分折尾発着汽車で佐世保軍港に向け出発	紙	墨	1	
79	書簡	[明治38年] 5月15日	佐藤美	麻生太吉	満朝地方報社のため本日7日より他行して頂いたものようやく事は帰って来た云々	紙	墨	1	封筒あり
80	書簡	5月16日	筋田可莊	麻生太吉	前連の準備中、軍事郵便	紙	墨	1	封筒あり
81	葉書		佐藤美	麻生太吉	本日出発	葉書	墨	1	破損あり
82	葉書	[明治38年 4月17日]	国山豊治	麻生御旦那	暑中見舞、返事遅れの謝罪	葉書	墨	1	
83	名刺		直方郵便局通信工 占部芳太郎			紙	印	1	
84	書簡	4月14日	麻生太吉	小山政蔵	昨年の早蕨にて世上一般は稀に豊穰なりしことだがこちら側では全く反対で被害を蒙り、田畑ともに少しも収穫できない状況云々	紙	墨	1	封筒あり、鉛筆で書き込みあり
85	書簡	4月29日	城石弥之助	麻生太吉	御母弟様には近頃御不例ということでも御見舞に行きたいが私自身も重病のため参れず、荒木先生へ看護婦雇い入れの件云々	紙	墨	1	封筒あり
86	書簡	[明治38年 5月6日]	安永之吉	麻生太吉	平壤での事業調整について	紙	墨	1	封筒あり
87	書簡	[明治38年] 4月19日	三井鉱山会社 山田文 太郎	麻生太吉	在職中懇情感謝	紙	墨	1	封筒あり
88	書簡	明治38年 5月9日	森相三郎ほか2名	麻生太吉	益田孝が明日来関するので馬岡春帆勝に案内	紙	印	1	封筒あり
89	書簡	5月3日	寺坂三郎	麻生太吉	近況報告	紙	墨	1	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
関 90	電報 名刺	[明治38年] 5月9日	ナカエ 奥村久太郎	ツヨタキチ	アササキヨウニクス トウゴウクス	専用紙 紙	印 印	1 1	
関 91									
関 92	書簡	明治38年 4月26日	帝國商業銀行門司支店 橋本正七郎	麻生太吉	藤御用立金のうち5万円は本月28日 までに御持済の契約だったところ、 これまでの事情のため返引していた分 に対しては従来交渉中には不日御提案 したい云々	紙	墨	2	封筒あり
関 93	葉書	(4月22日)	伊藤伝右衛門	麻生太吉	18日午前8時大連上陸、19日旅順へ出 発云々、軍事郵便	葉書	墨	1	
関 94	書簡	[明治38年] 4月18日	濱崎健吉	麻生太吉	九州特定期証遺金、株況の件など	紙	墨	1	封筒あり
関 95	書簡	明治38年 4月20日	木村紹崇	麻生太吉	5月8日は葉書同封	紙	墨	2	封筒あり
関 96	書簡	[明治38年] 5月5日	皆川東	麻生太吉	松本常盤病氣の際は一方ならぬ御配慮 感謝、近況報告、麻生通信(案)同封	紙	墨	2	
関 97	書簡	[明治38年] 4月21日	小杉敏三郎	麻生太吉	貴地在职中は一方ならぬ懇情感謝 先夜は折角御光臨にもかわらず風情 もなく失礼云々	紙	墨	1	封筒あり
関 98	書簡	[明治38年] 5月19日	木村順太郎	麻生太吉		紙	墨	1	封筒あり
関 99	書簡	明治38年 5月10日	柴田繁枝	麻生太吉	礼状	紙	墨	1	
関 100	書簡	明治38年 4月5日	筑豊鉱業組合事務所	麻生太吉	福岡鉱山監督署署長小杉敏三郎氏が 大阪鉱山監督署へ、同監督官林金四郎氏 は札幌鉱山監督署へ転任に付、9日馬 関大吾楼において送別会開催	紙	墨	1	
関 101	書簡	[明治38年] 4月22日	山本中次	麻生太吉	昨日筑港会社重役会開催、小生に対す る件本日委細承知、実にご以外の仕合云々 週日御上京の節鶴千郎様へ御依頼申し 上げた学校年俵の件に付、向こう4ヶ 年間御差許された由あり、ついでには 本年高等商業学校への入学資格を拵へ 云々	紙	墨	1	封筒あり
関 102	書簡	[明治38年] 3月8日	青柳才吉	麻生太吉	ここ数日は在院	紙	墨	1	封筒あり
関 103	葉書	[明治38年 3月22日]	子川齒科医院主	麻生太吉	小林氏の病床を訪問、手術後安静	葉書	墨	1	
関 104	葉書	[明治38年] 2月25日	佐伯梅治	麻生商店	慰問のお礼	葉書	鉛 墨	1 1	
関 105	葉書	[明治38年] 3月17日	田原勇吉	麻生商店		葉書	墨	1	
関 106	電報	[明治38年] 3月26日	ツツモト	ツツタキチ	コンニチタイインジタ	専用紙	へ	1	
関 107	書簡	明治38年 3月19日	国民新聞社 徳富猪一 郎	麻生太吉	寄付依頼	紙	印	2	封筒あり
関 108	書簡	明治38年 3月21日	海澤誠助	麻生太吉	近況報告	紙	墨	3	封筒あり
関 109	書簡	[明治38年 3月] 19日	麻生鶴十郎	麻生太吉	このたび山口に新たに高等商業学校が 開設されたので青柳にはそちらに入学 させたらどうか云々	紙	墨	1	封筒あり
関 110	[記]	[明治35年]			今後3年間の計画	紙	鉛	1	
関 111	葉書	[明治37年12月28日]	大賀活版所	麻生商店庶務部	小包送付	葉書	墨	1	
関 112	書簡	[明治38年 1月] 27日	千早正次郎	麻生太吉	昨日は老妻死去の電報に接し御高配 感謝	紙	墨	1	封筒あり
関 113	葉書	[明治38年] 1月28日	石田牧	野見山米吉	本日予算明細書正に落手	葉書	墨	1	封筒あり
関 114	書簡	[明治38年] 1月23日	小林縁	麻生太吉	御患守感謝	紙	墨	1	封筒あり
関 115	葉書	明治37年12月	家庭のしらべ発行所	麻生太吉	家庭のしらべ初刊の際本蓋上げた ところお断わりもなかったたので引き 送付、ついでには代金の支払いをお願い する	紙	へ	1	ピンどめはずし
関 115	2 草履 葉書	明治37年12月28日 明治38年 1月12日	麻生商店 福岡官報販売所	家庭のしらべ発行所 麻生商店	代金はいくらか 法令全書購読入金のお知らせ	紙 葉書	墨 印	1 1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
116	書簡	[明治38年] 1月31日	麻生八郎	麻生太吉	赤司氏後任者の一件は河井氏へ心当りの人物を相談	紙	墨	1	封筒あり
117	葉書	[明治38年] 2月25日	大賀活版所	上田徳敬	納品通知	葉書	墨	1	破損あり
118	書簡		益田孝	麻生太吉 鳥島大助	松本手箱の件	紙	墨	2	破損あり
119	書簡	明治37年12月10日	鯉坂元良	麻生太吉	最近の景況は誠に言語に絶えたる困難	紙	墨	1	封筒あり
120	書簡	[明治38年] 1月25日	小林要治郎	麻生太吉	本日は新年3回目の診察を受け近日中ソベルクリン注射を行う云々	紙	墨	1	封筒あり
121	葉書	[明治38年 1月23日 消印]	神宮敬神御神楽会	麻生太吉	1日正月より引き続き御神楽奉進、加名希望	葉書	印	1	
122	葉書	[明治38年] 1月22日	花村久兵衛	麻生太吉	上京中は非常のご馳走感謝、帰国の際ははお見送りできず失礼	葉書	墨	1	
123	書簡	[明治38年] 1月27日	麻生来子	麻生太吉	出福の際何うつもりだったが果たせず、学費計算簿は本店に送るべきか母のところに送るべきか	紙	墨	1	封筒あり
124	葉書	明治38年 1月15日	木村長太郎支店	麻生太吉、御奥様	羽二重細繻特価販売	葉書	印	1	
125	書簡	[明治38年] 2月1日	宮田万太郎	麻生太七、上田徳敬	家族一同上京のつもりだったが、途中で親切な人からの忠告によりひとまず中止し、当地製鉄所に奉職云々	紙	墨・鉛	1	封筒あり
126	書簡	2月5日	阪口健次郎	麻生太吉	花村久助への借金トラブル解決依頼	紙	墨	1	封筒あり
127	葉書	[明治38年] 6月5日	株式会社帝國商業銀行 門司支店	麻生太吉	明日貝島大助訪問の予定	葉書	墨	1	封筒あり
128	書簡	[明治38年] 5月30日	直方病院	溝畑辰坑 麻生太吉	病院開院式につき鄭重なる御祝儀感謝	紙	墨	1	封筒あり
129	葉書	[明治38年] 3月27日	庄野与助	麻生太吉	たびたびお願い申し上げていた件、ご尽力をどう	葉書	墨	1	破損あり
130	葉書	[明治38年 5月29日 消印]	伊勢神宮敬守会本部	麻生太吉	大々御神楽、大折梅春奉実施の件	葉書	印	1	
131	書簡	5月26日	倉居吉郎	野見山米吉	御照会の福岡工業学校卒業生は何分年少にして、目下他に用立ちかねるので、とりあえず測量方に置き実地見習いとし、給料は日給雇50銭支給とする	紙	墨	1	封筒あり、破損注意
132	葉書	[明治38年] 5月27日	倉居吉郎	野見山米吉	昨日御回答申し上げた給料は500とし、たのは誤りで450であると訂正	葉書	墨	1	
133	葉書	[明治38年] 5月28日	木村綱彦	麻生太吉	4月30日付でお送りした書簡の件について返事が無いが申し入れの件は否認でしょうか	葉書	墨	1	
134	往復葉書	明治38年5月23日	直方病院	麻生太吉	来る28日午前11時開院式挙行、宴会	葉書	印	1	
135	往復葉書	明治38年5月23日	直方病院	能(野) 見山米吉	来る28日午前12時開院式挙行、宴会	葉書	印	1	
136	葉書	[明治38年 5月8日 消印]	奥村久太郎	麻生太吉	本日は参上失礼、各朝に書いたが外生は後藤寺にいたので電報はそちらにお願います	葉書	墨	1	
137	葉書	5月23日	大城若桂想	麻生太吉	転居のお知らせ	葉書	墨	1	
138	葉書	明治38年10月	水野勝興	麻生太吉	緊要事報購読代金支払いの件	葉書	印	1	
139	葉書	[明治38年 10月6日 消印]	習校婦人健兵衛会登記 人	麻生太吉	寄付依頼	葉書	印	1	
140	書簡	[明治38年] 9月28日	古河鉱業会社西部鉱業 所	麻生太吉	日尾坑発火の件は幸にして大事にいたらず採業上何ら支障なし	紙	墨	1	封筒あり
141	書簡	明治38年10月11日	長瀬好勝、三輪次郎	麻生太吉	海軍御健良殿採掘受給人千早正次郎との係争について別紙の通り調停成立、別紙相俣契約書同綴	綴	墨	1	封筒あり
142	書簡	10月2日	早川徳太郎	麻生太吉	契約書草案協議の件について	紙	墨	1	封筒あり
143	葉書	明治38年10月3日	佐藤平太郎	麻生太吉	見送りお礼	葉書	印	1	破損あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
144	葉書	明治38年9月30日	佐藤平太郎	麻生大吉	退職あいさつ	葉書	印	1	
145	書簡	〔明治38年〕10月15日	狐崎一郎	麻生大吉	父親の病氣見舞い感謝、福京療養のう 父帰任のつもり	紙	墨	1	封筒あり
146	葉書	〔明治38年〕10月13日	古田栄一	麻生大吉	本月15日譚玄院初七日の仏事を営む件 週日は岡本氏一行参上種々御厄介にな り感謝、その際岡本氏を介して依頼し た千代田火災保険会社へ出張について は発起の中心の在京重役より特に申し 越している次第云々	葉書	墨	1	
147	書簡	〔明治38年〕9月12日	金塚仙四郎	麻生大吉	このたび当館修繕につき莫大の金員を 御寄付いただいたおかげで本日1日よ うやく完成に至った、ついでには御芳名 を永く伝へ記念とするので写真も送っ てほしい	紙	墨	1	封筒あり
148	書簡	〔明治38年〕12月25日	天真館	麻生大吉		紙	墨	1	封筒あり
149	書簡	〔明治38年〕12月28日	永江純一	麻生大吉	来月4日午後2時18分大塚田巻、同夜 9時50分下関巻列車で上京予定、御用 がなければその際に	紙	墨	1	封筒あり
150	書簡	〔明治38年〕12月27日	河島醇	麻生大吉	去る25日小倉での第十二師団歓迎会 は寄付をいただき感謝	紙	墨	1	封筒あり
151	書簡	〔明治38年〕12月25日	貝島伝平	麻生大吉	かねて御相談の坂手坑区の件に付、先年 来より炭師の都合により面白い客人も来 るが来た坑区の価格も概算中云々 明治 38年12月29日付貝島宛麻生書簡同封	紙	墨	2	封筒あり
152	書簡	明治38年12月29日	野見山藤太郎	麻生大吉	借金依頼	紙	墨	3	封筒あり
153	葉書	明治38年12月23日	額田村舞儀事務所	麻生大吉	故陸軍参謀長一等卒大塚茂五郎、同輜重 輸送隊長谷川谷吉葬儀会葬お礼	葉書	印	1	
154	書簡	〔明治38年〕12月21日	野田卯太郎	麻生大吉	政友会へ400円寄付感謝、政果は今後 西園寺内閣ができるかどうか	紙	墨	1	封筒あり
155	葉書	明治38年12月27日	須藤長三郎	麻生大吉	かねてご用命のあった足袋を今朝発送 出京前に方事打合せいたすべきこと ろ、多用のためできず上京時期も延引 してしまつた、再度内務大臣に面会 のため運動しているが、昨今内閣も動揺 し近いうちに変更は免れざるごとと想 像され、その時は後継内閣に向つて運 動を継続する云々	葉書	墨	1	
156	書簡	〔明治38年〕12月23日	伊藤伝右衛門	麻生大吉		紙	墨	1	封筒あり
157	書簡	〔明治38年〕12月25日	海津誠助	麻生大吉	立呂呂堂で採掘される種は白下へ冠で 燃料には甚だ不向きだが石がアラ原料に は最適と柳川商店で承ったがその件に ついて照会したい	紙	墨	1	封筒あり
158	書簡	〔明治38年〕6月1日	柏木守三	麻生大吉	このたびは母死去に対しわざわざ人を 遣わして下さり感謝	紙	墨	1	封筒あり
159	書簡	〔明治38年〕4月7日	大野仁平	麻生大吉	日本父子一件について銀行に照会した ところのことだがこの際せひとも御配慮 をもつて一応証書に変更の取り 計らつてほしい	紙	墨	1	封筒あり
160	書簡	〔明治38年〕4月8日	香月久内、渡辺壮兵衛	麻生大吉	故香月平七葬儀会葬お礼	紙	墨	1	封筒あり
161	葉書	〔明治38年〕4月6日	根本フキ	麻生大吉	母の死去について	葉書	墨	1	
162	葉書	〔明治38年〕4月9日	平井卯三郎	麻生大吉	令嬢到着、女学校へ安着した	葉書	墨	1	
163	葉書	明治38年3月26日	松本清盛	麻生大吉	自宅療養も許可が出たため退院	葉書	墨・印	1	
164	葉書	〔明治38年〕4月11日 〔清印〕	神宮奉祀会事務所	麻生大吉	御神楽奏行に関する助成願い	葉書	墨・印	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
165	葉書	〔明治38年〕4月10日	古川友枝	麻生太吉	先日のお見舞感謝	葉書	墨	1	
166	書簡	明治38年3月22日	福岡県立福岡工業学校 長 杉本源吾	麻生太吉	3月30日卒業証書授与式招待	紙	墨・印	1	封筒あり
167	葉書	明治38年3月22日	福岡県立小倉工業学校 長 中村陽次郎	麻生太吉	来る29日卒業証書授与式招待	葉書	墨・印	1	
168	葉書	明治38年3月19日	東筑中学校長 金澤来 蔵	麻生太吉	27日卒業証書授与式招待	葉書	墨・印	1	
169	書簡	明治38年3月22日	福岡県立福岡工業学校 長 杉本源吾	野見山米吉	3月30日卒業証書授与式招待	紙	印	1	封筒あり
170	葉書	〔明治38年5月13日 消印〕	鎮西〔 〕寄宿舎	麻生御主人	入学手続きについてカ	葉書	墨	1	破損
171	書簡	〔明治38年10月12日 消印〕	林真一	野見山米吉	先日麻生坑主訪問、その際貴殿のどこかへ相談に行くよう語を受けたので面会したい	紙	墨	1	封筒あり
172	葉書	明治38年11月26日	山本軍二郎	麻生太吉	本日24日発車、25日大連着	葉書	墨	1	軍事郵便、封緘葉書
173	葉書	〔明治38年10月7日 消印〕	下関石油合資会社	麻生太吉	船賃変更通知	葉書	へ・印	1	
174	葉書	明治38年4月27日	宮野村葬儀事務所 村 高武会長 梅原健次郎	麻生太吉	故陸軍歩兵上等兵桑野彌次郎葬儀に対し丁寧な吊詞、香垂料感謝	葉書	墨	1	
175	書簡	明治38年12月12日	栗田伴蔵、津村直次	麻生太吉	遠賀川改修一件もご高配により必ず好結果を得ることと思います。帰国後土木局長大塚氏、治水課長近藤氏に面会、出張調達の機極次務云々	紙	墨	1	封筒あり
176	葉書	〔明治38年4月27日 消印〕	伊東演劇	麻生御本家	4月28日正午開演の案内	葉書	へ・印	1	破損あり
177	書簡	明治38年4月	鷲塚清次郎	麻生太吉	鷲塚単嶋店移転のお知らせ	紙	印	2	封筒あり 下部破損のため判読不明
178	書簡	〔明治38年〕12月10日	藤田謙三郎	麻生太吉	久留米土族の件	紙	墨	1	
179	書簡	〔明治38年〕11月28日	福田三太郎	麻生太吉	先日の御書中であつた株券の件はどうなつたかお知らせ下さい	紙	墨	1	封筒あり
180	書簡	明治38年11月20日	貝島大助	麻生太吉	娘の婚儀が整つたので23日正午お越しいただきたい	紙	墨	1	封筒あり
181	書簡	10月28日	松嶋三太郎	麻生太吉	久留米受引は昨日済み、今朝抵当件移転登録を申請したところ、飯区2ヶ所となつたため、委任状2通を要すると頑固に主張され、やむを得ず本日登録完了はできなかつた	紙	墨	1	封筒あり
182	書簡	〔明治38年〕11月28日	柳井民平	野見山米吉	大朝町金光春吉氏が新坑開掘するが、貸車一台の入手に非常に苦むじているので、何とかできないか	紙	墨	1	封筒あり
183	書簡	明治38年11月25日	吉福忠藏	麻生太吉	上三密の笹栗佐田雄が所有している石炭坑区約3万坪を売却するかとのことを承つたが、そこは買下御所有の上三密坑の片體付近ではないか云々	紙	墨	2	封筒あり
184	書簡	〔明治38年9月27日 消印〕	国民新聞社	麻生太吉	新聞見本進呈	紙	印	1	封筒あり
185	書簡	〔明治38年〕10月4日	斎藤利助	麻生太吉	今般弊社燃料用石炭購入には豆田坑の義御中越されたものの、今回は他と契約したのであしからず御承引下されたたい	紙	墨	1	封筒あり
186	書簡	10月3日	島津竹次郎	麻生太吉	家庭整理もかねて志孝の三幅対を出品するかどうか、是非下書きも同封か(別筆)	紙	墨	8	本紙破損
187	書簡	〔明治38年〕9月30日	藤田謙三郎	麻生太七、麻生太吉	先日参つた際のご厚遇感謝	紙	墨	1	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
188	書簡		添田寿一	麻生大吉	婚期前に妻まで心得をいただき感謝	紙	墨	1	封筒あり
189	書簡	[明治38年] 9月4日	安田耕作	麻生大吉、麻生惣兵衛	弊村の文学士吉田某は目下折尾中学の教師をしているが、嘉穂中学校長に欠員がでたと聞いたので、ぜひ吉田を推薦したい	紙	墨	1	封筒あり
190	書簡	[明治38年] 10月7日	山本平内	麻生大吉	近況報告	紙	墨	1	封筒あり
191	名刺		松岡正福			専用紙	印	1	
192	書簡	[明治38年] 9月29日	永江純一	麻生大吉	来月4日より上京のつもりなので2日貴地へ行く予定	紙	墨	1	封筒あり
193	書簡	[明治38年] 11月5日	松嶋三十郎	麻生大吉	本日久留米へ出張、大石氏と面会し支那人及び貸付係主任のところを訪れようとしたが、日曜のため果せず帰列	紙	墨	1	
194	書簡	12月13日	新聞作太郎	麻生本店	愚意次六本日解隊、14日正午姫田着列車にて帰村	紙	墨	1	封筒あり
195	名刺		立花節			専用紙	墨・鉛	1	
196	[記]				経常費などの書き上げ	紙	鉛	1	
197	書簡	[明治38年] 10月2日	石井良夫	麻生店主	在職中のお礼	紙	墨	1	封筒あり
198	書簡	明治38年 9月	下関石油合資会社	麻生大吉	上松石油商標主日本代理者より類似商標の件に関する注意	紙	印・ペ	1	封筒あり
199	書簡	明治38年12月3日	忠愛新聞社々主 香歌 木下敏正	麻生大吉	事業参同のお願い	紙	墨・印	1	封筒あり
200	書簡	明治38年12月11日	警手郡尚武会長 戸田 健児	野見山米吉	招魂祭奉行の案内	紙	墨・鉛	1	封筒あり
201	書簡	12月30日	山名弘	麻生商店	お慶喜ご恩投感謝	紙	墨	1	
202	書簡	[明治38年] 8月3日	高橋光成	麻生大吉	週日の暴雨の節は無事だったか	紙	墨	1	封筒あり
203	葉書	12月1日	宮川武行	麻生大吉	九州は報社長長辞職のあいさつ	葉書	印	1	
204	感謝状	明治37年 7月1日	福岡県知事從四位勲三等 河島静 博多瓦斯株式会社 宮 城(朱印)	麻生大吉	直方警察署備品費として金100円寄付に對して	紙	墨	1	
205	書簡	12月15日	岩熊茂七	麻生大吉	250株所有の件につき、会社会計主任炭田亮却の件につきお礼	紙	墨・印	2	封筒あり
206	書簡	明治38年11月26日	岩熊茂七	麻生大吉	岩永昌輔が12月1日に入るので、絵を差し上げたい	紙	墨	1	封筒あり
207	書簡	11月28日	古田茂造	麻生御主人	今般の入宮については一方ならぬ御厄	紙	墨	1	
208	書簡	[12月2日消印]	西野正雄	麻生大吉	先般無断で当地に参り一度お詫びかたがた推参するはすだつたところ都合がつかず悪しからお詫し下さい	紙	墨	1	封筒あり
209	書簡	12月1日	■太郎	御旦那	赤間嘉之吉送別会案内	紙	墨	1	
210	葉書	[明治38年] 10月26日	原芳太郎	貴田敏一	結婚祝いに結構な品ご恩与感謝	葉書	印	1	
211	書簡	10月29日	河井清三郎	麻生大吉	御所有の飯区三ヶ所で先年石炭採掘をしたが、現在も採掘中止中ならばぜひ取り扱わせてほしい	紙	墨	1	
212	書簡	明治38年10月30日	許斐甚右衛門	麻生大吉	二男沖之助が長く嘉穂銀行でご厄介になつていたが、今回病死につき鄭重なる香花料をいただき感謝	紙	墨	1	封筒あり
213	書簡	明治38年10月22日	大屋悟七郎	麻生大吉	別紙委任状特便をもって差し出す、印紙代120円2本は真店で支出してもらえば特便にお渡し下さい 別紙松崎宛 上田書簡同封	紙	墨	2	封筒あり
214	書簡	10月28日	松嶋三十郎	野見山米吉、上田徳敬		紙	墨	2	封筒あり
215	葉書	明治38年10月10日	平野伊之吉	麻生大吉	多賀神社祭礼案内	葉書	印	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
216	書簡	明治38年11月1日	末永商店 末永吉助	麻生太吉	11月3日開店のあいさつ	紙	印	1	封筒あり
217	書簡	(明治38年) 11月9日	海津嘉助	麻生太吉	御所有意中意外の出来事の件御同情に堪えず云々	紙	墨	1	封筒あり
218	書簡	(明治38年) 11月23日	永江純一	麻生太吉	貝島家子算調整出来の通知が来たので26日貴地方へ罷出ないことにしたので貴商店の分もその頃までに御調整下さいました	紙	墨	1	封筒あり
219	書簡	明治38年11月10日	藤柳義敏 内山福五郎	麻生商店 野見山店長	電話修繕手佐山忠治郎採用を願う	紙	墨	1	封筒あり
220	招待状	明治38年11月25日	田島信六、益田孝	麻生太吉	例年通り来る28日井上伯誕生日に付銅樓開扉園遊会開催	葉書	墨・印	1	
221	書簡	10月26日	泊辰二郎	麻生太吉	先般米福園市で家庭新聞を登刊した新聞社より別紙の通り右新聞紙一部贈呈を依頼された	紙	墨	1	
222	書簡	10月20日	金光豊吉	麻生太吉	一昨日は突然参り無理な相談を申し上げましたか、ほどよく快諾していただいたのみならず、一方ならぬ厚遇を蒙り感謝	紙	墨	1	
223	書簡	10月24日	山田揆一	麻生太吉	過般御地出張の節は厚遇いただき深く感謝	紙	墨	1	
224	葉書	明治38年10月21日	嘉穂郡婦人慈善会 田幹代	麻生ヤス	本日24日評議員会開会	葉書	墨	1	
225	葉書	(明治38年) 10月30日	洋服商 岩権商会	麻生太吉	注文の品発注の件	葉書	へ	1	
226	葉書	(明治38年) 10月16日	清々餐二年四組担任教師 武藤晋太郎	麻生太吉	麻生太郎病氣のため欠席だったかその後はいかにか	葉書	墨	1	
227	書簡	(明治38年) 10月30日	松岡嘉七郎	麻生太吉	大分出張のこと伝承、該坑については美に複雑な事情があり、小生も少々関係もあるので詳細はお話申し上げ、かつご希望もあれば参上する	紙	墨	1	封筒あり、破損あり
228	書簡	(明治38年) 12月16日	庄崎伊八郎	麻生太吉	出立の節は御厚情感謝、ようやく近頃帰郷	紙	墨	1	封筒あり
229	書簡	明治38年12月15日	上野忠次郎ほか3名	麻生太吉	故陸軍騎重輪卒上野正平出征中病氣のため10月21日奉天病院で死去、葬儀開催通知	紙	印	1	封筒あり
230	書簡	明治38年12月17日	松居織工場	麻生太吉	お慶喜運呈	紙	墨	1	
231	書簡	(明治38年) 12月12日	赤間嘉之吉	麻生太吉	行き違いとなりお会いできず残念、昨今は民疫長官上京中一時財務部長代理を命じられ一層多忙、当地渡航日本人は相変わらず増加、新渡航者は家屋なきに困っている	紙	墨	1	封筒あり、軍事郵便
232	書簡	明治38年12月14日	審美書院	麻生太助	浮世絵派画集予約出版の案内	紙	印	1	封筒あり、封筒の差出人は日本真美協会先は麻生太吉
233	葉書	明治38年12月15日	神宮敬神祈祷会事務所	麻生太吉	平和克復奉祝、国家隆盛家内安全祈願の御神楽奉奏の件	葉書	印	1	封筒あり
234	書簡	(明治38年) 12月31日	松崎三十郎	麻生太吉	本年度報酬として5000円拝受	紙	墨	1	封筒あり
235	書簡	(明治)	松居織工場	麻生太吉	先般御来博のときに注文された博多織男帯、長懸帯は送引しており本日ようやく織り上がったので送付いたします	紙	墨	2	
236	書簡	(明治38年) 12月14日	高橋義雄	麻生太吉	結帯なる御品頂戴、恐縮のいたり	紙	墨	1	封筒あり
237	書簡	12月15日	吉間啓七郎	麻生太吉	故嘉久之助葬儀に御会葬感謝	紙	墨	1	封筒あり
238	書簡	12月14日	柏木勘八郎	麻生太吉	過般上京の際は御介介になり感謝	紙	墨	1	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
239	葉書	明治38年12月16日	門司倶楽部会長 安川敬一郎	麻生太吉	第十二師団将校歓迎祝賀会開催案内	葉書	印	1	
240	書簡	[明治38年] 8月3日	卜部正六、岡崎	麻生太吉	週日来の大洪水で貴地には非常の損害あり、とりわけ長坑の被害は少なからざる出国元より拝承	紙	墨	1	封筒あり
241	書簡	[明治38年] 7月9日	松田武一郎	麻生太吉	約束の書類は2、3日遅れる	紙	墨	1	封筒あり
242	書簡	明治38年8月3日	西澤藏太郎	麻生太吉	新聞によれば県下一帯非常の暴雨で被害も多かつたと聞くが、いかがだったか	紙	墨	1	封筒あり
243	書簡	10月17日	轡手郡長 戸田健児	麻生太吉	内務技師一行本日午前貴坑視察の予定だったが、雨天のため見合わせ	紙	墨	1	封筒あり
244	書簡	明治38年8月7日	馬越恭平	麻生太吉	過日の洪水見舞い	紙	墨	1	封筒あり
245	書簡	[明治38年] 8月9日	木村順太郎	麻生太吉	昨夜の暴雨御無事か	紙	墨	1	封筒あり
246	書簡	[明治38年] 8月17日	越智漸	麻生太吉	河井先生の周施により貴店に採用されたので出発する予定だが、数日前より風雨が強いので、週間ほど時間かまはしい	紙	墨	1	封筒あり
247	書簡	[明治38年]	長岐繁	野見山米吉	週日は丁寧な見舞状感謝、病人も近日快方の予定なので、必ず出発するつもり	紙	墨	1	封筒あり
248	書簡	[明治38年] 9月4日	井芹経平	麻生太吉	太郎君病気見舞い、輸入の件について	紙	墨	1	封筒あり
249	書簡	[明治38年] 9月13日	早川徳太郎	麻生太吉	本日届出履は可能か、あるいは当分差し障りあるか、早川宛麻生書簡(返信案か)同封	紙	墨	2	封筒あり
250	葉書	[明治38年] 7月7日	富川■米三	麻生太吉	及第の報告	葉書	墨	1	
251	葉書	[明治38年] 7月16日	安田勇吉	麻生太吉	ようやく攻撃軍として出征	葉書	墨	1	
252	葉書	[明治38年] 8月7日	瓜生善美	麻生太吉	大雨洪水の見舞い	葉書	墨	1	
253	葉書		吉田公正	麻生太吉	先日のご厄介となり感謝	葉書	墨	1	
254	葉書	[明治38年] 8月7日	鈴木重美	麻生太吉	私共去る25日安着	葉書	墨	1	
255	葉書	[明治38年] 8月7日	松岡勝太郎	麻生御本家	在職中のお礼、洪水被害見舞い	葉書	墨	1	
256	葉書	[明治38年] 8月8日	藤野三郎	麻生店主	洪水見舞	葉書	墨	1	
257	書簡	明治38年8月4日	貝島太市	麻生太吉	週日來大洪水で非常の出水ありとのこととお見舞い	紙	へ	1	封筒あり
258	葉書	[明治38年] 9月14日	吉田作造	野見山米吉	明日よりようやく閉店	葉書	墨	1	破損あり
259	書簡	[明治38年] 9月16日	長岐繁	野見山米吉	小子他任の儀段々延引いたし申し訳ない次第、来る19日には出発のつもり	紙	墨	1	封筒あり
260	葉書	明治38年8月16日	太田清蔵ほか9名	麻生多吉	富安保太郎ほか4名瀧渡視察帰郷歓迎会開催案内	葉書	印	1	破損あり
261	葉書		伊藤俊雄母	麻生太吉	盆会の際贈重なる供物をいただき感謝	葉書	墨	1	破損あり
262	書簡	[明治38年] 11月26日	株式会社十七銀行頭取 岡田三吉	麻生太吉	頭取就任お披露目の案内	紙	印	2	封筒あり、返信用葉書同封
263	書簡	[明治38年] 9月21日	永江純一	麻生太吉	小生速からず上京の予定で臨時議会招集が分かり次第出発したいか、延引の場合、10月初旬には出発するつもり	紙	墨	1	封筒あり
264	書簡	[明治38年] 9月28日	堀昌造	野見山米吉	週日は遠路わざわざ御訪問くださり感謝	紙	墨	1	封筒あり
265	書簡	5月17日	直方婦人会	麻生太吉	別紙趣意書の通り本月18日より3日間慈善演芸会開催	紙	墨	1	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
266	書簡	(明治38年) 10月14日	永江純一	麻生太吉	山陽線の汽車衝突のためよやく8日午後着。英艦隊入京歓迎強く30日前の東京とは別天地である。早川、波多野両氏に面会の件、全坑純益の6を三井、4を希留に払い入れ云々	紙	墨	1	封筒あり
267	電報	9月15日	チカエ	アソウタキチ	18日まで他行、都合いかか	専用紙	印	1	
268	日本至誠婦人会第1回事務並二会計報告	明治37年 4月	日本至誠婦人会			紙	印	1	破損あり
269	電報	(明治37年) 5月4日	カワシキ	アソウタキチ	アミタジキニソウワタンスルコデアラウカ	専用紙	印	1	
270	書簡	明治37年5月4日	貸付係	上田穂敬	増担保書証書縮結について	紙	べ	1	封筒あり
271	書簡	明治37年5月2日	浦上皆渡	麻生太吉	日島氏紹介の岡崎の手に関して	紙	墨	4	封筒あり
272	書簡	5月8日	麻生酒屋	麻生太吉	午後二時に来助できないか	紙	墨	1	封筒あり
273	書簡	明治37年4月25日	村津郡太郎母	麻生太吉	鄭重なる贈品感謝	紙	墨	1	封筒あり
274	書簡	(明治37年) 3月15日	井芹経平	麻生太吉	昨今の取り調べで本學生徒数定員となり、いかなる人も転学を拒絶せざるを得ないことになった云々	紙	墨	2	封筒あり
275	書簡	明治37年 4月21日	浦上皆渡	麻生太吉	金光氏の件につき去る13日は有田氏へ架電したが帰毛していなかったのせらに書面を送った云々	紙	墨	2	封筒あり
276	書簡	(明治37年 4月) 18日	井芹経平	麻生多吉 (マサ)	御令息の転学について嘉穂中学校長との間に手違いがあり申し訳ない、転学の際の編入学年について	紙	墨	1	封筒あり
277	書簡	明治37年 4月27日	大谷米一郎	麻生太吉	■田万次郎と中野徳次郎との間で数年連続し争いのあった二炭鉱区について	紙	墨	1	封筒あり
278	書簡	(明治37年) 4月21日	井上明瑞	麻生太七	第1脚回国昨19日動員下命に接したので出発も近日中になると思われる、軍機秘密にて何事も不明だが非人的露軍との接戦となれば期するところ御高察下されたい	紙	墨	1	封筒あり
279	書簡	4月25日	野田卯太郎	麻生太吉	書簡が行き違いとなり失礼	紙	墨	1	封筒あり
280	書簡	明治37年 4月23日	帝國商業銀行門司支店	麻生太吉	去る28日私込の全員別紙計算書の通り	紙	墨	2	封筒あり
281	書簡	(明治37年) 4月10日	古賀貞一	麻生太吉	就学後は順調、日韓同盟成立の上は將來卒業を志す者は朝鮮事情も大いに調査する価値がある	紙	墨	1	封筒あり
282	書簡	3月18日	熊谷玄旦	麻生太吉	豊坂元長氏貴家の依頼状持参、養子の件	紙	墨	1	封筒あり
283	書簡	6月4日	野田卯太郎	麻生太吉	御承諾いただけなかった件、新たに事情発生	紙	墨	1	封筒あり
284	書簡	明治37年6月1日	合名会社三井銀行門司支店	麻生太吉	第2回回債1億円募集の件、軍国奉公のためぜひ応募されたい	紙	印・墨	1	封筒あり
285	書簡	(明治37年) 6月1日	竹田貞松	麻生太吉	鎌倉への引越延引、貴地訪問遅れる	紙	墨	1	封筒あり
286	書簡	明治37年5月3日	上穂浪打葬儀事務所	麻生太吉	故重軍兵野上儀次郎旅順で戦死、来る6月1日葬儀案内	紙	墨	1	封筒あり
287	書簡	明治甲辰5月	宮園融	麻生太吉	印刷、絵画請負のお知らせ	紙	印	3	封筒あり
288	葉書	5月29日	松本良七	麻生太吉	転居のお知らせ	葉書	墨・印	1	破損あり
289	電報	明治37年5月19日	三井キヤコ	アソウタキチ	ハヤシソウワタニスツキニソウワタンスルコデアラウカ	専用紙	印	1	
290	電報	明治37年 5月28日		アソウタキチ	ケアトルハナチンセントスル センジンノ五〇トソナセワリビキセラゼンライニテウエウタモノユクレソソガイコナル				

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
岡 291	電報	明治37年5月23日	カイタ	アソタキチ	デノミタコソ五ニテソノテウ	専用紙	印	1	こより、別紙あり
岡 292	電報	明治37年5月7日	イヌツカ	アソタキチ	一一ヒコロマデトウチイニナル	専用紙	印	1	こより、別紙あり
岡 293	書簡	〔明治37年8月18日 消印〕	若松 三井物産会社	麻生商店	中元贈答品について	紙	墨	1	岡 293はこよりで一括、封筒あり
岡 293	葉書	〔明治37年〕8月21日	熊本一郎	麻生太吉	中元にサッポロビールを送ります	葉書	墨	1	破損あり
岡 293	書簡	明治37年8月5日	堀銀業事務所	麻生商店	本舗社員採用年月日照会のため、履歴 書綴及び職員名簿を安永乙吉君へ引き 継ぎ	紙	墨	1	封筒あり
岡 293	書簡	〔明治37年〕8月6日	古賀貞一	麻生商店	本月分学資金については何卒御送金下さ い	紙	墨	1	封筒あり
岡 293	書簡	〔明治37年〕8月7日	庄野与助	麻生太吉	週日はお世話になり感謝	紙	墨	1	封筒あり
岡 293	葉書	8月6日	神尾金弘親戚一同	麻生太吉	故神尾金八流義式米会お礼	葉書	印・墨	1	
岡 293	葉書	〔明治37年〕8月6日	鉄道時報局 木下立安	麻生太吉	石炭売買価格平均額調は週月15日まで にご送付下さるべきところろ6月分未着 監督署より督促あり云々	葉書	印	1	
岡 293	葉書	〔明治37年〕8月9日	筑豊石炭鉱業組合事務所	麻生鉱業事務所		葉書	墨	1	破損あり
岡 294	書簡	明治37年7月25日	浦上皆渡	麻生太吉	麻生商店よりの抵当の件	紙	墨	2	こよりあり、岡 294を 一括、封筒あり
岡 294	書簡	明治37年3月9日	伯爵 広沢金次郎	麻布太吉		紙	印	1	封筒あり
岡 295	書簡	〔明治37年〕7月21日	広崎哲郎	麻生太吉	藤棚はご面倒のことと承っています、 近日中お伺いする	紙	墨	2	封筒あり
岡 296	葉書	明治37年7月20日	緒方芳太郎	麻生太吉	内国通運株式会社入社、長崎支店在勤	葉書	印	1	封筒あり
岡 297	書簡	〔明治37年〕7月27日	許斐彌助	麻生太吉	暑中見舞い	紙	墨	1	封筒あり
岡 298	書簡	7月19日	許斐彌次郎	麻生太吉	明20日春帆楼で晩餐会の案内	紙	印	1	封筒あり
岡 299	書簡	明治37年7月14日	室田義文、仙石貞	麻生太吉	明15日門司倶楽部にて伊藤候一行と昼 食の案内	紙	印	1	封筒あり
岡 300	書簡	〔明治37年〕7月9日	藤田可社母	麻生太吉、安	太石衛門殿結婚お祝い	紙	墨	1	封筒あり
岡 301	書簡	〔明治37年〕7月8日	橋本正彰	麻生太吉	御融通ないとのことでは先般馬越会長長 門の降下並びに貝島氏御来談の次第 もあり具体的な提案があったとのこと ですが、特に連絡もなく本月末の総会 に付き小生明後日出発上京するので大 体の決定をお知らせ願う	紙	墨	1	封筒あり
岡 302	書簡	7月13日	浦上皆渡	麻生太吉	三十銀行休業の件	紙	墨	1	封筒あり
岡 303	書簡	〔明治37年〕7月18日	貝島大助	麻生太吉	東京三井本店渡辺専次郎氏昨日来門に 付取りあえずこちら事務員一人を 挨拶に派遣、来る20日各支店関係者集 合とのことをお知らせする	紙	墨	1	封筒あり
岡 304	書簡	〔明治37年〕7月4日	陸軍砲兵軍曹 林田晋	麻生太吉	週日は軍人の好物ご恵与感謝、戦友と 共に配与	紙	墨	1	封筒あり
岡 305	電報	明治37年7月24日	カネ	アソタキチ	アソタキチ	専用紙	印	1	
岡 306	書簡	〔明治37年〕6月29日	第一軍第拾弍師団衛生 子輔藏 山本高平	麻生太吉	在職中の御厚恩感謝、出征の件は重ね てお助けを添なくし感謝	紙	墨	1	封筒あり
岡 307	葉書	7月10日	田中八重吉	麻生御本家	出征の命いよいよ発令、15、16日頃出発	葉書	墨	1	破損あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
308	書簡	[明治37年] 7月9日	大石吉蔵	麻生太吉	別紙の通り勘定書送付	紙	墨	1	封筒あり
309	書簡	5月15日	花村久兵衛	麻生太吉	妹の件よろしくお願ひする	紙	墨	1	封筒あり
310	書簡	明治37年7月9日	株式会社嘉徳銀行	麻生太吉	本月12日重役会は都合により13日開き、本期刊益、配当案など協議の予定	紙	墨	1	封筒あり
311	書簡	[明治37年] 7月16日	浦上皆渡	麻生太吉	過日鶴田より内談の件はお聞き及びと思ひやうかとよく考慮のうえ御答へする云々	紙	墨	2	封筒あり
312	書簡	明治37年7月16日	広沢哲郎	麻生太吉	昨日大阪桑今朝大名町に着て大阪出發の折京都より書状なり汽車中に見たところやばり石炭の件で藤柳の分を貰いたい云々	紙	墨	6	封筒あり
313	書簡	明治37年7月9日	株式会社嘉徳銀行	麻生太吉	本月24日第17回定時株主総会開催通知、貸借対照表、委任状同封	紙	印	3	封筒あり
314	書簡	明治37年7月13日	広沢哲郎	麻生太吉	京都入札は安川の落札のためにも残念、貴下の御値段は如何か、藤柳なれば少々も明治より高くも是非と申す折解、本意を暴けず深く遺憾云々	紙	墨	4	封筒あり
315	葉書	[明治37年] 7月20日	鳥屋 平野かね	麻生太吉	畷中見舞	葉書	印・墨	1	
316	葉書	明治37年3月	井上明端	麻生太吉	今回布教師として第11師団司令部に随行	葉書	印	1	破損あり
317	書簡	6月1日	聖福寺戒壇修築事務所	麻生太吉	修築密附金の義はいかががでしようか	紙	墨	1	封筒あり
318	書簡	[明治37年5月]	国見山悦吉	麻生	明治37年5月23日より回向院境内で開催の天相撲の番付	紙	印	2	封筒あり
319	書簡	5月28日	竹田貞松	麻生太吉	明日日家庭を鎌倉に移し6月4、5日頃出発、御地訪問	紙	墨	1	封筒あり
320	葉書	[明治37年] 7月9日 [消印]	林田音吉	麻生太吉	招集の命が来て出征の際にご患手感謝	葉書	へ	1	
321	書簡	[明治37年] 7月17日 [消印]	吉田馬次郎	麻生太吉	ご相談申し上げた酒の件はいかがが	紙	印	1	封筒あり
322	葉書	明治37年7月	明治生命保険株式会社	麻生太吉	戦時保険料の件	葉書	印	1	
323	書簡	明治37年4月15日	合名会社三井銀行門司支店	麻生太吉	再三照会した貸金増担保として①藤柳炭坑を書き入れること、②芳雄、豆田借先附属不動産を書き入れること、③同上不動産を譲渡すること、並びに月賦金猶予に関する証を書き入れることの催促	紙	墨	1	封筒あり
324	葉書	明治37年7月6日	門司倶楽部	野見山米吉	会費入金依頼	葉書	へ	1	破損あり
325	葉書	明治37年[]	香安寺建築事務所	麻生太吉	本流改築工事完成、竣工式挙行について	葉書	墨	1	破損あり
326	葉書	明治37年5月	下関橋義婦總會	阿曾太吉	5月15日より義向弁天塚で演芸会開催、義捐金募集し出征軍人及び家族へ寄贈、題目・優待券など同封	紙	印	6	封筒あり
327	往復葉書	[明治37年] 5月14日 [消印]	伊勢山田神宮奉持會本部	麻生太吉	支社の依頼	葉書	印	1	
328	書簡	明治37年5月12日	三井物産合名会社門司支店	麻生商店	組合就主本月15日開会のところ日曜日なので1日延期	紙	印	1	封筒あり
329	書簡	明治37年5月14日	合名会社三井銀行門司支店貸付係	上田隠敬	先日村上商人役場で増担保差入公正証書締結の件では感謝、その節申し上げた不動産登記準備は完了のはずと思ひやいかか	紙	墨	2	封筒あり
330	葉書	明治37年5月13日	筑豊石炭業組合事務所	麻生太吉	通常議定会定日変更のため27日開催	葉書	印	1	破損あり
331	書簡	5月11日	古賀貞一	麻生商店	本月分学資金何卒お送金下さいましたし	紙	へ	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
332	葉書	5月10日	株式会社嘉穂銀行	麻生大吉	来る12日定時重役会開催	葉書	1	破損あり
333	葉書	5月11日	大屋政吉	麻生大吉	稲葉地区の件監督所の手紙きの書類送付	葉書	1	破損あり
334	診断書	明治37年5月14日	荒木典次郎	上田隠敬	直嶋カタルにつき1週間の加療を要す	紙	1	
335	電報	明治37年5月20日	アツ	アノラケヒチ	イモモジニエウク	専用紙	1	
336	書簡	明治37年5月13日	姫塚稅務署	麻生商店	貴店職員の手紙等と御通帳のどこる右は原籍地及び戸主家族の現住所明記のうえ折り返し送付されたい	紙	1	
337	通知状	5月4日	笠松村役場		貴管内における大工木税及び銀治職人にして第十二師団本年度動員に際し雇入、若しくは徴用必要の件照会あり	紙	1	
338	明治三十七年五月二日常議員会決議録	明治37年5月	筑豊石炭業組合事務所			紙	1	
339	葉書	明治37年5月5日		麻生大吉	来る8日嘉穂中学校で教育支会総集会開会	葉書	1	表かすれのため差出人(未印)判読不可
340	葉書	〔明治37年7月9日消印〕	株主 大橋渡	麻生大吉	第2会株金払込期日の件	葉書	1	
341	葉書	〔明治37年4月26日消印〕	中垣直人	麻生商店	今度の寄宿舎は小石川に新築したものに移転し、学校とはあまりに遠くなったので引越した	葉書	1	
342	書簡	〔明治37年〕4月30日	古賀貞一	麻生商店	本月分学資金8円本日第三銀行より受取、去る3日墨田川で当校春期端艇競漕会開催	紙	1	封筒あり
343	書簡	〔明治37年〕4月8日	古賀貞一	麻生商店	近半箱にみる出水、貴邸及び各炭坑は無事だったか、予て御送付の認可証に對し落成届正副二通拜受	紙	1	封筒あり
344	書簡	4月27日	久米	上田	自転車屋の広告	紙	1	封筒あり
345	書簡	明治37年4月29日	谷作太郎	麻生大吉	弟の林田晋に對する厚意感謝	紙	1	封筒あり
346	書簡	〔明治37年〕5月4日	林田長次郎	麻生大吉	従軍に際し御救助感謝	紙	1	封筒あり
347	書簡	〔明治37年〕4月17日	麻生大吉	麻生大吉	病氣のため辞職したい	紙	1	封筒あり
348	書簡	〔明治37年〕4月24日	林田久米太郎	上田隠敬	去月29日充員召集、騎兵第一連隊に編入	紙	1	
349	書簡	4月5日	八木圓光之助	麻生大吉		紙	1	
350	書簡	4月20日	対馬要警砲兵隊 砲兵 軍曹 林田晋	麻生大吉	御令息様結婚祝い	紙	1	封筒あり、軍事郵便
351	書簡	明治37年5月3日	株式会社嘉穂銀行	麻生大吉 花村久助	御結契の当座預金貸越は極度超過を生じ整理上大に差し支えあるため至急御入金下さいたい	紙	1	封筒あり
352	書簡	〔明治37年〕4月30日	公爵毛利家財産部 田島信夫	麻生多吉	先日馬間出張の際贈品感謝	紙	1	封筒あり
353	書簡	5月7日	鶴田正義	麻生大吉	先日御面会願った終仕の件はその後親元とも尚熱談のうえ職工とする事になったが、その職場も怠には見つからないので御迷惑ながら真工場銀工部で働かせることはできないか	紙	1	封筒あり
354	書簡	〔明治37年〕4月24日	桑原次郎	麻生大吉	出発の際御懇情感謝、一死を以て国恩に殉ずるのみと覚悟	紙	1	封筒あり、軍事郵便
355	書簡	〔明治37年〕4月27日	吉川真之助	麻生大吉	召集の際の厚意御礼	紙	1	封筒あり、軍事郵便、破損あり
356	書簡	明治37年3月7日	郡立嘉穂中学校長 福島 島邊	麻生大吉	本月24日第2回卒業証書授与式挙行案内	紙	1	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
357	書簡	明治37年5月22日	大谷村葬儀事務所	麻生太吉	故張兵一等卒伏原貞吉葬儀明日3日執行本日電報で申し越した件の大儀に關する相談は貝島氏と三井物産との協議を待つて交渉してもよいか、昨年度利息3000円並びに本年1～3月分利息約3000円だけはせひとも来る20日までにお支払下されたし	紙	印	1	封筒あり
358	書簡	明治37年4月16日	橋本正彰	麻生太吉	津羽黒坑の件では種々御配慮の段感謝、明日又は明後日の内見島桐野坑見舞のつもり	紙	墨	2	「二十七年四月廿一日巳前津兵」と墨書貼付、封筒あり
359	書簡	1月4日	中野徳次郎	麻生太吉	11月6日に弊社短艇遊覧会開催先日は御挨拶感謝、時局に鑑み該事業は中止云々炭鉱も時局に際し格別の困難だと拝察するが、ますます拡張の趣かと存ず、小生方も土地を渡した後は何とか過ごしている、麻生発言川宛返信同封	紙	墨	1	封筒あり
360	書簡	明治37年10月26日	九州鉄道株式会社 仙石眞	麻生太吉	先日は御挨拶感謝、時局に鑑み該事業は中止云々炭鉱も時局に際し格別の困難だと拝察するが、ますます拡張の趣かと存ず、小生方も土地を渡した後は何とか過ごしている、麻生発言川宛返信同封	紙	印	1	封筒あり
361	書簡	明治37年4月15日	聖福寺住職 龍測東藏	麻生太吉	去る25日以降非常なる洪水のため定めお見舞のため参上	紙	墨	1	破損あり
362	書簡	9月28日	吉川幹次	麻生太吉	古賀作助死去の際の香典御物ご惠贈感謝	紙	墨	2	文字かすれあり
363	葉書	9月6日	瓜生寅□	麻生太吉、麻生商店	本日電信にて藤棚炭坑入札は三井にお任せとなった入札名義はどうなるのか云々	葉書	鉛	1	封筒あり
364	書簡	6月30日	卜部五六	麻生太吉	先日交渉の件今日まで延引、については村方よりも再三貴殿に交渉依頼し来たものの、ご不在のため残念	紙	墨	1	封筒あり
365	書簡	明治37年6月23日	古賀政之助ほか2名	麻生太吉	加藤、吉川などが債務のため小生多大の迷惑をこうおわっている件について一件については御配慮感謝	紙	墨・印	1	封筒あり
366	書簡	6月28日	広沢哲郎	麻生太吉	同盟会粉炭入札のことは三井にお任せになる件を電信にて承知、今朝別紙到とに少量なればあまえて介入するごもなかと懸うが京下工業社会において年中の燃料の入札なれば重大だと存じています云々	紙	墨	1	封筒あり
367	書簡	10月11日	安永乙吉	麻生店主	小村支店監査の件	紙	墨	1	封筒あり
368	書簡	[明治37年]	井上昂	麻生太吉	ごよりと包紙の残り	紙	墨	2	封筒あり
369	書簡	6月13日	城石弥一郎	麻生太吉	今般不慮不慮日刊下週日の出新聞創刊追加契約のかかる担保について	紙	墨	2	封筒あり
370	書簡	[明治37年] 6月30日	広沢哲郎	麻生太吉	ダンホソソジツライイチャク、裏面に返信案あり	紙・葉書	墨	3・1	別紙 書簡・葉書同封
371	書簡	6月28日	浦上皆渡	麻生太吉	病案お見舞い、小生貴地到着時店員より案内されたことについて	紙	墨	1	
372	[雜]			麻生太吉		紙	墨	2	
373	書簡	明治40年3月23日	渡瀬寿之吉	麻生太吉		紙	墨	2	封筒あり
374	書簡	21日	大谷	上田		紙	墨	1	破損あり
375	電報	明治40年4月1日	▽キタ	アソウタキチ		専用紙	ペ	1	
376	書簡	[明治40年] 4月2日	大竹勝一郎	野見山米吉		紙	墨	1	
377	封筒	[明治40年3月] 27日	大竹勝一郎	野見山米吉		封筒	墨	1	
378	名刺		幸田敬業所			紙	印・墨	1	破損あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
379	監督女塾建築寄附金募集趣意書		東京青山学院 長夫人 本多貞子ほか3名	麻生太吉	通観博多の是松有三郎、太田清藏画氏 出生、小生を訪問されて、女子寄宿舎 建立助力の依頼あり、特に筑豊の有名 な紙業家に紹介を頼むとのこと 15日に函達会開催案内	紙	印	1	
380	書簡	2月15日	市吉徹夫	麻生太吉	昨年米外資輸入に付運動の結果このほ ど30万円年率六分利子付で出来、当地 セメント製造所を創立、自ら経営を行 うため目下準備中云々	紙	墨	2	封筒あり、別紙あり
381	書簡	〔明治40年〕4月11日	金子辰三郎	野見山米吉	福岡市藤江町の古物店家屋敷の売却に ついて伺い	紙	墨	1	封筒あり
382	書簡	〔明治40年2月23日 消印〕	栗原幸一	麻生太吉	22日の書状拝読、上毛郡長云々の事に ついて	紙	墨	1	封筒あり
383	書簡	〔明治40年〕2月23日	村上義太郎	麻生太吉	先日の御話に後藤総裁渡瀧の節若松又 は馬間にて重なる紙業家と云台のこと を御希望とのこと総裁へ伝言、総裁も 希望するところなので日時調整、2、 3ヶ所所長坂巡視したい	紙	墨	1	封筒あり
384	葉書	〔明治40年〕2月23日	吉武	麻生太吉	本日朝無事到着	葉書	墨	1	破損あり
385	書簡	〔明治40年〕2月27日	大塚信太郎	麻生太吉	昨年岩郷後種々考慮の末、一、二の事 業を思い立つも、ある事情のため成立 せず云々	紙	墨	1	封筒あり
386	葉書	2月27日	青柳才吉	麻生商店	大塚氏の贈り物についてはこの頃よう やく金田などの紙より承諾を得た云々	葉書	べ	1	
387	書簡	〔明治40年〕3月1日	吉川真之助	麻生太吉	これまで原六郎が経営してきた大任状 紙を譲渡された	紙	墨	1	封筒あり
388	書簡	〔明治40年〕2月28日	峠延吉	麻生太吉	病氣見舞に結構なお品感謝、その後の 病状	紙	墨	1	封筒あり
389	葉書	2月18日	〔 〕	上田徳敬	松崎御所有の山村反別調書並びに建物 坪水全部の平面図を至急贈写してお送 りいただきたい	葉書	墨	1	破損あり
390	書簡	明治40年2月27日	豊前探炭株式会社社長 遠野総一郎	麻生太吉	「店主宛来朝」と墨書あり	紙	印・墨	1	
391	〔紙〕					紙	墨	1	
392	書簡	〔明治39年〕	中根寿	麻生太吉	病状	紙	墨	1	封筒あり
393	書簡	〔明治39年〕12月12日	吉武吉之進	麻生太吉	先般来英語教師お世話の件で過分の金 員お恵与多謝	紙	墨	1	封筒あり
394	書簡	12月12日	井手馬太郎	麻生太吉	先般来直方病院の件につき種々御懇情 感謝	紙	墨	1	封筒あり
395	書簡	〔明治39年〕12月14日	河内野弘道	麻生太吉	老病のため面会できず失礼	紙	墨	1	封筒あり
396	書簡	2月8日	熊本健石衛門	麻生太吉	光雲神社移転寄付金の件	紙	墨	1	封筒あり
397	書簡	明治40年2月22日	松田武一郎	麻生太吉	別紙草案加除差し出す、小生西京から 帰宅後韓国へ出張の予定、別紙同封	紙	墨	1	封筒あり
398	書簡	〔明治40年〕1月11日	松崎三十郎	麻生太吉	昨日帰宅	紙	墨	2	封筒あり
399	葉書	〔明治40年〕1月24日	松崎三十郎	麻生太吉	預金のうち7000円人用につき、本は当 地にて受取り門司にて貴方勘定の内よ り差引くことに取り計らう云々	葉書	墨	1	
400	書簡	明治40年1月19日	小村正直	野見山米吉	恭賀新年	紙	墨	2	封筒あり
401	書簡	明治40年1月元旦	古河紙業公社 業所	藤柳炭坑		紙	墨	1	封筒あり
402	書簡	明治40年1月6日	河内野弘道	麻生太吉	小生直方病院に入込むことに決定した のでご意見を拜承したい、別紙同封	紙	墨	2	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
403	封筒		町会議員一同、町長 津田健太郎、助役 尾虎輔	麻生大吉		封筒	墨	1	
404	御注文御送金の郵便法		丸善株式会社			紙	印	1	
405	書簡	1906年10月14日	麻生鶴十郎	麻生商店	小生も無事ニューヨークに到着、当地 学校へ入学のこと	紙	へ	1	封筒あり
406	書簡	明治39年10月6日	戸田健児	麻生大吉	日本赤十字社員並びに愛国婦人会の ことについては他郡に比し最も少数な ので、近来その筋より切に増募督促が ある。ついでには藤棚炭坑内在籍者に加 盟の賛成をお願いしたい。	紙	墨	1	破損あり
407	書簡	12月21日	葉舟師 原芳太郎	麻生大吉	貴所私設電柱今般細葉所有の字豊後町 内地において掘付となり本人発見、右 内にかかっている事情で無断設立となつたの か。	紙	墨	1	封筒あり、封筒表に貼 紙あり
408	書簡	(明治39年) 12月26日	志田伝	麻生商店	1月分学資金ありがたく拝受、大学は すでに冬休休業となり各学生の帰省も 多く見られます、休職中はぜひとも何 いたいのですが、昔様御多忙のため正 月に入ってからを考えたい。	紙	墨	1	封筒あり
409	書簡	12月22日	相生田太郎	麻生大吉	一昨夜無事帰店、犬塚は遅くとも24日 には到着、4、5日滞在のはず、同人 はこの間に色々の用を済ませるつもり 云々	紙	墨	1	封筒あり
410	書簡	明治39年12月22日	赤松治郎	麻生大吉	御令姉逝去のお悔やみ	紙	墨	1	封筒あり
411	書簡	12月21日	峠延吉	麻生大吉	御賢師様死去のお悔やみ かねて御承諾の定約一件先般来より再 度お伺い申し上げるも何の反応もな く、先月飯塚で瓜生に委細伺つたど ろ、應と事務所と話し合つて直げとの こと云々	紙	墨	1	封筒あり
412	書簡	明治39年6月23日	野見山参七ほか3名	上田隠敬	小生日に病気のところだが安心くだ さい、当地での暮らしについて 区内一同定約の報酬金として一昨年 10月すつ下されとのこと	紙	墨	1	封筒あり
413	書簡	12月5日	白井武助	野見山米吉	週日罷出の際は御多用中にもかかわら ず種々敬待感謝	紙	墨	1	封筒の宛名は「野見山 米吉」
414	書簡	明治39年12月10日	野見山参七ほか3名	上田隠敬		紙	墨	1	封筒あり
415	書簡	3月29日	男爵 後藤新平	麻生大吉		紙	墨	1	封筒あり
416	書簡	4月21日	高野江基太郎	伊藤		紙	墨	1	
417	書簡	3月13日	的場鶴沢	野見山米吉	書店より受取証送ってきたのでお知らせ イデカエリク	紙	墨	1	
418	電報	4月24日	マツサキ	ウエダオンケイ		専用紙	印	1	
419	領収書	6月3日	貝島嘉蔵	麻生、野見山	綿細織、白綿織の受取	紙	墨	1	封筒あり
420	書簡	明治40年6月3日	貝島太助、貝島太市	麻生大吉	慶大御初端午の祝いとして綿細織ご患 贈感謝	紙	墨・印	1	封筒あり
421	書簡	明治40年4月26日	中丸一平	麻生大吉	井上和など当社重役来門中、小宴催 す、案内	紙	印・墨	1	
422	書簡	明治40年4月	渡辺渡君在職二十五年 祝賀会発起人一同	麻生大吉	工科大学教授工学博士渡辺君の在職25 周年祝賀会への招待	紙	印・墨	1	封筒あり
423	書簡	[明治40年] 4月11日	金子辰三郎	麻生八郎	本月15日懇親会開催案内	紙	墨	1	封筒あり
424	書簡	明治40年6月5日	中村次雄、相羽虎雄	麻生商店	当院役員役中村氏誠懇舞臺への御会葬感謝 本月14日孝端午の祝意を表するため御 患送感謝	紙	墨	1	
425	書簡	6月11日	貝島嘉蔵、貝島健次	麻生大吉		紙	墨	1	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
426	書簡	4月13日	早川徳太郎	上田隠敬	過般來御願いしていた件、とても採用することほできない云々	紙	墨	1	封筒あり
427	書簡	明治40年2月28日	山口恒太郎	麻生太吉	炭坑経営規模について割合合せ	紙	印・墨	1	封筒あり
428	書簡	明治40年4月14日	大賀庸次郎	上田隠敬	電信の件再三交渉	紙	墨	2	
429	書簡	〔明治40年〕5月25日	井生	麻生太吉	先般患弟御使用方御依頼の件、早速対応下さり感謝、御懇話の次第すぐにご同人へ通報し写の別紙を返答云々、別紙同封	紙	墨	2	封筒あり
430	封筒	〔明治40年6月6日 消印〕	貝島嘉蔵	麻生太吉		封筒	墨	1	内容は開 431カ
431	書簡	6月6日	貝島嘉蔵、貝島健次	麻生太吉	孝祝いに対する感謝	紙	墨	1	封筒は開 430カ
432	書簡	明治40年6月19日	西野伊之吉	麻生商店	拝啓の香宅陣子立替願出の件での行き違いに ついて	紙	墨	1	封筒あり
433	書簡	〔明治40年〕5月10日	永江純一	野見山米吉	病氣見舞	紙	墨	1	封筒あり
434	書簡	5月23日	永江純一	麻生商店	小生出立の義はやむを得ず23日延引	紙	墨	1	
435	書簡	〔明治40年〕	藤田謙三郎	上村	競売事件は熟考するに花村氏よりの異議にては目的を達することかできず云々	紙	墨	1	封筒あり
436	葉書	〔明治40年4月18日〕	藤田具行	麻生太吉	一昨夜の厚遇感謝	葉書	墨	1	貼書あり
437	書簡	明治40年4月13日	若松繁徳株式会社社長 白石直治	麻生太吉	第32回同事業報告書、委任状、返信用封筒	冊・紙	印・墨	4	封筒あり
438	書簡	6月21日	福原十郎	上田庶務課長	店主の委任状4葉吉浦殿へお渡しされた	紙	墨	1	封筒あり
439	書簡	明治40年6月23日	相生田太郎	麻生太吉	二男哲久死去に対して吊辞・香典をお送りいただき感謝、これらは孤児院などへ寄付	紙	印	1	封筒あり
440	書簡	明治39年3月23日		麻生太吉	タイムス社によるセンチエリー大字典に対する評価に対して	紙	へ	3	
441	書簡	1月1日	山崎初太郎	麻生商店	恭賀新年	葉書	印	1	
442	葉書	明治40年1月1日	小名木山鉄工所シヨベ ル部	麻生商店	謹賀新年	葉書	墨	1	
443	葉書	1月元旦	株式会社共文社	麻生商店	謹賀新禧	葉書	印	1	
444	葉書	〔明治40年〕1月元旦	大日本掛鶴製造所	麻生飯業所	恭賀新年	葉書	印	1	
445	葉書	明治40年1月1日	大山徳次郎	麻生商店	恭賀新年	葉書	印	1	
446	葉書	明治40年1月1日	三村寿吉	麻生商店	恭賀新年	葉書	墨	1	
447	葉書	明治40年1月元旦	松下栄次郎	麻生商店	恭賀新年	葉書	印	1	
448	葉書		松野幹	中間六一郎	御依頼の件は左の通り御了知下された	葉書	墨	1	
449	葉書	〔明治40年6月30日 消印〕		麻生商店	お祝の品物感謝	葉書	墨	1	破損あり
450	葉書	12月10日	白井武助	上田	12月7日出発9日着、いすれ罷越す決心	葉書	墨	1	
451	葉書	〔明治39年〕12月10日	白井武助	野見山	1日來月上旬には是非お会いしたい	葉書	墨	1	
452	葉書	12月1日	藤井源之助	本道炭蔵主	他に炭敷の都合多い所有地を持っているが、ご関心はあるか	葉書	鉛	1	
453	書簡	明治40年3月30日	古賀貞一	野見山米吉	今日恩弟婚儀に関し色々御配慮にあずかり感謝	紙	墨	1	封筒あり
454	葉書	3月10日	仙石亮	麻生商店	明後12日午前8時50分中泉駅通過の節御店主にご覧いただききたい、輻物2点を渡したいので小使を運わしてはし	葉書	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
455	葉書	1月元旦	川村商店	麻生商店	謹賀新祝	葉書	墨	1	
456	[記]				井上伯などの住所のメモ	紙	鉛	1	
457	葉書	明治40年1月1日	麻生商店	清田亀太郎	謹賀新年	葉書	印	1	
458	葉書	明治40年1月1日	麻生商店	大森商店	謹賀新年	葉書	印	1	
459	葉書	明治40年1月1日	麻生商店	玉池商店	謹賀新年	葉書	印	1	
460	葉書	明治40年1月1日	麻生商店	岡本小一郎	謹賀新年	葉書	印	1	
461	書簡	明治39年9月12日	室田義文、久良子、古谷重綱	麻生太吉、令夫人	結婚披露宴案内	紙	印・墨	1	
462	書簡	明治40年4月	直方消防組	麻生商店	非常用井戸設置基金募集の趣旨書、演劇募招待券	紙	印・墨	21	封筒あり
463	書簡	[明治40年] 4月26日	松崎二十郎	上田隠敬	出張予定、競売期日について	紙	墨	1	のり外れ注意、封筒あり
464	葉書	明治40年6月6日	吉弘素郎	麻生辰坑	弟吉弘百寿送を25日行う予定だったが16日に変更	葉書	印・墨	1	
465	葉書	明治40年6月11日	保坂文吉	麻生太吉	本日無事到着	葉書	印	1	
466	葉書	[明治40年6月4日清印]	占部太平	野見山米吉	過日來会社正式申込証御回送方麻生太吉氏に御依頼云々	葉書	へ	1	
467	葉書	明治40年6月5日	吉弘素郎	麻生辰坑	弟吉弘百本日本大連で死去、葬儀は25日の予定	葉書	印	1	
468	通知状	明治40年6月19日	相生田太郎		二男哲久死去につき22日葬儀	葉書	印	1	
469	葉書	明治40年6月22日	九州鉄道株式会社	麻生太吉	7月1日をもって鉄道国有法により解散、同日以後は清算事務所を設ける	葉書	印	1	
470	書簡	明治40年4月15日	福岡日日新聞社	野見山米吉	本社新聞創刊満30年、本社新築竣工落成式祝宴案内、式次第同封	紙	印・墨	2	封筒あり
471	葉書	[明治40年] 5月7日	相生トキほか5名	野見山	次男哲久死去通知	葉書	印	1	
472	葉書	明治40年5月3日	藤原俊雄	麻生太吉	欧米旅行より無事帰国	葉書	印・へ	1	
473	葉書	[明治40年] 5月7日	相生トキほか5名	麻生太吉		葉書	印	1	
474	書簡	明治40年7月1日	九州帝国鉄道管理局長心得 植村後平	麻生太吉	国有化後会社清算人管理局長を囑託されたことについて、裏面に返信案鉛筆書きあり	紙	印・鉛	1	破損あり
475	葉書	[明治40年] 6月24日	門司市畑田公園記念碑建設事務所 主催者 大團壺口 発起者一同	麻生太吉	社員遭難死者追弔記念碑 除幕式挙行	葉書	印・墨	1	破損あり
476	葉書		中村留寿ほか1名	麻生商店		葉書	墨	1	破損のため判読不明
477	葉書	[明治40年5月17日清印]	磯山常吉	上田	御申付通り三井郡へ出張、地主立会の上調査のところが、山村はややまとまり本日より貸付及び小作米の着手云々	葉書	墨	1	477はドンどめ
477	2	明治37年5月19日	麻生太吉	磯山常吉	上田より御問合の件は同人頃日病気のため御照会の趣は麻生屋より申し上げ	紙	墨	1	
478	書簡	7月29日	歩兵少尉 貝島定二	麻生太吉	出発の際は御厚志感謝、当地の様子について	紙	墨	2	封筒あり
479	葉書	[明治37年11月] 18日	圃松金次郎	麻生太吉	召集により入隊の報告	葉書	墨・印	1	破損あり
480	書簡	11月17日	古吉惣三郎	麻生御木店事務所 各位	在職中の御厚情感謝	紙	墨	1	破損あり
481	書簡	明治37年11月16日	山田源吉	麻生商店	小生召集以來不幸にして出征の命に接せず残念ながら巻越台警戒の任について	紙	墨	1	封筒あり、破損あり
482	葉書	明治37年10月		麻生商店		葉書	印	1	破損あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
483	葉書	明治37年11月24日	嘉穂縣教育会	麻生大吉	来る27日中学校講堂で秋季総会開設	葉書	印	1	破損あり
484	書簡	(明治37年) 11月19日	井上依次郎	麻生大吉	朝倉郡志波打桶益安太郎なる者近頃監視度反とかにて居宅を逃走し嘉穂郡地方の炭坑にいるとこのこと、瓜生長吉氏にもこの旨お知らせ下さい	紙	墨	1	封筒あり
485	葉書	(明治37年) 11月26日	岡松金次郎	上田穂敬	先日の委任状の件	葉書	墨	1	
486	書簡	明治37年10月20日	株式会社嘉穂銀行	麻生大吉	定時重役会議決事項	紙	印	2	封筒あり
487	葉書	明治37年11月30日	岡本勲	麻生大吉	引越しのあいさつ	葉書	印・墨	1	
488	葉書	(明治37年) 12月4日	貝島桐野坑糧食係 川上淺太郎	麻生大吉	過日出坑の石切は感謝	葉書	墨	1	破損あり
489	書簡	明治37年6月24日	金塚仙四郎	麻生大吉	開年来的融通に対する利息金八千円を割引手形に振替する件について	紙	墨	2	封筒あり、破損あり
490	電報	9月20日	クマーン	アソラタキチ	アサユクサイシタノム	専用紙	印	1	
491	葉書	(明治37年9月15日 消印)	百三十銀行弘込延期々 成同盟会事務所	麻生大吉	本月18日大阪商業会所で株主協議大会を開く	葉書	印	1	
492	往復葉書	明治37年8月5日	工業之六日本社	麻生大吉	雜誌購読の件	葉書	印	1	破損あり
493	書簡	4月10日	赤間彌之吉	麻生大吉	今般輝子製造専売実施につき売捌人に關する件について、売捌人は元売捌人と小売人の二種あり云々	紙	墨	1	封筒あり
494	書簡	(明治37年) 6月14日	広沢哲郎	麻生大吉	工業連合会を貴字と契約することを希望、安川よりは何程か安価に且つ諸般の便利を得られる欲望あればである云々	紙	墨	2	封筒あり
495	書簡	(明治37年) 6月21日	広沢哲郎	麻生大吉	本日樹下氏より別紙到来、これ必竟貴家と取組決定行実践する覚悟よりの決心あり云々 明治37年6月21日付広沢宛同盟組樹下茂世書簡同封	紙	墨	4	封筒あり
496	書簡	9月17日	熊本甚石衛門	麻生大吉	脚氣養生中につき4、5日後に罷出ること	紙	墨	1	封筒あり
497	書簡	11月26日	伊藤伝石衛門	麻生大吉	議会の切迫し協議会になりそうだ	紙	墨	1	封筒あり
498	書簡	4月16日	浦上皆波	麻生顔谷	伊藤商店の事務取扱をしている伊藤伝石衛門門内妻女の弟江留吉の採用の件	紙	墨	4	株式会社嘉穂銀行用紙、封筒あり
499	書簡	(明治) 37年8月22日	樋口茂之郎	麻生大吉	高直の品物御惠贈のお礼	紙	墨	1	封筒あり
500	書簡	明治37年9月13日	株式会社嘉穂銀行	麻生大吉	定時重役嘉穂銀行	紙	印	3	封筒あり
501	書簡	10月17日	古賀毎平	麻生大吉	先日の参館時のお礼	紙	印・墨	1	封筒あり、破損あり
502	書簡	5月30日	嘉穂郡上総波村大字馬 敷郵便事務所	麻生大吉	初編編乗組員故陣軍二等水兵瓜生幸兵衛の葬儀の案内	紙	印・墨	1	封筒あり
503	書簡	(明治27年) 9月17日	貝島大助	麻生大吉	10月2、3日頃に帰るつもりです	紙	墨	1	封筒あり
504 1	(記)				「三十七年十二月分」とあり	専用紙	墨	1	
504 2	(電報)	12月26日	原讓堂	アソラタキチ	メイトミセハカキヲクヲカ	専用紙	印・墨	1	
504 3	葉書	明治37年12月15日	原讓堂	麻生大吉	原の勝野村長当選と就任の挨拶	葉書	印・墨	1	
504 4	葉書	(明治37年) 12月15日 消印)	安西与志總	麻生多吉	先日は一方向ならぬ御無礼陳謝	葉書	墨	1	破損あり
504 5	書簡	(明治37年) 11月20日	小倉歩兵第十四連隊補 充大隊第五中隊 国松 金次郎	麻生大吉	今回の戦役で戦勝に挑むこととなつた、慶別のお礼	紙	墨	1	封筒あり
504 6	[英和対照表]			麻生太吉	英和辞典を一部抜粋してもの書き込みなどなし	紙	印	1	
504 7	葉書	12月15日	安政興志總	麻生孫	出陣の際は保護がてら御來館をどうこと	葉書	印・ペ	1	
504 8	葉書	(明治37年11月19日 消印)	白鳩社	麻生太吉	至急御送付下さいたい	葉書	墨	1	破損あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
505	名刺		奥村千吉	アソウタキチ		紙	印	1	破損あり
506	電報	明治37年9月12日	ムクムラ 三井物産合名会社株主 三井物産合名会社株主 二神隆吉	アソウタキチ	アスシマウチナイデマツ 先般小生門司出張中凶らずも結構なる 御品頂戴し感謝 当抗事業上至急御確定下されたきこと について	紙	印	1	破損あり
507	書簡	8月10日	花村久助	麻生太吉		紙	墨	1	封筒あり、破損
508	書簡	8月28日	麻生太吉	麻生太吉	破損のため、相読不能	紙	墨	1	封筒あり
509	書簡	8月14日	合名会社三井銀行門司 支店	麻生太吉	藤棚坑二番書人の件についてはかねて 帝國陸軍銀行と交渉中の由	紙	墨	1	封筒あり
510	書簡	明治37年6月24日	嘉穂郡長 鶴田正義	麻生太吉	第二回國庫債券募集で需要額の三倍の 好成績を得、大蔵大臣や県知事から感 謝された、買下に囑請する	紙	墨	1	封筒あり (嘉穂郡役 所用1封筒)
511	書簡	6月27日	広澤哲郎	麻生太吉	藤棚と本洞の石炭の契約の提案	紙	墨	1	
512	書簡	〔明治37年〕6月14日	福岡県直方警察署詰本 桐原現政 郷 忍 倉 基 野 電 松	麻生太吉		紙	印・墨	1	
513	名刺		福原 謙吉			紙	印	1	
514	名刺		野戦第十二師団歩兵第 四十七 [] 本部付 揮永堂	麻生太吉	無事に従軍した	書書	へ	1	破損あり
515	書書	〔明治37年6月□日 消印〕	福岡県日尾炭坑 工学 士 田辺勝太郎	麻生太吉		紙	墨	1	封筒あり、軍事郵便
516	名刺		筋田可社	麻生太吉	戦況などは新聞などでご承知と思う 云々	紙	墨	1	
517	書簡	〔明治37年〕6月14日	筑豊石炭鑛業組合事務 所	麻生太吉	来る二十七日常議員会相開候條乃藤棚 練合被成同日午前十時迄に御所被下座	紙	印・墨	1	封筒あり
518	〔通知〕	明治37年6月22日	戸備歩兵第四連隊第 六中隊 下田士五郎	麻生太吉	戦場での活躍についての報告	紙	墨	1	封筒あり
519	書簡	8月7日	柴田存	麻生太吉	柴田国城は藤棚炭鉱事務員だったから る4月は戦中で負傷の旨の電報に接し た云々	紙	墨	1	封筒あり
520	書簡	明治37年6月15日	浦上哲渡	麻生太吉	百三十銀行臨時休業の件 病氣療養のことについてと事業の上海 について	紙	墨	2	封筒あり、破損あり
521	書簡	6月26日	大賀康次郎	麻生太吉	〔 〕十八年米採」と記載	紙	墨	1	破損あり
522	書簡	6月20日	カカ	アソウタキチ	アソウタキチ	紙	墨	1	破損あり
523	〔記〕			アソウタキチ	アソウタキチ	紙	墨	1	破損あり
524	電報	〔明治37年〕6月1日 消印〕	カカ	アソウタキチ	アソウタキチ	紙	墨	1	破損あり
525	電報	〔明治37年〕5月11日 消印〕	カカ	アソウタキチ	アソウタキチ	紙	墨	1	破損あり
526	書書		筑豊石炭鑛業組合事務 所 (印)	麻生太吉	何れ休暇中に御訪問したい	書書	墨	1	破損あり
527	書簡	明治37年7月23日	大宮楼 大石吉藏	麻生太吉	27日の常議員会例会開催の通知	紙	印・墨	1	封筒あり
528	書簡	〔明治37年〕7月	大宮楼 大石吉藏	麻生太吉	畠中見舞	紙	印	1	封筒あり
529	書書	7月20日	鉄道時報主幹 木下立 安	麻生太吉	特別賛助員有志者の補助金の意向の回 答を待っている。発送した書類に補給 承諾者を有志者と誤って記載したため 訂正する	書書	印・墨	1	
530	書簡		柳澤謙太郎	麻生太吉	独立を伝える内容	紙	墨	1	封筒あり
531	書簡	11月30日	庄内村葬儀事務所	麻生太吉	陸軍歩兵第一補充兵峯崎利平の葬儀に ついての通知	紙	墨	1	
532	書簡	9月4日	片山謙一郎	麻生太吉	江次四郎氏本日米着、とりあえず御許 へ差し出す	紙	墨	1	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
533	〔記〕				〔六月九日迄店員ヨリ下附書状〕	紙	墨	1	
534	書簡	〔明治37年〕7月1日	安達仁造	麻生太吉	去月下旬九州方面に暴雨の節は筑豊にも被害があったとのことお見舞い申し上げます	紙	墨	1	封筒あり
535	第三回 皇軍全勝軍人安全農商隆盛漁業満足 御神楽奉奏	明治37年6月1日	伊勢神宮神明会臨時経典部会長正四位男爵松本美彦 (印)	麻生商店	御神楽奉奏の案内と、世話係募集、同じ封筒に「参拜権、伊勢神宮神明会本部「伊勢神宮神明会会員名簿」、松本美彦「募集世話係委嘱語士エ告白ス」(37年6月)が入っている。	冊・紙	印	4	封筒あり
536	葉書	6月22日	沼田商店	麻生商店	大雨洪水の見舞い	葉書	べ	1	
537	葉書	〔明治37年〕6月25日	加藤柳次郎	麻生商店	暴雨被害お見舞い	葉書	墨	1	
538	葉書	〔明治〕37年6月26日	熊本商店	麻生商店	大雨洪水の見舞い	葉書	墨	1	
539	葉書	〔明治〕37年6月27日	白井逸次	麻生商店	大雨洪水の見舞い	葉書	墨	1	
540	葉書	〔明治〕37年6月26日	熊本甚右衛門	麻生太吉	大雨洪水の見舞い	葉書	墨	1	
541	書簡	明治37年6月27日	久保太郎	麻生太吉	大洪水の見舞い	紙	墨	1	封筒あり
542	書簡	〔明治〕37年6月13日	後備歩兵第三十四連隊第六中隊 下田十五郎	麻生太七	支援に対する礼と戦況の報告	紙	鉛	2	封筒あり
543	書簡	〔明治37年6月27日〕	許斐藤助	麻生太吉	坑内増水への処置について	紙	墨	1	封筒あり
544	書簡	〔明治37年7月1日 消印〕	小出智十郎	麻生八郎	幸袋製作者所で働きたいので紹介してほしい	紙	墨	2	封筒あり
545	葉書	明治37年7月9日	大和力松	麻生本店	一昨日の御仏参へのお礼	葉書	墨	1	
546	葉書	〔明治37年〕6月26日	藤田行太	麻生太吉	大雨による洪水被害の見舞い	葉書	墨	1	
547	葉書	7月16日	久木正行	麻生商店	出願書類18日までに郵送のこと	葉書	墨	1	
548	葉書	7月6日	木村信一	上田徳敬	御依頼の件昨日出来改のご通知	葉書	墨	1	
549	葉書	〔明治37年〕7月〔6日〕	法學士・弁護士 竹内龍二	麻生太吉	事務所移転の報告	葉書	印・墨	1	
550	書簡	明治37年6月〔21日〕	磯山常吉	麻生商店事務所	果樹の苗木の売買について	紙	墨	3	封筒あり
551	葉書	明治37年7月5日	伊勢神宮神明会臨時経典部会長 正四位 男爵 松本美彦	麻生商店	7月15日の神楽奉奏有志并に会員募集の義について誠意御高配への御礼。7月14日までにに入会員ご報告成し下されたきこと。	葉書	印・墨	1	
552	書簡	明治37年6月1日	大塚次郎	麻生炭坑	御地方在住中の種々御寵情について遅れながら御礼のこと	紙	印・墨	1	封筒あり
553	書簡	〔明治37年7月2日〕	小出智十郎	麻生八郎	洪水被害の見舞い	紙	墨	1	封筒あり
554	書簡	明治37年7月2日	麻生来子	麻生八郎	女学校宿舎から帰省の折に祖母所にて面会したい	紙	墨	1	封筒あり
555	書簡	〔明治37年〕6月25日	後備歩兵第四十六連隊 高木忠雄	麻生商店	戦況の報告	紙	墨	1	封筒あり
556	書簡	明治37年7月18日	株式会社百三十三銀行頭取 松本重太郎	麻生太吉	銀行臨時休業のお詫び。詳細は来たる27日総会で報告する旨。並みに株主各位に相談したき儀があるため来たる24日に集合下されたきことについて。	紙	印・墨	1	封筒あり
557	葉書	〔明治37年7月20日 消印〕	嘉穂郡千手村葬儀事務所	麻生太吉	海軍水兵の水塚氏の葬儀の案内	葉書	墨	1	
558	葉書	明治37年5月26日	二瀬村葬儀事務所	麻生太吉	故陸軍歩兵上等兵土塚作次郎の葬儀参列への御礼	葉書	墨	1	
559	葉書	6月11日	嘉穂銀行	麻生太吉	定時重役会の案内	葉書	墨	1	
560	書簡	〔明治37年〕6月6日	安川敬一郎	麻生太吉	ご米水の件に関して	紙	墨	1	封筒あり
561	葉書	6月7日	富川〔 〕	麻生太吉	休職中にお伺い申し上げたきこと	葉書	墨	1	
562	書簡	明治37年6月5日	高木忠雄	麻生太吉、麻生太七	戦地での近況報告	紙	墨	1	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
563	書簡	6月3日	竹田貞松	麻生太吉	明朝大阪へ出発のこと	紙	墨	1	封筒あり
564	電報	明治35年6月6日	モリタ	アノウタキチ	トリゴエニキマタ ソノウチヒトエウ	専用紙	へ・墨	1	封筒あり
565	書簡	明治37年6月2日	河島静	麻生太吉	第十四回庫債券募集に関する御礼並びに第二十四回庫債券募集の案内	紙	墨	1	封筒あり
566	書簡	明治37年8月14日	対馬要塞砲兵隊 林田晋	麻生太吉	海戦の報告	紙	墨	1	封筒あり、破損あり
567	薬書	6月23日	木村信一	上田	御縁合と御出版についてご面会の上お話し申し上げたい	薬書	墨	1	
568	書簡	〔明治37年〕6月16日	野戦第十二師団補○輪卒隊第十一隊第一小队 第一分隊 壁矢為雄	麻生商店	戦いの勝利の報告	紙	墨	1	封筒あり
569	北濱銀行月報	明治37年6月15日	〔北濱銀行〕	麻生太吉		薬書	印・墨	1	破損あり
570	薬書	6月24日	青柳才吉	麻生商店	私義夏御服の件について	薬書	墨	1	
571	薬書	〔明治37年6月23日清印〕	有吉直彦	麻生商店	退職の挨拶	薬書	墨	1	
572	薬書	明治37年8月8日	井上昂	麻生太吉	暑中見舞	薬書	墨	1	
573	薬書	〔明治37年8月3日清印〕	占部義夫	麻生太吉	暑中見舞	薬書	墨	1	
574	書簡	〔明治37年〕9月30日	長瀬常吉	阿呆少吉	饗別に対する感謝と贈答の報告	紙	墨	1	封筒あり
575	書簡	10月7日	永富太郎	店主	一昨日五日の朝ご来所の節、並びに上三緒売の義について	紙	墨	2	封筒あり
576	書簡	9月25日	古田馬次郎	麻生太吉	洪水被害の見舞	紙	墨	1	封筒あり
577	電報	明治35年9月16日	セト	アノウタキチ	キデソタヤス カウジキヨウソウスルカキオモエナル ヒトタンネンヌルカカサネテヘンクタンノイ	専用紙	印・墨	1	
578	書簡	〔明治37年〕9月14日	金塚仙四郎	麻生太吉	御家政整理のため松本常盤君に整理し、囑託のこと。	紙	墨	1	封筒あり
579	薬書	明治37年9月14日	渡辺信之介	麻生太吉	略儀ながら書面にて御別上申候こと。	薬書	へ・墨	1	破損、文字消えあり
580	薬書	明治37年8月2日	神尾金次ほか5名	麻生太吉	神尾金八、入院先の長崎県立病院にて死去の事通知	薬書	印・墨	1	
581	薬書	明治37年8月10日	奥村久太郎	麻生太吉、野見山米吉	日ロ戦況の落ち着きにより商況も挽回が期待されることについて	薬書	墨	1	字がみずれており判読不能
582	薬書	〔明治37年9月29日清印〕		麻生太吉		薬書	へ	1	
583	薬書	10月27日	古賀貞一	麻生太吉	お預かりの博多人形立ちにお渡し申上候事について一報	薬書	墨	1	
584	薬書	明治37年9月26日	門司市三井銀行支店 岡本勤	麻生商店	東京本店へ転勤を命じられた旨	薬書	印・墨	1	
585	薬書		百三十銀行飯塚支店	麻生商店	日本勧業銀行貯蓄債券発行の案内	薬書	印・墨	1	
586	薬書	明治37年7月20日	松本□〔藤カ〕七	野見山米吉		薬書	へ	1	文字が薄くなっており判読不可
587	薬書	明治37年9月6日	濱本	上田	相談申上候一件について	薬書	墨	1	
588	薬書	明治37年9月13日〔24日〕	麻生二郎	麻生太吉	帝國商業銀行を辞め転居した旨	薬書	印・墨	1	
589	書簡	明治37年9月27日	豊坂元良	麻生太吉	林氏の御かけ合、不都合にて細事御難察よろしく御かけ合のこと。	紙	墨	1	封筒あり
590	記				37年12月23日迄	紙	墨	1	
591	書簡	〔明治37年〕12月14日	山口正作	麻生商店店長 野見山	精米機の宣伝、改良精米機の特許が同封してある	紙	印・墨	2	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
592	書簡	明治37年12月13日	土田喜郎	麻生御大人	喜郎の息子入宮に際しての厚意に感謝のこと	紙	墨	1	封筒あり
593	書簡	(明治37年) 12月14日	大村第四十六連隊補充 下隊四中队 土田喜一	麻生商店 野見山米吉	出征の見送りに対するお礼	紙	墨	2	封筒あり
594	葉書	明治37年12月16日	安達仁造	麻生太吉	老母死去の節母電の御礼	葉書	墨	1	破損、封筒あり
595	葉書	(明治37年) 12月12日	門司市九鉄道運輸課 林 麻司	麻生太吉	若松運輸事務所から門司本社運輸課への配属が決まったことを伝える内容	葉書	印・墨	1	
596	書簡		鯉坂元良	麻生	養子一條について	紙	墨	1	封筒あり
597	書簡		鯉坂	麻生	孤田新築の抵当について、金500円の工風願い	紙	墨	1	封筒あり
598	葉書	明治37年12月20日	井手豊	麻生太吉	年賀次礼	葉書	墨	1	
599	書簡	12月15日	尾上安太郎	麻生太吉	当夏以来の事件について感謝を告げる内容	葉書	印	1	
600	葉書	明治37年11月18日	谷彌平	麻生太吉	何卒ご参詣お立寄の案内	葉書	印・墨	1	
601	葉書	明治37年11月18日	荒巻次郎	麻生太吉	民事訴訟登記其他一般文書の代書について	葉書	墨	1	破損あり
602	書簡	明治37年11月17日	古吉繁三郎	麻生太吉	御金頂戴仕奉ることなどの御礼	紙	墨	1	封筒あり
603	書簡	(明治) 37年11月7月14日	野入又四郎	麻生太吉	野入の父の知盆について	紙	墨	1	封筒あり
604	葉書	明治37年11月	村上機械商店	麻生商店	多賀神社秋季例祭ご参詣のついでに何卒ご光来下されたきこと	葉書	印・墨	1	
605	葉書	明治37年11月29日	荒木興次郎	麻生太吉	墓式の内	葉書	墨	1	破損あり
606	葉書	11月30日	河野信長郎	野見山店長	転居についての通知	葉書	墨	1	
607	書簡	明治37年9月	日露戦役戦死病故帝国民 車入進市大法会事務所	麻生太吉	征露戦死病故者追悼の大法会の案内書類一式順序、趣旨書など	紙	印・墨	4	封筒あり
608	葉書	明治37年8月28日	青柳才吉	麻生商店	学資金ご送金のこと	葉書	墨	1	
609	葉書	明治37年9月1日	河辺市兵衛	麻生太吉	升堂拜賜の御礼	葉書	墨	1	
610	葉書	明治37年10月3日	嘉穂郡船渡村大字椿榮 儀事務所	麻生太吉	子備役陸軍歩兵一等卒藤井虎吉の葬儀通知	葉書	印・墨	1	
611	葉書	明治37年10月5日	上総波戸長尾	麻生太吉	陸軍一等卒大塚牛之助の葬儀通知	葉書	墨	1	
612	書簡	明治37年8月	益田孝、益田英作	麻生太吉	風水眠の節御厚情の御礼	紙	印・墨	1	封筒あり
613	書簡	明治37年9月7日	加来惟吉	麻生太吉	荆妻死去に対する御厚情の御礼	紙	印・墨	1	封筒あり
614	電報	9月13日	チハラ	オオゾウジロウ	ペンミタイヌタチユク	専用紙	墨	1	
615	(電報)	(明治40年) 9月28日	カシウキ	アソウタキチ	アストラヤカニミヌイユク	専用紙	印・墨	1	
616	(電報)	(明治40年) 9月28日	ヤ	アソウタキチ	ペンミタソラベタウエフミ	専用紙	印・墨	1	
617	電報	(明治40年) 11月19日	チガタ	アソウシヨテン	トラモロゾイソラベツツヘン	専用紙	墨	1	
618	(電報)	(明治40年) 11月16日	ヒ	アソウシヨテン	ガム五ジコンモツラクリタ	専用紙	印・ペ	1	
619	(電報)	(明治40年) 11月17日	ウエ	アソウシヨテン	イマツイタ	専用紙	印・ペ	1	
620	電報	(明治40年) 11月15日	タロ	アサオタキチ	アスンベニーニジニユク	専用紙	印・墨	1	
621	(電報)	9月21日	ソソ	セトララクア	ケーソウタコウシヤヤカエラヌモシ ヤムラセスルニケツシタ	専用紙	印・墨	1	
622	書簡	明治37年9月28日	林田晋	麻生太吉	戦地の近況報告	紙	墨	1	封筒あり
623	葉書	明治37年7月29日	古野尚雄	上田徳敬	御中越の土地損失事件について	紙	墨	1	
624	書簡	明治37年7月30日	吉野尚雄	長田徳敬	先般甲子候土地の水路閉塞のことについて	紙	墨	1	封筒あり
625	葉書	明治37年10月9日	広方長七	麻生太吉	長慶の葬儀の御礼	葉書	墨	1	
626	書簡	明治37年9月8日	平野幸吉	麻生太吉	御立出の節仰せ付けの品、馬越線に持参、確かに御届のこと通知	紙	墨	1	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
627	葉書	[明治37年10月11日 消印]	大隈町葬儀事務所	麻生太吉	陸軍歩兵上等兵有吉信太郎の葬儀の御礼	葉書	墨	1	
628	葉書	明治37年1月10日	上郷波村長尾葬儀事務所	麻生太吉	陸軍歩兵一等卒大塚牛之助葬儀の御礼	葉書	墨	1	
629	葉書	[明治37年]10月9日	笹栗佐田雄	麻生太吉	刑妻葬儀の御礼	葉書	墨	1	
630	書簡	[明治37年6月20日 消印]	土井祐三郎	麻生太吉	大雨で七十二ヶ所損害のこと	紙	墨	1	
631	書簡	[明治37年]6月26日	東京製綱株式会社深川分工場	麻生商店	大雨損害の見舞	紙	印・墨	1	封筒あり
632	葉書	6月27日	三井呉服店地方係		大雨の見舞	葉書	印・墨	1	
633	葉書	[5月24日消印]	中垣直人	麻生商店	御送給の為替着のこと通知	葉書	墨	1	
634	葉書	[明治37年6月27日 消印]	安野商店	麻生商店	一昨日来暴雨の見舞	葉書	印・墨	1	
635	葉書	[明治37年]6月27日	森川葆	麻生太七、野見山御支配人	洪水の見舞	葉書	印・墨	1	
636	葉書	[明治37年6月30日]	栄屋	麻生太吉	先日よりの霖雨の見舞	葉書	印・墨	1	
637	葉書	[明治37年]5月18日	営業部	麻生商店	ご送金願い	葉書	墨	1	
638	葉書	[明治37年5月27日]	大谷村葬儀事務所	麻生太吉	陸軍歩兵一等卒伏原貞吉葬儀の御礼	葉書	ハ・墨	1	
639	葉書	明治37年5月26日	上郷波村葬儀事務所	麻生太吉	戦死者松岡明太郎葬儀の御礼	葉書	ハ・墨	1	
640	葉書	明治37年6月1日	上郷波村長尾葬儀事務所	麻生太吉	海軍四等機関兵野上磯次郎葬儀の御礼	葉書	墨	1	
641	葉書	明治37年6月4日	船架村葬儀事務所	麻生太吉	海軍に等機関兵金屋五郎葬儀の御礼	葉書	墨	1	
642	葉書	6月1日	大里文龍 大里広次郎	豆田巽抗事務所	刑妻葬儀の御礼	葉書	印・墨	1	
643	葉書	明治37年5月28日	桂川村葬儀事務所		戦死者古野未太郎葬儀の御礼	葉書	印・墨	1	
644	書簡	[明治37年]6月30日	久米■青	上田	藤棚に関する電話関係書類について	葉書	ハ	1	
644	書簡	明治37年6月25日	北澤銀行	麻生太吉	七月十六日の定時株主総会の案内、株式利益配当金送付について	紙	印・墨	1	封筒あり
644	書簡	[明治37年]6月30日	木村信一	上田穂敬	御依頼の登記事件について、登録税120円にて申請のこと	紙	墨	1	封筒あり
645	[名刺]		神山才治		大倉組石炭部神山才治の名刺	紙	印	1	封筒、こよりあり、破損あり
646	書簡	[明治37年]6月12日	上野弥五郎	麻生太吉	亡父彦三郎葬儀の御礼	紙	墨	1	
646	書簡	明治37年6月13日	筑豊石炭礦業組合総長 安川敏一郎	麻生太吉	第二回同庫債募集に対する応募金の額について意見ご回答されたきことについて。別紙一枚同封	紙	印・墨	1	封筒あり
646	書簡	明治37年5月19日	松田武一郎	麻生太吉	出征軍人家族救済基金の内寄付金の件につき登松村役場より当方へ申込来帳のことについて	紙	墨	2	封筒あり
646	書簡	明治37年5月16日	橋本正彰	麻生太吉	馬越会長本は汽車で到着、明朝長崎へ出発、4、5日後帰門のうえ数日間滞在予定。	紙	墨	3	封筒あり
646	[電報]	5月31日	三井ハヤシ	アソウタキチ	シヨルイダツタカ	専用紙	印・ハ	1	
646	書簡	5月16日	金塚征四郎	麻生太吉	米門の予定確定次第電報仕るべく候こと。芳雄豆田地所違物書入登記手続きの件について	紙	墨	1	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
646	7 書簡	[明治37年] 6月4日	馬越恭平	麻生太吉	過越御地へ罷出候節は種々ご優待に預かり感謝。	紙	墨	1	封筒あり
647	1 電報	明治37年 5月28日		アソウクヨウテン	去る4月29日より鴨緑江遼河の戦いに臨み5月1日給糧隊にては三時間におたる敵艦にて当連隊でも300余名の死傷者を生じたもこの私は無事連軍	紙	墨	1	封筒あり、軍事郵便
647	2 書簡	[明治37年] 5月13日	豊原豊吉	麻生太吉	無事の報告	紙	墨	1	封筒あり、軍事郵便
647	3 書簡	[明治37年] 5月20日	林田晋	麻生太吉	4月7日下関出発以降軍務の近況報告	紙	墨	1	封筒あり
647	4 書簡	[明治37年] 5月13日	野矢為雄	麻生商店	亡父作助葬儀の御礼	紙	墨	1	封筒あり
647	5 書簡	明治37年 5月12日	古賀政之助ほか5名	麻生太吉	御同意調談合下さるとのこと誠にありがたきにあわせ、当地方においても経済界は同様に非常の逼迫を告げ、種々挽回策を講じつつあるが、西成堀の修築を執行は更に左様の事情に及するもの云々	紙	墨	1	封筒あり
647	6 書簡	[明治37年] 5月20日	委員後代 伊勢田西房	麻生太吉	陸軍歩兵一等卒野上平三郎戦死につき来たる22日葬儀執行の通知	紙	墨	1	封筒あり
647	7 書簡	明治37年 5月19日	庄内村葬儀事務所	麻生太吉	昨日亡父葬儀の御礼	紙	墨	1	封筒あり
647	8 書簡	明治37年 5月14日	許斐寛	麻生太吉	団理事今朝九州二向ケ立夕図面ハ取調御送りスル	紙	墨	1	封筒あり
647	9 電報	[明治37年] 5月16日	クセヒサシ	アソウクキチ	陸軍歩兵予備一等卒使原貞吉戦死につき本日23日葬儀執行の通知	紙	墨	1	封筒あり
647	10 書簡	明治37年 5月20日	大谷村葬儀事務所	麻生太吉	儀会葬お礼	紙	墨	1	封筒あり
647	11 書簡	明治37年 5月24日	嘉穂郡庄内村葬儀事務所	麻生太吉	本脚離面函 3葉は小包郵便で本日発送。ご入手の際はご一顧ください。	紙	墨	1	封筒あり
647	12 書簡	明治37年 5月17日	三井鉱山合名会社 久世久	麻生太吉	アミノハツバヤクマツヒロサワ、裏に返事の卓案あり	紙	墨	1	封筒あり
647	13 [電報]	[明治37年] 6月5日		アソウクキチ	入院中の厚意へのお礼と退院の報告	紙	墨	1	封筒あり
647	14 書簡	明治37年 5月7日	柴田百城	麻生太吉	日米条約50年を機とし従軍軍人家族支援を目的とする基金の募集に着手、何卒ご賛成の上ご寄付下さい	紙	墨	1	封筒あり、破損あり
648 書簡		[明治37年] 4月11日	ベルリ一記念基金募集委員 添田寿一、樺山愛輔	麻生太吉	姉子セ(伊藤伝右衛門母)病養中の御厚情の御礼と回復の報告	紙	墨	1	封筒あり
649 書簡		明治37年 4月12日	兄玉三郎	麻生太吉	「四十年十二月末日迄来状、こより	紙	墨	2	のり外れあり、封筒あり
650 [記]					出福の際連絡が欲しい	紙	墨	1	
651 書簡		[明治40年] 10月31日	村上義兵衛	麻生太吉	借金のごこと近況について	紙	墨	1	封筒あり、前欠カ
652 書簡		9月4日	栄国藤七	麻生太吉、麻生八郎	当院勤務中の者、炭坑事務員を希望につき、別紙履歴書封入のこと	紙	墨	1	封筒あり
653 書簡		[明治40年 11月 1日 消印]	河野耳鼻咽喉科院 有川社次	麻生ト吉	本月25日第一回総会開催のご通知	紙	墨	1	封筒あり
654 書簡		明治40年 11月 8日	鉱山懇話会 常務委員 和田維四郎	麻生太吉	来り24日平岡浩太郎一周年回につき博多聖福寺にての法会にご来臨のお願い。未記人の平岡良助行葉書同折	紙	墨	1	封筒あり
655 書簡		明治40年 10月 17日	平岡良助	麻生太吉	三井物産合名会社門司支店秋季大運動会の案内と入場券2枚	紙	墨	1	封筒あり
656 書簡		明治40年 10月 5日	三井物産合名会社門司支店 中丸一平	麻生商店	来たる25日の第一回総会を本月27日に變更のご通知	紙	墨	4	封筒あり
657 書簡		明治40年 11月 19日	古河鉱業会社内 鉱山懇話会	麻生太吉	三井物産合名会社門司支店秋季大運動会の案内書類	紙	墨	1	文字かすれあり
658 書簡		明治40年 10月 5日	三井物産合名会社門司支店 中丸一平	麻生太吉		紙	墨	2	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
659	書簡	明治40年8月3日	豊国炭坑坑長 島田純二	麻生太吉	爆発事故に対して金300円の寄付を受けたことのお礼状	紙	印・墨	1	封筒あり
660	書簡	7月10日	藤野珍寿	麻生太吉	宴会への招待の御礼と病欠に対する謝罪状	紙	墨	1	封筒あり
661	書簡	7月29日	藤田謙三郎	麻生太吉	茶用の雑品について	紙	墨	1	封筒あり
662	書簡	明治40年8月8日	笠松村役場	麻生太吉	町内合俳の件に付来る10日飯塚町嘉穂館において罷長より親しく協議の次第	紙	印・墨	1	
663	[半券]	明治40年12月7日	三菱造船所	麻生太吉	麻生太吉用の入場券2枚分	紙	印・墨	1	
664	書簡	明治40年7月	加納万次郎	麻生太吉	九州帝國鉄道管理局運輸課長心得拜命任候につき将来ご懇情たまわりたきことのお挨拶	紙	墨	1	
665	書簡	[明治40年]11月15日	藤田謙三郎	麻生太吉	知人就職希望につき内意うかがいたきこと	紙	墨	1	封筒あり
666	書簡	11月15日	貝島大助	麻生太吉	多賀神社例祭のご案内	紙	墨	1	封筒あり
667	書簡	7月10日	白田義之	麻生太吉	贈答品に対するお礼状	紙	墨	1	
668	書簡	12月30日	福田直俊	上田大入	「残念二十日本日此の者に是非御下付」とのこと	紙	墨	1	封筒あり
669	書簡	明治40年11月28日	三菱造船所 丸田秀実	麻生太吉	立神造船工場にて東洋汽船株式会社新造船地洋丸進水の案内	葉書	印・墨	1	破損あり
670	書簡	[明治]10月3日	麻生太吉	吉武吉之進	御要談罷り出で候ことについて	紙	墨	1	
671	書簡	9月26日	吉武吉之進	麻生商店	太吉の出陣の日取りについて	紙	墨	3	
672	書簡	8月9日	細江孝■	上田總敬	辞表提出の件について	紙	墨	1	のり付けがはみれそうなので注意、封筒あり
673	書簡	[明治]40年8月8日	藤田真治	上田總敬	林鏡の一件に対し美に離舞のごと、店主へ御手紙の上伺寄お世話下されたきこと	紙	墨	1	封筒あり
674	書簡	6月30日	三十郎	麻生	競売申し立ての手続きについての算段	紙	墨	1	
675	書簡	明治40年10月14日	岩崎小弥太	麻生太吉	父・弥之助の手術が施され、12日に全快で退院した。	紙	墨	1	封筒あり
676	書簡	[明治]40年8月22日	福地村中泉 武谷良治	麻生敏主	今林英敏突然中途御差留の件に対する対応について	紙	墨	1	封筒あり
677	書簡	[明治]40年12月15日	福地村中泉 福丸茂三郎	上田	2019未済の件について催促	紙	墨	1	封筒あり
678	書簡	明治40年12月19日	福丸茂三郎	上田	相籠の件について	紙	墨	1	封筒あり
679	書簡	[明治40年]旧11月14日	江藤栄四郎	上田總敬	桑野彰山の件につき、頃日実地御調査は如何の御都合か云々	紙	墨	1	封筒あり
680	書簡	[明治41年]1月1日	川崎柳	麻生太吉	新年の挨拶	紙	墨	1	封筒あり
681	書簡	明治40年8月12日	豊国炭坑坑長 島田純二	麻生商店	炭坑内での事故に対するお見舞い品へのお礼状	紙	印・墨	1	
682	書簡	9月12日	高城	麻生賢台	雑用につきお見舞いへ伺えなかつたことのお詫び、先般引き受けの書類について	紙	墨	1	封筒あり
683	書簡	10月9日	梅ヶ谷藤太郎	御旦那	しばらく御無音だったことへのお詫びと近況報告	紙	墨	1	破損あり
684	書簡	9月24日	志田伝	麻生商店	試験終了の報告	紙	墨	1	
685	書簡	11月1日	忠隈炭坑	麻生商店	当坑内出火の際には早速お見舞いを辱うし感謝	紙	印	1	
686	書簡	[明治40年]7月28日	細村寿吉	麻生商店主	今回藤棚岡坑を三井家へ譲渡のごことで不肖まで過分の恩典御恩授下されかたしげなく拝受	紙	墨	2	封筒あり
687	書簡	[明治]40年10月27日	下境村 安村半造	麻生商店	本月23日付を以て御中趣相成候血の本村における麻生太吉様土御納税代入の儀、引き受け承知のこと	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
688	書簡	明治40年9月27日	加藤敬輔	上田總敬	証書送付の件について 履歴書送付の件について、麻生圃の返信の下書きと思われるものも同封されている	紙	へ・墨	1	封筒あり
689	書簡	明治40年9月5日	井上昂	麻生太吉	予定通り来る10日着任のこと。将来御清願をたまわりたきこと	紙	墨	1	封筒あり
690	書簡	〔明治〕40年9月21日	鶴田正義	麻生太吉	学資金を送り御増額のお願い、明治40年9月分学費報告書同封	紙	墨	1	封筒あり
691	書簡	〔明治40年〕10月2日	青柳才吉	麻生商店店長	御陳述お詫のこと	紙	墨	1	封筒あり
692	書簡	〔明治40年〕8月14日	藤越次郎	野見山米吉	今林炭鉱負債一件について	紙	墨	1	封筒あり
693	書簡	〔明治40年〕8月24日	占部太平	上田總敬	新報経営君民親和協会設立、御賛助御加盟を乞う、返信案趣意書など同封	紙	墨	1	封筒あり
694	書簡	〔明治40年〕7月28日	武谷良治郎	上田總敬	当社株券発行につきご希望の株券種類承知したきこと	紙	墨	1	封筒あり
695	書簡	〔明治40年〕7月21日	国鏡社	麻生商店	御患品御贈の御礼	紙	印・墨	5	封筒あり
696	葉書	明治40年7月17日	津屋崎活洲株式会社	麻生商店	夏物売出しを知らせるチラシ	紙	墨	1	
697	葉書	〔明治〕40年7月12日	駿手郡御地村助役 伊藤信	麻生少吉	移転祝い	紙	墨	1	
698	葉書	〔明治40年〕7月9日 〔清印〕	可保事家樓笑	麻生商店	高等小学校の上様式の案内	紙	墨	1	
699	葉書	明治40年11月28日	谷弥合名会社 呉服部	麻生太吉	病気の良し悪しについて	紙	墨	1	
700	葉書	〔明治40年〕11月16日	嘉穂郡長 谷保馬	麻生太吉	お慶喜贈呈	紙	墨	1	
701	葉書	〔明治40年〕11月16日	船井	麻生商店 野見山、麻生屋 瓜生	下臼井校区買取の件	紙	墨	1	
702	葉書	明治40年4月	新田長次郎	麻生太吉	租税の納税届状が届いたことを折り返し伝えるもの	紙	墨	1	
703	葉書	10月3日	倉智常吉	麻生太吉	過日來ご相談申し上げていた武谷氏に 対する件にご尽力いただき感謝	紙	墨	1	
704	葉書	明治40年10月4日	宗像郡津屋崎町役場	麻生太吉	被告一件について情狀的量の執行猶予を相成しこと	紙	墨	1	
705	葉書	12日	池田広太	上田總敬	御禮兼伺	紙	墨	1	
706	葉書		平島満太郎	麻生商店 麻生店主、野見山店長、瓜生主事	ご相談の一件は未だご回答なくその後 いかかの都合か	紙	墨	1	
707	葉書		原順一	麻生本店	因面調書の見積もりについて	紙	墨	1	
708	葉書		武谷良治郎	上田總敬	義弟平位石生業兼ねて病氣のところ、 福岡大学畢業中養生叫わす本日18日死去のこと通知	紙	墨	1	
709	葉書	〔明治40年〕8月7日 〔清印〕	長田幸四郎	麻生本店	会場に忘れ物をした	紙	墨	1	
710	葉書	明治40年9月21日	印刷師 平島梅太郎	麻生商店	ご注文の灯籠の件、最早出来揚りのこと	紙	墨	1	
711	葉書	〔11月18日清印〕	岡田尚風	麻生商店	近況報告	紙	墨	1	
712	葉書	〔明治40年〕11月19日 〔清印〕	長田幸四郎	麻生商店	芝公園に引越したこと	紙	墨	1	
713	葉書	明治40年11月18日	上田總敬	麻生商店	多賀神社例祭の間、参詣立ち寄り下されたきことについて	紙	墨	1	
714	葉書	〔明治40年〕11月	沼田商店	麻生商店	14~15日の祭典無事終了のこと	紙	墨	1	
715	葉書	〔明治40年〕11月10日 〔清印〕	島田純一	麻生太吉	居住地に同名の者がいたため、勇吉から 博取へと改名した旨	紙	墨	1	
716	葉書	〔明治40年〕11月13日 〔清印〕	吉田茂遠	麻生太吉		紙	墨	1	
717	葉書	明治40年11月〔12日〕	伊藤博邦	麻生太吉		紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
関 718	葉書	明治40年7月	池島徳次郎、池島源一	麻生太吉	父兄遺業生呼ぶ死後のご通知	葉書	印・墨	1	
関 719 1	電報	〔明治40年〕9月10日	オカダ	ノミヤマヨナキチ	ゴチヨウジラシヤス	専用紙	墨	1	
関 719 2	電報	9月11日	ヲノカ	フシタマヨーチン	フシミタマヨチヤス	専用紙	印・墨	1	
関 719 3	電報	9月11日	ヲノカ	フシオタキチ	シユウレツシヤヤル	専用紙	墨	1	
関 719 4	電報	9月11日	タノウ	フシオタキチ	フスニベンニヤヤル	専用紙	印・墨	1	
関 720	電報	〔明治40年〕10月18日		フシオタキチ	コトセキヤチヤイテカヘンヤツ	専用紙	印・墨	1	
関 721	電報	〔明治40年〕11月20日		フサダダイキチ	コトセキヤチヤイテカヘンヤツ ヘンコウシタシヤツセキノムムヘン	専用紙	墨	1	
関 722	電報	〔明治40年〕11月20日	サカエヤ	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	印・墨	1	
関 723	電報	〔明治40年〕10月22日	タカハシコウ井	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	印・墨	1	
関 724	電報	〔明治40年〕12月4日	フシ	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	墨	1	
関 725	書簡		井上カヲル	麻生太吉	コトセキヤチヤイテカヘンヤツ ヘンコウシタシヤツセキノムムヘン	紙	墨	1	関 729の写し
関 726	電報	〔明治40年〕12月7日	三井シ	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	墨	1	
関 727	電報	明治40年12月4日	ウセ	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	墨	1	
関 728	電報	〔明治40年〕12月18日	フシ	ノミヤマヨナキチ	フシオタキチ	専用紙	墨	1	
関 729	電報	〔明治40年〕12月13日	井ノウエカヲル	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	印・墨	1	関 725と同じ内容
関 730	電報	〔明治40年〕12月16日	フシ	ノミヤマヨナキチ	フシオタキチ	専用紙	墨	1	
関 731	電報	〔明治40年〕12月13日	フシ	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	印・墨	1	
関 732	電報	〔明治40年〕12月19日	サクマ	ウリウチエモン	フシオタキチ	専用紙	印・墨	1	
関 733	電報	〔明治40年〕12月12日		フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	墨	1	
関 734	電報	〔明治40年〕12月29日	ラキ	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	印・墨	1	
関 735	電報	〔明治40年〕12月30日	カワノトラー	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	墨	1	
関 736	電報	〔明治40年〕12月30日	イトウ	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	印・墨	1	
関 737	電報	〔明治40年〕9月9日	トガエ	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	印・墨	1	
関 738	電報	〔明治40年〕11月12日	キツ	カサマツムラ タキチ	フシオタキチ	専用紙	墨	1	
関 739	〔電報控〕	明治40年11月13日	フシ	占部太平	フシオタキチ	紙	墨	1	
関 740	電報	〔明治40年〕11月11日	イトウカ	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	墨	1	
関 741	電報	〔明治40年〕11月11日	イトウカ	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	墨	1	
関 742	電報	明治40年11月11日	イトウカ	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	印・墨	1	
関 743	電報	11月11日	フシ	フシオタキチ	フシオタキチ	専用紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
岡 744	〔電報案〕	明治40年11月11日	麻生太吉	飯塚伊平	へソ□フソクカラス。キンセイノタカサゴジイハババカガシタスへ	紙	ハ	1	
岡 745	電報	〔明治40年〕11月13日	ウラハ	フソウタキチ	フソウサイミテウセコウ	専用紙	墨	1	
岡 746	電報	〔明治40年〕10月31日	ウエタ	フソウタキチ	ウリウイソクイケンヘカガ	専用紙	墨	1	
岡 747	電報	10月31日	ウエタ	フソウタキチ	イマノダシタツツヒアサモシツクヨチイラテイコウ	専用紙	印・ハ	1	
岡 748	電報	〔明治40年〕10月10日	タガエ	フソウタキチ	ミタ十二ヒアサエウ	専用紙	墨	1	
岡 749	電報	〔明治40年〕10月24日	タカ	フソウタキチ	シセヨウスルナイサイフミ	専用紙	印・ハ・墨	1	
岡 750	電報	〔明治40年〕9月23日	イソ井	フソウタキチ	カンマテウガクヨリテソクウテカスシカチヲヨロソク	専用紙	墨	1	
岡 751	電報	〔明治40年〕9月23日	ウエタ	フソウシヨウテン	イエカエリアス	専用紙	印・ハ・墨	1	
岡 752	電報	〔明治40年〕9月23日	チカタ	フソウタキチ	イエカエリタアスイキアス	専用紙	印・ハ・墨	1	
岡 753	電報	〔明治40年〕10月14日	フソウタキチ	フソウタキチ	イツデウキカスダヘンマツ	専用紙	印・ハ・墨	1	
岡 754	電報	〔明治40年〕10月4日	フソウシヨテン	フソウシヨテン	ソウキアスゴ四ジ	専用紙	ハ・墨	1	
岡 755	電報	〔明治40年〕9月6日	キンジ	フソウタキチ	ゴヒヨウキゴセソクウライラマデトウ	専用紙	印・ハ・墨	1	
岡 756	電報	〔明治40年〕9月6日	ノダ	フソウタキチ	ゴヒヤウキノヨシゴカイケイノヨシトリアエズミマウ	専用紙	ハ・墨	1	
岡 757	電報	〔明治40年〕7月31日	ギョクホトウ	木村頼太郎	ダソナサマラクニエスカ	専用紙	印・ハ・墨	1	
芬 1 1	受取	7月12日	山倉村庄屋 五七	普請方 太右衛門	大工大船賃錢	紙	墨	1	
芬 1 2	書簡	5月23日	井手太次郎	麻生太右衛門	面談を願う	紙	墨	1	
芬 1 3	書簡	〔明治期〕	矢野真直	麻生質郎	鉄砲兼免許願に付	紙	墨	1	後次
芬 1 4	覚	10月16日	庄屋 谷善四郎	庄屋 太右衛門、上三	六ヶ村島方上納分	綴	墨	1	
芬 1 5	書簡	3月18日	吉田九三郎	麻生太吉	山野田地受返について	紙	墨	1	
芬 1 6	書簡	7月19日	有吉三郎	〔麻生〕質郎	阿州登石炭について	紙	墨	1	
芬 1 7	書簡		紅屋小七	麻生質郎	米値段報知	紙	墨	1	
芬 1 8	書簡	4月8日	長五郎	分□(カに○)	米値段報知	紙	墨	1	
芬 1 9	書簡		谷林三郎代理 谷林右衛門	四小区副戸長 麻生太吉	百石二付正米拾石若松御官員出張所え納方之事	綴	墨	1	
芬 1 10	〔特別入足馬出書上〕					綴	墨	1	
芬 1 11	書簡	4月17日	長右衛門	麻生太吉	一昨日庄内權掛方相済申候云々	紙	墨	1	
芬 1 12	書簡	5月10日	小四郎	麻生太吉	借入金代リニ禮加入分引譲られた分に付回文がなないので会合に出席を乞う	紙	墨	1	
芬 1 13	嘉麻郡立岩村藤平御誼議ニ付件 愚申上口上之覚	文政13年2月	立岩村 藤平	梶原藤十郎		紙	墨	1	
芬 1 14	覚	丑11月朔日	尾ケメ役 伝六	麻生氏	銀預六拾兩	紙	墨	1	
芬 1 15	書簡	4月7日	井手太次郎	麻生質郎	取替金および石炭口支払について	紙	墨	1	
芬 1 16	書簡	12月9日	清左衛門	麻生太吉	札状	紙	墨	1	
芬 1 17	書簡	8月21日	直	〔麻生〕質郎	瓦口等計算	紙	墨	1	
芬 1 18	書簡	6月9日	上三統	栢森 麻生太右衛門	取替金および石炭について	紙	墨	1	
芬 1 19	口上	5月12日	宮本勝三郎	麻生太吉	金丸15両口上持参者に渡されたい	紙	墨	1	
芬 1 20	覚			麻生太吉	炭石採掘原冊見報	紙	墨	2	のり外れ
芬 1 21	覚	2月3日	相田信三郎	麻生太吉	計算書	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
芥 1 22	送状之事	5月23日	万屋左四郎	麻生多次郎	食品下駄等	紙	墨	1	
芥 1 23	覚	5月30日	ちとせ屋孫六	麻生末吉	納入書	紙	墨	1	
芥 1 24	[記]	10月7日			相庭報告	紙	墨	1	後欠
芥 1 25	書簡	7月14日	有松伴六	麻生賀郎	預書を調査に差出した報告	紙	墨	1	
芥 1 26	書簡	2月26日	数住券□	麻生賀郎	3月13日御祝会の客の迎えを頼む	紙	墨	1	破損あり
芥 1 27	書簡	5月14日	伊藤長五郎	麻生賀郎	大行事御感通賃	紙	墨	1	
芥 1 28	書簡	旧4月16日	二宮	麻生太吉	金銭借付願	紙	墨	1	
芥 1 29	覚	7月13日	生働中役所	麻生鶴吉	計算書	紙	墨	1	
芥 1 30	覚	5月29日	帯屋	麻生太吉	あら、あげび、め白等送り状	紙	墨	1	
芥 1 31	書簡	5月11日	添田還一	山元取締役 麻生賀郎	神戸大坂登七石炭	綴	墨	1	
芥 1 32	書簡	5月14日	紙や政右衛門	麻生賀郎	米相場報告	紙	墨	1	
芥 1 33	書簡	3月5日	時棧満	副戸長 麻生太吉	小学校布告返納	紙	墨	1	
芥 1 35	書簡	11月2日	九平	麻生多次郎	米売却困難	紙	墨	1	
芥 1 36	預り手形	西1月23日	麻生太吉			紙	墨	1	
芥 1 37	[断簡]		片嶋村組頭 直七		御通仕組銭納状	紙	墨	1	後欠
芥 1 38	受取	4月19日	麻生太吉	長尾半右衛門	糧	紙	墨	1	
芥 1 39	書簡	4月2日	福岡賀四郎	麻生太吉	御用物受取の件	紙	墨	1	
芥 1 40	[断簡]	2月23日	庄屋 金子融		出銅御上納の件	紙	墨	1	後欠
芥 1 41	(送り状)	2月25日	副戸長 麻生多、副戸長 白土源三 ⁽²⁷⁾	戸長 許	別紙お受け取り下さい	紙	墨	1	
芥 1 42	書簡	11月19日	吉田七郎	麻生太吉	長三葬式終了	紙	墨	1	
芥 1 43	受取	11月13日	大國屋 右衛門 九平、釜尾又	麻生鶴吉	銀預	紙	墨	1	
芥 1 44	手形	1月25日	麻生太吉	惣四郎	銀預預り証	紙	墨	1	
芥 1 45	預り手形	西1月23日	麻生太吉			紙	墨	1	
芥 1 46	覚	午剛0月8日	吉川伝十郎	麻生賀郎	洲口出証地30戻返却	紙	墨	1	
芥 1 47	書簡	11月26日		麻生太吉	護封金払込を願う	紙	墨	1	破損あり
芥 1 48	覚	5月12日	田中太郎	麻生太吉	糧突受取	紙	墨	1	
芥 1 49	書簡	6月2日	伊藤万六	麻生賀郎	米月15日迄金札20疋を願う	紙	墨	1	
芥 1 50	送状之事	3月12日		麻生		紙	墨	1	
芥 1 51	書簡	3月27日	林田平右衛門	麻生賀郎	裁許願の件	紙	墨	1	
芥 1 52	書簡	4月11日	宮口作左衛門	麻生太吉	札状	紙	墨	1	
芥 1 53	書簡	4月4日	中上善吉	麻生賀郎	木挽納め金	紙	墨	1	
芥 1 54	書簡	5月25日	戸長 有松伴六	副戸長 福岡賀四郎、保長領 麻生太吉	出箱一日差延	紙	墨	1	
芥 1 55	覚	7月7日				紙	墨	1	
芥 1 56	請取	午11月13日	高山七郎	麻生鶴吉	金銭および杉柱送り状	紙	墨	1	
芥 1 57	書簡	8月18日	水下小七	麻生太吉	銀預請取	紙	墨	1	
芥 1 58	受取	1月25日	麻生太吉	下三緒 半三	米下落につき銀借を願う	紙	墨	1	
芥 1 59	手形	未7月10日	下三緒村山元 久秀、清四郎	芦屋炭石御役所	米2使利子として	紙	墨	1	
芥 1 60	受取	申4月27日	麻生太吉	長尾半右衛門	銀預受取	紙	墨	1	
芥 1 61	書簡	7月7日	飯塚生頼中次受持 占 川三郎	麻生鶴吉	糧の受取の件	紙	墨	1	
芥 1 62	書簡	1月28日	白土操惣	宮本与三郎	別紙日録の通り上納を求める	紙	墨	1	
芥 1 63	預り手形	1月26日	麻生太吉	小次郎	御祝儀 正金17疋	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
芥 1 64	請取	1月26日	高山茂丸左衛門	庄屋 太吉	金礼二貫	紙	墨	1	
芥 1 65	書簡	11月10日	馬岡 紙政、九平	麻生太吉	現米、糶など相場	紙	墨	1	
芥 1 66	預り手形	戊辰2月	山元 吉平	蔵平		紙	墨	1	
芥 1 67	書簡	8月13日	山口角藏	麻生太吉	放生会参りのために金を貸してほしい	紙	墨	1	
芥 1 68	書簡	3月18日	清左衛門	麻太〔麻生太吉〕		紙	墨	1	
芥 1 69	書簡	4月8日	春殿母	庄屋 太吉	講座へのおさそい	紙	墨	1	
芥 1 70	返上分				醬油代ほかの書き上げ	紙	墨	1	
芥 1 71	〔記〕		麻生賀郎		荷物運搬につき運賃増額の願	紙	墨	1	
芥 1 72	書簡	1月15日	大谷且右衛門	麻生賀郎	先物運上納不足金の件	紙	墨	1	
芥 1 73	記	癸1月	麻生賀郎	有吉又造	金礼四十兩の借付願とその返済について	紙	墨	1	
芥 1 74	書簡	10月10日	本松五三郎	麻生賀郎	あつひの帳下地できたが?、3日延びる	紙	墨	1	
芥 1 75	〔断簡〕	1月15日	本松五三郎	麻生賀郎	ご相談の件御用捨て下されたし	紙	墨	1	
芥 1 76	〔受取〕		両吉		二百七十二貫	紙	墨	1	
芥 1 77	覚				各村来控制	紙	墨	1	
芥 1 78	書簡	5月19日	白土甚次郎	太吉	牛を巡る紛争に関して	紙	墨	1	
芥 1 79	書簡	7月14日	大谷且右衛門	麻生賀郎		紙	墨	1	
芥 1 80	書簡	7月1日	若松石炭売捌所詰 有松甚十郎	石炭方 麻生賀郎	会社内地面の件	紙	墨	1	
芥 1 81	書簡	2月	庄屋 太吉	普請方 利三郎	借付依頼の件	紙	墨	1	
芥 1 82	書簡	7月30日	中間友教	麻生賀郎	石炭積下の件	紙	墨	1	
芥 1 83	書簡	旧4月23日	大谷且右衛門	麻生太吉		紙	墨	1	
芥 1 84	書簡	7月27日	中間友教	篠崎仁八郎	石炭計算承知	紙	墨	1	
芥 1 85	書簡	8月4日	麻生賀郎	野見山彦三郎	小区の各村々へ御出金お願いしたく	紙	墨	1	
芥 1 86	書簡	10月12日	下三緒村副戸長 篠崎仁八郎	戸長 麻生賀郎	米代納の件	紙	墨	1	
芥 1 87	記	3月朔日	元野尔氏	麻生太吉	杉板の件	紙	墨	1	
芥 1 88	書簡	10月9日	矢野真直	麻生賀郎	石炭取引後返済する旨さらにお金借用したく	紙	墨	1	
芥 1 89	〔記〕	12月晦日	有松伴六	麻生賀郎	石炭関係の金銭取引カ	紙	墨	1	
芥 1 90	書簡	2月6日	小野山善三郎	戸長 麻生賀郎	できるだけ金をお預り下されたく	紙	墨	1	
芥 1 91	書簡		高山孫作	麻生賀郎	出願の件に付延引の願	紙	墨	1	
芥 1 92	書簡	5月13日	麻生太次郎	麻生太右衛門	免用普請目六を送る、米の売買について意見を聞く	紙	墨	1	
芥 1 93	覚	未2月			一札45貫文	紙	墨	1	
芥 1 94	書簡	2月23日	清水涼平	御役所		紙	墨	1	
芥 1 95	覚	2月23日	柳橋村庄屋 佐野村吉七郎	鮎口元御役場	三拾五メ三百七十九文受取	紙	墨	1	
芥 1 96	書簡			麻生太吉	郷夫月俸廃止について	紙	墨	1	
芥 1 97	〔受取〕	2月22日	庄屋 一吉孫一	鮎口元御役場	銀預99貫827文	紙	墨	1	
芥 1 98	書簡	4月6日	井上教貞	麻生副戸長	同居人の戸籍の儀に付願	紙	墨	1	
芥 1 99	書簡	3月23日	副戸長 麻生	花村彦三郎	指銀用向出来指出を願う	紙	墨	1	
芥 1 100	〔記〕	4月24日			目録	紙	墨	1	前欠
芥 1 101	村方より願知	弘化3年4月	有安村庄屋			紙	墨	1	
芥 1 102	書簡		佐安村庄屋 甚次郎	御部代役所	有安村組頭より別紙願添付	紙	墨	1	前欠カ
芥 1 103	書簡	戊1月7日	黒崎 宮本唯平	麻生賀郎	約定の生糶積下を願う	紙	墨	1	
芥 1 104	〔山元書上〕	4月13日	石炭方 麻生賀郎			紙	墨	1	
芥 1 105	書簡	8月15日	左次郎	太吉	焚石の件	紙	墨	1	
芥 1 106	書簡	3月26日			祝儀無札のお詫び	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
芥 1 107	書簡	□月20日	春吉 三次郎	麻生多吉	弟四郎平のことにつき母より申上げた件について	紙	1	破損あり
芥 1 108	書簡			麻生太吉、井出太七郎	拝借金御返納の断り	紙	1	
芥 1 109	書簡	4月13日	井手太七郎	大庄屋格 麻生太右衛門	相場報告	紙	1	
芥 1 110	書簡	2月21日	山内仁三郎	麻生太吉、井出太七郎	石代の件	紙	1	
芥 1 111	送状之事	6月13日	万屋左四郎	麻生賀郎	素纏冠拾九	紙	1	
芥 1 112	[新簡]			相場報告	相場報告	紙	1	後欠
芥 1 113	書簡	5月9日	井手太七郎	麻生賀郎	石代謹代金請求	紙	1	
芥 1 114	書簡	10月晦日	大分 大谷清三	御子長 麻生賀郎	一昨日御到来にて御調子御明白云々	紙	1	
芥 1 115	書簡	8月2日	[カネサ]	麻生	下関相場下落のお知らせ	紙	1	
芥 1 116	書簡	11月7日	大谷且右衛門	麻生賀郎	縁談の件	紙	1	
芥 1 117	書簡	5月27日	麻生太吉	麻生賀郎	金札券札引替、こけらはらい云々	紙	1	
芥 1 118	書簡	4月15日	幸袋 定五郎	麻生賀郎	孫助手引取らず出立者を指立てたので 阿三日ご用給を願う	紙	1	
芥 1 119	書簡	4月12日	森嶋屋 浅右衛門	麻生太右衛門	酒場免札貸渡を依頼	紙	1	
芥 1 120	副啓	5月28日	上三緒 太次郎	[麻生] 賀郎	石代徳銀受取	紙	1	
芥 1 121	書簡	8月17日	山さ	麻生	相場又々下落	紙	1	
芥 1 122	書簡	3月25日	加来七二	麻生多次郎	米値段報告	紙	1	
芥 1 123	書簡	9月21日		麻生賀郎	面談と話し合いの件について	紙	1	
芥 1 124	書簡	6月16日	清水宅衛門	麻生賀郎	一別以来ご無沙汰云々	紙	1	
芥 1 125	書簡	5月23日	大谷且右衛門	麻生賀郎	三田尻向粉石糶込の件	紙	1	
芥 1 126	書簡	9月4日	御役場 山江角庫	白土孫惣	川漁之儀について	紙	1	
芥 1 127	書簡	4月13日	小林源右衛門	麻生多吉	借入金子、手形算用返済、手形二通返却を願う	紙	1	
芥 1 128	書簡	9月4日	山口角藏	麻生太吉	金子貸渡しを依頼	紙	1	
芥 1 129	書簡	11月13日			頼母子講一昨日廻抹差上げの件	紙	1	
芥 1 130	書簡	3月29日	大谷且右衛門	有松伴六、麻生賀郎、 太吉	秘約定書について	紙	1	
芥 1 131	覚				計算書	紙	1	
芥 1 132	書簡	3月25日	紅屋小七	麻生太吉	昨夜注文の米買付を報告	紙	1	
芥 1 133	書簡	10月12日	紅屋小七	麻生太吉	相場報告	紙	1	
芥 1 134	書簡	4月14日	紅屋小七	麻生太吉	米値段下落、入銀を願う	紙	1	
芥 1 135	書簡	4月14日	御武〔御手洗武左衛門〕	□(への中に角)	米相場のこと	紙	2	
芥 1 136	覚	10月30日	八百屋	土	酒肴入力請求書	紙	1	
芥 1 136	[綴]				断簡、記など	紙	12	
芥 2 1	[綴]				立岩村関係	紙	44	
芥 3 1	書簡	11月28日	川崎利兵衛	福岡入市	米の相場について	紙	1	
芥 3 2	書簡	2月22日	清水清	麻生賀郎	明廿三日夕廿五日迄の内、幸袋・小竹・総田三か所間に出会し、御触れ止めのこと	紙	1	破損あり(後欠)
芥 3 3	書簡	10月2日	大庄屋 甚次郎	有安村庄屋 太吉	光蔵寺の拝借銀について	紙	1	
芥 3 4	書簡	9月28日	上座下座嘉麻蔵波郡代 役所	佐手村大庄屋 甚次郎	有安村光蔵寺本堂再建普請のこと	紙	1	
芥 3 5	書簡	12月31日	許斐宗三郎	麻生賀郎	借りていた金を利金を含め返済	紙	1	
芥 3 6	書簡	10月30日	川崎利兵衛	麻生御主人	越後米のことについて	紙	1	
芥 3 7	書簡	2月18日	川崎利兵衛	麻生賀郎	米の相場報告	紙	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
芥 3 8	書簡	10月17日	井手一三郎	麻生大吉	お金の払入れについて	紙	墨 1	
芥 3 9	書簡	4月19日	五三郎	麻生太右衛門	困い米、町米などについて	紙	墨 1	
芥 3 10	1 奉斎徳尊神 吉書	嘉永3年正月吉日	麻生太次郎		吉書	紙	墨 1	芥-3-10-2と共に包まれている
芥 3 10	2 奉斎徳尊神 吉書	嘉永3年正月吉日	麻生大吉		吉書	紙	墨 1	芥-3-10-1と共に包まれている
芥 3 11	書簡	8月21日	白土藤四郎	麻生大吉	口春村・上三緒村両村の調査の段取りについて	紙	墨 1	
芥 3 12	書簡	弘化3年4月	有安村庄屋 太吉ほか 2名、佐興村大庄屋 甚次郎	上座下座 嘉麻徳波 御山方御役所	杉木を御仕組私にて渡すよう願う、有安村庄屋・組頭のお願いは相違ない	紙	墨 1	前欠
芥 3 13	書簡	10月22日	井手市三郎	麻生賀郎	石炭拜借と石代約定について	紙	墨 1	のり付けはすれあり
芥 3 14	書簡	10月17日	川崎利兵衛	麻生御主人	米の相場について	紙	墨 1	
芥 3 15	受取	11月3日	茶屋才藏	赤坂村 武吉	米の受け取りについて	紙	墨 1	
芥 3 16	書簡	11月28日	川崎利兵衛	麻生御主人	米の値段の報告	紙	墨 1	
芥 3 17	嘉麻郡有安村百姓和平卯平新助 不覚御願申上候事	弘化2年2月	和平、卯平、新助	御郡代役所	天保10年に熱病を患い伊勢大神宮にお願いをを行ったこと。	紙	墨 1	
芥 3 18	書簡	6月25日	細分 平郎	諸用間 伊三郎	御護封御用分新証文を人遣する様萩原殿が言ったので、別紙意通を持って、近々証文を返すように、下地の証文に書き込んでおくように願う。	紙	墨 1	
芥 3 19	書簡	嘉永3年10月	立岩村庄屋 太吉ほか 4名	上座下座 嘉麻徳波御郡代役所	田地の買入売払について	紙	墨 1	
芥 3 20	書簡	7月19日	許替六平	麻生賀郎	勘辨に関しての副戸長からの送り状について	紙	墨 1	
芥 3 21	書簡	7月11日	渡辺惣作	麻生太右衛門	結構な御品御恵投に感謝	紙	墨 1	
芥 3 22	書簡	7月24日		戸長 有松氏、石炭方 庄屋 御氏	石炭取り調への件について	紙	墨 1	
芥 3 23	受取	10月晦日	庄屋 八尋嘉藏	立岩村庄屋 慶右衛門	金銭の受取証	紙	墨 1	
芥 3 24	止宿証撫之事	嘉永2年2月	佐興村大庄屋 甚次郎	上座下座 嘉麻徳波御郡代御役所	普請中の止宿の証書	紙	墨 1	
芥 3 25	立岩村止宿証撫	嘉永2年4月	川崎村普請方 利三次	上座下座 嘉麻徳波御郡代御役所	御免用御普請につき2月18日より22日まで止宿を認めること	紙	墨 1	
芥 3 26	立岩村止宿証撫之事	嘉永2年2月		麻生太右衛門	銭の意	紙	墨 1	
芥 3 27	覚	4月6日	善右衛門	麻生太右衛門	船代の受取書	紙	墨 1	
芥 3 28	請取				借区券証御運分・石炭の掘出斤数書付・岩屋着札御書へ売出斤数書付（税金とともに）・借区の上納分・明細袋代・昨年借区額に関する50丁の罪の書き出しを持参して明18日午前9時に拙宅へ出すこと	紙	墨 1	
芥 3 29	書簡	7月17日	石炭方 麻生賀郎	花村徳七ほか27名	石炭税1月より6月までの分上納のごと	紙	墨 1	
芥 3 30	書簡	11月26日	太吉	□□厩平	焚石前借のこと	紙	墨 1	破損あり
芥 3 31	書簡	12月1日	河崎屋利兵衛	麻生御主人	米の相場報告	紙	墨 1	
芥 3 32	書簡				石炭税1月より6月までの分上納のごと	紙	墨 2	のり付けが外れている、後欠
芥 3 33	[新簡]				新助一件に関する書類の御調について。委細は太次郎様ご面会のときに申し上げる	紙	墨 1	後欠

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
芥 3 34	覚				米の書上	紙	墨	1	破損あり
芥 3 35	覚	6月8日	唐人町白銀屋 六次		六次父の血脈について	紙	墨	1	
芥 3 36	[雑]				断簡など	紙	墨	17	
芥 3 37	書簡	旧11月3日	山内仁太郎	麻生太吉	今日出頭する様仰せ付けられたが病氣によりできない。石代の残りを入れ込んでほしい	紙	墨	1	後欠カ
芥 3 38	相場				米・豆・油などの相場書上	紙	墨	1	
芥 3 39	書簡	2月25日	吉川伝十郎	麻生質郎	万六艘より伝言の件	紙	墨	1	後欠
芥 3 40	[断簡]				時彦の見舞の塩鯛・茶麴のお礼	紙	墨	1	
芥 3 41	書簡	正月25日	庄屋 畑中吾平	樋口 御役場	割り当ての通り支払いの旨後に覚あり	紙	墨	1	
芥 3 42	書簡	4月12日	河崎屋利兵衛	麻生質郎	米の相場について	紙	墨	1	
芥 3 43	[断簡]				先達御專家様買い調べの米について	紙	墨	1	
芥 3 44	覚				大池積立用録の書上	紙	墨	1	後欠あり
芥 3 45	[断簡]	2月10日			書類を返すことの件	紙	墨	1	前欠
芥 3 46	書簡	3月2日	司馬屋藤次郎	麻生質郎	積代のことについて	紙	墨	1	
芥 3 47	覚	6月12日			粉石積の書上「幸」「小竹」の地名あり	紙	墨	1	
芥 3 48	[記]				積荷の書上	紙	墨	1	前欠後欠あり
芥 3 49	[記]				積荷の書上	紙	墨	1	前欠後欠あり
芥 3 50	[断簡]				堀方空留と余分の應石の見込の件	紙	墨	1	前欠カ、後欠、下部破損あり
芥 3 51	覚	9月3日	有安平助	榎森 太吉	代金の書上	紙	墨	1	
芥 3 52	書簡	9月22日	庄屋 芳右衛門	庄屋 太吉	鮎田村合同のこと	紙	墨	1	
芥 3 53	覚				金札の札	紙	墨	1	
芥 3 54	覚				舟田・佐興等の人数の書上	紙	墨	1	後欠カ、下部破損あり
芥 3 55	覚	4月			舟の運賃の支払いに関する書上	紙	墨	1	
芥 4 1	御免用大鑑大工賃銭請取申事	万延元8月13日	仁郎七	普請方 太右衛門	有井村・鮎田村の分の賃銭を受け取った	紙	墨	1	破損あり
芥 4 2	書簡	□月23日	蔵屋 務	有村忠平	お札守について	紙	墨	1	破損あり
芥 4 3	[覚]				立岩村の田敷・鼻敷・口米の書上。土手下敷村亦分・泚水破損所夏仕戻土取跡敷村亦分という説明がある	紙	墨	1	端の方に破損あり
芥 4 4	[断簡]				金子御渡方の件。御銀元御上納のことは大安心した。下山田・鮎田・元吉御通帳の委細は甚次郎分別紙を以…(以下欠)	紙	墨	1	前後欠、破損あり
芥 4 5	書簡	7月17日	中村役場	上三緒御役場	岩島共代私について	紙	墨	1	
芥 4 6	書簡	□月16日	中村艘 弥次郎	上三緒艘 御役場	別紙の通り同月間に相成る条のこと	紙	墨	1	破損あり
芥 4 7	覚	未12月21日			米の書上	紙	墨	1	
芥 4 8	請取	辰11月29日	庄屋 甚郎	庄屋 大左衛門	御指紙二枚・米33俵7斗9合を受取った	紙	墨	1	
芥 4 9	書簡	3月19日	細屋 九藏	立岩村庄屋 太吉	過日相談した向島一件について	紙	墨	1	
芥 4 10	嘉麻郡有安村焚 [] 山元 太次郎作念御願				焚石焼方の件	紙	墨	1	後欠カ、破損あり
芥 4 11	覚				米・人名の書上	紙	墨	1	
芥 4 12	覚	3月2日	下三緒村 半三郎	立岩村庄屋 太吉	講金御度の件	紙	墨	1	右端に破損あり
芥 4 13	覚	1月13日	柴屋孫兵衛	鮎田村	鮎田村の米代を立岩村助蔵より受取った	紙	墨	1	黒印「ちくわ」 柴塚
芥 4 14	覚	12月13日	柴屋孫兵衛	立岩村 助蔵	領取証	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
芥 4 15	[断簡]				其村茂平去冬相納の件	紙	1	後欠
芥 4 16	[断簡]				去夏の洪水による崩落と堀方について	紙	1	前後欠
芥 4 17	[記]				飯塚小平の銭に関する書上か	紙	1	裏に断簡（栢森村組頭又平次・同村住居伊三郎→ <input type="checkbox"/> 麻下座 <input type="checkbox"/> 惣波 <input type="checkbox"/> 郡代御役所、 <input type="checkbox"/> 元禄3年9月、年貢大豆代銀について、上欠）あり
芥 4 18	書簡	7月17日	庄屋 勇平	普請方 太右衛門	大船大工賃銭について、有難く受取申し上げる	紙	1	
芥 4 19	嘉麻郡多田村御免用材木大船大工賃銭御請取申上候事	安政6年7月13日	多田村□屋 勇平	嘉麻總波御郡代御役所		紙	1	
芥 4 20	[断簡]				同村の御普請の件、草稿カ	紙	1	後欠カ
芥 4 21	覚	5月	太次郎	太吉	残金は屋敷にて受け取る	紙	1	
芥 4 22	[断簡]	9月22日	米惣屋		大板表における米の売買の件	紙	2	後欠、上部に破損あり。2枚目は白紙
芥 4 23	書簡	7月17日	大庄屋 井手太七郎	立岩住屋 太右衛門	別紙請取書一通、延引ながら送りました	紙	1	
芥 4 24	嘉麻郡立岩村太次郎存忍御願申上候口上之覚				[草稿カ]	紙	1	3通の書簡の草稿と見られる
芥 4 25	[断簡]	10月25日		岩井四太吉	焚石買上の金子の件、草稿カ	紙	1	後欠カ
芥 4 26	口上				通帳に付書[]かいせい二相成候	紙	1	破損あり
芥 4 27	書簡	7月17日	庄屋 兵三郎	普請方 太左衛門	当村破損箇所未掛御書抜を承知した。春延と御印の方も大事の場所のため、明日調べて届ける	紙	1	
芥 4 28	[記]				1枚目、2枚目ともに下三ヲ久三郎[カ]の銭に関する書上か	紙	2	裏に断簡（私化3年分の年貢大豆代銀について、上欠）あり
芥 4 29	書簡	7月25日	庄屋 長五郎	庄屋 真衛門	別紙の通り、役所より御持出下さるべく願ひ奉り候	紙	1	後欠カ
芥 4 30	[断簡]				天領へ御登の人数の件、草稿カ	紙	1	
芥 4 31	書簡	亥11月	立岩村庄屋 太吉	大庄屋 白土甚次郎	当月中当村中領中事無御座候	紙	1	
芥 4 32	書簡	7月17日	井手佐七郎	太右衛門	積水の件	紙	1	
芥 4 33	[断簡]				若松にて博変取扱、隠居、金子打まけの件	紙	1	後欠
芥 4 34	[記]				悪心今年相調申上げられ候	紙	1	
芥 4 35	書簡	12月21日	大隈町 徳右衛門	有松忠平	高右衛門口上書一通を指上げることと米を渡すことについて、飯塚にて野披利右衛門様からお頼みの千柿と別紙目録の通指上げる	紙	1	破損あり
芥 4 36	[雑]					紙	17	字の練習に用いた紙と思われる
芥 5 1	書簡	5月25日	平松五三郎	麻生	金銭仕送りについて	紙	1	
芥 5 2	[覚]				金銭の覚	紙	1	破損あり
芥 5 3	覚	6月29日	はかたや兵七	太吉	米の価格についての覚	紙	1	
芥 5 4	覚	12月21日	金子	庄屋 多吉	權の代金の覚	紙	1	
芥 5 5	覚	2月26日			金の受取の覚	紙	1	
芥 5 6	手形の事	5月24日	太次郎	芦屋 焚石御役所	石代銭の手形	紙	1	
芥 5 7	覚	辰12月28日	普右衛門	栢森村 太右衛門	金銭受取之覚	紙	1	
芥 5 8	覚				金銭の書上	紙	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
芥 5 9	書簡	11月	大二郎	太吉	此日の一件について	紙	墨	1	
芥 5 10	書簡	4月7日	大吾	麻生大人	花村忠平のことについて	紙	墨	1	
芥 5 11	覚				金銭の書上	紙	墨	1	
芥 5 12	覚				金銭についての覚	紙	墨	1	
芥 5 13	[記]				米の書上	紙	墨	1	
芥 5 14	御受取申上候事	安政2年8月9日	下三緒村	上座下座嘉麻穂波御郡御役所	御免用仕替大工賃銀と掛廻船代の受取御旅宿まで内状指上のことについて [同月]とあり	紙	墨	1	
芥 5 15	書簡					紙	墨	1	
芥 5 16	断簡				書簡の草稿と思われる	紙	墨	1	破損あり
芥 5 17	覚				鯉、鱈、鯛などの覚	紙	墨	1	
芥 5 18	覚	未12月23日	下山田村 善三郎	のしや勘藏	蔵敷・運賃の書上	紙	墨	1	
芥 5 19	書簡	12月10日	嘉麻穂波郡代役所	大住屋 有村忠平	別紙御折について	紙	墨	1	
芥 5 20	覚	10月25日	司馬属 藤三郎	麻生賃部	金銭の勘定についての覚	紙	墨	1	
芥 5 21	覚	西1月7日	船屋徳石衛門	上縁	船米代の覚	紙	墨	1	
芥 5 22	書簡	4月2日	川崎屋利兵衛	福岡久一	米の相場について	紙	墨	1	
芥 5 23	記				金代、右代、牛馬などについての記	紙	墨	1	
芥 5 24	書簡	2月28日	福岡久兵衛	麻生賃部	大分に入港した際の積み下ろしの件と、松尾氏のおかげで家賃が下がった件	紙	墨	1	
芥 5 25	書簡	2月22日	庄屋 金生	樋口 御役場	普請方印判のこと	紙	墨	1	
芥 5 26	[断簡]				代銭指送りの件	紙	墨	1	破損あり
芥 5 27	覚				金銭の書上	紙	墨	1	
芥 5 28	[記]	申4月			金の代金の記、はじめに「有安分」とあり	紙	墨	1	
芥 5 29	[記]				米の書上、はじめに「立岩」とあり	紙	墨	1	
芥 5 30	御請取申上候事	万延元年8月	口原村庄屋 新平	嘉麻穂波御郡代役所	大工大解賃銀の請求のこと	紙	墨	1	
芥 5 31	覚	西1月28日	麻生賃部	川崎伊助	金銭の覚	紙	墨	1	
芥 5 32	書簡	11月28日		麻生大吉	先日のお払いに行けなかったので、近日中に祝儀の品を贈る	紙	墨	1	
芥 5 33	記	2月10日	大二郎	庄屋 大吉	米と人名の記	紙	墨	1	
芥 5 34	覚				人夫の費用の覚	紙	墨	1	
芥 5 35	受取	午4月5日	惣兵衛	麻生鶴兵	押屋など代銭受取の記	紙	墨	1	
芥 5 36	請取	11月21日	口原村庄屋 藤次	御普請方 太右衛門	米の請求書	紙	墨	1	
芥 5 37	覚	10月21日	森崎屋義石衛門	庄屋 多次郎	金銭受渡の覚	紙	墨	1	
芥 5 38	覚	10月21日	□(○の中)の小 属	普請方 太右衛門	金銭受渡の覚	紙	墨	1	
芥 5 39	覚	7月9日	大工 甚助	普請方 太右衛門	戸廻掛銭の覚	紙	墨	1	
芥 5 40	覚	9月14日			小ズイ、大根などの代金の書上	紙	墨	1	
芥 5 41	覚	子12月16日	飯塚仕組方	立岩村庄屋 太右衛門	金銭受取の覚	紙	墨	2	のり付けがはずれあり
芥 5 42	書簡	6月19日	組頭 平五郎	麻生太右衛門	糧米2俵を平右衛門に借用願う内容	紙	墨	1	
芥 5 43	書簡	3月23日	鯉田村 高瀬小三郎	栢森石炭方役 麻生 賀郎	石炭送証券お渡しのこと	紙	墨	1	
芥 5 44	書簡	2月4日	有松伴六	麻生賃部	別紙申上候文吉200両のこの協議について	紙	墨	1	
芥 5 45	書簡	2月20日	難波屋兼作	麻生賃部	利金6両について	紙	墨	1	
芥 5 46	書簡	10月4日	大庄屋 甚次郎	庄屋 太吉	別紙の通り願書送付のこと	紙	墨	1	
芥 5 47	記				立岩村の米の拝借について	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
芥 5 48	[記]	12月27日	多吉	太右衛門	金銭受渡の覚	紙	1	
芥 5 49	覚	12月13日	庄屋 甚十郎	庄屋 太吉	触用口の金銭についての覚	紙	1	
芥 5 50	覚	12月24日	多次郎	庄屋 多吉	金銭の覚	紙	1	
芥 5 51	覚	7月22日	長右衛門	栢森村庄屋 太右衛門	米の請取の覚	紙	1	
芥 5 52	書簡	8月1日	養育方 九郎七	庄屋 太吉		紙	1	
芥 5 53	覚				金銭の覚	紙	1	綴が外れて一枚になっている
芥 5 54	書簡	未12月29日	庄屋 ■部	庄屋 太吉	評議の行く末について	紙	1	綴が外れて一枚になっている
芥 5 55	[覚]	辰12月5日	茶屋六右衛門	立岩村庄屋 太右衛門	金銭の覚	紙	1	
芥 5 56	覚	午12月	源右衛門		日付・金銭・人名の書上、宛先部分欠損	紙	1	
芥 5 57	書簡	12月7日	栢間賀四郎	石段方 麻生賀郎	墨崎の2万枚積み送りのこと	紙	1	
芥 5 58	覚	8月4日	又助	太吉	米の書上	紙	1	
芥 5 59	書簡	10日			元金7両の件について	紙	1	
芥 5 60	[雑]	1月4日			和歌々	紙	1	破損あり
芥 5 61	覚				口米内礼願のこと、先日御願上のことなど	紙	1	
芥 5 62	断簡					紙	1	
芥 5 63	[雑]				和歌々	紙	1	破損あり
芥 5 64	受取	申3月16日	庄屋 太郎	庄屋 太吉	米代の受取の覚	紙	1	
芥 5 65	覚		太次郎	栢屋永次	金銭の覚	紙	1	
芥 5 66	覚	4月15日	麻生太右衛門	鶴次郎	金銭受け渡しについての覚	紙	1	
芥 5 67	受取	未12月29日	庄屋 勘右衛門	庄屋 太吉	番方代銀上納の受取証	紙	1	
芥 5 68	書簡	6月15日			此日御用に付き上山田に罷越居しこと	紙	1	
芥 5 69					米の書上	綴	2	こよりで一括
芥 5 70	書簡	12月晦日	喜六、甚五郎		ご相談しておいた面札については5日にお送りします	紙	1	
芥 5 71	受取	10月23日	川端町御用判坐 大坂 屋 文助	有安村 太吉	金銭の受取証	紙	1	
芥 5 72	受取	申7月4日	上庄屋 太二郎	有安庄屋 太吉	米代の受取証	紙	1	
芥 5 73	覚	午12月	栢屋茂平	栢森村 太吉	米代などの覚	紙	1	
芥 5 74	覚	亥3月15日	麻生太次郎	市三郎	金銭についての覚	紙	1	
芥 5 75	覚				金銭について	紙	1	
芥 5 76	覚	巳3月	庄屋 茂平	栢森村 太吉	金額と人名の書上	紙	2	のり付けがはずれあり
芥 5 77	記	12月25日	白土孫惣	麻生太吉	金額についての記	紙	1	
芥 5 78	覚				米代の書上	紙	1	
芥 5 79	覚	申12月	藤油屋善右衛門	栢森 太吉	金銭の書上	紙	1	
芥 5 80	書簡	10月22日	庄屋 太二郎	庄屋 太吉	当年御通知のこと、金銭受け渡しにことについて	紙	1	破損あり
芥 5 81	記	2月14日	金崎屋甚蔵	麻生太吉	金銭の書上	紙	1	
芥 5 82	請取	4月5日	内野宿問屋 武部	有安村庄屋 太吉	金銭についての受取	紙	1	
芥 5 83	[断簡]	3月18日	黒崎 宮本唯平	麻生御阿家	先日より相談の為替金について	紙	1	前欠々
芥 5 84	手形之事	6月7日	有安村山元 太次郎	若松 焚石御役所	私石代の手形	紙	1	
芥 5 85	嘉麻郡有安村庄屋組頭乍恐御願を申上事	弘化3年1月5日	有安村庄屋 太吉ほか2名	上下幕越御郡代御役所	有安村にて通掛の旅人病死のこと	紙	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
券 5 86	書簡 [雑]		大庄屋 湖上久郎	庄屋衆中	村々へのお渡し	紙	墨	1	
券 5 87					断簡・包み紙・下書きなど	紙	墨	25	
券 6 1	口上	5月25日	大庄屋 元	庄屋 太右衛門、多次郎	金銭の受取についての受取証	紙	墨	1	のりづけ外れ注意
券 6 2	請取	辰12月17日	大庄屋 元	立岩村	差紙の件について	紙	墨	1	
券 6 3	書簡	11月24日	小倉表 佐助	栢森 太右衛門		紙	墨	1	
券 6 4	書簡	7月25日				紙	墨	1	
券 6 5	書簡	2月21日	馬関 惣兵衛	麻生賀郎	相場の近況について 米の相場について、後に「拜書之事」として米代銀上納のこと	紙	墨	1	
券 6 6	書簡				病氣・療法について	紙	墨	1	一部破損あり
券 6 7	書簡 [記]				10月2日有安太次郎の金銭の覚	紙	墨	1	
券 6 8	書簡	12月16日	庄屋 太吉	栢森 太次郎	風呂敷に包んでお渡しください 人数の書上あり	紙	墨	1	破損あり
券 6 9	書簡	7月22日	御通方役 弥四郎	庄屋組頭衆中	人足についての書上	紙	墨	1	
券 6 10	書簡	7月22日	弥四郎	庄屋組頭御衆中	大豆・小豆・水などの書上	紙	墨	1	
券 6 11	書簡				地名の書上	紙	墨	1	前欠
券 6 12	覚				受け取りました	紙	墨	1	
券 6 13	記				語連上と面役帳波多分2冊の受取証	紙	墨	1	
券 6 14	受取	1月23日	庄屋 太右衛門	庄屋 兵右衛門	買物目銭の指出について	紙	墨	1	
券 6 15	受取	4月11日	大庄屋 元	庄屋 太右衛門	金銭の書上	紙	墨	1	
券 6 16	書簡				立岩村の触用出金について	紙	墨	1	
券 6 17	記				別紙にて送り上げ候条の御受取について	紙	墨	1	
券 6 18	[記]					紙	墨	1	
券 6 19	書簡	5月1日	白土藤四郎	麻生賀郎		紙	墨	1	
券 6 20	書簡	5月23日	御武〔御手洗武左衛門〕	□(への中に角)	会便の動向について	紙	墨	1	前欠、一部破損あり
券 6 21	書簡	12月24日		麻生太吉	米のことと正月明けのことについて	紙	墨	1	破損あり
券 6 22	請取	11月29日	甚助	大右衛門	金銭の受取証	紙	墨	1	
券 6 23	請取	辰12月29日	次郎助	栢森 太右衛門	触雑用金の受取証	紙	墨	1	
券 6 24	書簡				若松での米の渡しについて	紙	墨	1	後欠カ
券 6 25	覚	辰12月		太右衛門	金銭についての覚	紙	墨	1	
券 6 26	受取	弘化2年10月2日	太久門	太吉	受取証	紙	墨	1	破損あり
券 6 27	記				木材の書上	紙	墨	1	
券 6 28	受取	9月17日	山口孫作		注連一通の受取証	紙	墨	1	
券 6 29	[任命状写]	明治6年3月	福岡泉	清水宅右衛門	第七大区戸長申付のこと	紙	墨	1	
券 6 30	覚				人足についての覚	紙	墨	1	
券 6 31	受取	未3月30日	大庄屋 元	立岩村庄屋 太右衛門	触用出金などの金銭受取の書上	紙	墨	1	
券 6 32	書簡	戌11月17日	湊屋徳十	麻生御氏	近來の沖舟払について難決のこと	紙	墨	1	
券 6 33	請取	2月17日	上三緒村大庄屋	庄屋 太吉	金銭の受取についての書上	紙	墨	1	
券 6 34	書簡	7月22日	大庄屋 有松忠平	庄屋組頭御衆中	人足についての書上	紙	墨	1	一部破損あり
券 6 35	書簡	9月25日	庄屋	庄屋 太吉	御向族様御送駕の人馬並びに雑費約メ帳2冊について	紙	墨	1	
券 6 36	覚	12月23日	立岩 太右衛門	上三緒 井手左七郎	金銭の借用に關する書上	紙	墨	1	
券 6 37	[記]				人足についての書上	紙	墨	1	
券 6 38	綴				金銭についての書簡や作物の書上など 麻生賀郎に宛てたものが多い	綴	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
芥 6 38 2	[記]	2月8日	下岡 紙屋政右衛門	麻生	品物の金銭の書上	紙	1	
芥 6 38 3	書簡	12月12日			相場の見込みについて	紙	1	前欠カ
芥 6 39	書簡	12月12日	泉屋忠平		仰付けられたことはお達しました	紙	1	「追啓」とある。
芥 6 40	[書上]	12月			品物の書上	紙	1	
芥 6 41	書簡	7月13日	有松銀平	立岩村庄屋 太右衛門	大工賃銭について	紙	1	
芥 6 42	書簡	7月22日	永七	大久助、太吉	押川様が内野宿に泊まり、お触状を認めた。	紙	1	破損あり
芥 6 43	書簡	12月9日	庄屋 大之助	庄屋 太右衛門	御代の援助願います	紙	1	
芥 6 44	[記]	12月11日			草稿カ	紙	1	
芥 6 45	[記]	10月11日	紙屋政右衛門	麻生賀郎	領収証	紙	1	
芥 6 46	書簡	10月27日	九郎	麻生太吉	請取書について	紙	1	破損あり
芥 6 47	書簡	12月17日			「貴村御郡切立切付御見通」	紙	1	
芥 6 48	書簡	2月25日	第八大区調所	麻生賀郎	2月の取持について	紙	1	
芥 6 49	覚	3月7日	藤吉	庄屋 太右衛門	書き上げ	紙	1	
芥 6 50	辰十一月役 立岩				品物の値段の書き上げ	紙	1	
芥 6 51	[雑]				村名の書き上げ、メモ	紙	1	
芥 6 52	[記]	9月25日	間屋 永七	庄屋 太久助、太助	赤坂蝕、木材の書き上げ	紙	1	
芥 6 53	書簡	12月12日			大村御参席の件について	紙	1	
芥 6 54	書簡	12月12日			電信不通の件について	紙	1	破損あり
芥 6 55	書簡	8月25日	庄屋 太郎	庄屋 太吉、間屋 永七、源七	人足についての件など	紙	1	大きな破損あり
芥 6 56	覚	辰12月	角替又兵衛	柏森 太右衛門	金銭の書き上げ	紙	1	
芥 6 57	[記]				人足についての書き上げ	紙	1	破損あり、のり付け部分、はずれ注意
芥 6 58	覚				口原よりの金銭の書き上げ	紙	1	
芥 6 59	書簡	10月24日	藤右衛門	藤右衛門	家族についての内容カ	紙	1	破損あり
芥 6 60	書簡	12月13日	芦屋 石炭売捌所	石炭方 麻生賀郎	税金について	紙	1	破損あり
芥 6 61	記		卯助	柏森 麻生太吉	書き上げ	紙	1	
芥 6 62	書簡	3月9日	戸長 清水宅右衛門	戸長 麻生賀郎	第七大区戸長拜命の件について	紙	1	
芥 6 63	覚				金銭の書き上げ	紙	1	
芥 6 64	口上	5月25日	元	庄屋 麻生太左衛門、多次郎	金銭の書き上げ	紙	1	
芥 6 65	嘉麻郡上三緒下三緒相森立岩四ヶ村織合御免掛廻入用古翰代御受取申上候事	安政2年6月	上三緒村庄屋 井手太七郎、下三緒村庄屋 吉右衛門、相森村庄屋 作次郎、立岩村庄屋 太右衛門	上座下座嘉麻總波御郡御役所	金銭について	紙	1	破損あり
芥 6 66	書簡	10月20日	井原新		米の値段の相場についての連絡	紙	1	
芥 6 67	記				金銭の書き上げ、前欠カ	紙	1	
芥 6 68	[記]				金銭の借り入れなどについて	綴	1	破損あり、紙蓋はないが、かつては綴られていたように見受けられる
芥 6 69	覚				金銭の書き上げ	墨	1	
芥 6 70	[覚]	11月9日	大庄屋 許	仁保半頭 太右衛門	金銭についての書き上げ	紙	1	破損あり
芥 6 71	記				人名の書き上げ	紙	1	
芥 6 72	[記]				五ヶ年賦の諸借材について	紙	1	前欠
芥 6 73	覚	12月6日	大庄屋 許	二保間次 太右衛門	金銭の書き上げ	紙	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
券 6 74	覚	申12月 2日	大庄屋 許第七大区 彌所(朱印)	立岩村庄屋 二保 彌次 太右衛門	金銭についての書き上げ	紙	墨	1	
券 6 75	書簡	11月 7日		麻生太吉	賀郎への催促	紙	墨	1	
券 6 76	書簡	10月15日	野見山五人郎	戸長 麻生寛郎		紙	墨	1	
券 6 77	書簡	3月25日	上野重忠	立岩 麻生太吉		紙	墨	1	
券 6 78	[記]				仁保、金銭についての書き上げ	紙	墨	1	
券 6 79	書簡	5月16日	小倉屋佐助	麻生	相場についての異議申し立て	紙	墨	1	
券 6 80	覚	8月14日	■■■■丹二郎	麻生太右衛門	金銭についての覚	紙	墨	1	
券 6 81	覚	12月27日	栢森幸頭	立岩村庄屋 太右衛門	金銭についての書き上げ	紙	墨	1	
券 6 82	書簡	11月11日	麻生太次郎	麻生太吉	米の相場について	紙	墨	1	前欠あり
券 6 83	[雑]				断簡など雑多な紙の集まり	紙	墨	6	
券 7 1	書簡				春季余月書上、別紙四通あり	紙	墨	1	
券 7 2	記				和歌カ	紙	墨	1	
券 7 3	[記]	12月 5日	博多米会所		大阪四蔵の米相場について	紙	墨	1	
券 7 4	[記]	12月 6日	博多米会所		大阪四蔵の米相場について	紙	墨	1	
券 7 5	覚				金銭の書き上げ	紙	墨	1	
券 7 6	覚	12月	松屋 久平	栢森太吉	米の書き上げ	紙	墨	1	
券 7 7	領手形	戊8月	有安山元 太次郎	麻生 葵石御役所	葵石の領手形	紙	墨	1	
券 7 8	受取	12月15日	源藏	栢森村 太吉	米の受け取りについて	紙	墨	1	
券 7 9	書簡	1月 3日	曾藏	六郎、太吉、芳郎	処廻について	紙	墨	1	
券 7 10	書簡	12月16日	口原助役 源七	大吉 佐子村大庄屋 白土 俊次郎	御代官様の送別の人馬の費用について 大工大銅賃銀ならびに大銅賃料米代其 外別代などの件について	紙	墨	1	
券 7 11	書簡	8月30日				紙	墨	1	
券 7 12	嘉麻郡下三緒村庄屋組頭中作恐御願申上候事	安政7年 3月	下三緒村組頭 吉九郎、半三、半五郎、同村庄屋	御郡代御役所	岩測の洪水の被害について	紙	墨	1	
券 7 13	書簡	12月15日	太二郎	太吉	依平より毎回お願い申し上げ候ことについて	紙	墨	1	
券 7 14	書簡				免用申請について	紙	墨	1	
券 7 15	覚	10月 7日	水納屋	太次郎	大根10本の大根の覚	紙	墨	1	
券 7 16	覚				米と人名の書上 前欠ありカ	紙	墨	1	
券 7 17	嘉麻郡口原村庄屋組頭中作恐御願申上候事	安政6年 6月	口原村庄屋 新平	嘉麻總代御役所	大川筋洪水による破損所の普請御願い 申上候こと	紙	墨	1	
券 7 18	[記]				畑のとれたかの書上	紙	墨	1	
券 7 19	書簡	7月17日	大庄屋 井手 []	普請方 太吉		紙	墨	1	破損あり
券 7 20	書簡	9月15日	佐興村庄屋 勘平	普請方 太右衛門	御免用大工賃銀御渡のこと、覚が後続	紙	墨	1	
券 7 21	書簡	12月 6日	新助	栢森村庄屋 太吉	米相場の動向についてカ	紙	墨	1	
券 7 22	預り手形	9月11日	有安山元 太次郎	芦屋 葵石御役所	金銭の預りについて	紙	墨	1	
券 7 23	御直覧	12月11日			雑費について	紙	墨	1	
券 7 24	書簡	正月11日	利三次、彦 [] 門	庄屋 太吉	今日のうちあわせについて	紙	墨	1	破損あり
券 7 25	覚	戊12月	彦右衛門	栢森 新助、茂二郎	日付ごとの金銭と人名の書上	紙	墨	2	のり付け外れあり、破損あり
券 7 26	[記]				村ごとの年貢米の書上	紙	墨	1	こよりあり
券 7 27	嘉麻郡人水村庄屋組中作恐御願申上候事	安政6年 6月	人水村庄屋 忠平	嘉麻總代御役所	川筋普請中のことについて	紙	墨	1	
券 7 28	書簡				御書下のことについて	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
芬 7 29	記				返事の内容の草糧カ	紙	1	破損あり
芬 7 30	覚				村ごとの金銭についての書き上げ	紙	1	
芬 7 31	御通写	11月23日	組頭 善次郎	庄屋 勘平	米十俵の覚	紙	1	
芬 7 32	受取	7月12日	高倉村庄屋 甚十郎	普請方 太右衛門	御免用大工大銀貨銭の受取証	紙	1	
芬 7 33	書簡	9月15日	口原村庄屋 新平	米請方 太右衛門	大工衆、釘代の金銭について、法度	紙	1	破損あり
芬 7 34	請取	9月14日	庄屋 ■■■	普請方 太右衛門	新川石根槽の費用日録分の受取証	紙	1	
芬 7 35	[雑]				断簡など、雑多な紙類	紙	21	
芬 8 1	書簡	5月21日	かが屋辻右衛門	山元 藤十郎	舟積のことについて	紙	1	破損あり
芬 8 2	書簡	2月12日	有松	麻生御氏	出金のことについて	紙	1	
芬 8 3	書簡	11月22日	藤田次七	麻生賀部	呉府からの返済について	紙	1	
芬 8 4	[雑]				「かかや江」の覚	紙	1	
芬 8 5	書簡	12月18日	保長 花村佳七	保長頭 麻生太吉、麻生藤十郎	根米の送付について	紙	1	
芬 8 6	書簡	10月29日			石代露米のことについて	紙	1	
芬 8 7	書簡				此日上納の銀について、下書きカ	紙	1	
芬 8 8	書簡	3月8日	庄屋 清四郎、勘十	大庄屋 善次郎	上納米と目録について	紙	1	
芬 8 9	覚	8月28日	山本文吉	麻生太右衛門	金銭受取の覚	紙	1	
芬 8 10	覚	2月20日	米屋吉兵衛	麻生太右衛門	米の代金についての覚	紙	1	
芬 8 11	覚	西4月	紙屋次郎	庄屋 太吉	金銭受渡の覚	紙	1	
芬 8 12	[記]				人足四十五人の記	紙	1	
芬 8 13	受取	5月14日	普請方 新三郎	有安村	銭の受取について	紙	1	
芬 8 14	受取	子2月13日	山屋總右衛門	庄屋 太右衛門	金銭の受取証	紙	1	
芬 8 15	書簡	11月5日	有平	麻生太吉	若松出張のことについて	紙	1	のりつけがはずれている
芬 8 16	御文合書物事	慶應4年4月3日	上三緒村庄屋 麻生太右衛門	教元寺	御文合書物の件	紙	1	
芬 8 17	書簡	9月20日	戸長 有松保六	副戸長 麻生太吉	別紙御熟覧のことについて	紙	1	
芬 8 18	書簡		清水源平	麻生賀部	金銭のことについて	紙	1	破損あり
芬 8 19	書簡	3月28日	有井保長 篠崎仁八郎	副戸長 麻生太吉	別紙御官貢御進上のことについて	紙	1	
芬 8 20		4月2日	勢田村山元 二之瀬小三郎	八六区石炭方 麻生賀部	石炭送証券のことについて	紙	1	
芬 8 21	書簡	4月2日	白土崧次郎	副戸長 麻生太吉	何卒私証御出のこと	紙	1	
芬 8 22	記				金銭についての覚	紙	1	
芬 8 23	記				金銭受渡しの覚、裏に日付を同じくする文書あり	紙	1	
芬 8 24	記	4月1日	麻生太吉	麻生多次郎	金銭についての覚	紙	1	
芬 8 25	書簡	9月9日	上野有忠	麻生賀部	差引一件熟断について	紙	1	
芬 8 26	請取	12月8日	さつまや幸■	太右衛門	金の請取について	紙	1	破損あり
芬 8 27	十月廿四日興力				村ごとの入夫の書上	紙	1	
芬 8 28	書簡	9月13日	紙屋政右衛門	麻生賀部	新米のことについて	紙	1	
芬 8 29	書簡	12月23日	紙屋小七	麻生太吉	金買付けのことについて	紙	1	破損あり
芬 8 30	書簡	11月25日	米吉	麻生	租物のことについて	紙	1	
芬 8 31	覚	7月19日	紙屋政右衛門	林田御家 福岡	石代などの覚	紙	1	
芬 8 32	覚	2月19日	紙屋政右衛門	麻生嘉郎	売金の書上	紙	1	
芬 8 33	記	11月29日		麻生	米の代金について	紙	1	
芬 8 34	書簡	12月11日	紙屋政右衛門	麻生氏	会社相場についての報告	紙	1	
芬 8 35	書簡	9月21日	戸長 有松伴六	戸長 浦上皆渡	石炭取締役費区のことについて	紙	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
券 8 36	覚	12月4日	太右衛門	鶴次郎	金銭受渡しの覚	紙	墨	1	
券 8 37	相庭	11月20日	紙屋政右衛門	麻生賢郎	米、油、大豆などの代金の書上	紙	墨	1	
券 8 38	書簡	12月7日	角屋傳五	麻生賢郎	現米相購のこと	紙	墨	1	
券 8 39	書簡	12月8日	紙屋小七	麻生多吉	米の相購について	紙	墨	1	
券 8 40	書簡	6月9日	紙屋政右衛門	麻生	米会所の買入金のことについて	紙	墨	1	
券 8 41	書簡	9月27日	紙屋政右衛門	各様	米の代金などについて	紙	墨	1	
券 8 42	書簡	12月2日	紙屋小七	麻生太吉	相場の報告	紙	墨	1	
券 8 43	書簡	11月12日	紙屋小七	麻生太吉	相場の報告	紙	墨	1	
券 8 44	書簡	9月9日	立石謙兵衛	麻生賢郎	石炭の販売に関してのこと	綴	墨	1	
券 8 45	書簡	4月1日	白土孫三	麻生副戸長	書式変更のこと	紙	墨	1	
券 8 46	[断簡]				御町内伊勢参、普請の件	紙	墨	1	後欠
券 8 47	[覚]	7月12日			銀預り覚買七百五十拾文、飛脚夫銭御請取の件	紙	墨	1	
券 8 48	[断簡]					紙	墨	1	前後欠
券 8 49	[断簡]				十月四日有安次郎の金額の書上	紙	墨	1	後欠
券 8 50	[断簡]				勝野の數値の書上	紙	墨	1	後、下部欠
券 9 1	覚	17日		太次郎	別三郎に黒米を渡す	紙	墨	1	
券 9 2	覚	18日		太次郎	岩五郎に白米を渡す	紙	墨	1	
券 9 3	覚	17日		太次郎	別三郎外、「 <u> </u> 」を渡す	紙	墨	1	
券 9 4	書簡	11月4日	上三緒村 太之助	立岩 太吉	岡浦田賃を利方私にて迄季延す件と、岡浦田米課の件	紙	墨	1	
券 9 5	書簡	11月3日	古川助左衛門	太之助	当年が金課であるため、二口共改める	紙	墨	1	
券 9 6	覚				米の書上	紙	墨	1	
券 9 7	内				口原村等の田数、石高、夫数の書上	紙	墨	1	
券 9 8	書簡	11月4日	[] 衛門	庄屋 太吉	当村御上納金の一件、裏に米の書上有	紙	墨	1	
券 9 9	書簡	11月2日	庄屋 太右衛門	大庄屋 白土甚次郎	村の島方について御出指申のことについて	紙	墨	1	
券 9 10	覚	9月16日	[] 正左衛門	上	大藏番等の錢の書上	紙	墨	1	
券 9 11	書簡	12月5日	立岩 太吉	上三緒 太二郎	岡浦・利金について	紙	墨	1	
券 9 12	書簡	12月5日	太二郎	太吉	小作御返金割合について	紙	墨	1	
券 9 13	書簡	正月24日	庄屋 太吉	勘十	門松御証提御屋敷より参っていない件	紙	墨	1	
券 9 14	覚				ことからごとの出費の書上	紙	墨	1	
券 9 15	古田	嘉永4年正月			嘉永4年正月付けの嘉麻郡の田島書上のひな型	紙	墨	2	のり付け外れあり
券 9 16	書簡	12月22日	庄屋 曾郎	庄屋 太吉	飯塚出合の日程の件と、当春御世話になった千文の返弁の件	紙	墨	1	
券 9 17	書簡	8月7日	庄屋 勘十	普請方 太右衛門	橋井桶流失分大御糧米代・釘代大工賃	紙	墨	1	
券 9 18	覚				銭などの申告	紙	墨	1	
券 9 19	書簡	12月30日	太庄屋 井手太七郎	庄屋 太右衛門	日付、金額、村名の書上	紙	墨	1	
券 9 20	[記]				歳暮として購一尾受納のこと	紙	墨	1	
券 9 21	[記]				米の書上	紙	墨	1	
券 9 22	[記]				永木唐戸仕替役所 占御渡銭等の書上、	冊	墨	1	
券 9 23	[記]				「太右衛門」と記載	紙	墨	1	
券 9 24	駄賃覚				永損帳家書上の帳について承知のこと	紙	墨	1	
券 9 25	書簡	12月5日	上三緒	庄屋 太吉	田敷と米の書上	紙	墨	1	
券 9 25	書簡	12月5日	上三緒	庄屋 太吉	安内様々仁藏様行の書状の件	紙	墨	2	封筒分けの際に雜目のところまで2枚に分離した

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
券 9 26	[記]				預り手形指出置き候こと	紙	墨	1	
券 9 27	覚				九月十四日、十七日の坂の明神等に關する金銭の書上	紙	墨	1	
券 9 28	[記]				米・当年大庄屋之払分の書上	冊	墨	1	
券 9 29	覚				錢の書上	紙	墨	1	虫喰有
券 9 30	書簡	12月28日	庄屋 惣兵衛	庄屋 大右衛門	札代米御渡のことについて	紙	墨	1	
券 9 31	[記]				大夫・物資の書上	紙	墨	1	
券 9 32	覚	7月26日	嘉穂郡代役所	上三緒村の銀の書上		紙	墨	1	
券 9 33	普請方引合覚				申奉御免月仕替分の金額等の書上	紙	墨	1	
券 9 34	書簡	申12月7日	大庄屋 元	庄屋 大右衛門	祝儀金の受取について、書上あり	紙	墨	1	破損あり
券 9 35	書簡	正月23日	役場 勘十	庄屋 太吉	貴村御地頭門松御証様拜見の件	紙	墨	1	
券 9 36	請取	9月29日	名代 川内庄屋 相尚	山倉村	竹の請取証	紙	墨	1	
券 9 37	[雑]					紙	墨	3	字の練習1枚、記載無し1枚、切れ端1枚
券 10 1	書簡	□月2日	養石方 大二郎	庄屋 太吉	山元中借入銀に關する件	紙	墨	1	破損有
券 10 2	[記]				端午此日より雜物仕置難きことについて	紙	墨	1	
券 10 3	去状之事				次平一件などについての下書カ	紙	墨	1	
券 10 4	[記]				金銭の書上	紙	墨	1	
券 10 5	覚				駄賃等の金額の書上	紙	墨	1	
券 10 6	[記]				酒等に関する書上、「太次郎」等の人名の記載有	紙	墨	1	
券 10 7	注文				内容は人名のみ	紙	墨	1	
券 10 8	[記]				番付カ	紙	墨	1	
券 10 9	書簡	正月7日	細分 有松候平	庄屋 善仁左衛門 組頭衆中	親文方の帰宿の件	紙	墨	1	
券 10 10	請取	亥正月4日	野見山市右衛門	有安村庄屋 彦右衛門	庭子と着草に關する書上 1枚の請取証	紙	墨	1	
券 10 11	書簡	7月12日	庄屋 平十	大鍋粮米代、大工賃銀の受取について		紙	墨	1	
券 10 12	覚	辰11月21日	中津 忠右衛門	金銭に關する書上		紙	墨	1	
券 10 13	覚	8月13日	庄屋 永安大吉	普請方 太右衛門	船大工等の人数と金銭の書上	紙	墨	1	
券 10 14	受取申上候事	万延元年8月13日	有安村庄屋 作次郎	嘉麻惣波御郡代御役所	御免用大工木挽賃銀の受取証	紙	墨	1	
券 10 15	書簡	菊月18日		御庄屋 太吉	御あつかりふんさつかり送りつかわすことに関する件	紙	墨	1	
券 10 16	書簡				栗の買入れについて協議のこと 後欠あり	紙	墨	1	破損あり
券 10 17	書簡	12月24日	直左衛門代 谷□□ほか2名	大庄屋 有松 忠平 ほか2名		紙	墨	1	前欠、破損有
券 10 18	書簡	12月23日	孝次郎	御主人様	町金再度租のことについて工夫願ひ奉るること	紙	墨	1	破損あり
券 10 19	書簡	9月9日	孫次	太吉	大坂表について、古米の相場に關する大記述あり	紙	墨	1	
券 10 20	書簡	12月16日	大庄屋 有松 []	大庄屋 甚次郎	別紙御触状一通の受取について、後ろに湖上 [] の書状がのり付けされている	紙	墨	1	破損あり
券 10 21	御免用大鍋大工賃銀請取申上候事	万延元年8月	佐興村庄屋 勘十(黒印)	嘉麻惣波御郡代御役所	賃銀を請取った	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
芬 10 22	御請取申上候事	万延元年8月	川崎村庄屋 永末大吉	嘉麻總波御郡代御役所	大船大工大船買録米と元米代の請取の覚	紙	墨	1	
芬 10 23	〔包紙〕			表書「御免用銀受取書宮通 嘉麻郡川崎村」	御免用銀受取書宮通	紙	墨	1	中身無
芬 10 24	〔覚〕			村ごとの入人数の書上		紙	墨	1	のり付け外れあり
芬 10 25	御受取申上候事	万延元年申8月		御免用御普請大工大船買料を受取った		紙	墨	1	
芬 10 26	覚	展12月	松屋次三郎	嘉麻總波御郡代御役所	金銭のやりとりの覚	紙	墨	1	
芬 10 27	相場	2月17日	博多 米会所	大坂四蔵米受、貞越十一月限りの相場の書上		紙	墨	1	
芬 10 28	請取	12月26日	田坂作平	有松忠平	御状一封の請証	紙	墨	1	破損あり
芬 10 29	覚	展12月28日	福正	麻生大右衛門	正金目銭受渡の覚	紙	墨	1	
芬 10 30	預り手形	亥9月15日	太吉	紀屋利右衛門	銭を預った	紙	墨	1	
芬 10 31	断簡	12月23日	大庄屋 甚次郎	大庄屋 有松忠平	前欠あり	紙	墨	1	破損あり
芬 10 32	書簡	12月24日	甚次郎	有松	下山田島方御通帳指届の件	紙	墨	1	破損有
芬 10 33	書簡	12月23日	下山田村庄屋 本	大庄屋 多次郎	当村番方通帳今日に指届のことについて	紙	墨	1	破損あり
芬 10 34	書簡	12月23日	泉屋 忠平	庄屋 大右衛門	古証文の件	紙	墨	2	
芬 10 35	覚			商品の名前と値段の書き上げ		紙	墨	1	
芬 10 36	覚	9月18日	喜助	金銭についての書き上げ		紙	墨	1	
芬 10 37	書簡	12月24日		御野切立銭について		紙	墨	1	
芬 10 38	覚	亥9月21日	甚次郎	米代、酒代、宿代など出費の覚		紙	墨	1	
芬 10 39	〔記〕			畠の面積と取れ高の記		紙	墨	1	
芬 10 40	覚	戊12月	〔 〕庄屋 善右衛門	日付、米、人名の書上		紙	墨	1	のり付け外れあり
芬 10 41	嘉麻郡立岩村之内皮多庄屋組合 任上候指届之事			当春宗旨を改めて後村中に入人無きことについて		紙	墨	1	
芬 10 42	書簡	正月15日	庄屋 甚右衛門	御通り出動、地割、帳面の件		紙	墨	1	
芬 10 43	書簡	7月12日	庄屋 新平	御免用大工買銀などの請取について		紙	墨	1	のり外れあり
芬 10 44	書簡	正月4日	野見山市右衛門	去12月分産子書上を2枚送りました		紙	墨	1	
芬 10 45	書簡	4年4月	太久助	金銭の押さへについて		紙	墨	1	墨で消してある
芬 10 46	断簡			願一件について 中村嶋の島方御倉納と残多に付御渡金減少のことについてな		紙	墨	1	のり外れあり
芬 10 47	〔雑〕			後次カ		紙	墨	10	
芬 11 1	乍恐口上書之覚	嘉永5年8月	舟頭 又平、太七、次助、忠次郎	此度菱石積立のことについて、朱書で校正あり		紙	墨	1	
芬 11 2	嘉麻郡下三緒村庄屋組頭乍恐申 上口上之覚	文久2年4月20日	下三緒村組頭 早五郎、他三名	明西寺の件について		紙	墨	1	
芬 11 3	嘉麻郡立岩村庄屋組頭乍恐御注 進申上候事			当村抱石石場にて田地に行倒死人有りのことについて		紙	墨	1	
芬 11 4	石川主水正縁与之御印状写	正月20日	石川主 水正	安政6年2月に御用達吉川名太郎により強盗採御役入衆中宛てに書かれたり		紙	墨	1	
芬 11 5	嘉麻郡立岩村山元吉平乍恐御 「 』	嘉永3年10月	立岩村山元 吉平	立岩村山元左衛門の死去に伴う菱石の払込等に關して御上の御慈悲による御被〔カ〕増等を願う		紙	墨	1	破損あり
芬 11 6	嘉麻郡「 』御願申上候事	嘉永4年4月	佐興嶋間次 赤坂村大庄屋 置平	立岩村大谷の菱石堀方のことについてのお願ひ、上部に正左衛門作成の書簡かのり付け		紙	墨	1	破損あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数	備考
芥 11 7	[記]				草稿カ 角平ほか11名の人名の書上	紙	墨 1	
芥 11 8	寛 嘉麻郡立岩村庄屋大吉請願申上候事	嘉永5年5月	立岩村庄屋 大吉	上座 下座 嘉麻總波御郡御役所	当年も例年と同様のはからいをお願いします。	紙	墨 1	
芥 11 9	面〔カ〕後払証據事	明治2年4月	仁保村庄屋 伴六(黒印)	元吉村庄屋 伊三郎	当村藤次郎が其村次三郎の所に志季いるため、当村面役を差除き、其村御面役を申付けける	紙	墨 1	
芥 11 10	[記]		下三緒村庄屋 麻生太右衛門など	嘉麻總波御郡代御役所	下三緒村百姓嘉平より捨子仕直に養育御願申上候ことについて 前欠ありて 後欠あり	紙	墨 1	
芥 11 11	嘉麻郡下三緒村百姓嘉平年恐御注進申上候事	文久2年2月14日	下三緒村 嘉平	上座 下座 嘉麻總波御郡御役所	当村利左衛門の帰村に伴う当村帳面への追加を願う	紙	墨 1	
芥 11 12	嘉麻郡下三緒村庄屋組頭年恐御注進申上候事	明治元年十二月	下三緒村庄屋 麻生太右衛門(黒印) ほか3名	上座 下座 嘉麻總波御郡御役所	当春宗旨受取の儀御願申上候者たちについて 後に四宮市右衛門、田中文十郎宛の追而書あり	紙	墨 1	
芥 11 13	嘉麻郡立岩村庄屋組頭年恐福岡市中出人御願申上候事	安政7年正月	立岩村庄屋 太右衛門他4名	嘉麻總波御郡代御役所		紙	墨 1	
芥 11 14	[起請文]	慶應2年8月晦日	鞍手郡 田村出生 幸平ほか9名	久田七三 岩田喜八郎		紙	墨 1	
芥 11 15	嘉麻郡立岩村居住之庄頭書上申上事	天保5年2月	立岩村庄屋 太右衛門	宗旨御奉行様 御役所	庄頭菊映は当村に居住する	紙	墨 1	
芥 11 16	何郡何村庄屋組頭年恐御願申上候事	何ノ何年何月	何村庄屋 何某	上座 下座 嘉麻總波御郡代御役所	流浪から帰参した人物の判形を願う文書のひな形カ	紙	墨 1	
芥 11 17	嘉麻郡立岩村庄屋組頭年恐市中出人御願申上候事	嘉永4年正月	立岩村庄屋 大吉ほか4名	上座 下座 嘉麻總波御郡御役所	岩平病身につき農家稼ができないことについて後に白土屋次郎作成・小田庄左衛門宛の追而書あり	紙	墨 1	
芥 11 18	[包紙]				表書「口上書迄通 嘉麻郡 下三緒村」中身無	紙	墨 1	
芥 11 19	[包紙]				表書「書請方 麻生太左衛門 組頭新聞義太郎 重御用申上候」中身無	紙	墨 1	
芥 11 20	[包紙]				立岩村の丁場における焚石堀方について	紙	墨 1	
芥 11 21	嘉麻郡立岩村庄屋組頭年恐御願申上候事					紙	墨 1	
芥 11 22	[起請文]	慶応3年	鞍手郡小竹村土生 幸村ほか7名	上座 下座 嘉麻總波御郡御役所	内容は起請文の定型文カ	紙	墨 1	
芥 11 23	嘉麻郡立岩村庄屋組頭年恐市中出人御願申上候事	明治2年正月	立岩村庄屋 麻生太右衛門	上座 下座 嘉麻總波御郡御役所	男一人を博多津西町上幸助所に養子にやるための宗旨受取についてのお願い	紙	墨 1	
芥 11 24	嘉麻郡立岩村庄屋組頭年恐他郡出人御願申上候事	明治2年2月	立岩村組頭 大作ほか3名、向村庄屋 太左衛門	御郡御役所	助成が1人嫁ぐで宗旨請私をする	紙	墨 1	
芥 11 25	嘉麻郡佐与村庄屋組頭山ノ口其外百生子荒仕子遊民拾老歳以上御山御法度之趣被仰渡起請文を以御請申上候前書之事				御山御法度の内容	紙	墨 1	後欠カ
芥 11 26	[起請文]	安永3年3月	和吉名子 幸利ほか11名	木山源利 花房又右衛門	内容は起請文の定型文カ	紙	墨 1	
芥 11 27	[記]				宗旨帳に書式した人数の記 後欠あり	紙	墨 1	
芥 11 28	[雑]				人名のみが書かれた起請文用紙など6点	紙	墨 6	
芥 11 29	雑				文字の記入なし	紙	墨 25	
芥 12 1	記				佐賀の乱に関する記の草稿	紙	墨 1	上下逆向きの文あり
芥 12 2	記	12月15日	御民		筑前新米の受取について	紙	墨 1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
券 12 3	[記]								
券 12 4	書簡	3月7日	三郎	賀部	ココサケヤ。ヒチジウヒチセソ。ゴン。モチダシハチシウゴセソ。チウコム。クツウハチセソ	紙	墨	1	
券 12 5	書簡	3月6日	水吉三郎	賀部	石炭取組一条について、有松戸長と濱戸長の談判のお願い	紙	墨	1	
券 12 6	書簡	3月9日	福岡賀四郎、林田平三郎、林田平右衛門	麻生賀郎、福岡久郎	馬周表にて申上候ソウラ取組一條のこと 会社売買社中分是迄御引合仰付候得共御面倒ながら残らず今一応引合仰付られたきこと	紙	墨	1	
券 12 7	書簡	3月10日	麻生太郎	麻生賀郎	若松会社との引き合わせ、潜伏人脱走の件について	紙	墨	1	
券 12 8	書簡	3月13日	濱戸長	普請政 有吉三郎	別紙の通り有松氏より御返事来候に付き此状届き次第麻生氏に御掛合のこと	紙	墨	1	
券 12 9	書簡	2月26日	多次郎	麻生賀郎	現米売払いに付き金銀借受のこと	紙	墨	1	
券 12 10	書簡	3月6日	麻生太次郎ほか2名	麻生賀郎ほか1名	佐賀の乱の攻防について	紙	墨	1	
券 12 11	書簡	2月26日	麻生太吉	麻生賀郎	佐賀軍動搖に付き、二十三日第八大区中にて三百人出籠のこと	紙	墨	1	
券 12 12	書簡	3月14日	大谷貞右衛門	麻生賀郎		紙	墨	1	
券 12 13	書簡	3月9日	三人	麻生賀郎	会社現米について、此伏着き次第郵便に会社現米共に詳しく御書記のこと	紙	墨	1	
券 12 14	書簡	3月26日	麻生太次郎	麻生賀郎	百石だけお売り売め頼み上げてる	紙	墨	1	
券 12 15	書簡	3月5日	清水弥平	麻生賀郎	古川氏の現米売渡のことについて	紙	墨	1	
券 12 16	書簡	4月1日	有吉三郎	麻生	石炭当社引割の儀について、手数料に關する記あり	紙	墨	1	
券 12 17	書簡	3月31日	諸作	麻生御大人	米の証券の利息について、会社の売人買人の人気振りなど知らせてほしいこと	紙	墨	1	
券 12 18	電報	3月4日	塩柴	淺尾	ココチクランジウ センジキリニシウニセソ サンジウニセソ イツセソ ヤセソ サンキリシラセ	専用紙	墨	1	
券 12 19	書簡	3月13日	芦屋石炭売捌所	若松口売捌所	有松戸長、濱戸長の知らせを馬周の麻生氏に伝えてほしい	紙	墨	1	
券 12 20	書簡	3月3日	加藤勘兵衛	麻生大先生	馬周表にて申上候金券売払のことについて	紙	墨	1	
券 12 21	[封筒]		塩屋栄治	淺尾	電報の封筒、内容物なし	紙	墨	1	
券 12 22	書簡	2月28日	第八大区調所	麻生賀郎ほか1名	糧米の売り払いについて	紙	墨	1	
券 12 23	書簡	戊3月18日	林田平三郎	麻生賀郎、福岡久郎	筑前■所長知迎夫■相談候尊承大札の模跡■々御心配のこと 金銀についてのへた追而書あり	紙	墨	1	
券 12 24	電報	2月24日	綿中 卯右衛門	紙武政(紙屋政右衛門)	ココロクエン ヒセソソラドラニテココトクメ	専用紙	墨	1	
券 12 25	書簡	3月13日	古川伝七郎	麻生ほか2名	ご念書の件について	紙	墨	1	
券 12 26	伺	3月6日	有吉三郎		完脚所小役業について、松本殿出張に相成しことについて、石炭売割できな	紙	墨	1	
券 12 27	[断簡]		治郎作	御庄兼中	いことについてなど4点の伺い	紙	墨	1	
券 12 28	書簡				肥前県騒動のことについて 後欠あり	紙	墨	1	
券 12 29	書簡	3月1日	麻生藤郎、麻生太次郎	麻生宗兵衛	佐賀県此節事件のことについて 後欠あり	紙	墨	1	破損あり
券 12 30	書簡	3月25日	角屋和藏	麻生賀郎	賀部様の会社の庭面に關して左の通り差上げるということ	紙	墨	1	
券 12 31	書簡	2月23日	花村徳七	麻生賀郎、花村茂三	米会社への注文について 福岡県追々在賣せしむ御提出のこと	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
券 12 32	[記]		麻生惣兵衛	麻生大次郎、麻生藤七	金銭の書上	紙	墨	1	
券 12 33	書簡	3月12日	有松戸長	浜戸長	石炭事件について	紙	墨	1	破損あり
券 12 34	[記]				四月三十日付の金銭の書上	紙	墨	1	
券 12 35	書簡	3月18日	福岡賀四郎	麻生賀郎	別紙の通り石代上納御催儀のことについて	紙	墨	1	
券 12 36	書簡	3月26日	清水源平	麻生御大人	油屋から社米二百石のことについては御尊君の取りはからいを頼む内容	紙	墨	1	
券 12 37	書簡	2月28日	第七大区調所	清水源平、金子謙	区内米減少に付き金表へ積出米取返し申さずのこと 前欠あり	紙	墨	1	
券 12 38	書簡	3月13日	有吉三郎、伊藤武作	麻生賀郎	濱戸長より石炭事件に付き丹屋より出方の儀、御掛合に引出候ことについて	紙	墨	1	
券 12 39	記	戊3月	花村忠平	大谷定右衛門	押金の受取証	紙	墨	1	
券 12 40	[記]	4月19日	紙〔尾〕政右衛門	麻生賀郎	今朝会社相場についての記	紙	墨	1	
券 12 41	書簡	4月19日	藤十郎	麻生賀郎	若松の相場・夕場での売上米の値段について	紙	墨	1	
券 12 42	金子借用書				山本嘉七郎、麻生賀郎宛の金子借用書のひな型	紙	墨	1	
券 12 43	書簡	4月19日			別紙申上候石又殿、紙取殿、若垣殿両家の徳金について、御座公様御承知のこと	紙	墨	1	
券 12 44	書簡			山本嘉七郎、麻生賀郎	石炭斤数立等について拙者共三名三ッ割にて弁金のこと 草稿カ	紙	墨	1	
券 12 45	記	21日	若正		米の相場についてカ	紙	墨	1	
券 12 46	記				石炭売捌所遠較分社に相成候に付き、葛藤山元中より申出のこと、調所向の上取締り致し候こと承知されたし、申出の内容は左に箇條書きあり	紙	墨	1	
券 12 47	[記]	4月13日、14日			西会社の金銭に関するメモ書き	紙	墨	1	
券 12 48	[記]	16日			東会社の金銭に関するメモ書きとあり	紙	墨	1	
券 12 49	[記]				引付金調達のことについて	紙	墨	1	
券 12 50	書簡	3月10日	大谷貞右衛門	麻生賀郎	旧2月22日に決まったことについて	紙	墨	1	
券 12 51	書簡	3月24日	大谷貞右衛門	麻生賀郎	遠較会の分社のことについて	紙	墨	1	
券 12 52	書簡	3月24日	大谷貞右衛門	麻生賀郎	佐賀県騒動における米の売買対応について	紙	墨	1	
券 12 53	書簡	2月28日	第七大区調所	清水源平、金子弥平次		紙	墨	1	
券 12 54	書簡	3月15日	福岡賀四郎、林田平三郎、林田平右衛門	麻生賀郎	石代米村により受取残はいよいよ相運候ことについて	紙	墨	1	
券 12 55	書簡	3月16日	福岡久一	麻生賀郎、麻生惣兵衛	石代など金銭のことについて	紙	墨	1	
券 12 56	書簡	3月16日	紙〔尾〕政右衛門	麻生賀郎	米の価格について	紙	墨	1	
券 12 57	[記]				国名と人名の書上	紙	墨	1	
券 12 58	[記]	2月24日	御武		地名と金銭の書上	紙	墨	1	
券 12 59	書簡	□月29日	麻生大吉	麻生賀郎	只衛門夜前引取について	紙	墨	1	
券 12 60	記				大津の内籠札分書上	紙	墨	1	
券 12 61	書簡	3月17日	加藤	麻生大先生	売捌所諸口約出米居り申さず、約し次第大谷氏より御送越のこと	紙	墨	1	
券 12 62	書状	3月13日	新開与八、清水源平	麻生大人	至急家に来て下さい	紙	墨	1	
券 12 63	[記]				和歌カ	紙	墨	1	
券 12 64	口上	3月2日	加藤	麻生大先生	丹若一件の取り締まりについて	紙	墨	1	第七大区調所の未印あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
券 12 65	送達紙	2月23日	入掛出頭	紙致	筑前米の相場について	紙	墨	1	
券 12 66	書簡	2月28日	第八大区副所	麻生賀郎ほか1名	佐賀県での事件における根米の扱いについての下書き	紙	墨	1	
券 12 67	記				人名の書き上げ	紙	墨	1	
券 12 68	記	2月20日	麻生賀郎	麻生惣兵衛	米や金銭についての書き上げ	紙	墨	1	
券 12 69	書簡	3月22日	大谷貞石衛門	麻生賀郎、許斐六平	別社開きの件	紙	墨	1	
券 12 70	雑				下書きや紙切れ等	紙	墨	23	
券 13 1	御通	文久3年正月	福澤屋正吉	麻生太右衛門	書上げ	綴	墨	1	こよりで綴ってある
券 13 2	覚	4月10日	清郎	太右衛門	金銭の覚	紙	墨	1	
券 13 3	覚	12月25日	清四郎	鶴吉	米一合を渡す件について	紙	墨	1	
券 13 4	書簡	6月13日	有松破平	太右	金銭の支払いについて	紙	墨	1	
券 13 5	覚	多極月	藤兵衛	麻生太右衛門	酒の書き上げカ	紙	墨	1	
券 13 6	(記)				年毎の金銭の書き上げ	紙	墨	1	破損あり
券 13 7	請取	辰2月	六右衛門	太右衛門	金銭の請取書	紙	墨	1	
券 13 8	書簡	9月18日	五左衛門	太右衛門		紙	墨	1	
券 13 9	1 御用米銭受取	文久3年正月			御用米銭受取の封筒、立岩村と記されている	紙	墨	1	封筒の中に5つの文書が入っている。破損あり
券 13 9 2	(記)	5月22日	大庄屋 元		金銭の書き上げ	紙	墨	1	
券 13 9 3	(記)	亥4月7日	大庄屋 元		立岩村における金銭の書き上げ	紙	墨	1	
券 13 9 4	焚石石炭村救急救護渡通	文久3亥年			立岩村における金銭の書き上げ	紙	墨	1	こよりで綴ってある
券 13 9 5	焚石石炭村救急救護渡通	文久3亥年			下三船村における金銭の書き上げ	綴	墨	1	こよりで綴ってある
券 13 9 6	請取	4月6日	大庄屋 元	立岩村	金銭の書き上げ	紙	墨	1	2枚の小さな紙切れが付随している
券 13 10	覚	8月18日	庄屋 吉兵衛	庄屋 太右衛門	昨日ご相談申し上げ候通り、左の通り助合頂きたい	紙	墨	1	
券 13 11	書簡	12月9日	小林儀右衛門	麻生太右衛門	金銭の貸借について	紙	墨	1	
券 13 12	覚	12月	上座 下座 嘉麻林總波部役所	有松破平	金銭の納入について	紙	墨	1	
券 13 13	覚	2月18日	郎	麻生太右衛門	金銭の書き上げ	紙	墨	1	
券 13 14	請取	12月30日	奉助	太右衛門	金銭の請取書	紙	墨	1	
券 13 15	(綴)				金銭の書き上げなど	綴	墨	1	
券 13 16	請取	12月26日	川島村舟頭 和助		正金2両の請取について	紙	墨	1	
券 13 17	御請取	12月20日	米兵衛	鶴次郎	金銭の請取書	紙	墨	1	
券 13 18	責		武平 太平		金銭の書き上げ	紙	墨	1	
券 13 19	覚	12月24日	清四郎	鶴次郎	米の借し出しについて	紙	墨	1	
券 13 20	覚	10月21日	山元 良助	太右衛門	米の取引についての覚	紙	墨	1	後欠
券 13 21	覚	10月24日	山元 良助	太右衛門	米2束 貸出したについて	紙	墨	1	
券 13 22	書簡	9月15日	武次郎	豊助、大吉	栗一掴りあての件	紙	墨	1	封筒あり
券 13 23	覚	10月27日	山元 良助	太右衛門	米1斗5升貸出したについて	紙	墨	1	
券 13 24	覚	亥3月	養右衛門	麻生太右衛門	米の書き上げ	紙	墨	1	
券 13 25	書簡	9月18日	芳次郎	太吉	神祭の式次第あるが、今夕明朝のうちには太吉に会いたいといふことについて	紙	墨	1	
券 13 26	宗旨御改二付受証紙之事	嘉永4年2月	鞍手郡野村庄屋 清三郎	嘉麻林 立岩村 庄屋 大二郎		紙	墨	1	
券 13 27	書簡	9月14日	伝平	太二郎	米の相場の件について	紙	墨	2	封筒あり
券 13 28	書簡	9月2日	庄屋 六右衛門	太右衛門	当村細屋九藏跡田地永代先渡奈米のことについて	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
芬 13 29	[綴]				立岩村の金銭の請求証などの綴、辰年のものか	綴	1	
芬 13 30 1	内用米銭受取入	文久3年正月			裏紙を再利用して封筒にしたもの	封筒	1	芬-302-芬-304の封筒
芬 13 30 2	覚	亥12月	立岩 又五郎	麻生 太右衛門	金銭受渡しの覚	紙	1	
芬 13 30 3	受取	亥13月	大出屋 元	下三緒村	米の受取証	紙	1	
芬 13 30 41	[記]	12月12日	下の 権六	栢森村	金銭の赦免についての記	紙	1	綴の一部か
芬 13 30 42	覚	12月23日	上三緒弥三郎	庄屋 麻生太右衛門	銀札請求の覚	紙	1	
芬 13 30 43	覚	10月24日	万屋伍平	清四郎	金銭預りの覚	紙	1	
芬 13 30 44	覚	12月	立岩太郎	庄屋 太右衛門	小倉屋喜四郎方へ種子御用用の覚	紙	1	
芬 13 30 45	覚	11月25日	新作	麻生多右衛門	金銭御渡の覚	紙	1	
芬 13 30 46	覚	亥10月	山元 良吉	麻生太右衛門	金銭払渡の覚	紙	1	
芬 13 30 47	覚	10月16日	司馬藤三郎	太右衛門	米の受渡についての覚	紙	1	
芬 13 30 48	請求	6月2日		栢森 太右衛門	帷子代の請求証	紙	1	
芬 13 30 49	[記]				金銭の書上か	紙	1	
芬 13 30 410	書簡	11月7日	谷彦四郎	庄屋 麻生太右衛門	金銭の受取について 覚あり	紙	1	
芬 13 30 411	[記]	戌12月29日	藤右衛門	麻生太右衛門	人夫の書上	紙	1	
芬 13 30 412	請求	4月19日	角屋長兵衛	庄屋 麻生太右衛門	切手の請求証	紙	1	
芬 13 30 413	覚	12月29日	庄屋 義作	庄屋 太右衛門	飯塚にて証文状入申候こと	紙	1	
芬 13 30 415	覚	12月6日	口春村 曾七	栢森村 太右衛門	金銭受取の覚	紙	1	
芬 13 30 416	請求	亥2月16日		普請方 麻生太右衛門	金銭の受取証	紙	1	
芬 13 30 417	書簡	2月18日	直右衛門		上納金についてのお願ひ、覚あり	紙	1	
芬 13 30 418	書簡		弥三郎	笠右衛門	上三緒村の焚石精買お借りのことについて	紙	1	
芬 13 30 419	覚	正月19日	喜右衛門	太右衛門	米の請求証	紙	1	
芬 13 30 420	覚	文久3年	大田屋吉兵衛	栢森村 太右衛門	金銭請求の覚	紙	1	
芬 13 30 421	[記]	12月22日	泉屋忠平	太右衛門	立岩村 太吉の米上納高などの書上	紙	1	綴の一部
芬 13 30 422	受取	本村良吉	庄屋 太右衛門	太右衛門	米の受取証	紙	1	
芬 13 30 424	田地売渡代金之内請求書之事	文久3年3月14日	若葉村 弥一郎	下三緒村庄屋 麻生太右衛門	田地売渡代金の請求証	紙	1	
芬 13 30 425	[記]				栢森 太吉の坑費の記	紙	1	
芬 13 30 426	書簡	9月21日	孫吉	栢森 太右衛門	米二俵貸渡しのこと	紙	1	
芬 13 30 427	覚	正月28日	吉兵衛	麻生太右衛門	金銭請求の覚	紙	1	
芬 13 30 428	受取	3月29日	伴郎	麻生太右衛門	金銭の受取証	紙	1	
芬 13 30 429	受取	正月22日	正永寺 世話方	麻生太右衛門	割木の受取証	紙	1	
芬 13 30 430	覚	5月16日	小七	栢森 嘉平	金銭受取の覚	紙	1	
芬 13 30 431	覚	5月6日	孫六	栢森村 太右衛門	金銭の書上	紙	1	
芬 13 30 432	覚	3月17日	本村伴右衛門	麻生太右衛門	掛金の覚	紙	1	
芬 13 30 433	請求	2月19日	惠屋伊七ほか1名	立岩村 太右衛門	金銭の受取証	紙	1	
芬 13 30 434	覚	4月19日	御塚 柳屋喜作	栢森庄屋 太右衛門	日代金請求の覚	紙	1	
芬 13 30 435	覚	4月14日	大工 勘助	麻生太右衛門	下三緒村御免用金銭の請求証、金割のみを書いた紙 同折	紙	1	芬-13304-352と同折
芬 13 30 436	請求	4月14日	大工 勘助	庄屋 麻生太右衛門	日代金請求の覚	紙	2	
芬 13 30 437	書簡	5月28日	石屋平右衛門	御普請方 太右衛門	金銭受取の覚	紙	1	
芬 13 30 437	書簡	11月21日	史七	麻生太右衛門	金子山之内調達の是非について	紙	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
券 13 30 4-38	請取	12月24日	御民官役所	生麻太右衛門	石山十一日銭の請取証	紙	墨	1	
券 13 30 4-39	請取	亥12月24日	井上	麻生太右衛門	金銭の請取証	紙	墨	1	
券 13 30 4-40	書簡	12月25日	庄屋 宅七	庄屋 麻生太右衛門	焚石の件について	紙	墨	1	
券 13 30 4-41	覚	12月17日	魚屋藤吉	庄屋 多右衛門	金銭の請取の覚	紙	墨	1	
券 13 30 4-42	覚	亥11月	卯助	栢森 太右衛門	金銭の書上	紙	墨	1	
券 13 30 4-43	覚	亥12月24日	■右衛門	麻生太右衛門	金銭の書上、日付同一で作成者宛先の ない覚一枚同折	紙	墨	2	
券 13 30 4-44	覚		良作			紙	墨	1	
券 13 30 4-45	請取	亥12月9日	高山 直右衛門	麻生太右衛門	金銭の書上 表題下に「勘助」とあり	紙	墨	1	
券 13 30 4-46	覚	亥3月29日	八十七	麻生太右衛門	金銭支払の覚	紙	墨	1	
券 13 30 4-47	書簡	12月12日	喜右衛門	通太	金銭の借用に於いて	紙	墨	1	
券 13 30 4-48	受取	極月6日	森崎屋喜右衛門	通太 太右衛門	金銭預りの覚	紙	墨	1	
券 13 30 4-49	請取	亥12月12日	森崎屋喜右衛門	麻生太右衛門	金銭請取証	紙	墨	1	
券 13 30 4-50	預ヶ手形	酉12月	藤井五三郎、藤井茂四郎	仁保 弥三郎	金銭の手形	紙	墨	1	封筒あり
券 13 30 4-51	覚	11月15日	源助	麻生太右衛門	金銭の覚	紙	墨	1	
券 13 30 4-52	覚	亥12月20日	藤吉	庄屋 太右衛門	売上金の覚 「一預銭拾五文」と書いた札 同折	紙	墨	2	
券 13 30 4-53	受取	亥10月20日	善右衛門	下三緒庄屋 太右衛門		紙	墨	1	
券 13 30 4-54	請取	亥12月27日	庄屋 通太	麻生太右衛門	金銭の請取証	紙	墨	1	
券 13 30 4-55	覚	文久3年10月6日	野田新五右衛門	南屋山元 秀雄	焚石代受取の覚	紙	墨	1	
券 13 30 4-56	受取	亥12月24日	有安村 安平	立岩 麻生太右衛門	切手の受取証	紙	墨	1	
券 13 30 4-57	受取	亥12月29日	角文	金銭の受取証	紙	墨	1		
券 13 30 4-58	受取	12月29日	三栢屋良吉	核合 太右衛門	米の受取証	紙	墨	1	
券 13 30 4-59	覚	亥 極月	孫六	栢森庄屋 多右衛門	金銭の書上	紙	墨	1	
券 13 30 4-60	〔記〕	12月28日		庄屋 太右衛門	高田次郎についての書上	紙	墨	1	
券 13 30 4-61	受取	12月27日	サミヤ九平	大右衛門	大右衛門についての米の書上	紙	墨	1	
券 13 30 4-62	覚	12月29日	長平	御代官鎌口上について	年割について御相談のこと	紙	墨	1	
券 13 30 4-63	書簡	12月29日	清嘉作	大右衛門	御代官鎌口上について	紙	墨	1	
券 13 30 4-64	書簡	12月29日		下三緒村の金銭書上、前欠あり		紙	墨	1	
券 13 30 4-65	〔記〕					紙	墨	1	
券 13 30 4-66	書簡	12月29日	永末大吉	麻生太右衛門		紙	墨	1	
券 13 30 4-67	書簡	5月30日	菅斐義太郎	麻生太右衛門		紙	墨	1	
券 13 30 4-68	目録	4月9日	伊七	普請方 太右衛門	瓶廻代金の目録	紙	墨	1	破損
券 13 31 1	酉冬米鑑諸目六					封筒	墨	1	
券 13 31 2	綴	酉12月		立岩村庄屋 多吉	金銭の書き上げ	綴	墨	1	
券 13 31 3-1	綴	11月10日	福次屋正吉		金銭の書き上げ	綴	墨	1	破損あり
券 13 31 3-2	〔記〕	12月10日	太吉		金銭の書き上げ 麻生太吉払	綴	墨	1	
券 13 31 4	覚				金銭の書き上げ	紙	墨	1	
券 13 31 5	〔覚〕	酉12月			金銭の支払書 上三緒払	紙	墨	1	
券 13 31 6	覚	12月23日	才藏	立岩村 久次	米の書き上げ	紙	墨	1	
券 13 31 7	覚	3月22日	□郎	庄屋 太吉	米の書き上げガ	紙	墨	1	破損あり
券 13 31 8	覚	12月28日	善右衛門	庄屋 太吉	米の書き上げ	紙	墨	1	
券 13 31 9	受取	酉12月20日	庄屋 平十	庄屋 太吉	金銭の受取書	紙	墨	1	
券 13 31 10	覚	12月16日	釜屋惣右衛門店	甚十郎	金銭の覚	紙	墨	1	
券 13 31 11	覚	酉12月	直右衛門	栢ノ森庄屋 太吉	米の書き上げ	紙	墨	2	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
券 13	121 請取	西11月12日	大庄屋 元	立岩村庄屋 太吉	金銭の受取書	紙	墨 2	
券 13	122 請取	西10月13日	大庄屋 元	立岩村庄屋 太吉	金銭の受取書	紙	墨 1	
券 13	31 13 [記]	11月10日	郡屋宅七ほか1名	御通方衆中	金銭の書き上げ 大庄屋の払	紙	墨 1	破損
券 13	31 14 覚	11月21日	大庄屋 元	立岩部役所	金銭の受取書	紙	墨 1	
券 13	31 15 請取	2月5日	大庄屋 元	立岩部役所	米の受取書	紙	墨 1	
券 13	31 16 請取	6月22日	茂七	立岩部役所	米の書き上げ	紙	墨 1	
券 13	31 17 [記]	2月17日	大庄屋 元	立岩村 元	米の書き上げ	紙	墨 1	
券 13	31 18 受取	西12月24日	大庄屋 元	立岩村 元	金銭の書き上げ	紙	墨 1	
券 13	31 19 覚	西12月19日	庄屋 甚郎	庄屋 太吉	金銭の書き上げ	紙	墨 1	
券 13	32 1 封筒		普請方 国広定衛門	普請方 太右衛門	金銭の書き上げ	紙	墨 1	破損がひどい。中に9つの文書が入っていた
券 13	32 2 七月廿八日持廻	7月28日	普請方 太右衛門	普請方 太右衛門	夫實錢・雑雑費の割方について	紙	墨 1	
券 13	32 3 書簡	7月28日	普請方 彦次郎	普請方 太右衛門	岩鼻伐私夫について	紙	墨 1	
券 13	32 4 書簡	7月8日	普請方 貞右衛門	普請方 太右衛門	岩鼻伐私夫について	紙	墨 1	小さな紙が書簡の中に挟まれている
券 13	32 5 書簡	7月26日	庄屋 谷岩四郎	普請方 太右衛門	入切夫錢並びに諸夫費割方帳の目録	紙	墨 1	破損あり
券 13	32 6 覚	7月26日	庄屋 谷岩四郎	普請方 太右衛門	金銭の書き上げ等	紙	墨 3	こよりで綴ってある
券 13	32 7 書簡	7月29日	勝野村庄屋 原田正太郎	鯉田村庄屋 谷岩四郎	岩鼻伐私の覚	紙	墨 1	包紙あり
券 13	32 8 岩鼻伐私二付遠賀井徳永 触役 人申出方諸雜用帳	文久元年7月			金銭の書き上げ	綴	墨 3	こよりで綴ってある
券 13	32 9 岩鼻伐私丁場御帳	安政6年7月			人夫の人数の書き上げ	綴	墨 5	こよりで綴ってある、3枚目からは、別の内容の文書(轍手郡関係)
券 13	32 10 轍手郡赤地村渡下 坂村把志良 定河川岸生 出教伐私御普請夫續 書上帳	文久元年7月	上三緒 普請方 衛門ほか5名	遠賀郡轍手御郡代御役所	夫續士の書き上げ	綴	墨 4	強紙のりできれいに閉じられている
券 14	1 2 書簡	1月28日	吉川清十郎	麻生	利方について	紙	墨 1	
券 14	2 覚	10月21日	納や兵右衛門	御蔵主	「買受」の書き上げ	紙	墨 1	
券 14	3 覚	4月29日	喜作	御蔵主	品物の書き上げ	紙	墨 1	
券 14	4 覚	9月24日	喜作	麻生	品物の書き上げ	紙	墨 1	
券 14	5 覚	2月21日			金銭の書き上げ	紙	墨 1	
券 14	6 廉付				「飯塚村面役相初御人員取調子明朝迄二書出之事」など	紙	墨 1	
券 14	7 [記]				金銭の書き上げ	紙	墨 1	
券 14	8 覚	未2月24日	蓮花寺村庄屋 野見山 彦一	触口元 御役場	上納金の書き上げ	紙	墨 1	
券 14	9 覚	2月24日	六郎	飯塚触御役場	上納金(肥代)の書き上げ	紙	墨 1	
券 14	10 [記]	2月24日	■村触口 安永吉郎	飯塚触口元御役場	別紙御触掛の通り送したので請取る	紙	墨 1	
券 14	11 覚	2月24日	伊岐須村庄屋 彦一	触口元 御役場	へし	紙	墨 1	
券 14	12 覚	12月9日	中津屋 与吉	受取の記録	肥代の上納の書き上げ	紙	墨 1	
券 14	13 書簡	1月22日	戸長 有松伴六	五小区副戸長 福岡 賀四郎	立岩・栢森河村鯉田の期米について	紙	墨 1	
券 14	14 書簡	7月8日	■右衛門	庄屋 麻生太右衛門		紙	墨 1	1枚につなげてあったか、はがれてしまった。破損あり
券 14	15 書簡	10月25日	柳屋徳郎、柳屋喜右衛門	麻生 太吉	金銭の受け取りについて	紙	墨 1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
券 14 16	[記]								
券 14 17	書簡	12月29日	吉作	麻生太右衛門	米の書上	紙	墨	1	
券 14 18	書簡	10月27日	福間久次郎	麻生太吉	利金・利米のことについて	紙	墨	1	
券 14 19	受取	寅4月20日	上三緒 太之助	太吉	税金について	紙	墨	1	
券 14 20	宛			御家様	米の書き上げ	紙	墨	1	
券 14 21	書簡	5月28日		麻生賀郎	代金受取について	紙	墨	1	
券 14 22	書簡	11月10日	麻生太吉	麻生賀郎	若菜助三郎出浮のことについて	紙	墨	1	
券 14 23	書簡			孫六	減田についてカ 草稿カ	紙	墨	1	
券 14 24	書簡	8月9日		麻生	払入れ期限延引についてのお礼	紙	墨	1	
券 14 25	[記]	10月8日	庄屋 太之助	当村庄屋 太右衛門	人足について	紙	墨	1	前欠あり
券 14 26	書簡	1月27日	立石三郎兵衛	麻生賀郎	豆田村の御根帳について	紙	墨	1	
券 14 27	[雑]					紙	墨	1	草稿カ
券 14 28	御通帳入					封筒	墨	1	破損あり
券 14 29	宛	嘉永3年戊2月10日	嘉麻佐与助口	立岩庄屋 太吉	書き上げ	紙	墨	1	
券 14 30	当地下場	3月20日	正吉	林田	米の相場に関する書き上げ	紙	墨	1	
券 14 31	書簡	11月26日	紙屋政右衛門	麻生賀郎	長崎表へ罷越したことの知らせと、借用金子の件	紙	墨	1	
券 14 32	書簡	12月16日	左川五平	麻生賀郎	船場貸付の分催使のこと	紙	墨	1	
券 14 33	[記]	11月12日	司馬属 藤三郎	麻生賀郎	有安村水債田数調子書上	紙	墨	1	破損あり
券 14 34	送り状之知文	申7月28日		上座下座嘉麻藤波御郡代御役所	米積送りの覚	紙	墨	1	
券 14 35			立岩村 花村彦三郎、花村徳七、花村忠平	爪生屋吉右衛門ほか1名	村の人馬家数書上のことについて	紙	墨	1	
券 14 36	書簡	正月15日	大庄屋 元	有安庄屋 太吉 同	金銭の書上	紙	墨	1	
券 14 37	[記]	12日	□(への中のもの)	太〇【ママ】	第一本進上のごと	紙	墨	1	
券 14 38	書簡	4月20日	青柳直雄	麻生賀郎	上納金期限切に相成候条について	紙	墨	1	
券 14 39	書簡	12月12日	福間	麻生御氏	借金延引により大いに御迷惑をかけ申上候ことについて 後欠カ	紙	墨	1	
券 14 40	[記]				米の枚数と人名の書上	紙	墨	1	
券 14 41	書簡	12月18日	紅屋小七	麻生太吉	昨夕状差出申上候米の儀について	紙	墨	1	
券 14 42	書簡	12月12日	紙屋政右衛門	麻生賀郎	会社米送り直しの様御承知下されたまこと、通帳の詳細についての記。	紙	墨	1	
券 14 43	書簡	1月31日	紙屋政右衛門	麻生賀郎、麻生鶴十郎	石代の相場について	紙	墨	1	破損あり
券 14 44	書簡	1月27日	福留久郎	麻生賀良	為替金を調える件と、会社売方買方の相場の件。「大阪電信氣」等の金額が書かれている	紙	墨	1	
券 14 45	[記]	1月12日			金子入用なので、18、9日に現金を送ってほしいというお願い	紙	墨	1	
券 14 46	書簡	1月22日	福留久郎	麻生賀良藤	会社懸米は只今は手出し兼ねる。「今朝一限」「三月限」「大阪電信氣」等の金額が書かれている	紙	墨	1	
券 14 47	書簡	1月22日	紙屋政右衛門	麻生賀郎、麻生鶴十郎	米の相場について	紙	墨	1	破損あり、のり付け部
券 14 48	書簡	1月13日	紅屋小七	麻生太吉	相場について	紙	墨	1	分注意
券 14 49	記	1月2日			米の相場と金銭の書き上げの草稿	紙	墨	1	破損あり
券 14 50	書簡	9月26日	姫金	□(〇の中にク)	米の相場の仕事、国米等の金額が書かれている	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
券 14 51	嘉麻郡有安村飯家百姓御助文右衛門 <small>口</small> 家地銀拜借年賦借状 <small>口</small>	弘化2年						
券 14 52	書簡	2月2日	紙屋政右衛門	麻生賀郎	金銭の借入書の綴	綴	1	破損あり
券 14 53	書簡	2月8日	紙屋政右衛門	麻生太次郎ほか2名	石代の相場について等	紙	1	
券 14 54	書簡	10月5日	山口角藏	麻生太吉	米の残り時日等について	紙	1	
券 14 55	書簡	2月8日	紙屋政右衛門	麻生賀郎	米の籾、輸出の沙汰有りのこと	紙	1	破損あり
券 14 56	書簡	12月13日	第七大区調所	副戸長 麻生太吉	御都合の題銭承知のこと 嘉郎他出のこと 至急の事件につき報知のこと	紙	1	
券 14 57	[記]	2月8日			金銭の書上	紙	1	
券 14 58	書簡	10月9日	下ノ関四弥陀寺町諸方飛脚仕出所御手洗屋武左衛門	角屋	角屋電信不通につき今朝蒸気船便り差出のこと	紙	1	
券 14 59	書簡	1月21日	紙屋小七	麻生太吉	米の籾、馬関表高下の近況について	紙	1	
券 14 60	書簡	2月16日	副戸長 兒嶋金生	戸長 麻生賀郎	約定書持参の件について	紙	1	
券 14 61	書簡	7月23日	嘉平	麻生大右衛門	金を後便で送る、御尊母様の体調を伺う	紙	1	上の部分に破損有
券 14 62	書簡	10月8日	喜郎ほか1名	庄屋 太次郎	長崎へ人員を送るよう催使したものの、	綴	2	こよりで綴ってある。破損あり
券 14 63	1 余り人高之覚				人足・人名の書上	紙	1	
券 14 63	2 [記]				「奇附」、「十上」、「引方」、「大引」等の書上か	紙	1	
券 14 64	書簡	1月21日	福留久一	麻生賀郎、藤十郎	今朝会社大居下落の原因が分かり次第しらせる。会社徳金、石代が替金、現米の買入、藤十郎様為替金も一同に持帰ることに關する件。蒲裏に「福留賀四郎様分早々」と有	紙	1	
券 14 65	書簡	12月16日	紙屋小七	麻生太吉	米の相場について	紙	1	
券 14 66	書簡	11月5日	紙屋小七	麻生太吉	今日の相場の状況について、目録・覚あり	紙	1	のり付け部分注意
券 14 67	書簡	12月18日	紙屋小七	麻生太吉	馬関での米の相場について	紙	1	
券 14 68	書簡	1月23日	福留久一	麻生賀郎	相場と石代上納金について	紙	1	
券 14 69	[雑]					紙	9	
券 15 1	安政四年中御用米錢御弘切二付請及御納方約々根帳一切入共外ハ河藏掛組頭手元ニ有之				券15-1-1、券15-1-2が入っていた	封筒	1	破損あり、のり付け部分注意
券 15 1	1 御用米錢御弘切切符諸目録	安政4年巳9月				包紙	1	券15-1-11~券15-1-42を同封
券 15 1	1-1 上納之覚				米の上納の覚	紙	1	
券 15 1	1-2 [記]				立岩村の金銭書上、「巳十一月十日切大庄屋元弘」とあり	紙	1	綴外れ
券 15 1	1-3 [記]				立岩村についての米の書上	紙	1	綴外れ
券 15 1	1-4 [記]				大右衛門についての金銭書上	紙	1	
券 15 1	1-5 書簡	11月晦日	庄屋 宅七	普請方 大右衛門	昨日より掛合申上候儀につき調子見えずとも得と勘弁行届かすのこと	紙	1	
券 15 1	1-6 書簡	12月13日	庄屋 太右衛門	庄屋 作次郎	当番分遣々御弘切のこと、送り上げの覚あり	紙	1	
券 15 1	1-7 [記]				米の書上	紙	1	
券 15 1	1-8 [記]				立岩村の米の書上	綴	1	
券 15 1	1-9 [記]				正月24日付の金銭の書上	綴	1	綴外れ
券 15 1	1-10 [記]				村別の入夫についての書き上げ	紙	1	綴が外れた痕跡あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
券 15 1	1-11 書簡	臘月28日	熊本俊彦	立岩村庄屋 太右衛門	種彦のお札について 立岩村に関する銭の書上、「十五年 賦」等の記載有	紙	墨	1	
券 15 1	1-12 (記)				受取の書上	紙	墨	1	
券 15 1	1-13 受取	巳11月29日	庄屋	数郷蔵方	手元方手当送り甚だ難渋につき、支 払いが遅れ御迷惑をお掛けのこと	紙	墨	1	
券 15 1	1-14 書簡	12月28日	魚屋市平	多右衛門		紙	墨	2	「別紙」は12月28日多 右衛門宛の書簡にはさ まっていた
券 15 1	1-15 記				米の書き上げ	紙	墨	1	
券 15 1	1-16 (記)				米の書上、「普請方 太右衛門日割」等 の記載有	紙	墨	1	
券 15 1	1-17 覚	2月22日	舟庄屋 元	立岩役場	米の取引について	紙	墨	1	
券 15 1	1-18 (記)	巳12月13日夕亥	山元 文吉	立岩村中	荷物の書上か	紙	墨	1	
券 15 1	1-19 請取	巳11月12日	左興 役場 (黒印)	立岩村	「上納銀」二枚口米之内代銀上納両口 之内」の銀を受取った	紙	墨	1	
券 15 1	1-20 請取	巳10月11日、巳10月 20日、巳10月28日、 巳11月1日	勘定方	立岩村	米についての請取	紙	墨	6	
券 15 1	1-21 請取	9月26日	舟庄屋 喜藏	枝郷	金銭の請取書	紙	墨	1	
券 15 1	1-22 (記)	巳10月	嘉平	枝合 武郎	金銭の請取書	紙	墨	1	
券 15 1	1-23 受取	巳12月29日	庄屋 永末大吉	庄屋 吉左衛門	立岩村の米に関する書上、内訳に「御 除米」「御銀会所上納」という項目有	紙	墨	1	
券 15 1	1-24 書簡	12月晦日	栢森 文右衛門	立岩村庄屋 太右衛門	切手の受取、限米の引替について	紙	墨	1	
券 15 1	1-25 請取	巳12月19日	中村源藏 (黒印)	立岩村庄屋 太右衛門	各村の米の買入れについて	紙	墨	1	
券 15 1	1-26 書簡	12月24 (カ) 日	長尾村庄屋 正九郎	庄屋 太右衛門	米の代金 (銭) を請取った 出入調子記方に関する件	紙	墨	1	
券 15 1	1-27 書簡	6月4日	白土甚次郎	太右衛門	別紙の通り連絡があった、大庄屋清水 式右衛門から大庄屋井岡郎次郎ほか4 名宛てに金銭出し出しの覚の書かれた 6月2日付の書簡	紙	墨	2	
券 15 1	1-28 書簡	12月16日	柴田佐十郎	立岩村庄屋 太右衛門	お金の請取額についての確認	紙	墨	1	包書あり
券 15 1	1-29 書簡		山康屋 徳二郎	普請方 太右衛門	手元控相調子、利方の御仕廻等の件、 後半に「覚」(金銭の書上)有	紙	墨	1	
券 15 1	1-30 (記)				上納米等の書き上げ	紙	墨	1	
券 15 1	1-31 (記)				立岩村より米2俵	紙	墨	1	
券 15 1	1-32 書簡	12月29日	福岡嘉助	太右衛門	金銭の利方について	紙	墨	1	
券 15 1	1-33 受取	巳10月12日	左興 役場 (黒印)	立岩村	十月諸連上銀の銭を受取った	紙	墨	1	
券 15 1	1-34 受取	巳12月15日	左興 役場 (黒印)	立岩村	諸上納銀不足の分の受取	紙	墨	1	
券 15 1	1-35 記				人員の書き上げ	紙	墨	1	
券 15 1	1-36 受取	巳12月14日	庄屋 兵右衛門	庄屋 太右衛門	忠平殿ら貸入の銭を受取った	紙	墨	1	
券 15 1	1-37 受取	巳11月28日	佐手役場	立岩村庄屋 太右衛門	金銭の受取書	紙	墨	1	
券 15 1	1-38	巳12月			金銭の書き上げ	紙	墨	1	
券 15 1	1-39 書簡	12月14日	大庄屋 白土甚次郎	庄屋 太右衛門	再応注文を仕わせられ配している	紙	墨	1	
券 15 1	1-40 (受取)	11月22日	福さとや正吉	立岩村中	蔵、殿米を受取った	紙	墨	1	
券 15 1	1-40 受取		庄屋 源吉	御庄屋	米を受取った	紙	墨	1	
券 15 1	1-41 (記)				米代等の書き上げ、大庄屋之扱と記さ れている	紙	墨	1	
券 15 1	1-42 書簡	3月24日	柴田佐十郎	立岩村庄屋 太右衛門	勢田村徳次難渋の一件について	紙	墨	1	封筒あり
券 15 1	2 御用米銭 請取目録入	安政4年巳正月吉日			封筒	紙	墨	1	券 15-1-2-1 ~ 32がこ の封筒に入っていた

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
芥 15 1 2-1					人馬の書上	紙	墨 1	
芥 15 1 2-2					大夫の人数と金銭の書上	紙	墨 1	
芥 15 1 2-3		巳2月			薩摩薩速御女中御登進御充	紙	墨 1	
芥 15 1 2-4	受取	巳2月13日	間屋永七	枝郷ト	薩摩宰相様御参府用雜用組の受取証 当季における人足人数の割り当てにつ いて	紙	墨 1	
芥 15 1 2-5		巳3月				紙	墨 1	
芥 15 1 2-6	書簡	3月4日	松寿寿八	立岩村庄屋 大右衛門	先月27日知行所庄屋方へ主人方より直 ちに請取銭御庄候ことについて	紙	墨 1	
芥 15 1 2-7		巳5月			肥後薩御崎国達人馬御充	紙	墨 1	
芥 15 1 2-8	覚	巳3月2日	大右衛門	立岩村	異国船一件についての金銭書上	紙	墨 1	
芥 15 1 2-9		6月11日			立岩枝郷における定職払受負賃銭代た ついで	紙	墨 1	
芥 15 1 2-10					異国船自来についての金銭の記、「右 ハ二月廿八日切 役場払」とあり	紙	墨 1	
芥 15 1 2-11	請取	6月10日	大工 勘之丞	普請方 大右衛門	金銭の受取証	紙	墨 1	
芥 15 1 2-12	覚	4月29日	受藏	相森庄屋 大右衛門	米の受取の覚	紙	墨 1	
芥 15 1 2-13	記	6月7日			金銭の支払書 大庄屋之払	紙	墨 1	
芥 15 1 2-14	受取	巳4月11日	佐与役場	庄屋 大右衛門	運上銀に関する銭の受取について	紙	墨 1	
芥 15 1 2-15		巳癸月20日	文吉	庄屋 多右衛門	御通帳について	紙	墨 1	
芥 15 1 2-16	書簡	5月5日	間屋永七	枝合村庄屋	金銭用組の依頼	紙	墨 1	封筒あり
芥 15 1 2-17	書簡	6月26日	徳郎	大右衛門	加入について	紙	墨 1	
芥 15 1 2-18	請取	巳2月18日	徳家・せ七		鶴二羽の請取について	紙	墨 1	
芥 15 1 2-19	受取	5月5日	大権喜平治	枝合御使	金銭の受取証	紙	墨 1	
芥 15 1 2-20	覚	2月13日	細分村 有松候平	立岩村	金銭の受取の覚	紙	墨 1	
芥 15 1 2-21	書簡	6月6日	庄屋 徳二郎	普請方 大右衛門	金銭の支払い請子について	紙	墨 1	
芥 15 1 2-22					立岩・枝合の異国船自来請手当夫銭の 記「右ハ二月廿八日切 役場払」と あり	紙	墨 1	
芥 15 1 2-23		4月8日			立岩村の金銭書上	紙	墨 1	
芥 15 1 2-24		巳5月			枝合における御上使様御下向達人馬御 充	紙	墨 1	
芥 15 1 2-25	受取	3月22日	多田村	立岩村	金銭の受取書	紙	墨 1	
芥 15 1 2-26					巳2月18日切 大庄屋元払の金銭の記	紙	墨 1	
芥 15 1 2-27	覚	3月14日	魚屋市兵衛	庄屋 麻生大右衛門	受取品の書き上げ	紙	墨 1	
芥 15 1 2-28	請取	3月5日	業隆 六右衛門	庄屋 大右衛門	金銭の受取証	紙	墨 1	
芥 15 1 2-29	請取	巳正月21日	福岡嘉助	庄屋 大右衛門	銭の受取について	紙	墨 1	
芥 15 1 2-30	請取	巳6月14日	佐与役場	立岩村	社会交代の受取証	紙	墨 1	
芥 15 1 2-31	請取	巳6月5日	大庄屋 元	庄屋 大右衛門	金銭の請取書	紙	墨 1	
芥 15 1 2-32		巳11月			立岩村における米の書上	紙	墨 1	
芥 16 1	書簡	4月10日	細川屋小七	大庄屋 臼土甚次郎	通帳入銀の件と金銭の書き上げ	紙	墨 1	
芥 16 2	書簡	4月17日	細川屋小七	麻生質郎	米の値段についてカ	紙	墨 1	
芥 16 3	覚				金銭の書き上げ	紙	墨 1	
芥 16 4	覚				人名の書き上げ	紙	墨 1	
芥 16 5	覚	2月29日	聖護院宮 木村柳之助		納品の受注書	紙	墨 1	
芥 16 6					米の値段の書き上げ	紙	墨 1	
芥 16 7	記	4月6日			金銭の書き上げ	紙	墨 1	
芥 16 8	書簡	1月1日	山元 和右衛門	栢森 麻生大右衛門	石炭方の儀等について	紙	墨 1	
芥 16 9	覚				金銭の書き上げ	紙	墨 1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
芥 16 10	書簡	6月11日	筑前嘉麻郡栢森村 生多吉	赤馬ヶ岡高砂屋 兵衛	七月切受引の米売付のこと 昨日申し合わせたのご注進書 別紙の通 り届いた	紙	墨	1	のり外れあり
芥 16 11	書簡	4月21日	庄屋 六右衛門	庄屋 大吉		紙	墨	1	破損あり
芥 16 12	(記)				米の書上	紙	墨	1	破損あり
芥 16 13	書簡	7月18日	有吉三郎	賀郎	別紙証書案件のこと	紙	墨	1	
芥 16 14	(記)				銀2貫目をこの者へ渡すようにとい うことについて	紙	墨	1	
芥 16 15	記				金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芥 16 16	記				金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芥 16 17	記				金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芥 16 18	書簡	1月10日	加藤勘兵衛	麻生賀郎	若松表役メの簿	紙	墨	1	
芥 16 19	(記)				金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芥 16 20	覚				物入用銭の書上	紙	墨	1	
芥 16 21	覚	辰12月28日	大庄屋 元	庄屋 大右衛門	金銭の書上	紙	墨	1	綴外れあり
芥 16 22	(記)				金銭の書上	紙	墨	1	綴外れ
芥 16 23	記	辰3月23日	大山庄作	大庄屋 井手太七郎	金銭の預り書	紙	墨	1	
芥 16 24	覚				金銭の書上	紙	墨	1	
芥 16 25	覚	辰5月20日	大山新左	麻生大右衛門	金銭の書上	紙	墨	1	
芥 16 26	書簡	9月9日	有松戸長	石炭方 麻生御氏	石炭詰賃について	紙	墨	2	こよりで綴ってある
芥 16 27	覚				金銭の書上	紙	墨	1	
芥 16 28	(包紙)				「上座下座嘉麻總波御郡御役所」とあ り。内容物なし	包紙	墨	1	
芥 16 29	書簡	12月6日	石炭方 麻生賀郎	第八(六)区御調所	石炭借区願々所別紙書上指出申候節、 互御取下さるべく候こと	紙	墨	1	紙面左に朱書あり
芥 16 30	春祭之覚				吸い物、おひたし等の料理に関する覚	紙	墨	1	
芥 16 31	書簡	2月27日	大分触役場	麻生賀郎	鞍手郡戸長衆の話し合いについてと、 出費の割合の書き上げ	紙	墨	1	
芥 16 32	書簡	5月24日	井手太七郎	麻生大右衛門	内野私去銭について	紙	墨	1	
芥 16 33	書簡	4月27日	細屋小七	麻生賀郎	米の相場が天下落したことに ついて	紙	墨	1	
芥 16 34	覚	11月11日	強一郎	麻生大右衛門	金銭の書上	紙	墨	1	
芥 16 35	書簡	10月29日	細分触所	飯塚触御役場	別紙目六添を送ること	紙	墨	1	
芥 16 36	御請取申上候事	明治2年巳6月	有安村庄屋 勝兵衛	御郡御役所	金銭の受取書	紙	墨	1	
芥 16 37	書簡	11月22日	太郎ほか1名	麻生大右衛門	講對金の催促について	紙	墨	1	
芥 16 38	書簡	5月23日	下三緒村保長 山本義平	立岩村保長 麻生大吉	金銭の書上	紙	墨	1	綴外れあり
芥 16 39	(記)				大右衛門についての金銭の書上	紙	墨	1	綴外れあり
芥 16 40	(記)				和六についての金銭の書上	紙	墨	1	綴外れあり
芥 16 41	(記)				藤右衛門についての金銭の書上	紙	墨	1	綴外れあり
芥 16 42	(記)				役頭についての金銭の書上	紙	墨	1	
芥 16 43	(記)				代銀上納書類の雛形	紙	墨	1	
芥 16 44	(覚雛形)					紙	墨	1	
芥 16 45	預り	明治3年11月	飯塚村大庄屋 麻生賀郎	大郡丸林 小野山甚 次郎	金の預り証、書面全体に墨でハツあり	紙	墨	1	
芥 16 46	覚	4月25日	細屋小七	麻生賀郎	金銭の請取について	紙	墨	1	破損あり
芥 16 47	請取	辰12月9日夕	大庄屋 元	立岩村		紙	墨	1	
芥 16 48	書簡	8月20日	有吉三郎	賀郎	此筋借納の通帳御渡のことについて、 税金の分丈納方仕候条は通帳3年足よ り納方仕上られ候	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
芥 16 49	記 表 題	2月11日	第七大区調所	副戸長 麻生大吉	大和庵夫と日雇の賃金について	紙	墨	1	破損あり
芥 16 50	書簡	6月25日	戸長 有松伴六	石炭方 麻生賀郎	金六石上納の事について	紙	墨	1	破損あり
芥 16 51	書簡	7月18日	調所	麻生賀郎、白土藤四郎	副戸長の印判について	紙	墨	1	
芥 16 52	書簡	8月9日	白土藤四郎	麻生賀郎	口春村新平方での打ち合わせと印判返上について	紙	墨	1	破損あり
芥 16 53	書簡	6月21日	調所	麻生賀郎、白土藤四郎	巡回について7月2日までに至急指出しすること	紙	墨	1	破損あり
芥 16 54	書簡	7月5日	若松石炭売捌所請 有松甚十郎	嘉徳石炭方 麻生賀郎	1月からの5月までの所員村方への申し渡しの催促について	紙	墨	1	
芥 16 55	書簡	7月19日	上野定忠	麻生賀郎	借金返済の目処が立っていないことについて	紙	墨	1	破損あり
芥 16 56	書簡	7月19日	調所	麻生賀郎、白土藤四郎	13日午前10時調所に出現するように求めている。	紙	墨	1	破損あり
芥 16 57	書簡	7月12日	若松石炭売捌所請 有松甚十郎	船調子方の糶を取止めするもの至急の件であるということについて	紙	墨	1	前後にこの文書に繋がる文書が存在すると思われる	
芥 16 58	書簡	7月6日	調所	麻生賀郎、白土藤四郎	石炭売捌問屋の送り状に相違がないことについて	紙	墨	1	表題の部分に垣ぐいがあり、途中の文字が読み取りにくい
芥 16 59	〔断簡〕					紙	墨	1	
芥 16 60	筑前国穂波郡飯塚村明治六年□月ヨリ十二月十五日迄新米相場書上申事				新米の相場についての書き上げの10月、11月分	紙	墨	1	
芥 16 61	〔記〕				新米の相場についての書き上げの12月分	紙	墨	1	芥-16-60の続き
芥 16 62	三千八百拾号 石炭税金取纏事 件二十八願	明治6年6月15日	第七大区戸長 林田辰平衛ほか2名	石炭税金取纏め事件についてお願い	旧八月期限の借金について	紙	墨	4	
芥 16 63	書簡	9月12日	浦上皆渡	有松茂雄	林田戸長出箱のこと	紙	墨	2	
芥 16 64	書簡	1月30日	伊東芳吉	麻生賀郎	八月十六日付の金銭の覚え	紙	墨	1	
芥 16 65	覚	亥12月	葛屋伊三郎	立岩村 多次郎	此節御願みの糶、買調への詳細	紙	墨	1	のり外れあり、破損あり
芥 16 66	書簡	□月19日	〔 〕	〔 〕	一件にて惣代召連申すべきのこと	紙	墨	1	
芥 16 67	書簡	10月26日			此日御掛合の御注文の糶、左の通り買付のこと、米の糶について	紙	墨	1	後欠あり
芥 16 68	書簡				包紙、内容物なし	紙	墨	1	
芥 16 69	〔包紙〕		有吉四郎	有吉卯之平、有吉興平	人夫の書上	紙	墨	1	
芥 17 1	覚				御願麻毛馬の件と、御恩供の金子の元利の件	紙	墨	2	縦目での枚に分離している
芥 17 2	書簡	正月14日	向屋永七 (黒印)	庄屋 太吉		紙	墨	1	
芥 17 3	書簡	4月12日	七大区石炭方 許	石炭方 麻生賀郎	畠方「 」借一件のことについて借入上納手当銭のこと	紙	墨	1	破損あり
芥 17 4	書簡				互代銭を受取った	紙	墨	1	
芥 17 5	〔記〕	8月22日	御屋直助	庄屋 太吉	元の折り方が分からず、内容物なし	紙	墨	1	
芥 17 6	請取	8月22日	永七	庄屋 太吉	用途ごとの金銭の書上	紙	墨	1	
芥 17 7	〔包紙〕	6月15日	瓜生俊吉ほか1名	庄屋 太吉	昌方代銀此日払納係分	紙	墨	1	
芥 17 8	覚				「親相」等の送り状	紙	墨	1	
芥 17 9	〔記〕	8月22日	御屋直助	栢森村庄屋	書状一封の受取	紙	墨	1	
芥 17 10	送り状	8月22日	上座下座麻穂穂波山方役所	大庄屋 直平	「肥後国合志郡上古賀村伝助女房ちとせ 合志郡今町 権正寺」と記載	紙	墨	1	
芥 17 11	受取	6月16日				紙	墨	1	
芥 17 12	〔記〕					紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
券 17 13	覚	12月29日	口原村 平七	金銭支払の覚	紙	墨	1	破損あり	
券 17 14	書簡	10月 4日	庄屋 芳右衛門	制方のことについて	紙	墨	1	破損あり	
券 17 15	(記)			「名主 預り入 本村 組頭」と記載、包紙か	紙	墨	1	中身無	
券 17 16	預り	1月15日	本村九平	御酒預りの覚	紙	墨	1	中身無	
券 17 17	(包紙)		庄屋 五次左衛門		紙	墨	1	中身無	
券 17 18	(記)			有安太次郎、十月二十一日の金銭の覚	紙	墨	1	中身無	
券 17 19	書簡	卯 2月21日	庄屋 太郎	御頼みの代切銭について通帳の通り御渡しのこと	紙	墨	1	中身無	
券 17 20	(包紙)			有安太次郎 五月六日の金銭等と記載	紙	墨	1	中身無	
券 17 21	書簡	11月 8日	大庄屋 白土甚次郎 (黒印)、大庄屋 直平 (黒印)	若松上納積銭の件と請上納銀役場切符所其外抽代の件	紙	墨	1	前の方に破損有	
券 17 22	書簡	10月27日	栢森 太口	品物の件について、是非明朝に掛御出浮下されたまきこと	紙	墨	1		
券 17 23	書簡	2月10日	下三緒 蔵方	別紙切符目録は上三緒へも持廻るため、必ず返却してほしい、	紙	墨	1		
券 17 24	書簡	10月29日	弥四郎	長崎御奉行附支配配御定御普請役内野への人馬差出のこと	紙	墨	1		
券 17 25	受取	嘉永 3年12月23日	赤司喜三太 (黒印)	納物代の受取	紙	墨	1		
券 17 26	覚			金銭の書上	紙	墨	1		
券 17 27	請取	西 3月19日	仁保村組頭 弥三郎	米の請取と金銭の請取	紙	墨	1		
券 17 28	書簡	2月26日	保長 麻生	舟頭への米金御渡のことについて	紙	墨	1		
券 17 29	書簡	1月 7日	副戸長 麻生太吉 (印)	別紙の通、調所が仰せ付けられた、御心頭を願う	紙	墨	1		
券 17 30	(記)			「一金 拾八円五拾銭」などを記載、包紙か	紙	墨	1	中身無	
券 17 31	書簡	11月12日	古川伝十郎	人夫指出のことについて (後欠あり)	紙	墨	1		
券 17 32	覚	12月22日	魚藤	切手を差上げる	紙	墨	1	全体を抹消	
券 17 33	預告通			包紙、内容物なし	紙	墨	1		
券 17 34	預り手形	亥12月29日	立岩村庄屋 太吉	米の預り手形、紙面全体に墨で抹消線あり	紙	墨	1		
券 17 35	書簡	3月27日	河崎屋利兵衛	猿而米の相場件	紙	墨	1		
券 17 36	記	3月23日	宮中勝三郎	別紙受け取りの件	紙	墨	1		
券 17 37	受取	正月12日	又吉	金銭の受取証	紙	墨	1		
券 17 38	書簡		川しま 正 []	一件條村内普請方始板場画家其外世話方此節「 []」	紙	墨	1	破損あり	
券 17 39	(記)			金銭の書上、「仁保」等の地名有	紙	墨	1		
券 17 40	書簡	5月28日	白土甚次郎	安東理三の宿泊につき、自身も明朝寺發より参る件。	紙	墨	1	破損あり	
券 17 41	書簡	12月21日	有次伴六	小幡巻尾を巻未御祝義として進上する。別紙で申し上げた件について	紙	墨	1		
券 17 42	(記)	12月26日	下ノ関 河崎利兵衛	米、豆、干鰯、種油、砂糖、綿、塩などの相場	紙	墨・印	1		
券 17 43	書簡	1月13日	麻生太吉	掛方のことについて	紙	墨	1		
券 17 44	(断簡)	6月12日	河野立雲	山元印判を残らず此者に御封にて渡す	紙	墨	1	本文欠損	
券 17 45	書簡	4月23日	麻生賀郎		紙	墨	1		
券 17 46	書簡	3月 3日	吉田七太郎	大刀山杉木事件御引合を断わる	紙	墨	1		

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
芥 17 47	覚						1	
芥 17 48	覚				借用金の覚、破損・後欠あり	紙	墨	1
芥 17 49	覚				酒肴代・菜代などの覚	紙	墨	1
芥 17 50	書簡	2月12日	庄屋 芳右衛門	庄屋 太吉	燈代、小仕銭などの覚	紙	墨	1
芥 17 51	覚				村方へ持限り候儀延引のこと	紙	墨	1
芥 17 52	嘉戸郡佐興村庄屋 [] 乍恐御願申上候事				石代納一件、先期出張人一件、石代丁場願一件 などの覚	紙	墨	1
芥 17 53	[雑]				堀貫等に関する願い	紙	墨	1
芥 17 54	[記]				村問係の書類の雜記	紙	墨	1
芥 17 55	書簡	未6月11日	第七大区戸長 浦上皆渡	石炭取締方 麻生賀郎	「欠次帳」関係の金銭の記、断簡カ	紙	墨	1
芥 17 56	書簡	9月27日	龍波屋兼作	麻生賀郎	石炭税金の件	紙	墨	1
芥 17 57	覚				米利不足で延引していたものを今日差出す	紙	墨	1
芥 17 58	書簡	8月7日	副戸長 伊藤長五郎 (印)	石炭方 麻生賀郎	金銭の書上、「山崎行」等の記載有	紙	墨	1
芥 17 59	[包紙]				当村川歸税金五円の返金を願う	紙	墨	1
芥 17 60	書簡	4月9日	副戸長 永 []	副戸長 福間實四郎	内容物なし	紙	墨	1
芥 17 61	[記]				一昨七日大坂言語之大高下について	紙	墨	1
芥 17 62	書簡	2月10日	副戸長 永富八郎	福間實四郎	人数、金銭の書上	紙	墨	1
芥 17 63	[断簡]				石代過納金を指出す	紙	墨	1
芥 17 64	書簡	12月20日	林田辰平 (印)	麻生嘉郎	杖木のことについて	紙	墨	1
芥 17 65	書簡	7月13日	庄屋 有松俊平	普請方 太右衛門	石炭税の上納を願う「芦若河港之御出通」等と有	紙	墨	1
芥 17 66	覚	12月28日	太次郎	源助	綱分村分免用貨銭御引合通二相違之有のこと	紙	墨	1
芥 17 67	書簡	3月24日	教元寺	立岩村庄屋 太吉、御母縁	酒の代金 (銭) の書上	紙	墨	1
芥 17 68	覚	10月25日	岳屋大兵衛	麻生太吉	寺の永代経の勤めをする案内	紙	墨	1
芥 17 69	覚	10月7日	飯塚生織中役所	麻生徳吉	金銭の書上	紙	墨	1
芥 17 70	覚	亥12月	森崎又義右衛門	かきやの森 太次郎	元金と利金の覚	紙	墨	1
芥 17 71	覚	丑11月9日	万屋茂三郎	麻生太右衛門	子牛の金額の書上	紙	墨	1
芥 17 72	覚	酉1月23日	麻生太吉 (黒印)	下三緒 藤三郎	金銭御返しの覚	紙	墨	1
芥 17 73	書簡				種々の重量の書上	紙	墨	1
芥 17 74	覚	11月29日	柴銀 弥太郎	立岩村 助藏	当方社中申合により進呈したきところ、遠方によりできないので菓子料として金銭指出のこと	紙	墨	1
芥 17 75	覚	11月29日	心後米会所 (黒印)	立岩村 助藏、川嶋村、有安村	米、金銭の書上	紙	墨	2
芥 17 76	覚	2月28日	半四郎	大吉	米、代銀の書上	紙	墨	1
芥 17 77	[記]				御渡し下さるべき米の覚	紙	墨	1
芥 17 78	書簡	10月18日	■崎正五	麻生賀郎	金銭の書上	紙	墨	1
芥 17 79	[記]				黒白砲の件、代銭の件	紙	墨	1
芥 17 80	[包紙]				金銭の書上	紙	墨	1
芥 17 81	書簡	7月18日	岩崎村 []	大庄屋 有松忠平	内容物なし	紙	墨	1
芥 17 82	[断簡]				石炭方 麻生賀郎	紙	墨	1
					別紙六大区へ七大区分画返之御状を直に返すよう願う	紙	墨	1

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
芬 17 83	[記]				大吉に関する金銭の書上	紙	墨	1	
芬 17 84	書簡	6月3日	大庄屋 白土世次郎 (花押)	鯉田 川しま	庄野山根御氏が今日共御村の田を御具分する件について、端裏に「御先鯉田川しま行」と有	紙	墨	2	白紙の裏に貼りついて いる。破損有。後欠
芬 17 85	書簡	12月21日			病氣にて罷出申さずのこと	紙	墨	1	
芬 17 86	書簡	5月20日	南尾 山口角藏	麻生太吉	堀他村大村養年方へ御貸付米のうち、 保長飯田儀七郎の振替分の返済の件	紙	墨	1	
芬 17 87	[包紙]		細物屋甚右衛門		「銀九兩」とあり、内容物なし	紙	墨	1	
芬 17 88	覚	酉3月	久四郎	九平	金銭の書上	紙	墨	1	
芬 17 89	覚	2月15日			金銭の覚	紙	墨	1	
芬 17 90	[雑]				一方の面に「勝藏」、もう一方の面に 「御手玉」とある	紙	墨	1	
芬 17 91	[包紙]		庄屋 太吉	普請方 利三次		紙	墨	1	
芬 17 92	[記]				亀六腰の筋について	紙	墨	1	
芬 17 93	書簡	13日	井手	麻生		紙	墨	1	
芬 17 94	書簡	7月15日	庄屋 新平	普請方 太右衛門	当年普請につき大工賃銀大銀銭につい て指出申上候得不につき銀目だけは俵 見のこと	紙	墨	1	
芬 17 95	[雑]	12月23日			書簡の草稿	紙	墨	1	
芬 17 96	覚				事柄ごとの金銭書上	紙	墨	1	
芬 17 97	[雑]					紙	墨	1	断簡カ、破損あり
芬 17 98	[記]				細分触の書き上げ	紙	墨	1	
芬 17 99	[記]				名前の書き上げ	紙	墨	1	
芬 17 100	覚				春吉三新家安村嘉助様より罷出大庄屋 のこと立岩村伝平養子引越のことなど 6点の覚	紙	墨	1	
芬 17 101	書簡	7月20日	太右衛門	太吉	今月7日出勤の件について	紙	墨	1	
芬 17 102	覚				金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芬 17 103	下				金銭の書き上げ	紙	墨	1	後欠あり
芬 17 104	[新簡]	6月8日	大庄屋 甚次郎	庄屋 太吉	本文大部分前欠	紙	墨	1	のり外れあり
芬 17 105	記	3月10日	普請方 長松一郎	戸長役 麻生太吉	左の通り、御免用軸長此密について	紙	墨	1	
芬 17 106	[覚]	□月2日			掛紙の引出金の覚	紙	墨	1	
芬 17 107	[包紙]				「西改御証ご、立岩村行、枝間村台」と あり	紙	墨	1	
芬 17 108	書簡	12月25日	久助	庄屋 太吉	此日取替申上候金子急に人用御座候に 付、何卒御渡のこと	紙	墨	1	
芬 17 109	覚				米御渡の覚	紙	墨	1	
芬 17 110	覚	12月27日		武平	米に関する書き上げ	紙	墨	1	
芬 17 111	書簡	9月15日	戸長 浦上皆渡	戸長 有松先雄	石炭取取一件について	紙	墨	2	
芬 17 112	[覚]				嘉禰についての金銭書上など、壬申十 一月廿九日の目付あり	紙	墨	1	
芬 17 113	書簡	11月17日		福岡賀四郎、福岡久 一、福岡嘉郎ほか3名	小野細間所に相成のこと	紙	墨	1	
芬 17 114	[記]				人数と地名の書き上げ	紙	墨	1	
芬 17 115	[覚]				箱山田村、上山田村、多田村、仁保村 の大豆の書上	紙	墨	1	
芬 17 116	相場	1月2日	正作		歳米・町米等の値段の書き上げ	紙	墨	1	
芬 17 117	書簡	1月29日	清水清	麻生賀郎	学校費寸志にて申出候処に相決め候こ と云々	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
芥 17 118	書簡	2月7日	河崎利兵衛	麻生御三人	米の相場について	紙	墨 1	
芥 17 119	書簡	4月9日	若港 福岡久兵衛	石炭方 麻生賀郎	石炭直上げの儀御掛合のこと	紙	墨 1	のり外れあり
芥 17 120	書簡	3月10日	麻生賀郎	麻生太吉	米の相場について	紙	墨 1	
芥 17 121	[記]	9月6日	安田	麻生賀郎	金銭の記	紙	墨 1	
芥 17 122	書簡	7月11日	普請取締役 坂田徳有	麻生賀郎、白土藤四郎	大隈町大屋衆十艘当区普請取締役拜名の由、同人よりお知らせのこと	紙	墨 1	破損あり
芥 17 123	書簡	7月11日		麻生太吉	米の相場について	紙	墨 1	
芥 17 124	書簡	4月23日	伊藤又兵衛	麻生太吉	先月のお礼やお詫びなどの挨拶(追申)	紙	墨 1	
芥 17 125	金子借用証書				雛形	紙	墨 1	
芥 17 126	書簡	6月23日	飯田誠七郎	麻生太吉	御相談申上げた件につき、阿3日のうちに副戸長で申合せ、参上する。	紙	墨 1	
芥 17 127	覚	12月	儀平	麻生太吉	つぼなどの代金の覚	紙	墨 1	
芥 17 128	記				成木屋、米屋などの代金の記	紙	墨 1	
芥 17 129	記				人事についての記	紙	墨 1	
芥 17 130	[記]				相場の書上	紙	墨 1	
芥 17 131	請取	3月3日	石田和長	麻生賀郎	金銭の請取状	紙	墨 1	
芥 17 132	記	戊2月13日	麻生太吉	蔵方	米三袋御渡の覚	紙	墨 1	
芥 17 133	書簡	5月25日	惣兵衛	麻生御三人	米の売払いについて	紙	墨 1	
芥 17 134	記				借用金 田地書入などの記	紙	墨 1	
芥 17 135	書簡	7月18日	大谷良石衛門	石炭方 麻生賀郎	石炭売御受持中始末帳のことについて	紙	墨 1	
芥 17 136	覚	10月10日	福岡賀四郎	麻生御長	銀預式拾貫目	紙	墨 1	
芥 17 137	写	4月5日	朱屋吉兵衛	麻生太吉	米や会社関係の金銭の書上写	紙	墨 1	
芥 17 138	証拠	明治5年7月6日	副戸長 大村吉之	戸長 麻生賀郎	御宛用石工賃銀銀頭の証拠	紙	墨 1	
芥 17 139	書簡		麻生		受取金や賃借について	紙	墨 1	後欠あり
芥 17 140	書簡	3月11日	仁保 上野重忠	立岩 麻生太吉	旧冬米御引受申上候件について	紙	墨 1	
芥 17 141	書簡	7月30日	上野重忠	石炭方 麻生賀郎	有井村濱氏石炭税について	紙	墨 1	
芥 17 142	[断簡]			第七大区堀池村 飯田米吉		紙	墨 1	宛先部分以前前欠
芥 17 143	[雑]				包紙	紙	墨 1	
芥 17 144	証文啓通		大村善平		包紙	紙	墨 1	
芥 17 145	書簡	4月13日	井手太七郎	麻生太石衛門	飯田村で一冊足りず	紙	墨 1	
芥 17 146	請取	戊12月19日	大庄屋 元	庄屋 太吉	金銭の請取	紙	墨 2	のりはすれあり
芥 17 147	書簡	葉月3日	矢野真直	麻生賀郎	七十円借の御札	紙	墨 1	
芥 17 148	書簡	八月	矢野内	御かみ	かれこれとりまされ御ぶさのこと、平に御ゆるしたのみたく候	紙	墨 1	
芥 17 149	記	明治7年6月10日	立岩村 麻生太吉	堀池村 大村善平	飯田米吉より御渡しの米の覚	紙	墨 1	
芥 17 150	書簡	1月5日	有吉三郎	賀郎	方吉より注文の米について	紙	墨 1	
芥 17 151	[記]				破損所一紙の件について	紙	朱 1	
芥 17 152	[記]	旧2月15日			買米上納入用にて金繰り致し置き候ことについて覚あり	紙	墨 1	
芥 17 153	[覚]				太吉についての金銭書上	紙	墨 1	綴の一片
芥 17 154	[覚]	旧12月	柴や喜助	栢森村 太石衛門	金銭御渡しの覚	紙	墨 1	
芥 17 155	[覚]				栢森の入足賃錢の覚	紙	墨 1	
芥 17 156	[覚]				立岩村の米についての覚	紙	墨 1	
芥 17 157	覚	辰12月	栢屋喜助	栢森庄屋 太石衛門	金銭の書上。目付、人名あり	紙	墨 1	
芥 17 158	[覚]	辰12月			枝郷の入足書上、薩摩藩四兵衛助会并見込割	紙	墨 1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
芬 17 159	[記]				立岩の米俵のうちわけについて	紙	墨	1	
芬 17 160	[記]				有安村の田について	紙	墨	1	
芬 17 161	御受取申上候事	7月13日	蛸田村庄屋 元孫助	普請方 太右衛門 太郎	金銭の受取について	紙	墨	1	
芬 17 162	覚	9月9日			金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芬 17 163	覚				紙三緒村の米俵について	紙	墨	1	
芬 17 164	覚	12月25日	役場 勘十	立岩村	金銭の書き上げ	紙	墨	1	破損あり。後欠
芬 17 165	[雑]				草稿か	紙	墨	1	破損あり。後欠。芬17165の続きと見られる
芬 17 166	[雑]				草稿か	紙	墨	1	
芬 17 167	覚	9月6日	石田武内	普請方 太右衛門	金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芬 17 168	請取	未12月29日	平七	庄屋 左吉	金の受取について	紙	墨	1	
芬 17 169	覚				金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芬 17 170	覚	辰12月29日	大門村 蔵方	庄屋 太右衛門	次平へ渡す米についてのお願ひ	紙	墨	1	紙の下の部分は意図的に破っているように見える
芬 17 171	[綴]				米などの書き上げの綴	綴	墨	1	
芬 17 172	受取	12月晦日	二宮養甫	麻生太吉	米5俵の受取証	紙	墨	1	
芬 17 173	書簡	7月12日	麻生賀郎	戸長 有松伴六	石炭税の納入について	紙	墨	1	
芬 17 174	おぼへ	5月22日	さかなや新三	栢森村 仁平	金銭の覚	紙	墨	1	
芬 17 175	覚	11月20日	江取屋五平	藤石衛門	金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芬 17 176	書簡	5月9日	太七郎	賀郎	別紙の石炭の支払いについて	紙	墨	1	
芬 17 177	書簡	10月27日	庄屋 芦 []	庄屋 太吉	口原村にて両陣出合い云々	紙	墨	1	破損あり
芬 17 178	書簡	2月27日	庄屋 長五郎	庄屋 太吉	お返事	紙	墨	1	
芬 17 179	覚	3月12日	善平(はか)名	上棟	金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芬 17 180	書簡	3月21日			兼ねて借用していた田地一カ所の件	紙	墨	1	
芬 17 181	願簡				委細はお会いしたときに	紙	墨	1	前欠
芬 17 182	覚	12月13日	作徳会所	立岩村 助藏	米の書き上げ	紙	墨	1	
芬 17 183	包紙				麻生為吉宛てカ	紙	墨	1	
芬 17 184	[記]				金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芬 17 185	書簡				役場にて村の名付立ち合ひ、蛸田村来ず	紙	墨	1	破損あり
芬 17 186	請取	7月12日	山倉村庄屋 五七	普請方 太右衛門	各村の土木工事の材木等の払い付けの書き上げ	紙	墨	1	のりはずれあり
芬 17 187	書簡	9月23日	普請方 太右衛門	村々庄屋組頭衆中		紙	墨	1	
芬 17 188	書簡	2月12日	戸長 茂左衛門	庄屋 太吉	金子の件	紙	墨	1	破損あり
芬 17 189	口上覚	12月	松岡養順	中村見	洪水で壊れた橋の再建を願ひ出る内容の件	紙	墨	1	破損あり
芬 17 190	書簡	10月7日				紙	墨	1	
芬 17 191	[記]				書き上げ、墨で消してある	紙	墨	1	
芬 17 192	記	2月7日	麻生太吉	蔵方	金銭の受取証	紙	墨	1	
芬 17 193	書簡	5月1日	蛸屋政右衛門	麻生賀郎		紙	墨	1	のり外れあり
芬 17 194	覚				金銭の受取の覚	紙	墨	1	
芬 17 195	覚	7月11日	栢森 太次郎	孫作	米八俵の覚	紙	墨	1	
芬 17 196	春手形	戊2月11日	麻生太吉	枝々 御庄屋方	金銭の受け渡し	紙	墨	1	
芬 17 197	書簡	10月7日	吉次□	太吉	幸袋河野見三拜の儀について	紙	墨	1	破損あり
芬 17 198	書簡	10月10日	太久助	庄屋 太吉	去る未年拝借した根帳の返却についてカ	紙	墨	1	
芬 17 199	書簡	12月26日	大庄屋 勘次郎	大庄屋 組頭中		紙	墨	1	破損あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
芬 17 200	書簡	10月6日	庄屋 □右衛門	庄屋 太吉	明日ご通知により左与村にて申し合わせの件	紙	1	破損あり
芬 17 201	書簡	3月20日	久一、喜郎	副戸長 麻生太吉	米運賃のことについて	紙	1	
芬 17 202	覚	辰12月4日	山元 徳右衛門	枝合御蔵方	金銭御頼みの覚	紙	1	
芬 17 203	[記]	亥5月21日	立岩村		米の受取証	紙	1	
芬 17 204	[雑]				包紙、紙片など雑9点	紙	9	
芬 18 1	[綴]				金銭の書き上げの綴	綴	1	
芬 18 2	書簡	4月3日	上野 喜三郎	有松伴六	内談の儀について御深切御周旋のこと	紙	1	
芬 18 3	書簡	7月21日	庄屋 十五郎	鯛口 御役場	金銭上納について	紙	1	
芬 18 4	箱所護符			包紙カ		紙	1	
芬 18 5	手形之事	5月8日	有安山元 太次郎	芦屋 御役所	金一両の御頼	紙	1	
芬 18 6	寒状				体調を崩したか昨日治り熱も下がった	紙	1	
芬 18 7	書簡				屋会の件承知のこと	紙	1	
芬 18 8	書簡	10月10日	白屋 永七	庄屋 芳右衛門、太吉	残金をこの者にお渡し下さい	紙	1	
芬 18 9	断簡	10月6日	大庄屋 白土忠次郎、大庄屋 直平	赤坂、筒野、高倉、	上三密、筒野、入水、山倉、仁保、有井、大門、口原、稻森の九村の雇賃銭について	紙	1	前欠・後欠あり
芬 18 10	記	7月2日			金銭の書き上げ	紙	1	
芬 18 11	手形之事	5月8日	有安山元 太次郎	芦屋 御役所	石代の受取	紙	1	
芬 18 12	[記]	12月24日	瀧助	立岩村庄屋 太吉	絵馬の代金	紙	1	
芬 18 13	覚	11月12日	庄屋 兵右衛門	庄屋 太右衛門	米上納の覚	紙	1	
芬 18 14	包紙		下三郷村庄屋 太右衛門	■源八	内容物なし	紙	1	
芬 18 15	[記]	未5月	大庄屋 元	立岩村 庄屋 太右衛門	金銭の書き上げ	紙	1	
芬 18 16	記				金銭請取の書き上げ	紙	1	後欠
芬 18 17	書簡				舟庄屋兼中より御承りの件カ	紙	1	後欠
芬 18 18	[記]				別紙此節の出力銀について	紙	1	
芬 18 19	書簡	未2月22日	岡村庄屋 一吉孫一	鯛口役 麻生賀郎	庄司村と吉小村についての代金払上について	紙	1	
芬 18 20	記	5月24日	角屋和藏	麻生太吉	金銭請取の書き上げ	紙	1	
芬 18 21	手形之事	5月24日	有安山元 太次郎	焚石御役所	石代の受取	紙	1	
芬 18 22	[記]				別紙申上候儀について	紙	1	
芬 18 23	書簡	8月11日		中郷所	残銀の預りについて	紙	1	
芬 18 24	覚	5月22日		鷹取俊達	金銭御達の覚	紙	1	
芬 18 25	御請取申上候事	万延元年8月	五三郎	麻生多吉	金銭五十四両請取の事	紙	1	
芬 18 26	記				網やさざえについての書き上げ	紙	1	
芬 18 27	覚				山いも、生布などの覚	紙	1	
芬 18 28	[記]				人名の書き上げ	紙	1	
芬 18 29	覚	12月26日	庄司 太右衛門	稻森 太吉	金銭御頼の覚	紙	1	
芬 18 30	書簡	8月17日	有松忠平	立岩庄屋	別紙のことお頼み	紙	1	
芬 18 31	断簡				後欠あり	紙	1	
芬 18 32	書簡	10月23日	藤石衛門	立岩 太吉	家内談雑の儀について	紙	1	
芬 18 33	書簡	7月17日	山元 弥右衛門	立岩村庄屋 太吉	石山一件先日御頼候趣早速大納様へ御頼申上候こと	紙	1	
芬 18 34	断簡				御仕組立評銭のこと	紙	1	後欠あり
芬 18 35	覚	11月12日	鯛庄屋 正吉	庄屋 太吉	事柄ごとの代金の書上	紙	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
券 18 36	書簡	□月29日	庄屋 太久助	庄屋 太吉	金子御集合について、受取書今日中に差出ること	紙	墨	1	破損あり
券 18 37	書簡	8月13日	麻生六郎	麻生賀郎	指紙関受九月切の分明日買付のこと、買付内容の書上が後紙	紙	墨	1	
券 18 38	書簡	10月28日	庄屋 太久助	庄屋 太吉	元度左衛門仕切取のこと	紙	墨	1	
券 18 39	覚				金銭の書上	紙	墨	1	
券 18 40	[覚]	辰11月			立岩における米と金銭の書上	紙	墨	1	綴外れあり、破損あり
券 18 41	[覚]				立岩における米と金銭の書上、紙背に「九ヶ村借入目六」とあり	紙	墨	1	破損あり
券 18 42	[覚]				鮎田、綱分、有安、立岩における米の書上	紙	墨	1	破損あり
券 18 43	書簡	7月3日	大隈町 井手借次郎	麻生賀郎、有松伴六	御蔵米と上座御蔵米が替の儀について	紙	墨	1	
券 18 44	御願申上候事	安政6年8月20日	徳五郎、正右衛門	嘉麻郡立岩村庄屋組頭兼中	当村焚石丁場の正助病死の件について	紙	墨	1	
券 18 45	書簡	7月6日夕	触口 麻生賀郎	触口 田中七十郎	御領内御開削当方への渡し米の為替について	紙	墨	1	
券 18 46	書簡	10月22日	清水清	麻生賀郎	丹屋ご見分のことについて	紙	墨	1	
券 18 47	書簡	9月22日	藤兵衛	麻生賀郎	利方受取について	紙	墨	1	後欠
券 18 48	書簡				金銭の支払いについて	紙	墨	1	後欠
券 18 49	草稿				世話人ども召し連れ云々	紙	墨	1	前欠、後欠カ
券 18 50	書簡	10月12日	庄屋 勘十	庄屋 太吉	立岩村の運上の銭について、別紙について追書あり	紙	墨	1	
券 18 51	書簡				養子縁組破談に関する件、券18-49はこの草稿カ	紙	墨	1	後欠
券 18 52	嘉麻郡有安村庄屋組頭乍恐申上事口上之覚	弘化4年11月	有安村庄屋 太吉、同村組頭 利七ほか1名	上座下座嘉麻種波御郡代御役所	喜六女房親里に引取の件	紙	墨	1	破損あり
券 18 53	書簡				市次郎と勘十の間でやり取りした金銭が揃っていない件について	紙	墨	1	破損、後欠
券 18 54	書簡	11月24日	庄屋 茂次門	庄屋 太吉	焚石廻方の産出物の割付について	紙	墨	1	破損あり
券 18 55	記					紙	墨	1	券18-56の続きと思われる。
券 18 56	書簡		庄屋 太久助	庄屋 太吉	お通方役の委細承知について	紙	墨	1	後欠
券 18 57	書簡	3月2日	大谷貞右衛門	有松倭平、太右衛門	小児引受について	紙	墨	1	
券 18 58	書簡	8月18日夕			明くる19日、片嶋、幸袋、中口、柳橋、目尾、秋反別、御見聞施行のごと、表に「立岩の大早持廻」とある	紙	墨	1	後欠、破損あり
券 18 59	断簡	6月23日			「昨日19日の地震について、郡代役所宛で、6月20日、両郡大庄屋中一当」の写し	紙	墨	1	前欠
券 18 60	書簡	9月25日	庄屋 太次郎	庄屋 太吉	御出附申さざりては相成り候わず	紙	墨	1	
券 18 61	断簡	8月18日夕	立岩、鮎田、口原 庄屋兼中	大庄屋 善次郎		紙	墨	1	前欠
券 18 62	写	3月2日	大坂三郎、大谷貞右衛門	魚屋 市平	小児一條の世話人のことの写し	紙	墨	1	
券 18 63	覚	5月25日	役場 勘十	御通方 太吉	御通方の金銭の覚	紙	墨	1	
券 18 64	覚	巳12月	露油屋源右衛門	栢森 太吉	金銭や本などの書き上げ	紙	墨	1	
券 18 65	書簡				役所に書状を持参したが、大隈の不都合があった。	紙	墨	1	後欠
券 18 66	書簡				是非ご出浮ください	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
券 18 67	断簡	7月6日	庄屋 定口	触役 麻生賀郎	道渡の事件について	紙	1	前欠
券 18 68	書簡	12月22日	光藏寺	庄屋 大右衛門	金銭書上	紙	1	破損、摩耗により判読できない文字あり
券 18 69	覚	申12月	大右衛門	大久助	田地代のごお頼み	紙	1	
券 18 70	記	12月21日	麻生太吉		酒代、せんべい代などの書上	紙	1	
券 18 71	[覚]				九月四日から九月九日にかけての金銭書上	紙	1	
券 18 72	覚	9月10日	うどん屋十助	佐興大庄屋 甚次郎	切手紙代などの書上	紙	1	
券 18 73	覚	9月10日		頼屋清吉	今十一日戸屋町出張のごこと、作成者名の前に「戸屋分」とあり	紙	1	
券 18 74	書簡	4月11日	有吉三郎	麻生賀郎	酒・食材費の書上	紙	1	のり外れあり
券 18 75	覚	9月7日	久天屋興平	両部御役場		紙	1	
券 18 76	書簡	4月14日	野見山彦三郎ほか2名	麻生賀郎、麻生多、花村忠平、花村助右衛門	掛物一本進上につき御笑納下されたきごと	紙	1	
券 18 77	書簡	9月6日	庄屋 武次郎	大庄屋 白土甚次郎	芝居人用の金銭について	紙	1	
券 18 78	書簡	1月27日	立岩村副戸長 麻生太吉	孫吉	金子当月十五日限り御契約申上候ことについて	紙	1	
券 18 79	覚				九月三日から六日にかけての食糧代の書上	紙	1	
券 18 80	書簡	12月3日	人さ	麻生	十月二十九日から十一月三日にかけての相場のごと	紙	1	破損あり
券 18 81	覚				菓子代、さしき代など金銭書上	紙	1	つづり外れあり
券 18 82	書簡	11月14日	太久助	庄屋 太吉	別紙の通り開入事に奉り存じ申し候こと	紙	1	
券 18 83	[覚]				菓子代など金銭書上	紙	1	綴の一部あり
券 18 84	出納金				人名と金銭の書上、「飯塚」とあり	紙	1	
券 18 85	覚				日付・人名・金銭の書上	紙	1	
券 18 86	書簡	11月6日	庄屋 太入助	庄屋 芳右衛門、太吉	委細近々申上げらるべきこと	紙	1	
券 18 87	書簡				延引仕候御方のごことについて	紙	1	
券 18 88	書簡	4月9日	大庄屋 白土甚次郎	庄屋 太吉	妻作水賃のごと、前欠あり	紙	1	
券 18 89	[雑]				下書用紙	紙	1	
券 18 90	書簡	9月7日	庄屋 利三次	庄屋 太吉	本川防願一件のごと嘉越川筋御役中も役頭衆相伝居申上候こと	紙	1	のりはずれあり
券 18 91					当村光藏寺本堂焼失仕、未だ建方出来ず語法会役是天いに指支申すの条にござりて、末尾に甚次郎による追而書あり、草書	紙	1	破損あり
券 18 92	書簡	5月28日	上三オ 井手太七郎	立岩 麻生賀郎	此日の下ノ関の彌米高の都合についてのお知らせ	紙	1	
券 18 93	書簡	2月23日	庄屋 長五郎	触口役 御役場	干懸・干懸替代の内書上分相取申上のごと	紙	1	
券 18 94	書簡	9月7日	山口角藏	麻生太吉	先日銀預お返し下さった件	紙	1	破損あり
券 18 95	覚	9月9日	万屋伴藏		代銭受取の覚	紙	1	
券 18 96	[覚]				金銭と入馬の書上	紙	1	破損あり
券 18 97	[雑]				紙片・綴片など計9点	紙	9	
券 18 19	[記]	4月11日	清徳	上様	米の相場を書き上げ	紙	1	
券 20	覚	9月24日	吉川三平	麻生御民	金銭の書き上げ	紙	1	
券 21	覚				金銭の内訳について	紙	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
芬 22	[記]				金銭の書き上げ	紙	墨	1	破損あり
芬 23	覚	5月19日	紙屋政右衛門	麻生賀郎	若松までの荷物の運賃について。	紙	墨	1	破損あり
芬 24	[記]				草稿 ^カ	紙	墨	1	破損あり
芬 25	[記]				金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芬 26	覚	11月14日		麻生太吉	養子縁組破談に関する件、芬・1849はこの草稿 ^カ	紙	墨	1	
芬 27	[記]	文政7年申2月	孫作はか11名		女海洋の風波が強く人命が失われることが多々あるが、御上による力ぞえがあつたという話。	綴	印	23	破損多数。前次・後次表紙は手書きだが、中身は印刷による
芬 28	大島浦波戸場 御築立二付寸志、勸化帳 妙行寺 嘉麻之部				金銭の覚	綴	印	23	
芬 29	覚	10月6日		丈乃平		紙	墨	1	
芬 30	包紙					紙	墨	1	
芬 31	記			有安村 あそう	金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芬 32	書簡	11月21日	紙屋幸吉はる3名	麻生賀郎	賢息の結婚祝を聞る由	紙	墨	1	
芬 33	書簡	4月14日	紙屋小七	角屋相二藏	下四表で相場が日々下落している件	紙	墨	1	
芬 34	[記]				字の練習 ^カ	紙	墨	1	
芬 35	覚	未12月	柴屋藤三郎	<input type="checkbox"/> 通方 御役人衆 中	金銭の書き上げ	紙	墨	1	破損あり
芬 36	書簡	9月6日		麻生太吉	金札10円借頼	紙	墨	1	
芬 37	[記]				長崎表へ罷り越すことについて	紙	墨	1	
芬 38	書簡	3月8日	許斐六兵衛	山元 谷林三郎	別紙の件の取りはからいについて頼んだもの	紙	墨	1	
芬 39	[記]				吉部の件のお願い	紙	墨	1	
芬 40	書簡	4月2日	川島屋利兵衛	麻生 御主人	米の値段について書き上げあり	紙	墨	1	
芬 41	書簡	10月6日	戸長 浦上皆渡	石炭取締方 麻生賀郎		紙	墨	1	
芬 42	書簡	2月22日	■松■兵次	普請取締役 麻生賀郎	管轄額控五冊その他について	紙	墨	1	
芬 43	書簡	5月10日	第七大区調所	麻生賀郎	石炭税上納額について不都合のこと	紙	墨	1	
芬 44	書簡	1月11日	副長 安永直	戸長 麻生賀郎	返済金について	紙	墨	1	破損あり
芬 45	[記]	[弘化四年]			弘化四年分越波郡中村御年貢大豆代銀御銀倉社段々上納	紙	墨	1	
芬 46	[包紙]		大庄屋 甚次郎	大庄屋 有松忠平	裏面に「大庄屋甚次郎殿」とあり、内容物なし	紙	墨	1	
芬 47	[記]				草稿 ^カ	紙	墨	1	
芬 48	[記]				金銭と人名の書き上げ	紙	墨	1	破損あり
芬 49	書簡	5月8日	今泉永治	麻生賀郎	金子催促のために使いを立てたが、折合悪く、お返すことになったということについて	紙	墨	1	
芬 50	[記]				頃日私若松出仕任候こと	紙	墨	1	
芬 51	書簡	8月9日	清石衛門	麻生太吉	感父身上に付道々御尊父様より	紙	墨	1	
芬 52	書簡	5月23日	紙屋政右衛門	麻生賀郎	米について	紙	墨	1	
芬 53	書簡	7月20日	紙屋小七	麻生多次郎	米の買い備えについて	紙	墨	1	破損あり
芬 54	記	4月3日	伊藤万六	麻生賀郎	四月二日調新聞御用札三月三十一日票	紙	墨	1	
芬 55	書簡	4月5日	庄屋 太二郎	庄屋 太吉	大造について	紙	墨	1	
芬 56	為替手形	10月30日	山口角藏	麻生太吉	鍛冶屋利七から銀五百目の預り	紙	墨	1	破損
芬 57	書簡	9月6日	紙屋太吉	御藏所御出助中	目録指出のこと	紙	墨	1	
芬 58	覚	10月18日夕	庄屋十五郎	樋口役 麻生賀郎	上納金の書き上げ	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
芬 102	受取	巳12月朔日	森場屋仁平	庄屋 太右衛門	米の受取書	紙	墨	1	
芬 103	覚	12月21日	泉屋忠平	庄屋 太右衛門	金銭書上	紙	墨	1	
芬 104	覚	巳12月	喜四郎	庄屋 太右衛門	金銭の覚2通の綴	紙	墨	1	
芬 105	覚	11月30日	良吉	庄屋 太右衛門	数字の書き上げ	紙	墨	1	
芬 106	覚	12月25日	善吉	太右衛門	金銭の覚	紙	墨	1	
芬 107	[覚]				立岩村太右衛門の十一月十日切上納の覚 正金役場札	紙	墨	1	
芬 108	[覚]				十月廿一日、忠平への金銭支払の覚	紙	墨	1	
芬 109	覚	10月21日	泉屋忠平	庄屋 太右衛門	金銭の書き上げ	紙	墨	1	
芬 110	覚	9月	和泉屋忠平	庄屋 太右衛門	枝合、相森、下三郷分の金銭書上	紙	墨	1	
芬 111	書簡	12月13日	二宮養叔	立岩庄屋 太右衛門	非札の辨明と金銭受取について	紙	墨	1	
芬 112	覚	巳4月	太七郎	立岩 太右衛門	金銭書上	紙	墨	1	
芬 113	受取	巳10月8日	角屋長兵衛	太右衛門	銀領の受取証	紙	墨	1	
芬 114	書簡	12月25日	長三郎	太右衛門	米御出方のごとについて	紙	墨	1	
芬 115	覚	辰11日			金銭の覚	紙	墨	1	
芬 116	借用証文書	安政3年12月	枝郷 太右衛門	本村 忠平	金銭の借用証文、覚が3点添付されている	紙	墨	4	こよりで括つてある
芬 117	書簡	極月25日	河野玄雲	太右衛門	御披露米の御札	紙	墨	1	
芬 118	覚	12月25日	徳右衛門	太右衛門	金銭の覚、請取回折	紙	墨	2	
芬 119	覚	巳11月26日	吉右衛門ほか1名	太右衛門	人名と金銭の書上	紙	墨	1	
芬 120	私用米銭譜日録入	安政4年巳9月			包紙	紙	墨	1	
芬 121	断簡				米について等	紙	墨	1	破損がひどく前・後欠
芬 122	覚	巳12月朔日	森さきや仁平	庄屋 太右衛門	米の受取りについて	紙	墨	1	
芬 123	書簡	10月4日	副戸長 市吉孫一	手伝役 伊藤登	庄司村へ入込みについて	紙	墨	1	
芬 124	嘉麻郡綱分村御口役有松直平起請文者御安申上候御書事					紙	墨	1	
芬 125	[断簡]					紙	墨	1	
芬 126	[記]		越波大庄屋		米の相場についてカ	紙	墨	1	後欠
芬 127	雑				金銭の書き上げ、12貫692文、7月中	紙	墨	1	
芬 128	[草稿]				税の納入について、裏に筑紫国嘉麻郡立岩村戸長花村卯右衛門作成、土地の書き上げあり	紙	墨	1	
芬 129	嘉麻郡下之諸村庄屋組頭年忍秋月御領分入人御領申上候事	文久4年正月	下三郷村組頭 平五郎、米三ほか2名	嘉麻越波御郡代御役所	表題の通り	紙	墨	1	
芬 130	嘉麻郡立岩村庄屋組頭年忍御領申上候事	嘉永5年2月	立岩村組頭 卯吉ほか3名、同村 庄屋 吉	上座下座嘉麻越波御郡御役所	当村の文化年中の御上納についてのお願い。	紙	墨	1	
芬 131	[記]	6月12日				紙	墨	1	
芬 132	覚	巳12月22日	井手太七郎	太右衛門、次平	前欠、「右之通り御座候」	紙	墨	1	
芬 133	覚	巳□月20日	善右衛門	太右衛門	助郷米の受取りについて	紙	墨	1	
芬 134	致何覚	巳10月9日	山元 文吉	山元嘉平	金銭書上	紙	墨	1	
芬 135	覚	巳12月30日	外助	太右衛門	金銭書上	紙	墨	1	
芬 136	覚	巳12月	作右衛門	太右衛門	金銭書上	紙	墨	1	
芬 137	書簡	巳12月26日	山腹屋徳郎	太右衛門	立岩庄屋 普請方	紙	墨	1	
芬 138	書簡	12月29日	三宮養叔	立岩 太右衛門	銀領の御算用について	紙	墨	1	
芬 139	受取	戌12月11日	康平	忠右衛門	御披露御祝義の御札	紙	墨	1	
芬 140	[記]				金銭の書き上げ	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
券 141	覚	7月3日	太右衛門	内方	線7両を清四郎殿へ渡すことについて	紙	墨	1	
券 142	[記]				栢ノ森村の人名書上	紙	墨	1	
券 143	[断簡]				米の藤北国渡	紙	墨	1	
券 144	[記]				金銭の書き上げ	紙	墨	1	
券 145	預り	12月4日	太次郎	蔵方	金銭の預りの覚	紙	墨	1	
券 146	[雑]		吉田七郎	麻生太吉	宛名、送り主名を練習したものカ	紙	墨	1	
券 147	嘉麻郡立岩村庄屋麻生太右衛門 差出を以申上候事	明治2年3月	立岩村庄屋 御門	麻生太右 衛門	地頭吉田七兵衛様 当村より御在をせ られ差支有無之儀	紙	墨	1	
券 148	口上	6月6日	高山千助	庄屋 芳衛門、太吉	四ヶ村の借入金についてのご相談	紙	墨	1	
券 149	嘉麻郡有安村庄屋組頭乍恐申上 候口上之覚				年貢の納入について	紙	墨	1	破損あり
券 150	[記]				金銭の書き上げ	紙	墨	1	
券 151	嘉麻郡〔 〕				各村の米の書き上げ	紙	墨	1	
券 152	嘉麻郡立岩村 宗旨 御改帳 三冊之内浄土宗	天保6年3月			宗旨御改帳のテンプレートカ	紙	墨	1	
券 153	書簡	弘化4年11月	有安村組頭 太平、利 七、同村庄屋 太吉	上座下座嘉麻越波御 郡代役所 立岩 庄屋 太右衛 門	根米借用の件について	紙	墨	1	
券 154	覚	子11月7日	簡野 庄屋 久吉	太右衛 門	金銭の書き上げ	紙	墨	1	
券 155	山倉村抱御山杉御植立二付 村 史以御任之事	安政4年3月	福山兵藏		杉の苗と村吏の書き上げ	紙	墨	1	
券 156	弘化二年巳六月時御控帳				米の書き上げ、綴られていた痕跡あり	紙	墨	9	
券 157	[書上]				米の書き上げ、文政6年8月、天保2 年2月の記録あり	紙	墨	9	
券 158	諸縁証書 巻通				包紙カ	紙	墨	1	
券 159	御銀会弘嘉麻郡口春村弘化四年 分御年貢大豆代銀上納通帳				綴の表紙カ	紙	墨	1	
券 160	差出	嘉永3年10月		鷹取宗明	治款の報告	紙	墨	1	破損あり
券 161	雑					紙	墨	1	
券 162	大坂四藏米御通	安政3年正月吉日	山倉屋佑助	石見屋仁右衛門	米の書き上げ	紙	墨	1	
券 163	敬喜天社再建奇進帳	弘化3年7月	龍華院			紙	墨	1	
券 164	大宰府天満宮日米講帳		小野伊予			紙	墨	1	
券 165	嘉麻郡立岩村太吉御致口御銀拜 借年賦借状帳	天保5年10月				紙	墨	1	破損あり
券 166	本堂鐘樓再建奉加帳	天保14年3月	宗徳郡山田村 増福院	妙見山		紙	墨	1	
券 167	雑					紙	墨	22	
番外① 1	税務署及村役場月給届扣					紙	墨	1	
番外① 2	有価証券	[明治] 37年3月			摘要と借方と貸方の欄があり、購入し た株の種類・枚数や金額が書かれてい る。	紙	ペン	1	
番外① 3	[図]				平面図と断面図 (尺度1/300)	紙	ペン・ 鉛・ペ ン	1	
番外① 4	領収書	明治37年			住宅税及び衛生費の納税者に対する領 収証	紙	墨・鉛	78	
番外① 5	必要書類 管轄	明治35年10月10日～ 明治36年3月10日	本洞炭鉱	本洞炭鉱	炭鉱労働者たちの住む納屋の図や関連 する書類。欠動届。	紙・綴	墨・鉛	30	綴はこよりで綴つてあ る。本洞炭鉱事務所用 紙、中身は別封筒へ
番外① 6	各抗請表提出期限表				書類の提出期限をまとめた表	紙	ペン	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
番外① 7	三十六年中経常費精算表	明治36年			明治36年にそれぞれの炭坑での収支など	綴	ペン・筆	1	こより
番外① 8 1	[記]				汽車費、共済費、賃金などの一覧	綴	墨	1	
番外① 8 2	記				衛生費、賃金などの一覧、領収書有り	綴	墨	1	
番外① 9	葉書	1月8日		本洞炭坑会計課	三井鉱山名義の村税の追加戸別割りを事務処理から出していましたが、特別会計で処理したのでしかるべくお取り計らいください。	葉書	ハ	1	
番外① 10	拾月中坑内臨時日役報告綴	明治34年10月			日雇い労働者に払った給料をまとめたもの	綴	筆	1	こより
番外① 11	仮払金受取証	明治32年11月2日	占部	本洞炭坑会計	占部が、本洞炭坑会計から、49銭の仮払入金を受けとったことが確かされている。	紙	墨	1	
番外① 12	本洞坑伝票順序				拡張費、採炭費など伝票の項目を並べたもの	紙	墨	1	
番外① 13	[記]	明治40年5月20日	庶務		弁当一人前をお渡しした	紙	鉛	1	
番外① 14	医証	明治40年6月12日	大塚仙達		荒木茂がケガをしたことの証明書	紙	筆	1	
番外① 15 1	[炭坑表 5月号]	5月			一坑と二坑の5月における採炭量などを日ごとにまとめたもの	紙	ペン	1	
番外① 15 2	[炭坑表 6月号]	6月			一坑と二坑の6月における採炭量などを日ごとにまとめたもの	紙	ペン	1	
番外① 15 3	[炭坑表 7月号]	7月			一坑と二坑の7月における採炭量などを日ごとにまとめたもの	紙	ペン	1	
番外① 15 4	[炭坑表 8月号]	8月			8月における採炭量などを日ごとにまとめたもの	紙	ペン	1	
番外① 16	[伝票雛型]					綴	印	1	こより
番外① 17	記	[明治] 35年10月18日	平野卯二郎	本洞炭坑事務所	27円48銭を酒肴料として受け取った	紙	筆	1	
番外① 18	記	[明治] 35年10月18日	平野卯二郎	安永、瓜生	金銭書上	紙	筆	1	
番外① 19	書簡	明治36年6月16日	本店石炭係	本洞炭坑運炭係	本月12日塊送炭報告の件	紙	炭	1	
番外① 20	[通帳表紙]	明治37年3月		八尋キヲ	採炭賃金、貸借金通帳の表紙	紙	印・墨	1	
番外① 21	明治三十六年九月分雑収入内訳表				明治39年9月分の雑収入内訳をまとめた表	紙	ハ・墨	1	破損あり
番外① 22	第五式号積立金領収証			三好春吉、三好市九郎		領収書	印・鉛	1	
番外① 23	[積立金領収書]					綴	印・ハ・墨	1	こより
番外① 24	[積立金領収書]	明治37年				綴	印・墨	1	こより、1枚目の裏紙：本洞炭坑事務所用紙
番外① 25	明治三十六年八月中経費目録表	明治36年8月			経費の表	紙	鉛・ハ・墨	2	
番外① 26 1	鉱経費収支計算書	明治36年8月30日			採炭費、坑内修繕費などの細目とそれに生じた費用の一覧	紙	墨	1	
番外① 26 2	鉱経費収支計算書	明治36年8月30日			6月11日から21日までの、採炭費、坑内修繕費などの細目と生じた費用の一覧	紙	墨	1	
番外① 26 3	鉱経費収支計算書	明治36年			採炭費、坑内修繕費などの細目とそれに生じた費用の一覧	紙	墨	1	
番外① 27	書簡	明治36年1月24日	筑豊石炭鉱業組合事務所	本洞炭坑	炭の数量を明表に記載した、差異があれば教えてほしい	紙	印・墨	2	
番外① 28	[経費内訳]				藤柳炭坑の採炭費、脚間費などの細目と生じた費用の一覧	紙	ハ	1	
番外① 29	[領収書]	明治37年			香税等の領収書	綴	印・墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
番外① 30	[記]				人名と数字の一覧	紙	鉛	1	
番外① 31	積立金額収書			本洞炭坑事務所 小笠原善太郎	積立金の領収書(9月~12月)小笠原キツ殿と連名のものあり	綴	印・墨		
番外① 32	積立金額収書			本洞炭坑事務所 川林太郎ほか	積立金額収書	綴	印・墨		
番外① 33	領収書	明治37年	本洞炭坑会計		欠損の分 渡せなかったものと思われる	綴	印・墨		
番外① 34	1 記				1枚目は金額の書き上げ、2枚目は書簡、3枚目は仮払金の受領証	綴	墨	3	1枚目：本洞炭坑事務所所用紙、2枚目：藤洞炭坑便箋用紙
番外① 34	1 火薬代引去報				1枚目は人名と金額の書き上げ、2枚目は、10月16日の仕跡仕払金の差引箋	綴	墨	3	1枚目：下境村本洞炭坑事務所所用紙
番外① 35	[業書]	12月17日	麻生商店会計課	本洞炭坑会計課	昨日伝票の科目を訂正し、今日入帳したところ、臨時費で11日まで支払った金額が合計金84円81銭になったため、相手方にも確認してほしいという文と、その金額の内訳が書かれている	紙	ペ	1	
番外① 36	[業書]	12月1日(消印)	松井勇次郎	坑夫係	蒲瀬炭坑の坑夫で、現在直方炭坑にいる小田三次と、勝田スエを、もう一度蒲瀬炭坑に呼び戻すと書かれている	紙	筆	1	
番外① 37	書簡	10月4日		野見山米吉	火事があったが、消火され、もう安全である	紙	墨	1	封筒あり
番外① 38	臨時費竣工明細書	明治36年6月22日~ 明治36年9月20日	上三緒坑長 田中曾二	麻生商店店主	明治36年度の上三緒第二坑の、臨時費・拡張費、明細書	綴	ペ	1	こよりで綴ってある
番外① 39	本店往復書	明治35年7月	会計係		表紙のみ	紙	墨	1	
番外① 40	第壹坑人数取調報告	明治36年6月30日	経理課		本洞第一炭坑に従事する坑夫らとその家族の人数をまとめた一覧	紙	墨	1	表紙のみ
番外① 41	諸規則通達簿	明治31年11月	火薬係	会計係	明治36年1月28日の残品額の報告	紙	墨	1	
番外① 42	[記]	明治36年2月11日			9月中の取支決議をしたところ、9月19日の別紙報告の支払い金の合計が違っていたので、調べてほしい	紙	墨	1	封筒あり 麻生商店用紙
番外① 43	書簡	明治35年10月13日	麻生商店	本洞炭坑会計課	拡張費、助調費、官給費など金銭の書上	紙	鉛筆	1	
番外① 44	[記]				中身なし	紙	鉛筆	1	
番外① 45	封筒	明治40年6月15日	米国貿易会社 橋詰兵太郎	本洞炭坑		封筒	墨	1	封筒あり
番外① 46	書簡	明治35年9月26日	麻生商店	本洞炭坑	16~18日の3日分の石炭報告に関する再調査のお願い	紙	墨	1	
番外① 47	支払い伝票他				支払伝票と収入伝票のセット	専用紙	鉛筆	2	
番外① 48	書簡		麻生商店主計課	本洞炭坑会計課	伝票が10月分なのか11月分なのか不明なので調べてから再度送って下さい	紙	墨	1	麻生商店用紙
番外① 49	書簡	明治35年10月24日	本店会計課	本洞炭坑会計課	伝票訂正の件、至急ご報告相成度候	紙	墨・印	1	紙1枚のりづけされて います
番外① 50	書簡	1月1日	本坑石炭掛	本洞炭坑	石炭報告の内容や詳細を記したものを	紙	墨・ペ	2	日付・数量記載の紙同 折
番外① 51	封筒	明治36年1月24日	筑豊石炭礦業組合事務所	本洞炭坑		封筒	ペ・印	1	
番外① 52	書簡	4月2日	藤田	瓜生おそ□	旦那様御病氣のこと・はるたへ来てほしいこと・来る際は、安永さん連れできてほしいこと	紙	墨	2	封筒あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
番外① 53	青簡		本店	本洞石炭掛	別紙先戻日帳 一日の繰越高帳簿残の御記載の様を見て下さい	紙	墨	1	嘉船郡飯塚町久留米屋次 麻生商店御中と書かれた封筒に入っている
番外① 54	葉書	5月3日	麻生商店	本洞店係	3月17日・13日の表が推敲されていないので至急送ってほしいが、送付済みなどのことなので、2・3日以内に調製したものを再度送ってほしい	葉書	鉛	1	
番外① 55	葉書	明治36年3月11日	小山儀右衛門	本洞炭坑事務所	立岩麻生本店から照会があったため、尺封筒を返附した。	葉書	墨	1	
番外① 56	葉書		池野将吾	安永乙吉	母の訃報	葉書	墨	1	
番外① 57	葉書	明治39年5月14日	占部太平	藤岡炭坑第三分配所	弊店に埴にかりの問合わせがあったものの、弊店には当該商品がないため、津屋崎製煉株式会社依頼した内容を記している	葉書	墨	1	
番外① 58	書簡	明治36年2月19日	九州生命保険株式会社	安永乙吉	大塚生命保険株式会社と九州生命保険株式会社との現状と、備書務取締役の入れの辞	綴	墨・印・ペ	1	封筒あり、ピンで綴っている
番外① 59	封筒			本洞炭坑		封筒	印・ペ	1	
番外① 60	事業着手届届	明治30年			土地を誰かどのような目的でどのような工事をするかを届け出る用紙	綴	印	1	こより
番外① 61	証	明治35年9月21日	堀藤業事務所	安部丈男	7月以前に私った12円85銭を控除した残りとして6円99銭を領収した	紙	墨	1	
番外① 62	明治三拾六年三月分雜収入内訳並ニ収支勘定表	明治36年2月	本洞炭坑会計係		明治36年2月における様々な収入の内訳とその収支をまとめた表	紙	墨	1	
番外① 63	青簡	明治40年5月1日	松本重彦		6月1日の行われる天照皇大神宮御神楽殿での御神楽奉奏に賛同し加入してくれる会員を募集しており、あなたを会員結果世話係に依頼する。別冊の本会の主旨会則を送至する。賛同してくれる同志の方を勧誘の上、6月1日(御神楽奉奏の当日)までに加名員の報告を、行うことを依頼する	紙	印	2	
番外① 64	天照皇大神宮永代々御神楽奉奏加名簿		神宮敬神会本部世話係		神宮敬神会の主旨と、加名申込書が綴られている	綴	墨・印	1	こよりで綴っている、(加名申込書)
番外① 65	記		分配所	炭坑事務所	ビールの注文について、36本のうち20本は8月13日までに納入済みであり、残りの16本を8月17日に納入する	紙	墨	1	
番外① 66	借用书他	明治35年8月26日	野見山藤太郎	相羽坑務課長	借借証書、その他、本洞探鉱の会計(未払金と該当者の記載等)や報告書等	綴	墨	1	こよりで綴っている、1枚目：本洞炭坑事務所炭坑便箋用紙
番外① 67	[請求書綴]	明治35年9月16日	岸原明治堂	本洞炭坑事務所	切符の請求書を本洞炭坑と藤岡炭坑分の2通送付するので送金をお願いする。2枚目以降は本洞炭坑事務所への請求書(131円25銭、切符1枚当り3厘5毛の印刷代37.5000枚)と内訳の記載	冊	墨	1	こよりで一括、岸原明治堂用紙を利用
番外① 68	記	9月10日	直方殿町開月亭	本洞炭	領収書。三円六銭、渾食御三八前	紙	墨	1	
番外① 69	明治三拾八年三月阿魯總額報告書	明治36年	荒木正	安永坑長	明治36年3月阿魯總額報告書	紙	墨		前欠
番外① 70	書簡	3月27日	久米正行	安永青吉	貴方から一応漏れ本部へ御照会してほしい	紙	墨		
番外① 71	書簡	明治35年11月17日	麻生商店	本洞炭坑	本店に差し追った製図があり、昨日16日から手戻っています	紙	墨		

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
番外① 72	預り証	9月5日	三坑分配所	事務所	エビスビールの預り証	紙	1	近手炭坑用紙、堀炭業事務所用箋、本洞炭坑事務所用紙
番外① 73	綴				土地の保証の内容の綴	綴	1	
番外① 74	書簡	12月2日	吉田鳳三郎	阿部丈男	助役の願書のことについて	紙	1	封筒あり
番外① 74	書簡	1月17日	野入属太郎	本洞炭坑坑長 安永 喜吉	入院中の近況報告と入院料送金のお願	紙	1	封筒あり、別表2枚あり
番外① 75	書簡	11月16日	田中常治、井上元三郎	麻生太吉	御地本帳の石切、不容易とのこと	紙	1	封筒あり
番外① 75	書簡	明治35年10月6日	鴻之巣炭坑巡查 杉本 政夫	本洞炭坑事務所	10月4日付の辞令で本洞炭坑の担当に命じられ、翌7日より赴任するため、今後公私関係なくご愛顧ください	紙	1	封筒あり
番外① 76	借用証書	10月24日		会計係	借用証書	紙	1	「吉住章」の朱印あり 朱でパンが書かれている。
番外① 76	封筒		本洞炭敏		野入氏の食事代の封筒	封筒	1	中身なし
番外① 77	書簡		本店会計（野見山の印）	本洞坑会計	事務費報告書作成のことについて	紙	1	封筒あり、別紙あり
番外① 78	御届	明治35年7月	三井各名会社鉱業代理人 堀三太郎 代理 安永喜吉	福岡 鉱山 監督 署長 小杉敏三郎	去る7日午前8時に発生したボイラ破裂事故の詳細の報告と、その際の負傷者が亡くなったため、葬式料と石碑建設料（家族がいなかったため）のことについて	綴	1	
番外① 79	各坑操送費約度索引表 明治38年度					綴	1	
番外① 80	〔明治34年1月分 統計表〕〔坑夫就業一覽表〕					紙	1	破損あり
番外① 81	坑夫就業増減一覽表	明治34年5月	人事係			紙	1	破損あり
番外① 81	坑夫就業増減一覽表	明治34年6月	本洞炭坑坑務課坑外係 調査係			紙	1	破損あり
番外① 81	坑夫就業増減一覽表	明治34年7月	姫務課坑外係調査主任			紙	1	
番外① 81	坑夫就業増減一覽表	明治34年9月	坑務課			紙	1	
番外① 81	坑夫就業成（續一）覽表	明治34年10月	本洞炭坑事務所坑務課			紙	1	一部汚れ・破損あり
番外① 81	坑夫入坑成績表	明治34年11月	本洞炭坑			紙	1	破損あり
番外① 81	坑夫人坑成績表	明治34年12月	本洞炭坑々務課			紙	1	
番外① 82	封筒		本洞会計 阿部	石川広成		紙	1	現金在中と記載
番外① 83	〔記〕				納屋に住む人物を記載か。	紙	1	裏・鉛 1 鉛・ペ 1 面に記載あり
番外① 84	宝瀨山名所占蹟案内図					紙	1	
番外① 85	〔表〕				1月～5月の採炭額など	紙	1	
番外① 86	書簡	明治35年11月11日	本店 乃美山	本洞坑占部	福岡君貯金受下しの件、金銭書上げ1枚同封	紙	3	麻生商店用紙、本洞炭坑事務所用紙に記載、封筒あり、封筒と書簡で作成者名異なる
番外① 86	書簡	明治36年1月9日	乃美山貴雄	占部義雄	昨年12月30日伝票未着の旨本日御照会申上置候こと	紙	1	封筒あり
番外① 87	領収証	明治37年	本洞炭坑会計		永例常一と高瀬作太郎が納めた倉宅税・英清實・湯鏡の領収証 明治37年4月前半期分	印・綴 紙・綴	2	
番外① 88	四月后キ欠損書部	明治37年	本洞炭坑会計		明治37年4月後期分の倉宅税五銭の領収証19人分	印・綴 紙・綴	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
番外① 89 1	出納日報	明治38年5月6日～6月1日			藤棚一鉱業所の出納日報	綴	印・ペ	1	虫ピンで一括
番外① 89 2	出納日報	明治38年3月6日～4月1日			藤棚一鉱業所の出納日報	綴	印・ペ	1	虫ピンで一括
番外① 89 3	出納日報	明治38年4月6日～5月1日			藤棚一鉱業所の出納日報	綴	印・ペ	1	虫ピンで一括
番外① 89 4	出納日報	明治38年1月11日～3月1日			藤棚一鉱業所の出納日報	綴	印・ペ	2	虫ピンで一括
番外① 89 5	総勘定元帳差引残高表				4月30日、5月30日、6月30日付の記載あり。差引残高帳の断片同折	冊	印・ペ	2	
番外① 89 6	[記]	未7月12日			藤棚一鉱業所の資金などの勘定	綴	ペ	1	虫ピンで一括、イソクにじみあり
番外① 89 7	出納日報	明治38年6月1日～6月30日			藤棚一鉱業所と藤棚式鉱業所の出納日報	綴	印・ペ	2	虫ピンで一括
番外① 89 8	出納日報	明治38年5月1日～5月31日			本棚一鉱業所と藤棚式鉱業所の出納日報	綴	印・ペ	2	こよりと虫ピンで一括
番外① 89 9	出納日報	明治38年3月1日～3月31日			本棚一鉱業所の出納日報 表題上部に「経常費」とあり	綴	印・ペ	1	虫ピンとこよりで一括
番外① 89 10	出納日報	明治38年1月1日～1月31日			本棚一鉱業所の出納日報 表題上部に「経常費」とあり	綴	印・ペ	1	虫ピンとこよりで一括
番外① 90 11	出納日報	明治38年4月1日～4月30日			本棚一鉱業所の出納日報 表題上部に「経常費」とあり	綴	印・ペ	1	
エビ 77 1	上三総右三坑断層水抜試験	[] 3年3月			地層の調査	紙	鉛	1	
エビ 77 2	弥栄新一郎右十六坑断層調査試験	6月7日			地層の調査	紙	鉛	1	
エビ 77 3	[断層水抜試験]	12月4日			地層の調査	紙	鉛	1	
エビ 77 4	[断層水抜試験]	11月6日			地層の調査	紙	鉛	1	
エビ 77 5 1	大塚丸豆田溜池干係書類				封筒	封筒	鉛	1	
エビ 77 5 2	計算表				堤防の坪数などの計算表	紙	墨・ペ	1	
エビ 77 5 3	新設堤防縦断面図				堤防の縦断面図	紙	墨・ペ	1	
エビ 77 5 4	放水路及尺八樋伏樋図				放水路の断面図、伏樋の構造図	紙	墨・ペ	1	
エビ 77 5 5	九郎丸区 溜池築造見積書	大正14年2月14日	豆田鉱業所		溜池堤防高上工事平面図 堤防横断面図、他	綴	墨・ペ	1	
エビ 77 5 6	九郎丸字丸尾谷溜池新設予算書	大正14年2月	豆田坑工作係管轄		予算書、新設溜池候補地平面図、他	綴	墨・ペ	1	
図 1	週刊 東洋経済新報 第一八三六号	昭和13年10月15日				冊子	印	1	
図 2	週刊 東洋経済新報 第一八三七号	昭和13年10月22日				冊子	印	1	
図 3	週刊 東洋経済新報 第一八三八号	昭和13年10月29日				冊子	印	1	
図 4	週刊 東洋経済新報 第一八三九号	昭和13年11月5日				冊子	印	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
図 5	東洋経済新報 第一八四週一 東洋経済新報 第一八四週三	昭和13年11月12日				冊子	印	1	
図 6	東洋経済新報 第一八四週四	昭和13年11月19日				冊子	印	1	
図 7	東洋経済新報 第一八四週五	昭和13年11月26日				冊子	印	1	
図 8	東洋経済新報 第一八四週六	昭和13年12月3日				冊子	印	1	
図 9	東洋経済新報 第一八四週七	昭和13年12月10日				冊子	印	1	
図 10	東洋経済新報 第一八四週八	昭和13年12月17日				冊子	印	1	
図 11	東洋経済新報 第一八七週一	昭和14年7月1日				冊子	印	1	
図 12	東洋経済新報 第一八七週二	昭和14年7月8日				冊子	印	1	
図 13	東洋経済新報 第一八七週三	昭和14年7月15日				冊子	印	1	
図 14	東洋経済新報 第一八七週四	昭和14年7月22日				冊子	印	1	
図 15	東洋経済新報 第一八七週五	昭和14年7月29日				冊子	印	1	
図 16	東洋経済新報 第一八八週一	昭和14年8月5日				冊子	印	1	
図 17	東洋経済新報 第一八八週二	昭和14年8月12日				冊子	印	1	
図 18	東洋経済新報 第一八八週三	昭和14年8月19日				冊子	印	1	
図 19	東洋経済新報 第一八八週四	昭和14年8月26日				冊子	印	1	
図 20	東洋経済新報 第一八八週五	昭和14年9月2日				冊子	印	1	
図 21	東洋経済新報 号外	昭和14年9月3日				紙	印	1	
図 22	東洋経済新報 第一八八週六	昭和14年9月9日				冊子	印	1	
図 23	東洋経済新報 第一八八週七	昭和14年9月16日				冊子	印	1	
図 24	東洋経済新報 第一八八週八	昭和14年9月23日				冊子	印	1	
図 25	東洋経済新報 第一八八週九	昭和14年9月30日				冊子	印	1	
図 26	東洋経済新報 第一八八週一〇	昭和14年10月7日				冊子	印	1	
図 27	東洋経済新報 第一八九週一	昭和14年10月14日				冊子	印	1	
図 28	東洋経済新報 第一八九週二	昭和14年10月21日				冊子	印	1	
図 29	東洋経済新報 第一八九週三	昭和14年10月28日				冊子	印	1	
図 30	東洋経済新報 第一八九週四	昭和14年11月4日				冊子	印	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
図 31	週刊 東洋経済新報 第一八九	昭和14年11月11日				冊子	印	1	
図 32	週刊 東洋経済新報 第一八九	昭和14年11月18日				冊子	印	1	
図 33	週刊 東洋経済新報 第一八九	昭和14年11月25日				冊子	印	1	
図 34	週刊 東洋経済新報 第一八九	昭和14年12月2日				冊子	印	1	
図 35	週刊 東洋経済新報 第一九〇	昭和14年12月9日				冊子	印	1	
図 36	週刊 東洋経済新報 第一九〇	昭和14年12月16日				冊子	印	1	
図 37	週刊 東洋経済新報 第一九〇	昭和15年2月10日				冊子	印	1	
図 38	昭和十四年版 東洋経済株式会社年鑑	昭和14年発行				冊子	印	1	
図 39	経済年鑑 昭和十四年版	昭和14年5月19日発行				冊子	印	1	
図 40	東洋経済統計月報 第5巻第3号	昭和14年3月25日	原理日本社			冊子	印	1	
図 41	東洋経済統計月報 第5巻第4号	昭和14年4月10日	原理日本社			冊子	印	1	
図 42	東洋経済統計月報 第5巻第5号	昭和14年5月1日	原理日本社			冊子	印	1	
図 43	東洋経済統計月報 第5巻第6号	昭和14年5月11日	原理日本社			冊子	印	1	
図 44	東洋経済統計月報 第5巻第7号	昭和14年5月21日	原理日本社		第50号記念号	冊子	印	1	
図 45	東洋経済統計月報 第5巻第8号	昭和14年6月1日	原理日本社			冊子	印	1	
図 46	東洋経済統計月報 第5巻第9号	昭和14年6月11日	原理日本社			冊子	印	1	
図 47	東洋経済統計月報 第5巻第10号	昭和14年6月21日	原理日本社			冊子	印	1	
図 48	東洋経済統計月報 第5巻第11号	昭和14年7月1日	原理日本社			冊子	印	1	
図 49	東洋経済統計月報 第5巻第12号	昭和14年7月11日	原理日本社			冊子	印	1	
図 50	東洋経済統計月報 第5巻第13号	昭和14年7月21日	原理日本社			冊子	印	1	
図 51	東洋経済統計月報 第5巻第14号	昭和14年8月1日	原理日本社			冊子	印	1	
図 52	東洋経済統計月報 第5巻第15号	昭和14年8月11日	原理日本社			冊子	印	1	
図 53	東洋経済統計月報 第5巻第16号	昭和14年8月21日	原理日本社			冊子	印	1	
図 54	東洋経済統計月報 第5巻第17号	昭和14年9月1日	原理日本社			冊子	印	1	
図 55	東洋経済統計月報 第5巻第18号	昭和14年9月11日	原理日本社			冊子	印	1	
図 56	東洋経済統計月報 第5巻第19号	昭和14年9月21日	原理日本社			冊子	印	1	
図 57	東洋経済統計月報 第5巻第20号	昭和14年10月1日	原理日本社			冊子	印	1	
図 58	東洋経済統計月報 第5巻第21号	昭和14年10月11日	原理日本社			冊子	印	1	
図 59	東洋経済統計月報 第5巻第22号	昭和14年10月21日	原理日本社		河村幹雄氏追悼号	冊子	印	1	
図 60	東洋経済統計月報 第5巻第23号	昭和14年11月1日	原理日本社			冊子	印	1	
図 61	東洋経済統計月報 第5巻第24号	昭和14年11月11日	原理日本社			冊子	印	1	
図 62	東洋経済統計月報 第5巻第25号	昭和14年11月21日	原理日本社			冊子	印	1	
図 63	東洋経済統計月報 第5巻第26号	昭和14年12月1日	原理日本社			冊子	印	1	
図 64	東洋経済統計月報 第5巻第27号	昭和14年12月11日	原理日本社			冊子	印	1	
図 65	東洋経済統計月報 第5巻第28号	昭和14年12月21日	原理日本社			冊子	印	1	
図 66	東洋経済統計月報 第5巻第29号	昭和15年1月1日	原理日本社			冊子	印	1	
図 67	東洋経済統計月報 第5巻第30号	昭和15年1月11日	原理日本社		故上野一郎氏追悼号	冊子	印	1	
図 68	東洋経済統計月報 第5巻第31号	昭和15年1月21日	原理日本社			冊子	印	1	
図 69	東洋経済統計月報 第5巻第32号	昭和15年2月1日	原理日本社			冊子	印	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
図 70	原理日本 第15巻第3号 3月号	昭和14年3月1日	原理日本社			冊	印 1	
図 71	原理日本 第15巻第4号 4月号	昭和14年4月1日	原理日本社			冊	印 1	
図 72	原理日本 第15巻第5号 5月号	昭和14年5月1日	原理日本社			冊	印 1	
図 73	原理日本 第15巻第6号 6月号	昭和14年6月10日	原理日本社			冊	印 1	
図 74	原理日本 第15巻第7号 7月号	昭和14年7月1日	原理日本社			冊	印 1	
図 75	原理日本 第15巻第8号 8月号	昭和14年8月10日	原理日本社			冊	印 1	
図 76	原理日本 第15巻第10号 11月号	昭和14年11月1日	原理日本社		15周年記念号	冊	印 1	
図 77	原理日本 第15巻第11号 臨時増刊	昭和14年12月24日	原理日本社			冊	印 1	
図 78	経済倶楽部講演15	昭和14年5月25日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 79	経済倶楽部講演16	昭和14年6月5日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 80	経済倶楽部講演17	昭和14年6月15日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 81	経済倶楽部講演19	昭和14年7月5日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 82	経済倶楽部講演20	昭和14年7月15日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 83	経済倶楽部講演21	昭和14年8月25日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 84	経済倶楽部講演25	昭和14年9月7日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 85	経済倶楽部講演26	昭和14年9月18日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 86	経済倶楽部講演27	昭和14年9月25日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 87	経済倶楽部講演28	昭和14年10月7日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 88	経済倶楽部講演29	昭和14年10月19日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 89	経済倶楽部講演30	昭和14年10月31日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 90	経済倶楽部講演31	昭和14年11月12日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 91	経済倶楽部講演32	昭和14年11月23日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 92	経済倶楽部講演34	昭和14年12月5日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 93	経済倶楽部講演35	昭和14年12月15日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 94	経済倶楽部講演36	昭和14年12月25日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 95	経済倶楽部講演2	昭和15年2月2日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 96	経済倶楽部講演3	昭和15年2月13日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 97	経済倶楽部講演7	昭和15年3月30日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 98	経済倶楽部講演8	昭和15年4月16日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 99	経済倶楽部講演9	昭和15年4月25日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 100	経済倶楽部講演10	昭和15年5月4日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 101	経済倶楽部講演14	昭和15年6月25日	経済倶楽部			冊	印 1	
図 102	産業福利 第13巻第12号	昭和13年12月1日	協議会			冊	印 1	
図 103	産業福利 第14巻第2号	昭和14年2月1日	協議会			冊	印 1	
図 104	産業福利 第14巻第3号	昭和14年3月1日	協議会			冊	印 1	
図 105	産業福利 第14巻第7号	昭和14年7月1日	協議会			冊	印 1	
図 106	産業福利 第14巻第8号	昭和14年8月1日	協議会			冊	印 1	
図 107	産業福利 第14巻第9号	昭和14年10月1日	協議会			冊	印 1	
図 108	産業福利 第14巻第11号	昭和14年11月1日	協議会			冊	印 1	
図 109	産業福利 第13巻第12号	昭和13年12月1日	協議会			冊	印 1	
図 110	工場に於ける労務者住宅問題	昭和13年11月	協議会		産業福利パンフレット第四号	冊	印 1	
図 111	昭和十三年度事務及事業概要	昭和14年3月	協議会			冊	印 1	
図 112	昭和十三年度産業福利年報	昭和14年7月	協議会			冊	印 1	
図 113	昭和十二年度歳入歳出決算書	[昭和12年度]	協議会			冊	印 1	
図 114	昭和十四年度歳入歳出決算書	[昭和14年度]	協議会			冊	印 1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
図 115	昭和十三年度報告書	[昭和13年度]	東京ゴルフ倶楽部			冊	印	1	
図 116	社会政策時報 十一月号 戦時労働政策特輯	昭和13年11月1日	協調会			冊	印	1	
図 117	社会政策時報 四月号	昭和14年4月17日	協調会			冊	印	1	
図 118	社会政策時報 第二百二十六号	昭和14年7月1日	協調会			冊	印	1	
図 119	社会政策時報 第二百二十七号	昭和14年8月1日	協調会			冊	印	1	
図 120	社会政策時報 第二百二十八号	昭和14年9月1日	協調会			冊	印	1	
図 121	社会政策時報 第二百二十九号	昭和14年10月1日	協調会			冊	印	1	
図 122	社会政策時報 第230号 北海道農業特集	昭和14年11月1日	協調会			冊	印	1	
図 123	社会政策時報 第231号	昭和14年12月1日	協調会			冊	印	1	
図 124	第11回(国民精神総動員)全国安全週刊報告(厚生省労働局調査)	昭和14年7月15日	協調会	産業福利部					
図 125	朝香宮					冊	筆	1	
図 126	請上納金未納金書状	[明治15年]			学校費、地方税などの未納者書上	綴	墨	1	破損あり
図 127	[断簡]	昭和14年	[東洋経済新報社]		東洋経済新報臨時増刊の案内	綴	印	1	
盈A 1	請入費綴	[明治期]	庄屋 伊藤和六	麻生賀郎、麻生太吉		綴		1	
盈A 2	寛	明治14年	庄屋 伊藤和六	触口 麻生賀郎		綴		1	
盈A 2	寛	明治3年閏10月	庄屋 与三郎	触口役 麻生賀郎	余米、寸志米、諸運上、小物成など	綴		1	
盈A 2	寛	閏10月24日		触口 麻生賀郎	片嶋村諸返納切符分	綴		1	
盈A 2	書簡	12月9日	安永直	触口 麻生賀郎	銀預りの覚	綴		1	
盈A 2	書簡	12月10日	安永直	触口 麻生賀郎	別紙三通受取	綴		1	
盈A 2	書簡	12月10日	出陣庄屋 信三	触口役 麻生賀郎	袋のみ	綴		1	
盈A 2	書簡	12月14日	飯塚村触口 安永直	触口 麻生賀郎	御返納米の件	綴		1	
盈A 2	書簡	12月10日	古川孫七	麻生賀郎	宿用の儀に付	綴		1	
盈A 2	書簡	12月9日	飯塚御代官役所	触口 麻生賀郎		綴		1	
盈A 2	寛	12月	庄屋 定五郎	触口 麻生賀郎		綴		1	
盈A 2	寛				米下直買人無く難渋に付	綴		1	
盈A 2	書簡	12月9日	庄屋 伊藤	触口役 麻生賀郎	指上裏面の覚	綴		1	
盈A 2	書簡	12月14日	庄屋 伊藤和六	触口 麻生賀郎	小学校の件ほか	綴		1	
盈A 2	寛	12月14日	南尾村庄屋 角七	御役場系惣	金銭の授受	綴		1	
盈A 2	書簡	12月12日	飯塚村触口 麻生賀郎	内野御民事方	飯米預ほか上納の件	綴		1	
盈A 2	寛			触口 麻生賀郎	生馬改置札の件	綴		1	
盈A 2	書簡	12月13日	飯塚組頭中 又十郎、宅米	触口御役場	次助死去一件	綴		1	
盈A 2	書簡	12月10日	正藏	麻生賀郎		綴		1	
盈A 2	書上				村毎の米割附	綴		1	
盈A 2	書簡	11月26日	庄屋 原宅七	触口 麻生賀郎	洲口出米の件ほか	綴		1	
盈A 2	書簡	12月9日	庄屋 有光不融	触口役 麻生賀郎	大行事の件	綴		1	
盈A 2	書簡					綴		1	
盈A 3	書簡		触口 麻生賀郎	右村々庄屋兼中	米徴収の件	綴		1	
盈A 3	書簡		改名正藏	触口 麻生賀郎		綴		1	
盈A 3	寛	12月15日			各村の米高の記載	綴		1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
盈A 3 4	書簡	12月17日	唐七郎	賀部		紙		1	
盈A 3 5	書簡	12月 8日	唐七郎	触口役 麻生賀郎	小学校の件	紙		1	
盈A 3 6	書簡	12月15日	有松伴六	麻生賀郎		紙		1	
盈A 3 7	書簡	12月15日	西村庄屋 市吉孫一	触口役 麻生賀郎	諸帳面の件	紙		1	
盈A 3 8	書簡	12月17日	庄屋 彦一	触口役 御役場	帳面の差上	紙		1	
盈A 3 9	書簡	12月17日	触口役 有松伴六	触口役 麻生賀郎	帳面の件	紙		1	
盈A 3 10	書簡	12月16日		触口役 御役場		紙		1	
盈A 3 11	書簡	12月17日	藤三郎	麻生賀郎	米貯出し要請	紙		1	
盈A 3 12	覚	12月17日	麻生賀郎	善三郎	貸附金覚	紙		1	
盈A 3 13	書簡	12月17日	小村善右衛門	触口 麻生嘉郎	借用金の件	紙		1	
盈A 3 14	持廻	12月16日	触口 麻生賀郎	触口 麻生嘉郎	完米の件	紙		1	
盈A 3 15	書簡	12月17日	安国村組頭 与吉郎	御役場 白土孫恵	帳面書法の件	紙		1	
盈A 3 16	書簡	12月13日	触口 麻生賀郎	庄屋 原宅七ほか6名	洲口証憑の件	紙		1	
盈A 3 17	覚				米61俵2斗5合代19貫404目	紙		1	
盈A 3 18	書簡		總所出張役所	触口役 麻生賀郎	御用差支に付	紙		1	
盈A 3 19	書簡	極月16日		触口役 麻生賀郎		紙		1	
盈A 3 20	(包紙)					包紙		1	
盈A 3 21	書簡	12月15日	正蔵	麻生賀郎、御納方	繰繰300ばかり元渡	紙		1	
盈A 3 22	覚	12月14日改			老人書上の件	紙		1	
盈A 3 23	覚	12月15日	内野民事方		延引の件	紙		1	
盈A 4	十六年一月十日迄内用目六入					一括			
盈A 5 1	記	8月12日	瓜生安平	麻生太吉	浄器薙花代	紙		1	
盈A 5 2	覚		桶屋喜右衛門	麻生太吉	新かすり	紙		1	
盈A 5 3	記	9月 1日	宗屋吉兵衛	麻生太吉	三味茶	紙		1	
盈A 5 4	記	亥12月	桶屋善助	栢森村 麻生太吉	反物代金	紙		1	
盈A 5 5	記	旧正月16日	織屋伊助	三棟	反物	紙		1	
盈A 5 6	請取	8月 8日	淺田新右衛門	麻生太吉		紙		1	
盈A 5 7	書簡	[明治9年] 1月18日	清水涼平	麻生賀郎	飢害償い米ほか	紙		1	
盈A 5 8	記	4月22日	桶屋善助	麻生多吉		紙		1	
盈A 5 9	記	亥11月	小国屋半兵	麻生太吉	生活物資の通	紙		1	
盈A 5 10	記	亥12月		麻生藤七		紙		1	
盈A 5 11	記	12月31日	万屋安平	麻生御氏	水足袋代などの請求	紙		1	
盈A 5 12	書簡	9月 1日	七大区石段方取扱所	麻生未吉	坑区税の件	紙		1	
盈A 5 13	記	2月20日	桶屋儀右衛門	上棟	反物代金請求	紙		1	
盈A 5 14	記	8月10日	瓦屋久兵衛	栢森村 麻生		紙		1	
盈A 5 15	覚	極月24日	二宮善甫	村市右衛門	米壹俵受取	紙		1	
盈A 5 16	記	8月26日	米屋吉兵衛	麻生太吉	布代	紙		1	
盈A 5 17	記	子 3月17日	米屋吉兵衛	麻生太吉	請取	紙		1	
盈A 5 18	記	12月17日	桶屋善助	上棟	反物など請求	紙		1	
盈A 5 19	記	2月 6日	米屋吉兵衛	麻生太吉	靴、反物など	紙		1	
盈A 5 20	口上	旧 3月24日		麻生太吉	米返却	紙		1	
盈A 5 21	覚	1月12日	米屋吉兵衛	麻生太吉		紙		1	
盈A 5 22	記	亥12月		麻生		紙		1	
盈A 5 23	記	亥12月	儀三郎	麻生多吉		紙		1	
盈A 5 24	記	亥 9月 9日	麻生太吉	花村彦三郎	米渡しの際	紙		1	
盈A 5 25	口演		麻生本家	司	返金の件	紙		1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
盈A 5 26	口上	3月12日	浜中忠郎、和田諸作	麻生賀郎		紙		1	
盈A 5 27	記	11月9日	花村徳七	麻生太吉	忠親村山王谷の明治7年の坵区税	綴		1	
盈A 5 28	記	明治8年		麻生末吉	下関相場か	紙		1	
盈A 6 1	相庭	2月3日	角谷勘七	麻生賀郎	馬岡池相場の記載	紙		1	
盈A 6 2	馬岡物価日報	明治14年4月6日			仕事御礼	紙		1	
盈A 6 3	書簡	7月7日			打綿の作	紙		1	
盈A 6 4	書簡	1月29日	麻生賀郎	麻生太吉	粉種代	紙		1	
盈A 6 5	記	明治10年1月20日	徳前村 田中太郎	麻生賀郎	旅費の備忘	野紙		1	
盈A 6 6	記				初の種類	野紙		1	
盈A 6 7	記				相場の符調力	野紙		1	
盈A 6 8	記					野紙		1	
盈A 6 9	借用証文	[明治10]戊5月8日	借主 小野田平五郎	嘉麻石炭御売捌所	金子不足の儀	野紙		1	
盈A 6 10	書簡	[明治] 12年12月9日	有松伴六	麻生賀郎	金払込要求	野紙		1	
盈A 6 11	記				米相場の告知	野紙		1	
盈A 6 12	書簡	11月26日	彌福丸 香田八平	麻生賀郎	米相場の告知	野紙		1	
盈A 6 13	書簡	11月25日	高次登七郎	福間次右衛門		野紙		1	
盈A 6 14	約定証	明治12年11月28日	片嶋村 林田徳三郎、川嶋村 福間賀四郎	麻生賀郎	貸食社物産社の件	紙		1	
盈A 6 15	書簡	2月20日	麻生太吉	有松伴六	取替金米の件	野紙		1	
盈A 6 16	記	9月27日	<input type="checkbox"/> (□の中人多)	<input type="checkbox"/> (○の中太)	三人社計算書	紙		1	
盈A 6 17	記				年貢の村御刀	紙		1	
盈A 6 18	覚	3月18日	八百屋仁作	麻生賀郎	通	紙		1	
盈A 6 19	書簡	9月5日	麻生賀郎	佐野半九郎	サヤ取りの件	紙		1	
盈A 6 20	書簡	11月11日	花村仁三郎、熊谷又助	麻生賀郎	仁三郎方へ訪れるよう要請の件	紙		1	
盈A 6 21	書簡	[明治] 14年1月20日	広浪	麻生賀郎	福博商業組織の設置の件	紙		1	
盈A 6 22	書簡	8月9日	河崎利兵衛	麻生賀郎、太吉	米相場の件	紙		1	
盈A 6 23	書簡	3月4日	広浪鉄郎	麻生賀郎	米相場の件	紙		1	
盈A 6 24	書簡	3月4日	河崎利兵衛	麻生御主人	米相場の件	紙		1	
盈A 6 25	書簡	7月29日			米値段	紙		1	
盈A 6 26	記				石炭経営の取支を記したものの	綴		1	
盈A 6 27	記					紙		1	封筒あり
盈A 6 28	書簡	9月8日	麻生賀郎	佐野半五郎		紙		1	
盈A 6 29	記				12月23日受取	紙		1	
盈A 6 30	記	9月3日				紙		1	
盈A 6 31	書簡	12月8日	河崎利兵衛	福間久一	会所ほか	紙		1	
盈A 6 32	記				金額記入	紙		1	
盈A 6 33	記				金額記入	紙		1	
盈A 6 34	書簡	明治13年12月2日	広浪鉄郎	麻生賀郎	獄中よりの書簡	紙		1	
盈A 6 35	記				金額記入	紙		1	
盈A 6 36	1 書簡		花村徳七	麻生賀郎	米開封	紙		1	
盈A 6 36	2 書簡	9月29日	菅重三郎	麻生賀郎、花村徳七	金集めの件	紙		1	封あり
盈A 6 37	書簡	12月24日	大屋彦衛門	麻生嘉郎	立用の件	紙		1	
盈A 6 38	記				米相場の記	紙		2	
盈A 6 39	記	旧5月	瓦屋久兵衛	副戸長 麻生太吉	瓦の通か	綴		1	
盈A 6 40	書簡	正月	福間久郎	麻生太吉	借用願	紙		1	
盈A 6 41	書簡	9月2日		福間久市	加社の件	紙		1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
盈A 6 42	書簡	2月3日	河崎利兵衛	麻生賀郎	米相場の状況	紙		1	
盈A 6 43	記	11月1日	万細工屋平太郎	二名様	弁当・人力代ほか記	紙		3	
盈A 6 44	記	2月5日			米相場の件、ほか	紙		1	
盈A 6 45	書簡	9月11日	麻生多次郎	麻生賀郎	山の差配について	紙		1	
盈A 6 46	記	8月			8月4日～14日の相場	紙		1	
盈A 6 47	1 書簡	2月27日	麻生賀郎	福岡賀四郎	暴言叶きの件	紙		1	
盈A 6 47	2 書文	[明治] 13年2月4日	福岡賀四郎	宮崎今吉		紙		1	
盈A 6 47	3 書簡	2月20日	福岡賀四郎			紙		1	
盈A 6 48	記	2月3月4日	山元 中		金返済の件	紙		1	
盈A 6 49	書簡	2月5日	麻生賀郎	麻生賀郎	借金の件	紙		1	
盈A 6 50	書簡	2月27日	麻生賀郎	麻生多吉	米取引の件	紙		1	
盈A 6 51	記	[明治] 9年4月	十一戸長 上野定徳	九郷戸長 麻生賀郎	明治8年分種荷分紙第十一郷分	紙		1	
盈A 6 52	業書	[明治16年] 1月1日	芦田治助	麻生賀郎	本日諸物価商況	紙		1	
盈A 6 53	業書	[明治16年] 1月1日	菅田治助	麻生太七	本日諸物価商況	紙		1	
盈A 6 54	業書	8月16日	川崎利兵衛	麻生賀郎	米相場の記載	紙		1	
盈A 6 55	1 記	11月24日	産物会廻	麻生賀郎	馬廻状写	紙		1	
盈A 6 55	2 明治十二年十一月限完渡米	12月1日	唐茂		米の売買	紙		1	
盈A 6 55	3 書簡	11月26日	大屋彦衛門	麻生賀郎	米況について	紙		1	封あり
盈A 6 55	4 書簡	11月28日	大彦	麻生	米価の件	紙		1	
盈A 6 55	5 書簡	11月25日	大屋	麻生	米況と売買について	紙		1	封あり
盈A 6 55	6 書簡	12月2日	大屋	麻生	米売りの相談	紙		1	
盈A 6 55	7 書簡	12月5日	大屋	麻生	米売事の件	紙		1	封あり
盈A 6 56	記					紙		1	
盈A 6 57	記	1月29日				紙		1	
盈A 6 58	書簡	11月28日		福岡賀四郎	林田本家の件	紙		1	
盈A 6 59	九月四日朝場				収支戻	紙		1	
盈A 6 60	記				米相場の件	紙		1	
盈A 6 61	記	9月20日	麻生賀郎	九平	カス値段、売却	紙		1	
盈A 6 62	記	4月9日			上下カスの相場	紙		1	
盈A 6 63	記				日延返済	紙		1	
盈A 6 64	記					紙		1	
盈A 6 65	断簡		九平	麻大人		紙		1	
盈A 6 66	書簡	9月2日	福岡久三郎	麻生賀郎	人差し出しの件	紙		1	
盈A 6 67	書簡	3月27日	ひろ沢	麻生大兄	御見舞	紙		1	
盈A 6 68	断簡	7月1日				紙		1	
盈A 7 1	[断簡]	明治3年11月	藤井徳五郎ほか6名	内野御民事方	前欠ありカ	冊		1	
盈A 7 2	[断簡]	12月22日	□七郎	樋口 賀郎ほか1名	紙の破損に付き内容読解不可	紙		1	
盈A 7 3	[断簡]	2月14日			示談のこと、紙の破損により読解不可	紙		1	
盈A 7 4	[記]		豊屋勘藏		米の売買の記	綴		1	
盈A 7 5	[記]		豊屋勘藏		米の売買の記	綴		1	
盈A 7 6	[記]		豊屋勘藏		豊屋勘藏関係の記	綴		1	
盈A 7 7	[雑]					紙		6	
盈A 7 8	[断簡]	明治4年6月	大分村大庄屋 矢野吉直、飯塚村大庄屋 生賀郎			紙		1	
盈A 7 9	[断簡]			麻生賀郎	草履カ、紙背にも文書あり	紙		1	
盈A 8 1	[記]	戊5月28日	いよや新助		米の通脚代金の書上、前欠	紙		1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
盈A 8 2	[記]	4月26日	大山新作	麻生六郎	米の糶について、紙破損あり	紙	墨	1	
盈A 8 3	{書簡}			麻生賀郎	昨日越中高岡出正米について、馬廻より記1枚同折	封書	墨	2	
盈A 8 4	書簡	1月4日	桑野晋五郎	麻生賀郎	米の売付けについて	封書	墨	1	
盈A 8 5	書簡	1月18日	大山新作	麻生六郎	幸袋村徳四郎身辺の人物移動について	紙	墨	1	
盈A 8 6	書簡	7月28日	内野司民曹	麻生賀郎	封筒あり、「大急用」の文字あり	紙	墨	1	
盈A 8 7	[記]	2月12日	星屋勘藏	片島貸倉会社	注文の書上	封書	墨	1	
盈A 8 8	宛	11月2日	紙屋政右衛門	麻生賀郎	金七門御貸渡下さるべく候様御願い	紙	墨	1	
盈A 8 9	書簡	旧10月10日	有井村 上野喜藏	麻生太吉	大里屋屋賃について、他一件 星屋勘藏から貸倉会社宛の記1枚同折	紙	墨	1	
盈A 8 10	書簡	12月24日	組頭 七五七	庄屋 白土孫惣	船渡の代金、舟頭清吉に御渡し御願申上候	紙	墨	2	
盈A 8 11	記	2月2日	桑野	麻生		紙	墨	1	
盈A 8 12	[記]	22日	唐茂	麻生賀郎		封書	墨	1	
盈A 8 13	書簡	5月12日	小野山善三郎	麻生賀郎		封書	墨	1	
盈A 8 14	書簡	□月22日	吉田九三郎	麻生太吉	米について、記あり、紙破損あり	紙	墨	1	
盈A 8 15	書簡	[明治3年]10月19日	市吉孫一	□ [麻生賀カ] 郎	運賃支払のことで記について、米の記1枚同折	紙	墨	2	
盈A 8 16	書簡	7月21日	人力	麻生御大人	通帳の御渡しについて	紙	墨	1	
盈A 8 17	書簡	12月27日	□平六	麻生御役頭	枝園より米二俵だけ	紙	墨	1	
盈A 8 18	[記]			麻生	人夫、石材、木材についての記	綴	墨	1	
盈A 8 19	書簡	11月1日	紙屋政右衛門	麻生嘉郎	残米売却のことについて	紙	墨	1	
盈A 8 20	書簡	11月1日	福岡久市	麻生御氏	生輦の糶掛合のこと、会社一日より5日まで休会のことなど	紙	墨	1	
盈A 8 21	書簡	9月21日	紙屋政右衛門	麻生	別紙の題、御受取下されたきこと	紙	墨	1	
盈A 8 22	書簡	9月27日	紙屋政右衛門	麻生、福岡、村田、福岡	銀預りの覚	紙	墨	1	
盈A 8 23	覚	10月29日	花村徳七	麻生賀郎		紙	墨	1	
盈A 9	[断簡]				先組算	紙	墨	1	
盈A 10	[記]				日付・事柄ごとの記	紙	墨	3	元は綴
盈A 11	[記]				日付・事柄ごとの記	綴	墨	1	
盈A 12	[記]				日付・事柄ごとの記 盈A11と連続カ	綴	墨	1	
盈A 13	[記]				記の綴り、事柄に一貫性をなし	綴	墨・印	1	
盈A 14	[綴]				書簡・覚・新聞などの綴、作成者・宛先・内容は様々	綴	墨	1	
盈A 15 1	書簡	12月17日	安恒村庄屋 松本興八	樋口 麻生賀郎	当村組頭与吉郎より椿村へ米五十石、同村組頭阿人へ貸付のこと、未だ返済出来申さざるに付き、村仕組御願申し上げる	紙	墨	1	
盈A 15 2	書簡	12月25日	郷屋九七郎	樋口役 麻生賀郎	九日御売米の免限掛割付の内■八五俵	紙	墨	1	
盈A 15 3	書簡	12月22日	清水源平、伊藤長五郎	樋口役 麻生賀郎	内野御役所御入用天錢の割出について本文後に覚後続	紙	墨	1	
盈A 15 4	[記]				書類名の控えカ	紙	墨	1	
盈A 15 5	覚	午12月	林田徳三郎	樋口役 麻生賀郎	上納金額の覚	紙	墨	1	
盈A 15 6	覚	午12月	林田平三郎	樋口 御役所	上納金額の覚	紙	墨	1	
盈A 15 7	書簡	24日	米吉	五七、孫惣	口原村に不足のことについて	紙	墨	1	
盈A 15 8	書簡	12月22日	樋口 有松伴六	樋口 麻生賀郎	内野にて御面会申すべく候	紙	墨	1	
盈A 15 9	書簡	12月22日	村田徳三郎	樋口役 麻生賀郎	借状帳年割を以て御上納申上たきことについて、御聞通り願上げる	紙	墨	1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
盈A 15 10	書簡	12月21日	大分觸役場	触口 麻生賀郎	空役飯米代上納御証書のこと	紙	墨	1	
盈A 15 11	[記]				書類名の控えカ	紙	墨	1	
盈A 15 12	[記]				金銭の書上	紙	墨	1	
盈A 15 13	書簡	10月28日	庄屋 彦一	触口役 麻生賀郎	借財一件について	紙	墨	1	
盈A 15 14	[覚]	明治3年12月	栢森村組頭 鬼丸七五七、同村庄屋 白土孫惣	内野御民事方	栢森村における銭御渡の覚	紙	墨	2	
盈A 15 15	書簡	12月18日	古川三平、手島屋兼三郎	触口 麻生賀郎	昨日の廻文の内容の物指上げ分の斗り出しについて	紙	墨	1	
盈A 15 16	書簡	12月9日	庄屋 原宅七	触口役 麻生賀郎	金子相調へのこと	紙	墨	1	
盈A 15 17	書簡	12月24日	古川三平	触口役 麻生賀郎	米の売払いについて	紙	墨	1	
盈A 15 18	覚				米代の覚	紙	墨	1	
盈A 15 19	書簡	12月12日	古林惣四郎	麻生賀郎	年貢下米極々完朔出来兼ね様の混雑仕居屋	紙	墨	1	
盈A 15 20	書簡	12月19日	宍分村庄屋 青柳一平次	触口役 麻生賀郎	御話申上候生煎春出しの件	紙	墨	1	
盈A 15 21	書簡	12月24日			前欠あり	紙	墨	1	
盈A 15 22 1	書簡	12月22日	林田平右衛門 古川孫七	触口 麻生賀郎	寸志金上納の件	紙	墨	1	15:22-2同折
盈A 15 22 2	書簡	12月22日	古川孫七	麻生賀郎	御祝の品の御札状	紙	墨	1	
盈A 15 22 2	書簡	19日	原尾七	触口	堀池村大村彦平より御相談の件について	紙	墨	1	
盈A 15 24	書簡	12月9日	白土孫惣	麻生賀郎	利純上三緒より相違のこと	紙	墨	1	
盈A 15 25	書簡	12月23日	麻生六郎	大正新作	御約の儀催促のこと	紙	墨	1	
盈A 15 26	書簡	午12月20日	庄屋 濱十五郎	触口役 麻生賀郎	上納受取の覚	紙	墨	1	
盈A 15 27	書簡	12月23日	高岡村庄屋 尾十郎	触口役 麻生賀郎	米2俵払いのこと	紙	墨	1	
盈A 15 28	書簡	12月14日	庄屋 長八郎	触口元 御役場	先日から御役場に申し上げている件について	紙	墨	1	
盈A 15 29	書簡	12月14日	庄屋 伊藤市吉	触口役 麻生賀郎	村の引請について	紙	墨	1	
盈A 15 30	書簡	12月17日	庄屋 松本興	飯塚触 御役場	酒の延引の件	紙	墨	1	
盈A 15 31	書簡				大造にかかると上納銀の支払いについて	紙	墨	1	後欠カ
盈A 15 32	書簡	12月7日	西七郎	賀郎	運賃支払いの件	紙	墨	1	
盈A 15 33	書簡	12月17日	庄屋 安永直	触口 麻生賀郎	別紙添別依頼	紙	墨	1	
盈A 15 34	書簡	12月17日	庄屋 伊藤市吉	触口役 麻生賀郎	人用金について	紙	墨	1	
盈A 15 35	書簡	12月18日	庄屋 原宅七	御役場	講座御指紙2枚受取りのこと	紙	墨	1	
盈A 15 36	書簡	12月18日			老人書上改のこと	紙	墨	1	
盈A 15 37	書簡	12月16日	吉田生	飯塚触口 麻生賀郎	利金相渡について	紙	墨	1	
盈A 15 38	[記]				御徳米の書上、前欠あり	紙	墨	1	
盈A 15 39	書簡	12月18日	大村善平	触口 麻生賀郎	安永伊藤両所へ御渡の米について	紙	墨	1	
盈A 15 40	書簡	12月18日			御金腰筋に謹賀仰付らること	紙	墨	1	
盈A 15 41	書簡	12月18日	堀池村 大村善平	触口役 御役場	昨日米三拾使司馬差亮前渡の件	紙	墨	1	
盈A 15 42	書簡	12月16日	甫次郎	賀郎	金銭上納のこと	紙	墨	1	
盈A 15 43	書簡	12月14日	市三郎	五嶋徳郎	金銭と引き合わせの件	紙	墨	1	
盈A 15 44	書簡	12月14日	宮崎新九郎	触口役 有松伴六	先日書付さしあげた件について	紙	墨	1	包紙あり
盈A 15 45	書簡	12月14日	触口 有松伴六	触口役 麻生賀郎	金銭入用の件	紙	墨	1	
盈A 15 46	覚				米の書き上げ	紙	墨	1	
盈A 15 47	書簡	12月19日	多次郎	賀郎	八木山 受け払い	紙	墨	1	
盈A 15 48	書簡	12月19日	庄屋 原宅七	触口役 麻生賀郎	金銭上納の件	紙	墨	1	破損あり

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法数量	備考
盈A 15 49	書簡				包紙・断簡など	紙	墨 9	
盈A 16	[綴]				書簡の綴	綴	墨 1	1枚はずれあり
盈A 17	[綴]				書簡や書き上げの綴	綴	墨 1	
盈A 18	[綴]				書簡と書き上げの綴	綴	墨 1	
盈A 19	[綴]					綴	墨 1	
盈A 20 1	記	亥8月10日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	安本殿に渡すべき金銭の記	紙	墨 1	
盈A 20 2	記	7月29日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭請求の記	紙	墨 1	
盈A 20 3	記	7月7日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 4	記	亥7月20日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 5	記	6月1日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭受取の記	紙	墨 1	
盈A 20 6	記	5月29日	麻生大吉	御花亭	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 7	記	亥5月26日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 8	記	亥8月21日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 9	記	明治8年5月17日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 10	記	亥5月13日	麻生屋 麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 11	記	亥7月23日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 12	記	亥5月26日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 13	記	亥2月22日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 14	記	6月12日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 15	記	亥6月15日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	花村久助へ御渡金銭の記	紙	墨 1	
盈A 20 16	記	6月14日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	印平へ御渡金銭の記	紙	墨 1	
盈A 20 17	記	亥2月	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 18	記	亥6月22日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 19	記	亥6月22日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 20	記	亥6月6日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 21	記	亥6月4日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 22	記	7月3日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 23	記	6月27日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 24	記	7月16日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 25	記	亥8月5日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 26	記	亥6月9日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 27	記	亥6月25日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 28	記	7月6日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 29	記	5月30日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 30	記	亥6月5日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 31	記	亥9月7日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 32	記	6月3日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 33	記	亥6月2日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 34	記	6月12日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 35	記	亥6月2日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 36	記	7月4日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 37	記	7月3日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 38	記	9月1日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 39	記	9月2日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 40	記	8月12日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	
盈A 20 41	記	9月1日	麻生大吉	花曾屋喜右衛門	金銭御渡の記	紙	墨 1	

史料番号	表題	年月日	作成者	宛先	内容	形態	記述法	数量	備考
潜 4	九水対九族訴訟事件示談解決二関スル書類				潜4-1～3の封筒	封筒	墨	1	
潜 4	1 記				麻生大吉と山口恒太郎のやりとり控	綴	墨	1	
潜 4	2 電報	[大正8年9月3日消印]	ヤマウチ	ツウウタキチ	ワタシノハナシニヒロコヲアヂニアタケウケウノヨシオケテレハコノチニテラコチダシヘン	専用紙	印・ペ	1	
潜 4	3 電報		ヤウウチ	ツウウタキチ	コノチニオマケスルー○ヒ九スイ九テソペンソクエンスキノサイエンスンニソセウニヨラスカイケツハカ2点	専用紙	印・ペ	3	
潜 5	書簡	明治37年5月	麻生大吉	合名会社三井銀行社長 合名会社三井物産井八郎次郎	経営不振につき借入願ひ	綴	墨	1	
潜 6	雑書類留	明治24年1月	笠松炭坑事務所		借入書など雑多な書類	綴	墨	1	
潜 7	飯塚魁泰藏中書類	[明治]23年1月23日				綴	墨	1	
潜 8	第十四区戸長麻生賀郎在恐御伺申上候覚	明治5年1月	麻生賀郎	福岡県県庁	取締役郡目明兼務の者免職のことについて、「難前届」の貼紙あり	綴	墨	1	
潜 9	嘉麻穂波阿那庄屋中進名ヲ以御願申上候事	明治2年3月	舟庄屋 高次藤十郎ほか4名	船口役 清水流ほか3名	去年より米を余分に作ることとなったので、運賃をお借りしたい、後半に「運賃御定御願申上覚」あり	綴	墨	1	
潜 10	飯塚村大庄屋麻生嘉郎御伺申上候事	明治4年12月	飯塚村大庄屋 麻生嘉郎	福岡県県庁	管内米穀輸転における若松、芦屋両港の積み下ろしについて	綴	墨	1	
潜 11	穂波郡片島村庄屋組頭在恐御願申上候事	明治4年10月	片島村庄屋 宮本与三郎ほか2名	福岡県県庁	先旨僧の処遇について	綴	墨	1	
潜 12	字	5月19日			馬鈴薯に関して	綴	墨	1	
潜 13	穂波郡小西村波多流行病二付御助米小割書付帳	明治3年8月	小西村組頭 藤五郎、藤六、同村庄屋 善次郎	内野御司民御曹	助米の書上	綴	墨	1	
潜 14	福岡県管下筑前国嘉麻郡立岩村地内				林野の官民有区別の取調べについて	綴	墨	1	
潜 15	忠隈坑山書類				忠隈坑山関係書類の目録	綴	墨	2	
潜 16	御仕組石炭代御渡問通	文久2年5月	惣屋 焚石会所	■安山元 清四郎	石代の書上	綴	墨	1	